



令和 5 年度

第 65 回

# 県政に関する世論調査

## 報 告 書

令和 6 年 1 月

千 葉 県



## は し が き

この調査は、県民の皆さまの生活意識、県政に対してどのような関心や期待などを持っているかを把握し、県政推進の基礎資料とするため、昭和50年度から実施しています。

令和5年度は年2回実施することとし、今回は1回目の調査で、県内在住の満18歳以上の3,000名を対象に、8月から9月にかけて郵送法・オンライン調査法で実施しました。

具体的な内容としては、環境と生活、健康、福祉などについて県民の意識等の経年変化を調査する「県民意識調査」、県民のニーズの優先度を調査する「県政への要望」を実施しました。

この報告書が、県の施策立案や各事業の推進などに活用されるだけでなく、広く県民の生活意識や県政に関心を寄せる方々にご活用いただければ幸いです。

終わりに、本調査にご協力いただきました県民の皆さまを始め、関係者の方々に厚くお礼申し上げます。

令和6年1月

千葉県総合企画部長 富沢 昇

# 目 次

調査の概要	1
調査結果及び解説	10
1 環境と生活について	10
(1) 今後の居住意向	10
(1-1) 住み続けたい理由	12
(1-2) 移りたい理由	15
(2) 県内の道路状況の満足度	17
(3) 今後、道路整備をしていく上で優先的に対策すべき課題	19
(4) 上水道の整備の満足度	22
(5) 住生活全般の満足度	24
(6) 消費生活全般の満足度	26
(7) 「県の消費者センター」や「市町村の消費生活センター」の認知度	28
(8) 「気候変動による影響への適応」の認知度	30
(9) 環境に配慮した行動	32
(10) 普段の生活で環境に配慮した取組の実施状況	34
(11) 環境保全に関する講演やセミナー、 環境ボランティア活動への参加状況	41
(12) 市民活動団体やボランティア活動の関心度	43
(13) 市民活動団体の活動への参加経験	45
(14) ボランティア活動経験	47
(15) この1年間の文化芸術の鑑賞及び活動の経験	49
(15-1) 文化芸術を鑑賞しなかった理由	53
(15-2) 文化芸術活動をしなかった理由	56
(16) 文化芸術に触れ、自ら取り組むことができる環境の整備状況	59
2 健康について	61
(1) 健康づくりへの取組状況	61
(2) 安心して受診できる医療体制	63
(3) かかりつけ医の有無	65
3 福祉について	69
(1) 地域の福祉の状況について	69
(2) お年寄りが安心して暮らせる高齢者施策について	74
(3) 「共生社会」の認知度	76
4 観光について	78
(1) 県内でより快適な旅行をするために充実してほしいこと	78
(2) お土産や贈答品として選ぶ県産品	81
5 県の農林水産物について	84

(1)	千葉県産農林水産物の購入意向	84
(1-1)	千葉県産農林水産物を購入したいと思う理由	86
(1-2)	千葉県産農林水産物を購入したいと思わない理由	88
(2)	環境にやさしい農産物や制度の認知度	90
(3)	「千葉ブランド水産物」の認知度	93
<b>6</b>	<b>防災に関する取組について</b>	<b>95</b>
(1)	防災情報の警戒レベルの意味・取るべき行動の認知度	95
(2)	飲料水や食料、災害用トイレ（簡易・携帯）の備蓄状況	97
(3)	地震や台風などの災害への対策	101
<b>7</b>	<b>公金のキャッシュレス化の推進について</b>	<b>104</b>
(1)	公金の納付に当たり不便と感ずることの有無	104
(1-1)	キャッシュレス決済を導入すべきだと思ふ場面	106
(2)	普段の生活で主に利用しているキャッシュレス決済	108
<b>8</b>	<b>生涯学習について</b>	<b>111</b>
(1)	今後学習したいと思ふこと	111
(1-1)	学習する上で困っていること	114
(1-2)	学習したいと思わない理由	117
(2)	生涯学習の情報を得る手段	120
<b>9</b>	<b>SDGs等について</b>	<b>123</b>
(1)	SDGsの言葉の認知度	123
(2)	「ダイバーシティ」概念の認知度	125
(2-1)	千葉県における「ダイバーシティ社会」の実現について	127
(3)	社会全体での男女の地位の平等感	130
(4)	男女共同参画社会を実現するための取組	132
<b>10</b>	<b>県の魅力について</b>	<b>135</b>
(1)	千葉県の魅力	135
<b>11</b>	<b>広報について</b>	<b>139</b>
(1)	県政に関する情報を得る手段	139
<b>12</b>	<b>ちばアクアラインマラソンについて</b>	<b>142</b>
(1)	「ちばアクアラインマラソン」の認知度	142
(2)	「ちばアクアラインマラソン」の認知媒体	144
<b>13</b>	<b>県政への要望</b>	<b>146</b>
(1)	県政への要望	146
(1-1)	各政策への具体的な要望	153
<b>14</b>	<b>自由回答</b>	<b>166</b>
(付)	調査票および単純集計結果	172

# 調 査 の 概 要

## 1. 調査の目的

この調査は、県民の生活と県政の主要分野にわたる県民の関心、要望、意向などをとらえ、県政推進の基礎資料とすることを目的とする。

## 2. 調査の項目

### （1）県民意識調査

- ・環境と生活について
- ・健康について
- ・福祉について
- ・観光について
- ・県の農林水産物について
- ・防災に関する取組について
- ・公金のキャッシュレス化の推進について
- ・生涯学習について
- ・SDGs等について
- ・県の魅力について
- ・広報について
- ・ちばアクアラインマラソンについて

### （2）県政への要望

## 3. 調査の設計

（1）調査地域 千葉県全域

（2）調査対象 満18歳以上の個人

（3）標本数 3,000人

（4）抽出方法 層化二段無作為抽出法

※層化二段無作為抽出法とは、行政単位と地域によって県内をブロックごとに分類し（層化）、各層に調査地点を人口に応じて比例配分し、国勢調査における調査区域及び住民基本台帳を利用して（二段）、地点ごとに一定数のサンプル抽出を行うものである。

（5）調査方法 郵送法・オンライン調査法の併用  
（郵送配付－郵送・オンライン回収）

（6）調査時期 令和5年8月22日～令和5年9月15日

## 4. 調査機関

株式会社マーケティングリサーチサービス

## 5. 回収結果

標本数	（A）	3,000件
総回収数	（B）	1,565件
有効回収数	（C）	1,561件
うちネット回収数		485件
無効回収数		4件
うちネット回収数		0件
回収率	（B／A）	52.17%
有効回収率	（C／A）	52.03%

## 標本抽出方法

調査対象：千葉県内の市町村に居住する満18歳以上の個人

標本数：3,000人

地点数：市部 194地点

郡部 6地点

計 200地点

抽出法：層化二段無作為抽出法

## 〔層 化〕

1. 県内を、次の11地域に分類した。

地域名	該 当 市 郡 名
①千葉地域	千葉市、市原市
②葛南地域	市川市、船橋市、習志野市、八千代市、浦安市
③東葛飾地域	松戸市、野田市、柏市、流山市、我孫子市、鎌ヶ谷市
④印旛地域	成田市、佐倉市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、印旛郡
⑤香取地域	香取市、香取郡
⑥海匝地域	銚子市、旭市、匝瑳市
⑦山武地域	東金市、山武市、大網白里市、山武郡
⑧長生地域	茂原市、長生郡
⑨夷隅地域	勝浦市、いすみ市、夷隅郡
⑩安房地域	館山市、鴨川市、南房総市、安房郡
⑪君津地域	木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市

2. 各地域内においては、  
さらに市部、郡部に分け、層とした。

（注）ここでいう市とは、  
令和5年4月1日現在市制施行の  
地域をさす。



## 〔標本数の配分〕

各地域・市郡規模別の層における満18歳以上の人口（令和4年4月1日現在の推定数）に対して、3,000の標本数を比例配分した。

## 〔抽出〕

- 令和2年国勢調査時に設定された調査区を、第1次抽出単位となる調査単位として使用した。
  - 調査地点の抽出は、調査地点が2地点以上に割り当てられた層については、  

$$\left( \frac{\text{層における調査区数の合計}}{\text{層で算出された調査地点数}} = \text{抽出間隔} \right)$$
を算出し、等間隔抽出法によって抽出した。
  - 抽出に際しての各層内における市町村の配列順序は、令和2年国勢調査時の「標準地域コード一覧」に従った。
  - 調査地点における対象者の抽出は、調査地点の範囲内（町・丁目・番地等を指定）を、住民基本台帳から等間隔抽出法によって抽出した。
- 以上の結果、各地域・市郡別（層別）の標本数・調査地点数は、次のとおりである。

地域 \ 市郡	市部	郡部	計
①千葉地域	1,071,623 600 40	0 0 0	1,071,623 600 40
②葛南地域	1,435,249 795 53	0 0 0	1,435,249 795 53
③東葛飾地域	1,300,761 720 48	0 0 0	1,300,761 720 48
④印旛地域	581,585 330 22	35,790 15 1	617,375 345 23
⑤香取地域	64,461 30 2	29,346 15 1	93,807 45 3
⑥海匝地域	137,114 75 5	0 0 0	137,114 75 5
⑦山武地域	135,948 75 5	39,714 15 1	175,662 90 6
⑧長生地域	76,869 45 3	51,185 30 2	128,054 75 5
⑨夷隅地域	47,265 30 2	14,171 15 1	61,436 45 3
⑩安房地域	99,920 60 4	6,521 0 0	106,441 60 4
⑪君津地域	278,876 150 10	0 0 0	278,876 150 10
計	5,229,671 2,910 194	176,727 90 6	5,406,398 3,000 200

（注）上段は満18歳以上の人口（令和4年4月1日現在）、中段は標本数、下段は調査地点数である。



## 調査地点一覧

地域	調 査 地 点 名	標 本 数	地域	調 査 地 点 名	標 本 数
① 千葉地域	千葉市中央区今井 3 丁目	15	① 千葉地域	市原市妙香	15
	千葉市中央区寒川町 3 丁目	15		市原市辰巳台西 2 丁目	15
	千葉市中央区蘇我 1 丁目	15		市原市五井西 2 丁目	15
	千葉市中央区椿森 5 丁目	15		市原市ちはら台南 2 丁目	15
	千葉市中央区登戸 5 丁目	15	② 葛南地域	市川市市川南 4 丁目	15
	千葉市中央区松ヶ丘町	15		市川市大洲 4 丁目	15
	千葉市中央区都町 8 丁目	15		市川市南八幡 1 丁目	15
	千葉市花見川区朝日ヶ丘 4 丁目	15		市川市宮久保 1 丁目	15
	千葉市花見川区こてはし台 5 丁目	15		市川市中山 2 丁目	15
	千葉市花見川区千種町	15		市川市国分 2 丁目	15
	千葉市花見川区幕張町 1 丁目	15		市川市北国分 2 丁目	15
	千葉市花見川区幕張本郷 7 丁目	15		市川市下貝塚 1 丁目	15
	千葉市稲毛区稲毛台町	15		市川市原木 3 丁目	15
	千葉市稲毛区小仲台 7 丁目	15		市川市奉免町	15
	千葉市稲毛区千草台 1 丁目	15		市川市欠真間 1 丁目	15
	千葉市稲毛区弥生町	15		市川市南行徳 3 丁目	15
	千葉市若葉区小倉台 3 丁目	15		市川市新浜 1 丁目	15
	千葉市若葉区北大宮台	15		市川市幸 2 丁目	15
	千葉市若葉区千城台北 1 丁目	15		船橋市東船橋 7 丁目	15
	千葉市若葉区都賀 4 丁目	15		船橋市日の出 2 丁目	15
	千葉市若葉区みつわ台 3 丁目	15		船橋市海神 2 丁目	15
	千葉市緑区越智町	15		船橋市西船 7 丁目	15
	千葉市緑区あすみが丘 1 丁目	15		船橋市本中山 4 丁目	15
	千葉市緑区おゆみ野 1 丁目	15		船橋市前貝塚町	15
	千葉市緑区おゆみ野中央 6 丁目	15		船橋市藤原 8 丁目	15
	千葉市緑区あすみが丘東 5 丁目	15		船橋市夏見 1 丁目	15
	千葉市美浜区打瀬 2 丁目	15		船橋市金杉 1 丁目	15
	千葉市美浜区高洲 4 丁目	15		船橋市二和東 6 丁目	15
	千葉市美浜区真砂 4 丁目	15		船橋市南三咲 3 丁目	15
	市原市島野	15		船橋市咲が丘 1 丁目	15
	市原市五井東 1 丁目	15		船橋市前原西 3 丁目	15
	市原市八幡	15		船橋市二宮 1 丁目	15
	市原市菊間	15		船橋市三山 3 丁目	15
	市原市迎田	15		船橋市田喜野井 5 丁目	15
	市原市青葉台 8 丁目	15		船橋市芝山 2 丁目	15
	市原市光風台 4 丁目	15		船橋市松が丘 1 丁目	15

地域	調査地点名	標本数	地域	調査地点名	標本数
② 葛南地域	船橋市大穴南 5 丁目	15	③ 東葛飾地域	野田市岩名	15
	船橋市西習志野 3 丁目	15		野田市尾崎	15
	船橋市習志野台 8 丁目	15		野田市次木	15
	習志野市谷津 2 丁目	15		柏市明原 4 丁目	15
	習志野市袖ヶ浦 1 丁目	15		柏市大室	15
	習志野市藤崎 5 丁目	15		柏市北柏 3 丁目	15
	習志野市新栄 1 丁目	15		柏市新逆井 1 丁目	15
	習志野市実籾 1 丁目	15		柏市高田	15
	八千代市大和田	15		柏市豊四季台 1 丁目	15
	八千代市麦丸	15		柏市西原 1 丁目	15
	八千代市下市場 2 丁目	15		柏市東柏 2 丁目	15
	八千代市米本団地	15		柏市増尾台 2 丁目	15
	八千代市八千代台東 5 丁目	15		柏市南柏 1 丁目	15
	八千代市八千代台北 11 丁目	15		柏市増尾	15
	八千代市緑が丘 1 丁目	15		柏市逆井 4 丁目	15
	八千代市勝田台北 2 丁目	15		柏市高柳	15
	浦安市猫実 2 丁目	15		流山市加 4 丁目	15
	浦安市富士見 4 丁目	15		流山市南流山 1 丁目	15
	浦安市入船 2 丁目	15		流山市美原 3 丁目	15
	浦安市舞浜 2 丁目	15		流山市芝崎	15
	浦安市高洲 5 丁目	15		流山市青田	15
③ 東葛飾地域	松戸市大橋	15		流山市おおたかの森北 2 丁目	15
	松戸市河原塚	15		我孫子市根戸	15
	松戸市古ヶ崎 3 丁目	15		我孫子市寿 2 丁目	15
	松戸市小金原 8 丁目	15		我孫子市東我孫子 2 丁目	15
	松戸市新作	15		我孫子市湖北台 7 丁目	15
	松戸市千駄堀	15		我孫子市布佐	15
	松戸市常盤平 5 丁目	15		我孫子市南新木 2 丁目	15
	松戸市二十世紀が丘柿の木町	15		鎌ヶ谷市東道野辺 7 丁目	15
	松戸市東平賀	15		鎌ヶ谷市富岡 2 丁目	15
	松戸市牧の原 2 丁目	15		鎌ヶ谷市初富本町 1 丁目	15
	松戸市三ヶ月	15	④ 印旛地域	成田市美郷台 1 丁目	15
	松戸市稔台 7 丁目	15		成田市大袋	15
	松戸市和名ヶ谷	15		成田市公津の杜 4 丁目	15
	松戸市五香 4 丁目	15		佐倉市鍋山町	15
	野田市上花輪	15		佐倉市臼井	15
	野田市清水公園東 2 丁目	15		佐倉市南臼井台	15
	野田市山崎	15		佐倉市西志津 8 丁目	15

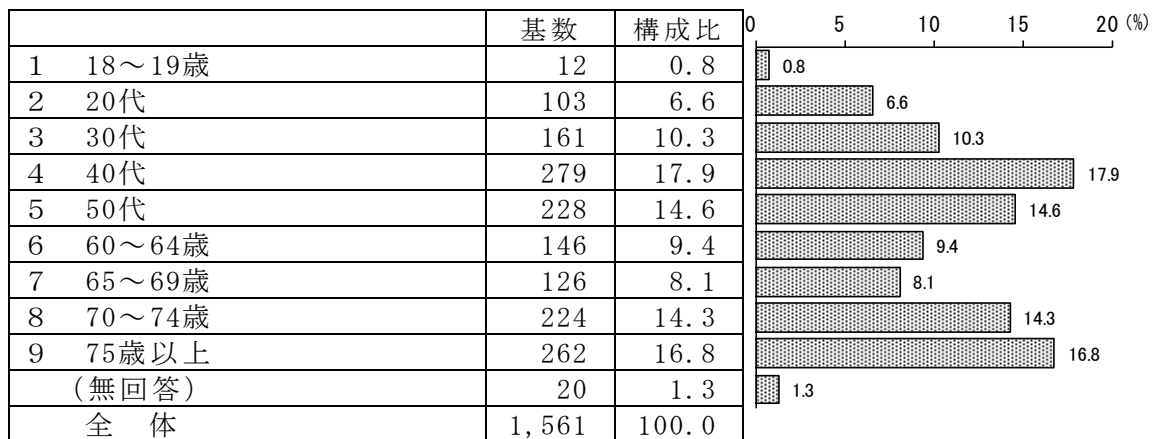
地域	調 査 地 点 名	標 本 数	地域	調 査 地 点 名	標 本 数
④ 印旛地域	佐倉市宮ノ台 4 丁目	15	⑦ 山武地域	山武市草深	15
	佐倉市太田	15		大網白里市永田	15
	佐倉市染井野 1 丁目	15		大網白里市南今泉	15
	四街道市下志津新田	15		山武郡横芝光町宮川	15
	四街道市山梨	15	⑧ 長生地域	茂原市茂原	15
	四街道市みそら 2 丁目	15		茂原市新小轡	15
	四街道市池花 2 丁目	15		茂原市緑ヶ丘 5 丁目	15
	八街市文違	15		長生郡一宮町新地	15
	印西市木下南 2 丁目	15	⑨ 夷隅地域	長生郡白子町関	15
	印西市木刈 1 丁目	15		勝浦市部原	15
	印西市牧の原 3 丁目	15		いすみ市日在	15
	印西市萩埜／安食ト杭	15	⑩ 安房地域	夷隅郡御宿町高山田	15
	白井市清水口 2 丁目	15		館山市館山	15
	白井市野口	15		館山市正木	15
	富里市立沢	15		鴨川市東町	15
	印旛郡栄町須賀	15		南房総市吉沢	15
⑤ 香取地域	香取市下小野	15	⑪ 君津地域	木更津市中央 3 丁目	15
	香取市佐原イ	15		木更津市太田 1 丁目	15
	香取郡多古町多古新町	15		木更津市港南台 1 丁目	15
⑥ 海匝地域	銚子市長崎町	15		木更津市清見台東 1 丁目	15
	銚子市栄町 2 丁目	15		木更津市若葉町	15
	銚子市野尻町	15		君津市杵師 4 丁目	15
	旭市新町	15		君津市人見 1 丁目	15
	匝瑳市八日市場ホ	15		君津市泉	15
⑦ 地山域武	東金市東上宿	15		富津市中	15
	東金市福俵	15		袖ヶ浦市蔵波台 4 丁目	15

## 回答者の属性

### 1. 性



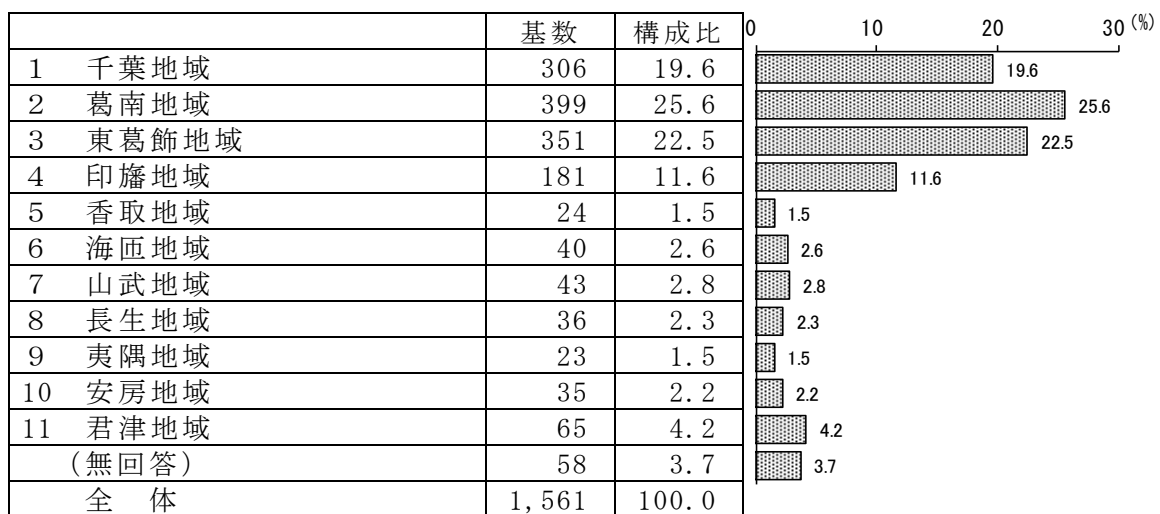
### 2. 年 代



### 3. 職 業



### 4. 地 域



## （報告書の見方）

本報告書を読む際に、次の点に留意してください。

- （１）比率はすべて百分比で表し、小数点以下第２位を四捨五入して算出した。このために、百分比の合計が100%にならないことがある。
- （２）基数となるべき実数はnとして掲載した。その比率はnの件数を100%として算出した。
- （３）１人の回答者が複数回答で行う設問では、その比率の合計が100%を上回ることがある。
- （４）複数の選択肢を合わせた表記の回答割合は、選択肢の回答者人数を合わせた値を、全回答者で割った値を採用しているため、選択肢の回答割合を単純に足した値と異なることがある。
- （５）回答の基数（サンプル数）が少ない場合は、解説で当該集計結果に触れていない場合がある。また、派生的設問において、基数が少ない属性が多い場合は、解説を行わない場合がある。
- （６）地域別、性・年代別の解説において、全体の数値との差が認められる確率が一定の基準を超えない属性の数値については、触れていない場合がある。
- （７）この調査の標本誤差は次の式によって得られる。但し、信頼度を95%とする。

$$b = 2 \sqrt{\frac{N - n}{N - 1} \times \frac{P(1 - P)}{n}}$$

b    = 標本誤差  
 N    = 母集団数  
 n    = 比率算出の基数（サンプル数）  
 P    = 回答比率

次に、本調査の標本誤差の早見表をあげる。

## 【地域別】

回答比率（P） 基数（n）		10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
総数	1,561人	± 2.15	± 2.86	± 3.28	± 3.51	± 3.58
千葉地域	306	± 4.85	± 6.47	± 7.41	± 7.92	± 8.08
葛南地域	399	± 4.25	± 5.66	± 6.49	± 6.94	± 7.08
東葛飾地域	351	± 4.53	± 6.04	± 6.92	± 7.40	± 7.55
印旛地域	181	± 6.31	± 8.41	± 9.63	± 10.30	± 10.51
香取地域	24	± 17.32	± 23.09	± 26.45	± 28.28	± 28.86
海匝地域	40	± 13.41	± 17.89	± 20.49	± 21.91	± 22.36
山武地域	43	± 12.94	± 17.25	± 19.76	± 21.13	± 21.56
長生地域	36	± 14.14	± 18.85	± 21.60	± 23.09	± 23.57
夷隅地域	23	± 17.69	± 23.59	± 27.02	± 28.89	± 29.48
安房地域	35	± 14.34	± 19.12	± 21.91	± 23.42	± 23.90
君津地域	65	± 10.52	± 14.03	± 16.07	± 17.18	± 17.54

【性・年代別】

回答比率（P） 基数（n）		10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
総 数	1,561人	± 2.15	± 2.86	± 3.28	± 3.51	± 3.58
男性（計）	655	± 3.32	± 4.42	± 5.06	± 5.41	± 5.53
男性18～19歳	6	± 34.64	± 46.19	± 52.91	± 56.57	± 57.73
男性20代	35	± 14.34	± 19.12	± 21.91	± 23.42	± 23.90
男性30代	58	± 11.14	± 14.85	± 17.02	± 18.19	± 18.57
男性40代	111	± 8.05	± 10.74	± 12.30	± 13.15	± 13.42
男性50代	83	± 9.31	± 12.42	± 14.23	± 15.21	± 15.52
男性60～64歳	69	± 10.21	± 13.62	± 15.60	± 16.68	± 17.02
男性65～69歳	58	± 11.14	± 14.85	± 17.02	± 18.19	± 18.57
男性70～74歳	110	± 8.09	± 10.78	± 12.36	± 13.21	± 13.48
男性75歳以上	125	± 7.59	± 12.42	± 11.59	± 15.21	± 12.65
女性（計）	883	± 2.86	± 3.81	± 4.36	± 4.66	± 4.76
女性18～19歳	6	± 34.64	± 46.19	± 52.91	± 56.57	± 57.73
女性20代	66	± 10.44	± 13.92	± 15.95	± 17.05	± 17.41
女性30代	103	± 8.36	± 11.15	± 12.77	± 13.65	± 13.93
女性40代	167	± 6.56	± 10.12	± 11.59	± 12.39	± 12.65
女性50代	145	± 7.05	± 9.39	± 10.76	± 11.51	± 11.74
女性60～64歳	76	± 9.73	± 12.97	± 14.86	± 15.89	± 16.22
女性65～69歳	68	± 10.29	± 13.72	± 15.72	± 16.80	± 17.15
女性70～74歳	114	± 7.95	± 10.59	± 12.14	± 12.97	± 13.24
女性75歳以上	137	± 7.25	± 9.66	± 11.07	± 11.84	± 12.08

# 調査の結果 調査結果の解説

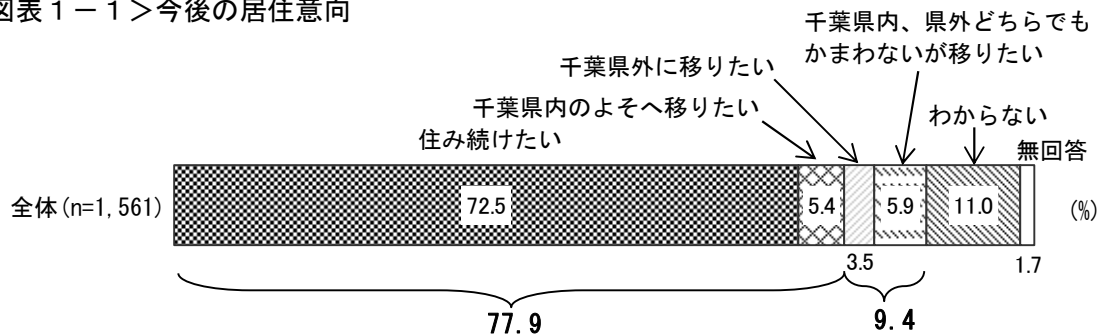
## 1 環境と生活について

### （1）今後の居住意向

◇『千葉県内に住み続けたい（計）』が約 8 割

問 1 あなたは、現在お住まいの地域に、ずっと住み続けたいと思いますか。（○は 1 つ）

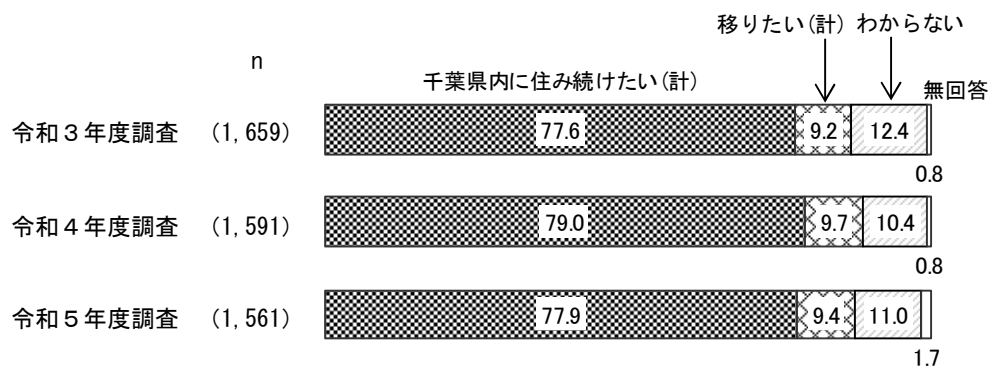
＜図表 1－1＞今後の居住意向



現在お住まいの地域の今後の居住意向を聞いたところ、「住み続けたい」(72.5%) が 7 割を超え、これと「千葉県内のよそへ移りたい」(5.4%) を合わせた『千葉県内に住み続けたい (計)』(77.9%) が約 8 割となっている。

一方、「千葉県外に移りたい」(3.5%) と「千葉県内、県外どちらでもかまわないが移りたい」(5.9%) を合わせた『移りたい (計)』(9.4%) が約 1 割となっている。(図表 1－1)

〔参考〕令和 3 年度・4 年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



#### 【地域別】

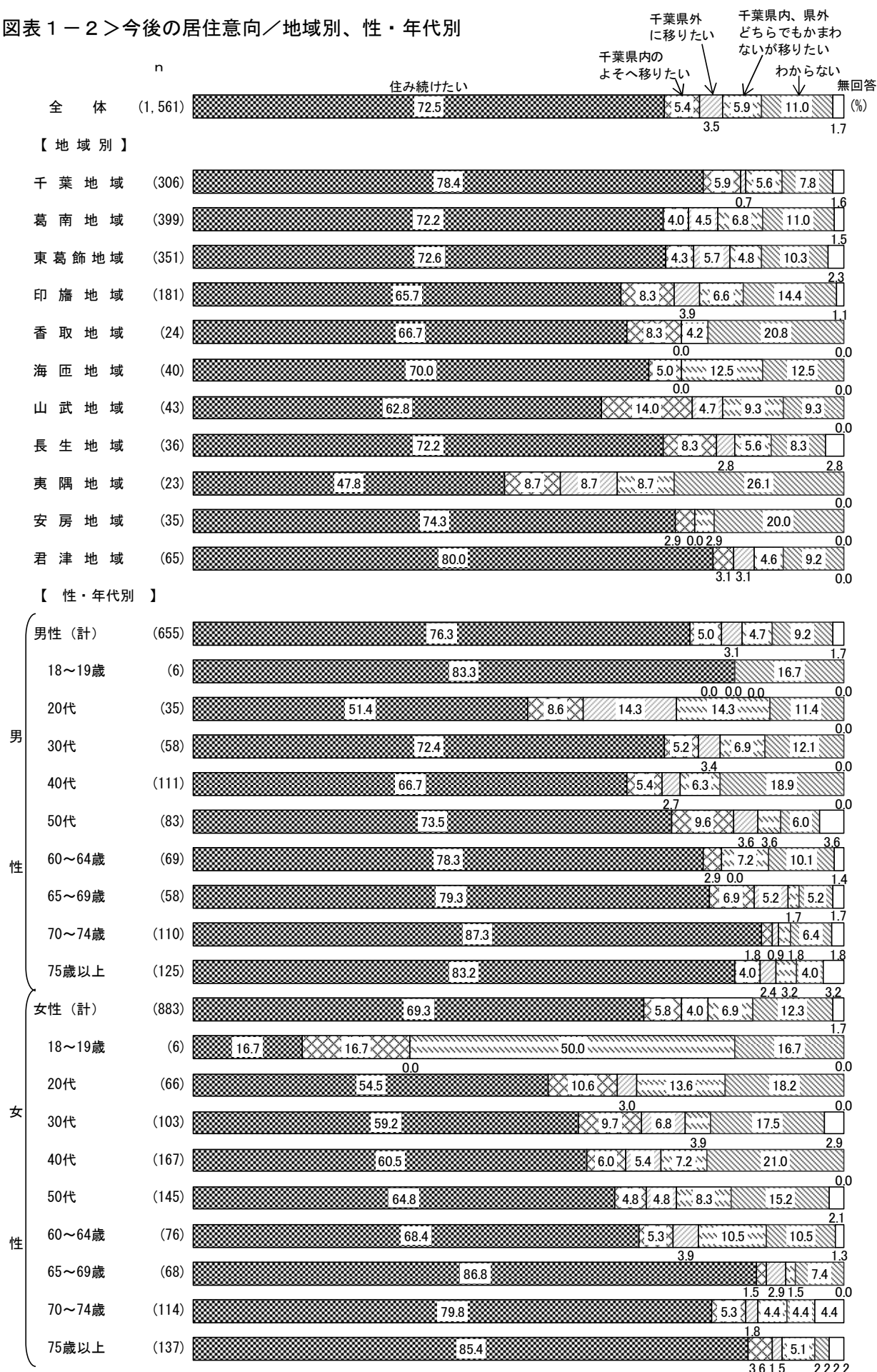
地域別にみると、『千葉県内に住み続けたい (計)』は“千葉地域”(84.3%) が 8 割台半ばで高くなっている。(図表 1－2)

#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『千葉県内に住み続けたい (計)』は男性の 70～74 歳 (89.1%)、女性の 75 歳以上 (89.1%)、女性の 65～69 歳 (88.2%)、男性の 75 歳以上 (87.2%) が約 9 割で高くなっている。

一方、『移りたい (計)』は男性の 20 代 (28.6%) で約 3 割、女性の 20 代 (16.7%) で 1 割台半ばと高くなっている。(図表 1－2)

＜図表１－２＞今後の居住意向／地域別、性・年代別





## （１－１）住み続けたい理由

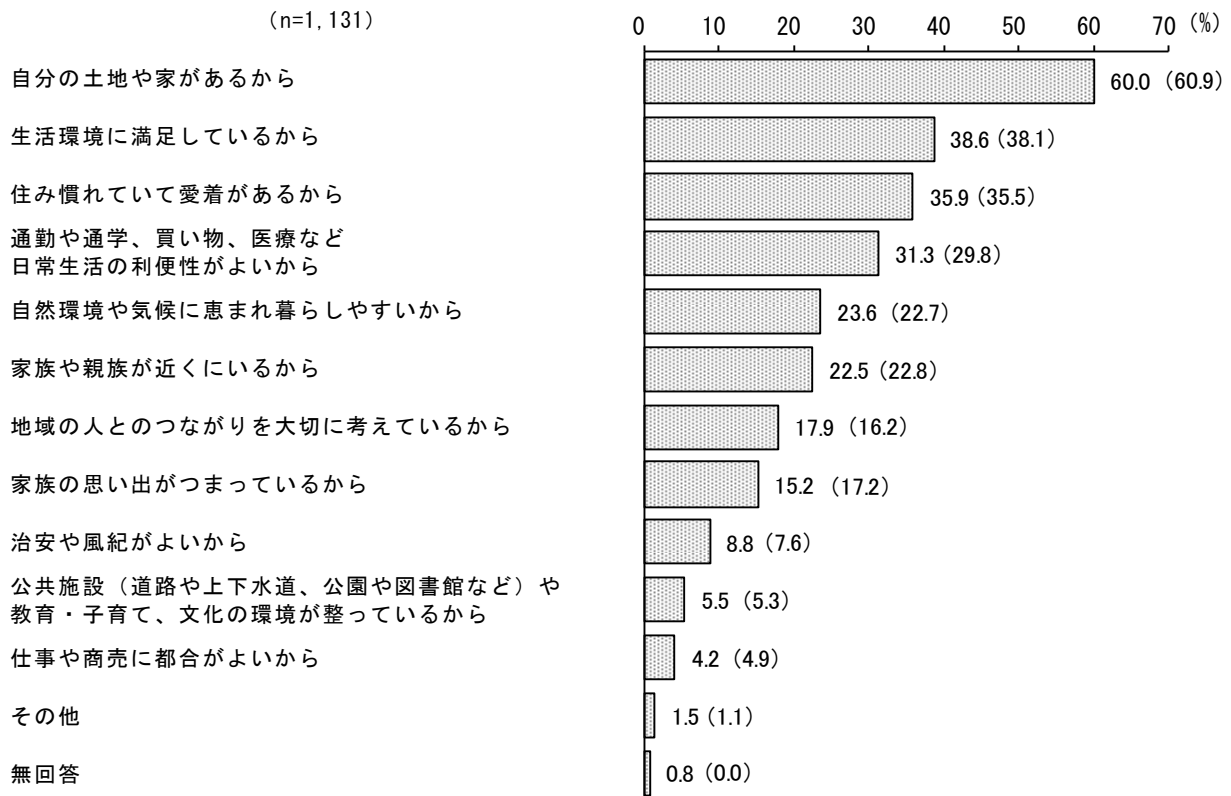
◇「自分の土地や家があるから」が６割

（問１で「住み続けたい」とお答えの方に）

問１－１ あなたが現在お住まいの地域に、ずっと住み続けたいと思う理由は何ですか。

（○は３つまで）

&lt;図表１－３&gt;住み続けたい理由（３つまでの複数回答）



注）（ ）の数字は令和４年度の同様の項目による調査結果 n=1,173

「住み続けたい」と回答した1,131人を対象に、住み続けたい理由を聞いたところ、「自分の土地や家があるから」（60.0％）が６割で最も高く、以下、「生活環境に満足しているから」（38.6％）、「住み慣れていて愛着があるから」（35.9％）、「通勤や通学、買い物、医療など日常生活の利便性がよいから」（31.3％）が続く。（図表１－３）

## 【地域別】

地域別にみると、「生活環境に満足しているから」は“千葉地域”（46.7％）が４割台半ば、「通勤や通学、買い物、医療など日常生活の利便性がよいから」は“葛南地域”（39.6％）と“千葉地域”（37.9％）が約４割と高くなっている。（図表１－４）

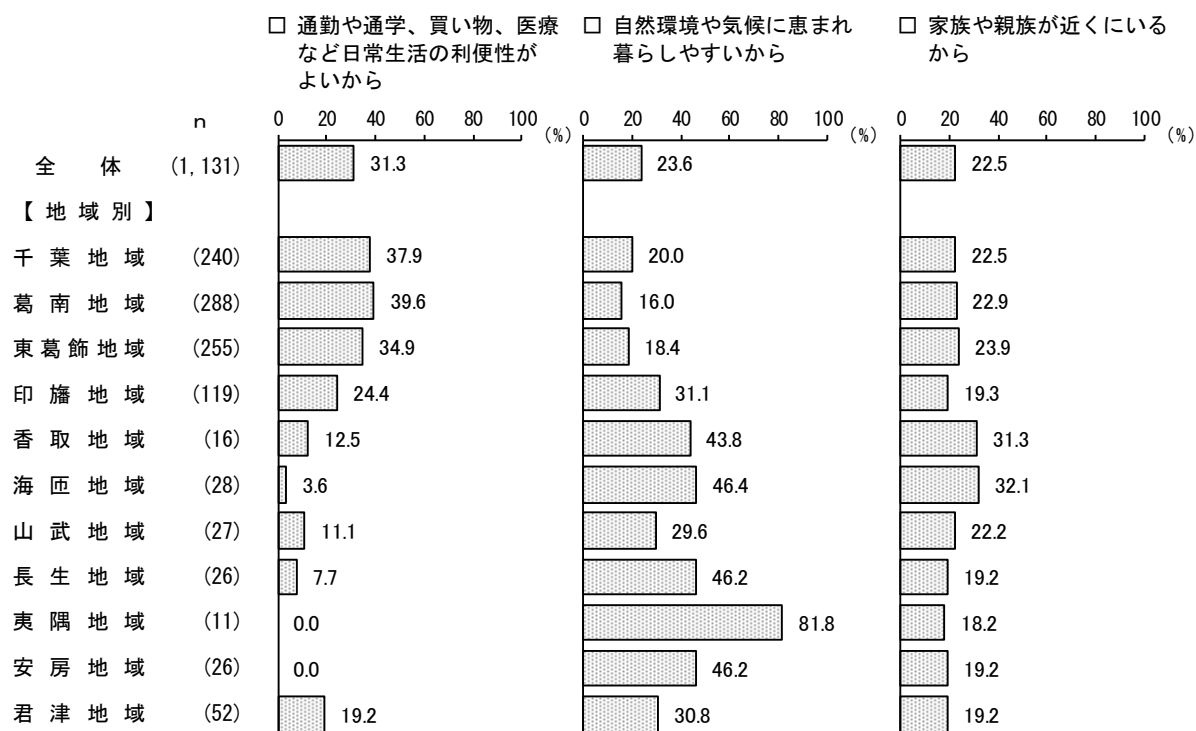
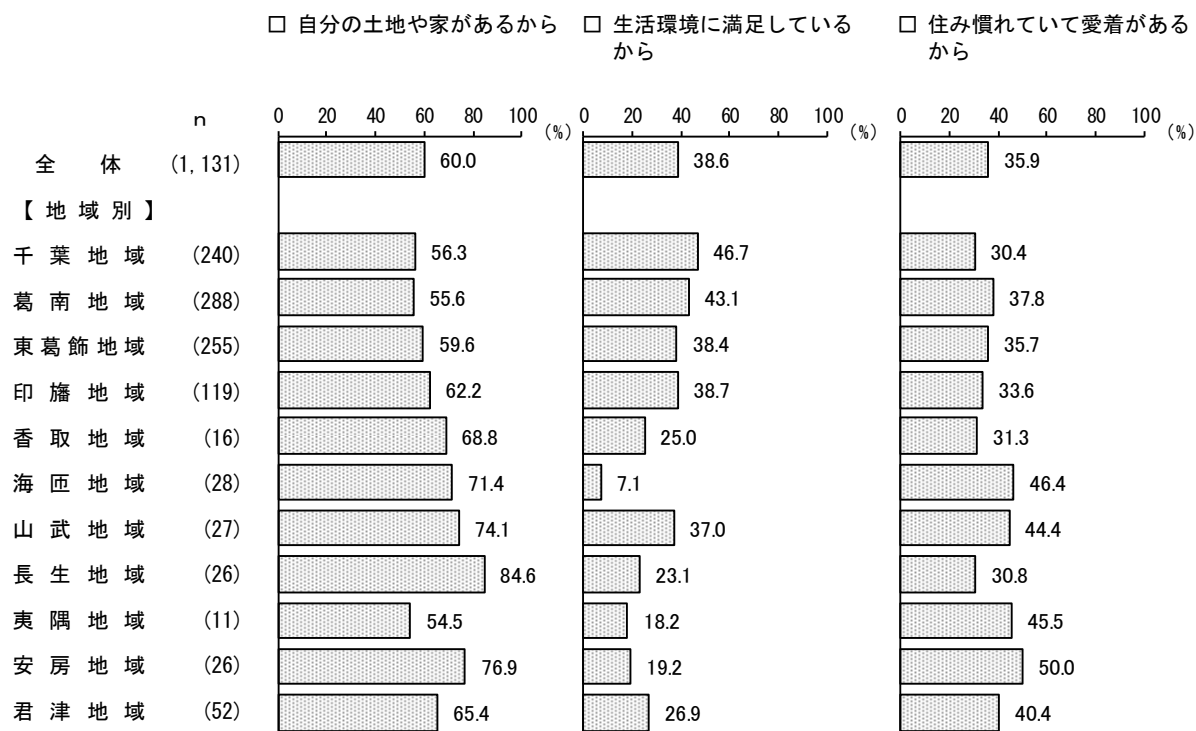
## 【性・年代別】

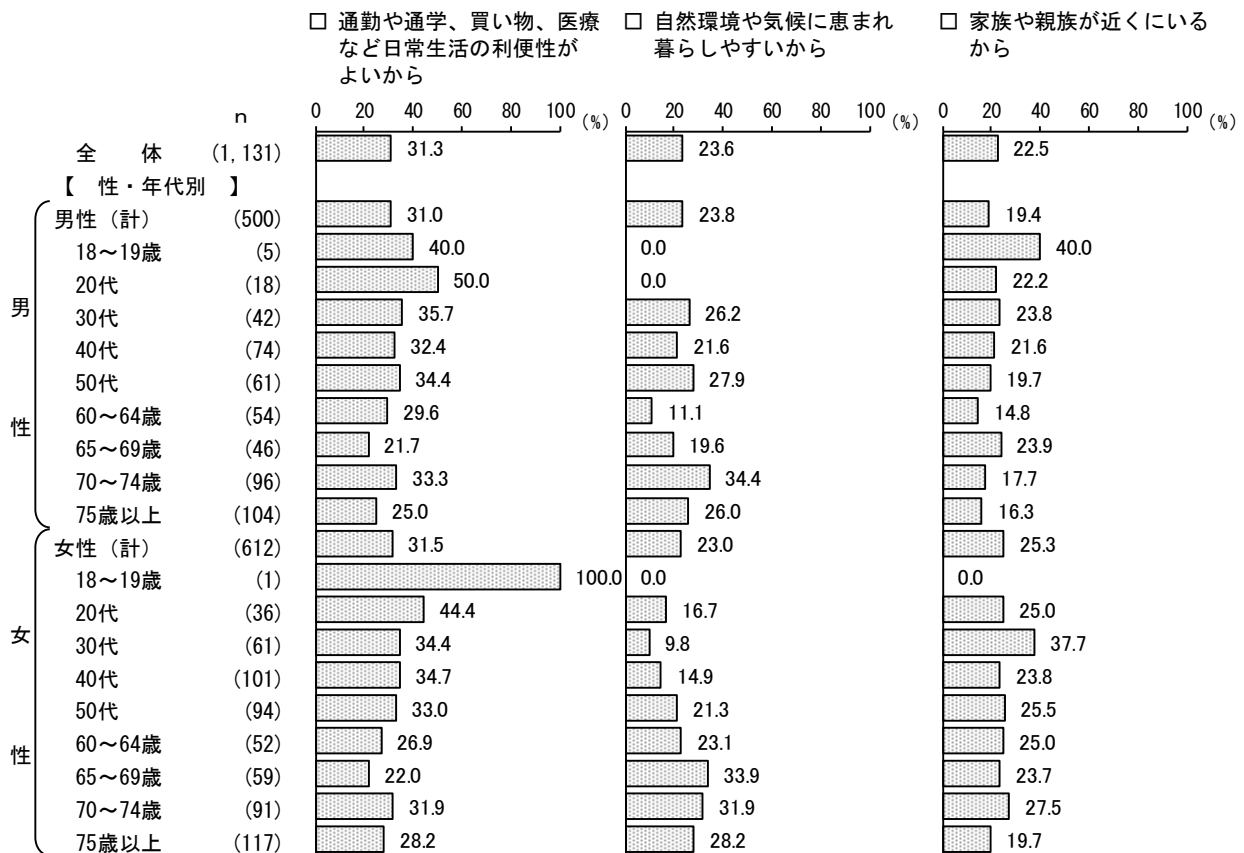
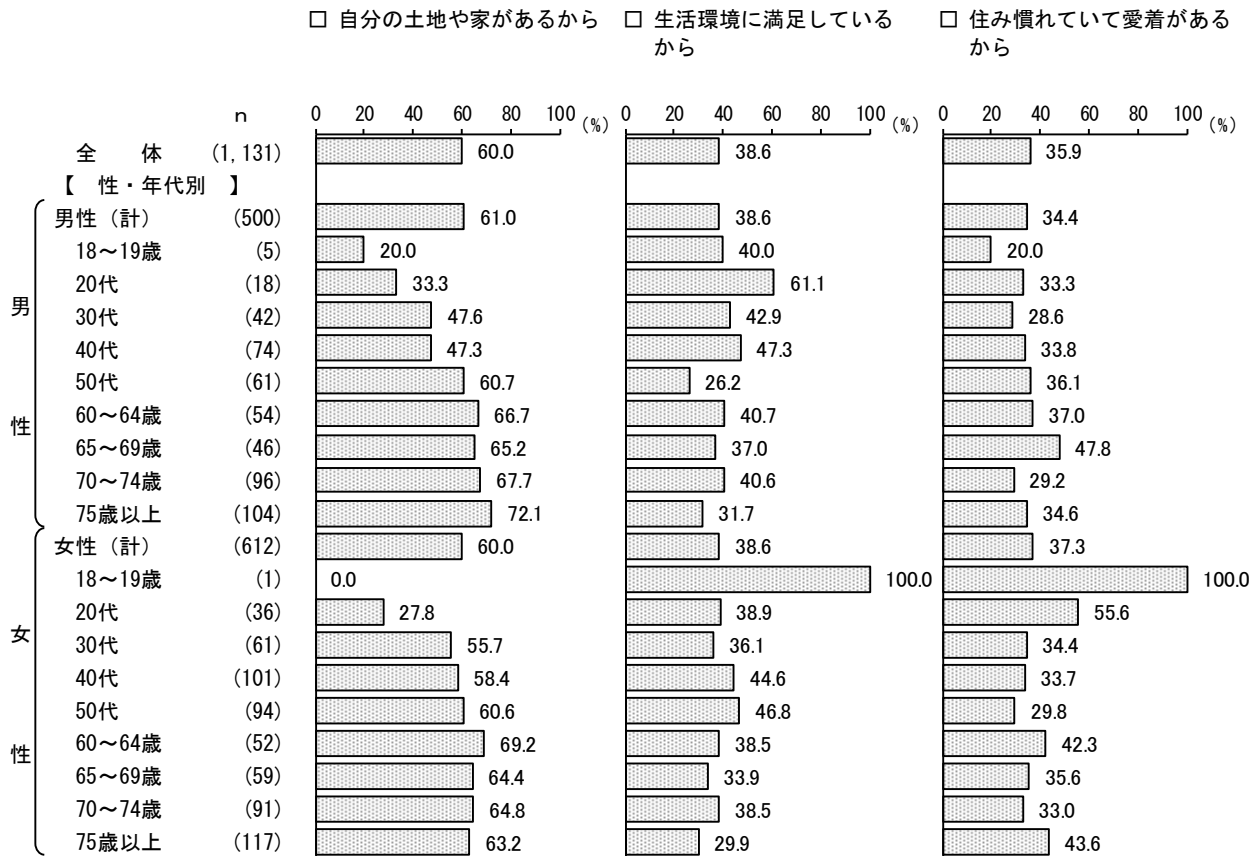
性・年代別にみると、「自分の土地や家があるから」は男性の75歳以上（72.1％）で７割を超えて高くなっている。

「住み慣れていて愛着があるから」は女性の20代（55.6％）が５割台半ばと高くなっている。

（図表１－４）

＜図表１－４＞住み続けたい理由（３つまでの複数回答）／地域別、性・年代別（上位６項目）





## （１－２）移りたい理由

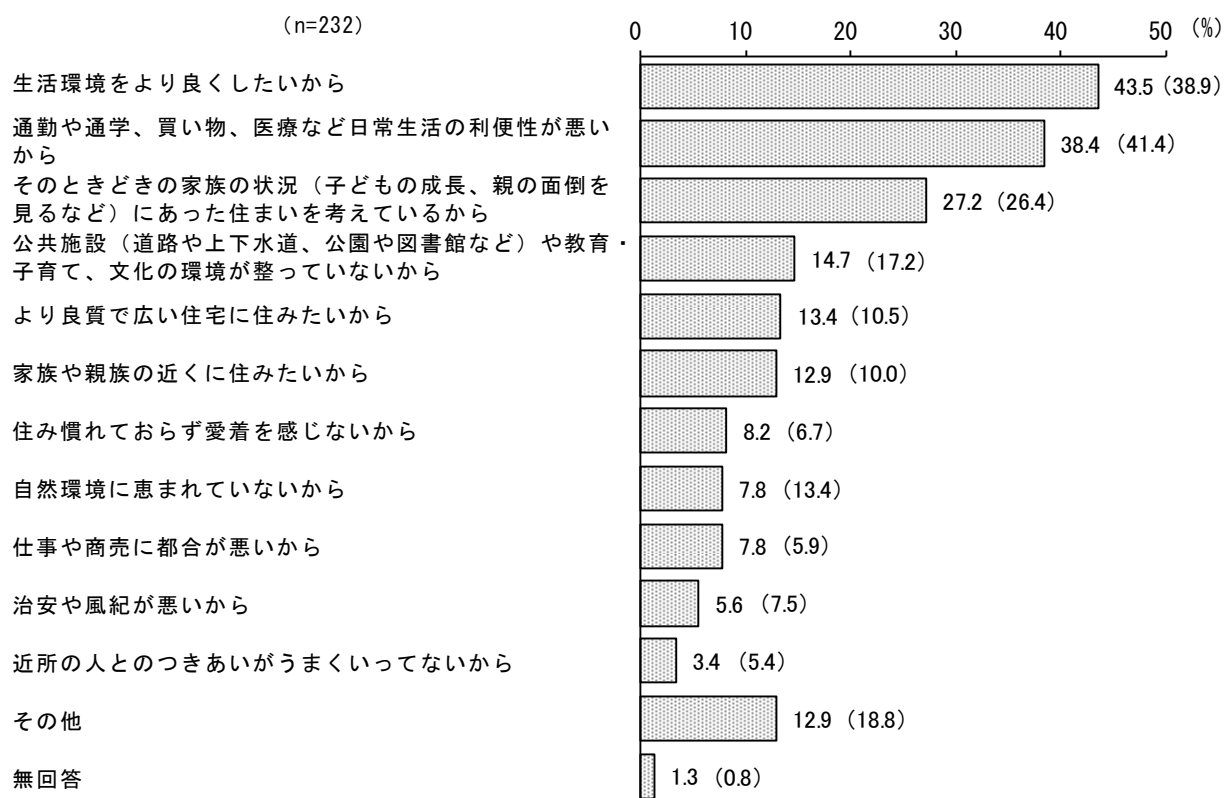
◇「生活環境をより良くしたいから」が４割台半ば

（問１で「千葉県内のよそへ移りたい」「千葉県外に移りたい」「千葉県内、県外どちらでもかまわないうちに移りたい」のいずれかをお答えの方に）

問１－２ あなたが現在お住まいの地域から移りたいと思う理由は何ですか。

（○は３つまで）

＜図表１－５＞移りたい理由（３つまでの複数回答）



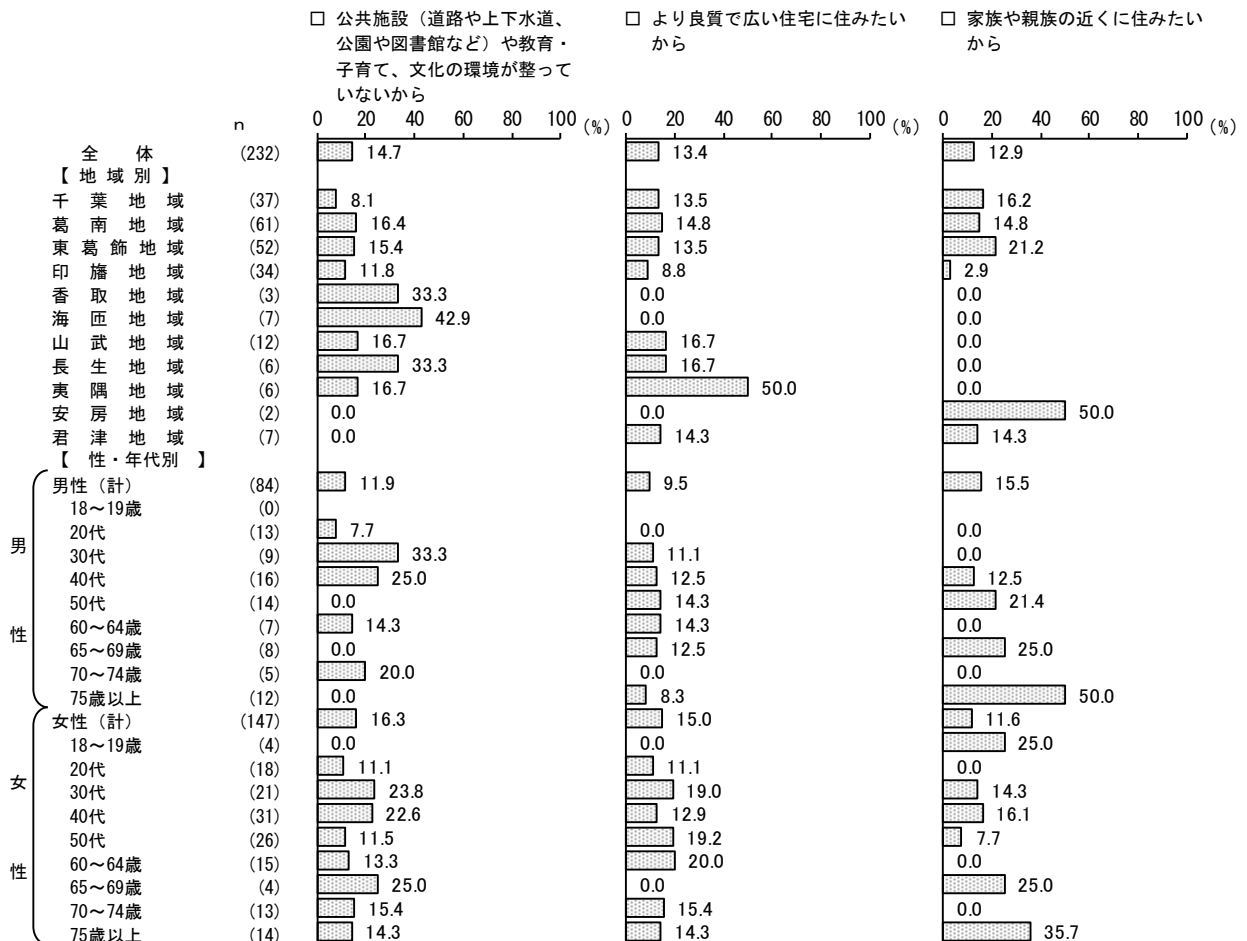
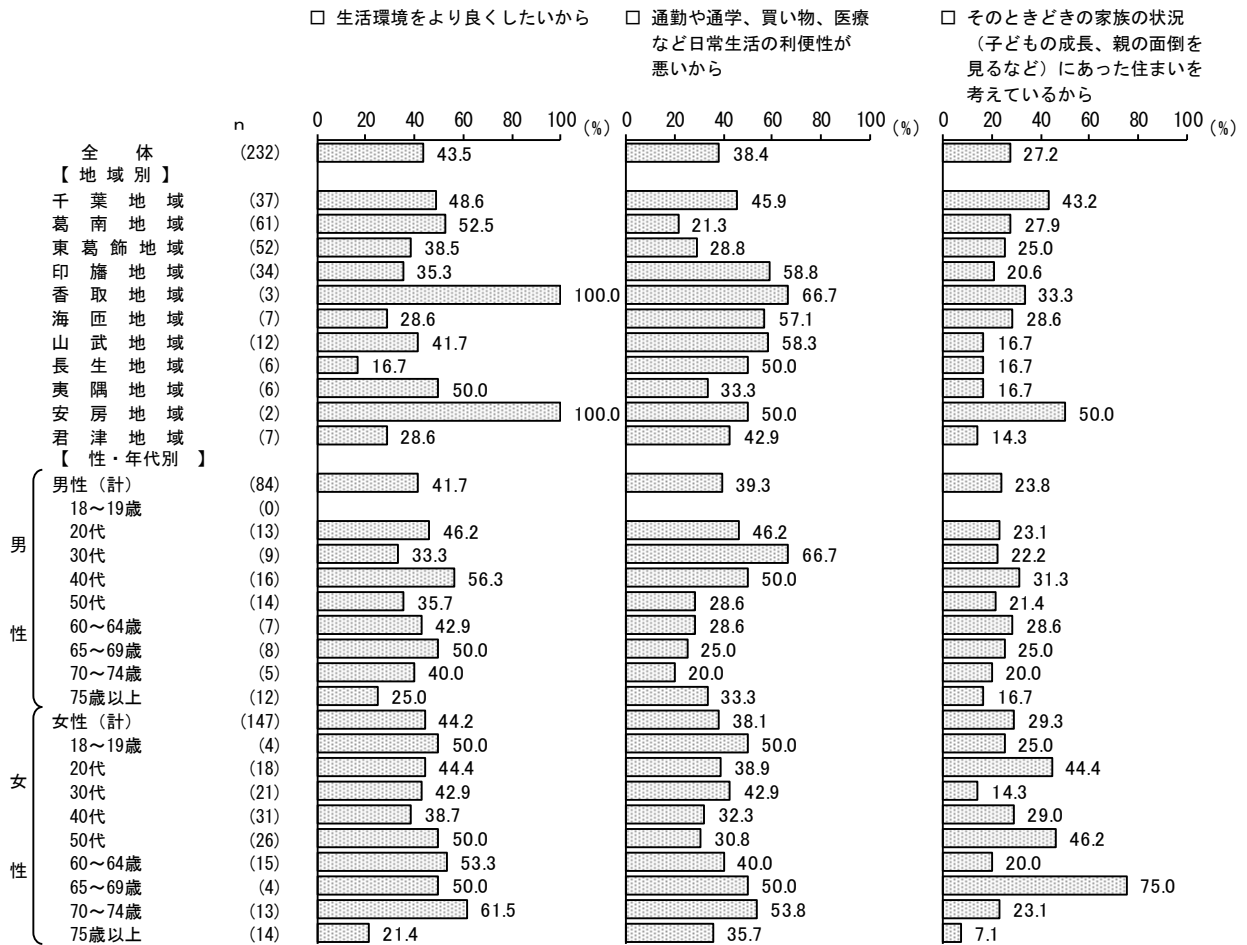
注）（ ）の数字は令和４年度の同様の項目による調査結果 n=239

「移りたい」と回答した232人を対象に、移りたい理由を聞いたところ、「生活環境をより良くしたいから」（43.5%）が４割台半ばで最も高く、以下、「通勤や通学、買い物、医療など日常生活の利便性が悪いから」（38.4%）、「そのときどきの家族の状況（子どもの成長、親の面倒を見るなど）にあった住まいを考えているから」（27.2%）、「公共施設（道路や上下水道、公園や図書館など）や教育・子育て、文化の環境が整っていないから」（14.7%）が続く。（図表１－５）

※サンプル数が少ないため、【地域別】、【性・年代別】は参考までに図示するにとどめる。

（８ページ「報告書の見方（５）」を参照）（図表１－６）

[参考]＜図表 1－6＞移りたい理由（3つまでの複数回答）／地域別、性・年代別（上位 6 項目）

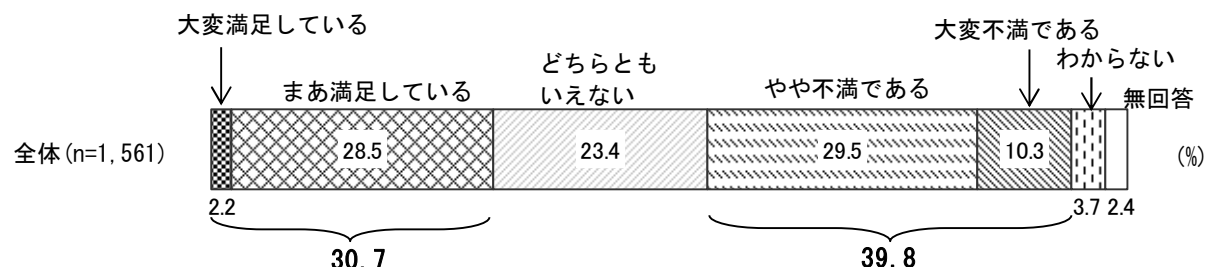


## （２）県内の道路状況の満足度

◇『満足している（計）』が３割

問２ あなたは、千葉県内の道路状況についてどう感じですか。（○は１つ）

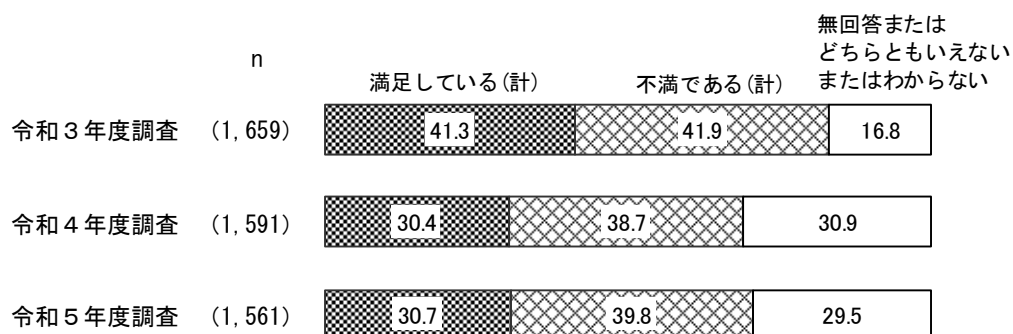
＜図表１－７＞県内の道路状況の満足度



県内の道路状況の満足度を聞いたところ、「大変満足している」（2.2％）と「まあ満足している」（28.5％）を合わせた『満足している（計）』（30.7％）が３割となっている。

一方、「やや不満である」（29.5％）と「大変不満である」（10.3％）を合わせた『不満である（計）』（39.8％）は約４割となっている。（図表１－７）

〔参考〕令和３年度の類似の項目・４年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



（※）令和３年度調査で、「問２ 現在お住まいの地域の、道路の整備についてどう感じですか。（○は１つ）」と質問した結果を参考に示した。

### 【地域別】

地域別にみると、『満足している（計）』は“千葉地域”（35.9％）が３割台半ばで高くなっている。一方、『不満である（計）』は“葛南地域”（46.6％）が４割台半ばで高くなっている。

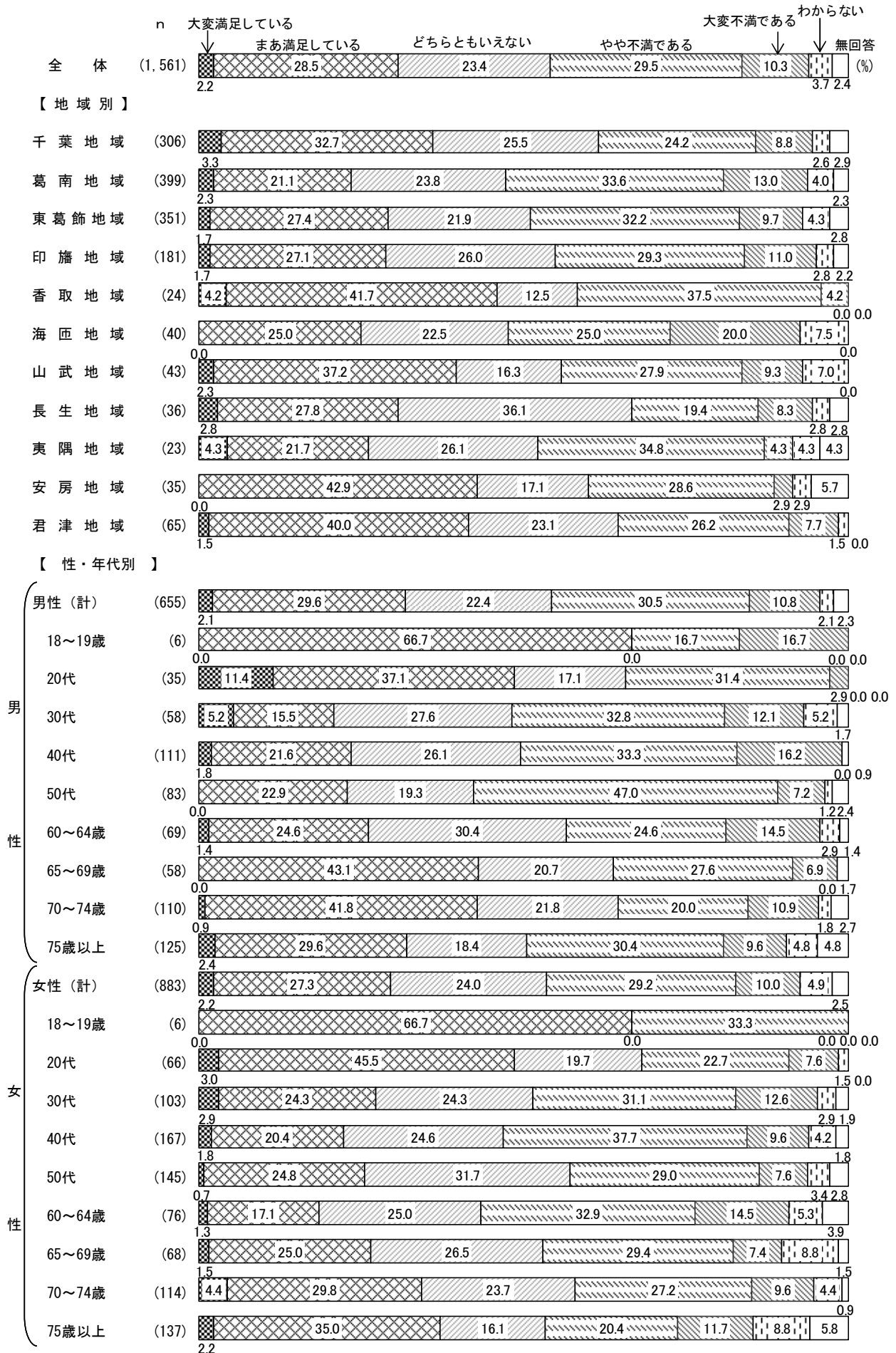
（図表１－８）

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『満足している（計）』は男性の20代（48.6％）と女性の20代（48.5％）が約５割、男性の65～69歳（43.1％）と男性の70～74歳（42.7％）が４割を超えて高くなっている。

一方、『不満である（計）』は男性の50代（54.2％）が５割台半ば、男性の40代（49.5％）と女性の40代（47.3％）が約５割で高くなっている。（図表１－８）

＜図表 1－8＞県内の道路状況の満足度／地域別、性・年代別

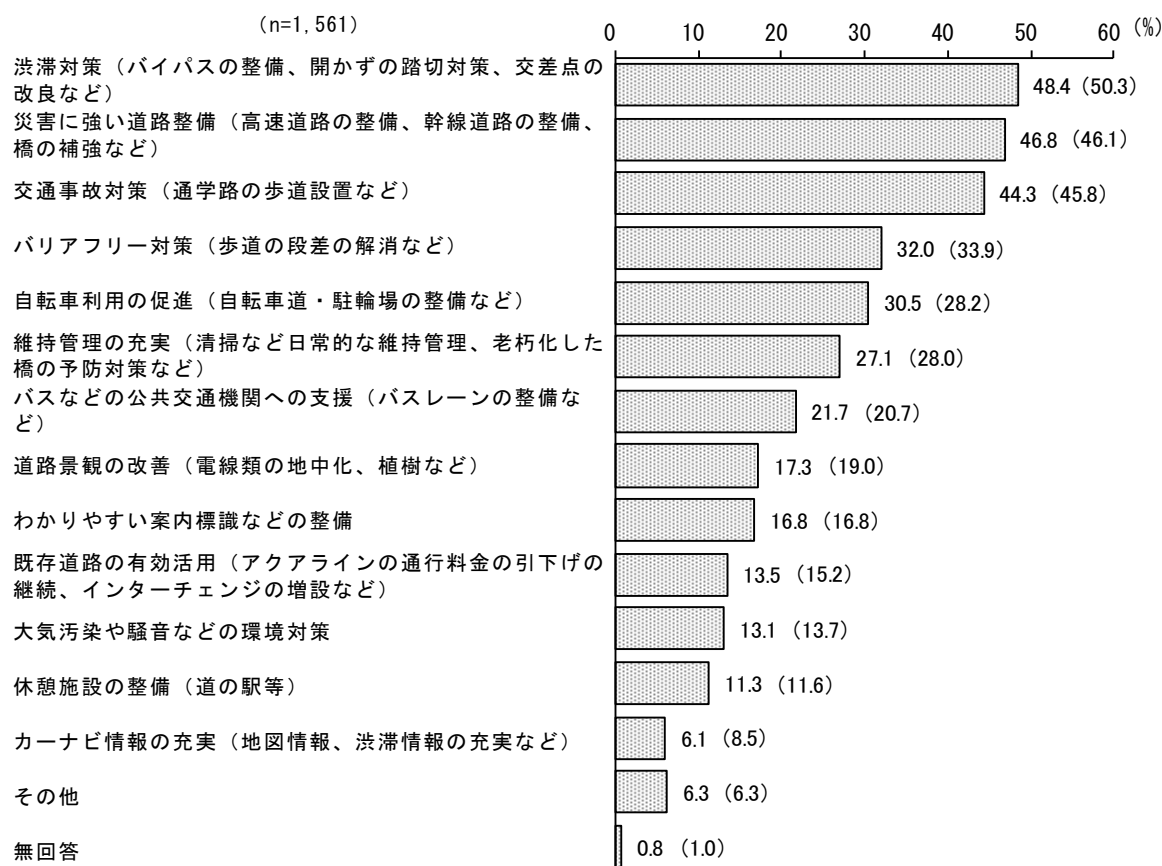


### （３）今後、道路整備をしていく上で優先的に対策すべき課題

◇「渋滞対策（バイパスの整備、開かずの踏切対策、交差点の改良など）」が約５割

問３ あなたは、今後、道路整備をしていく上で優先的に対策すべき課題は何だと思いますか。  
（○はいくつでも）

＜図表１－９＞今後、道路整備をしていく上で優先的に対策すべき課題（複数回答）



注）（ ）の数字は令和４年度の同様の項目による調査結果 n = 1,591

今後、道路整備をしていく上で優先的に対策すべき課題を聞いたところ、「渋滞対策（バイパスの整備、開かずの踏切対策、交差点の改良など）」（48.4%）が約５割で最も高く、以下、「災害に強い道路整備（高速道路の整備、幹線道路の整備、橋の補強など）」（46.8%）、「交通事故対策（通学路の歩道設置など）」（44.3%）、「バリアフリー対策（歩道の段差の解消など）」（32.0%）が続く。

（図表１－９）

#### 【地域別】

地域別にみると、「渋滞対策（バイパスの整備、開かずの踏切対策、交差点の改良など）」は“葛南地域”（57.9%）が約６割で高くなっている。

「交通事故対策（通学路の歩道設置など）」は“海匠地域”（60.0%）が６割で高くなっている。

（図表１－10）

#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「渋滞対策（バイパスの整備、開かずの踏切対策、交差点の改良など）」は男性の４０代（72.1%）で７割を超え、男性の５０代（68.7%）と男性の２０代（68.6%）で約７割、

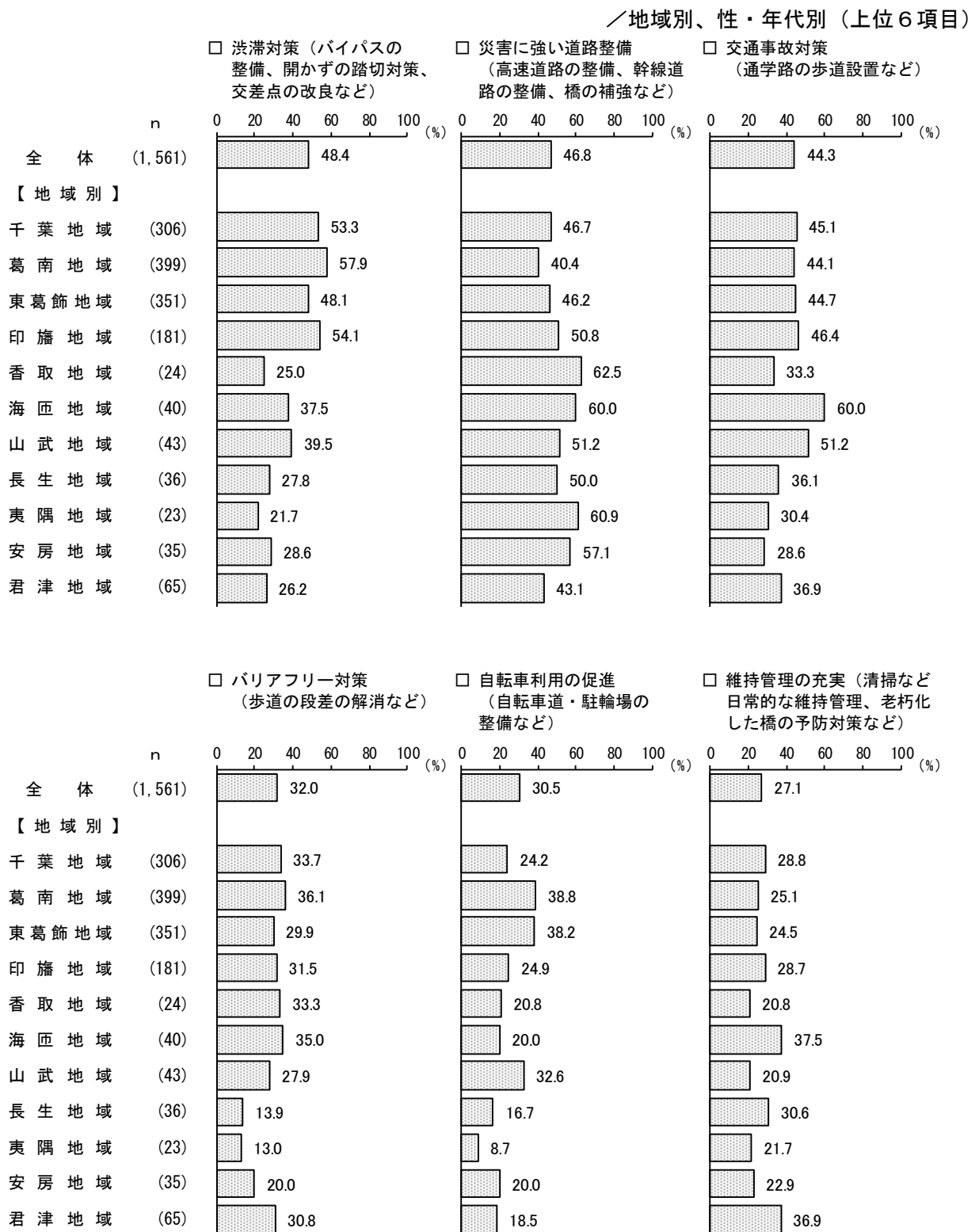


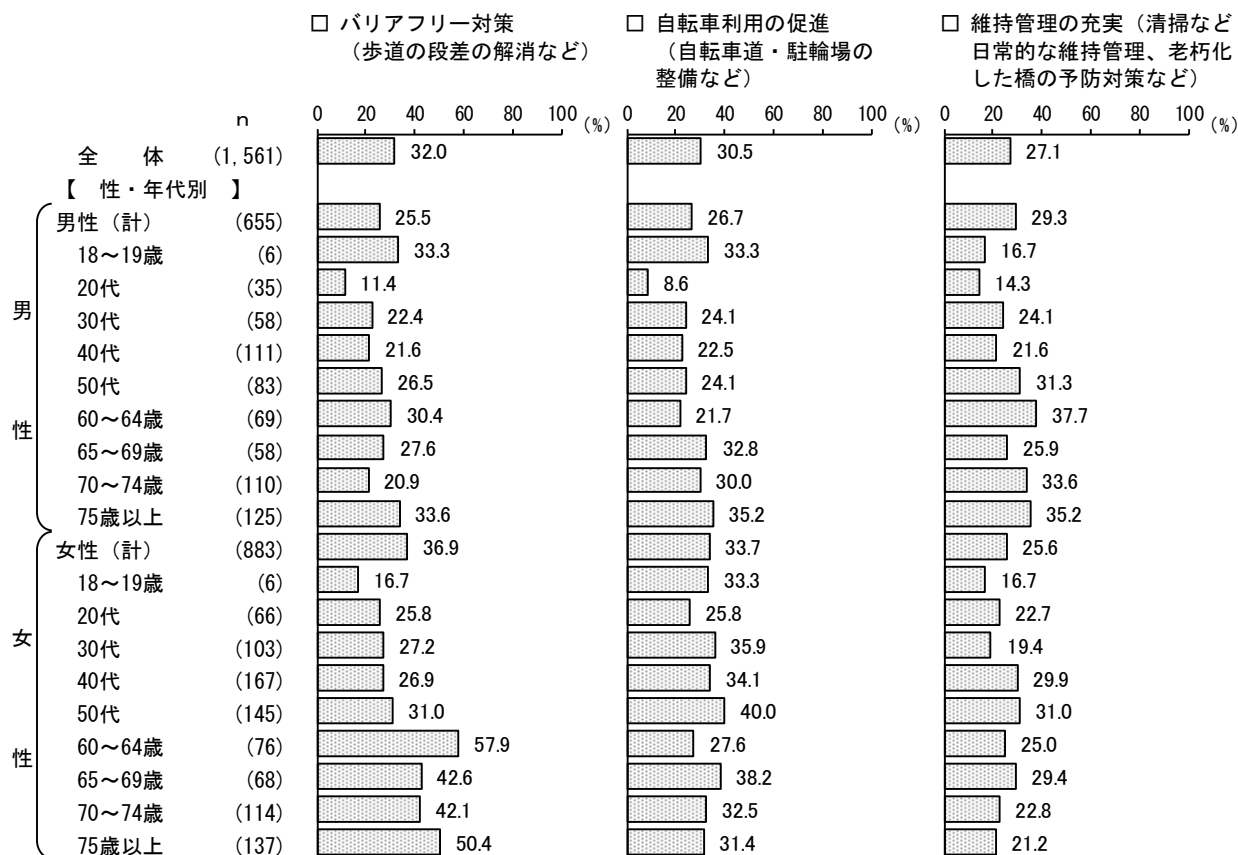
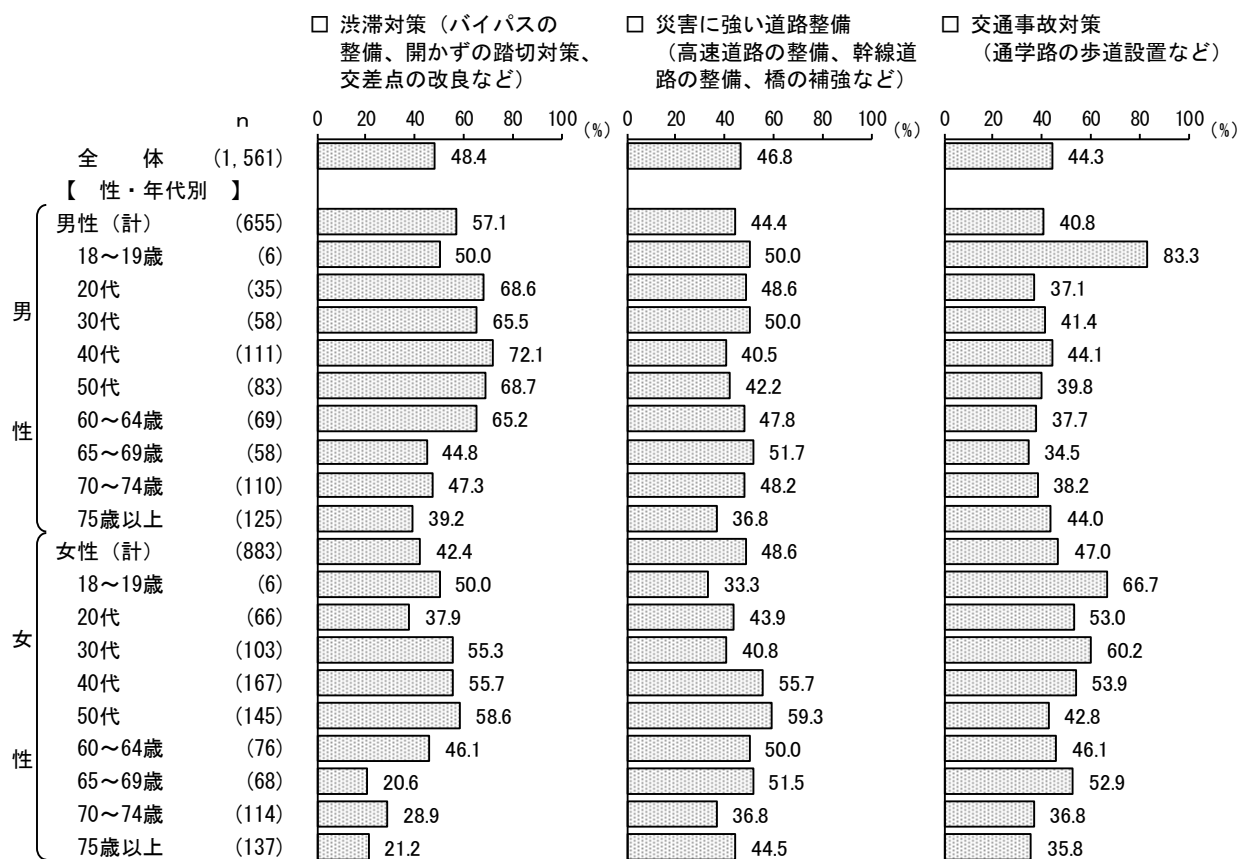
男性の 30 代（65.5%）と男性の 60～64 歳（65.2%）が 6 割台半ば、女性の 50 代（58.6%）で約 6 割、女性の 40 代（55.7%）で 5 割台半ばと高くなっている。

「災害に強い道路整備（高速道路の整備、幹線道路の整備、橋の補強など）」は女性の 50 代（59.3%）で約 6 割、女性の 40 代（55.7%）で 5 割台半ばと高くなっている。

「交通事故対策（通学路の歩道設置など）」は女性の 30 代（60.2%）で 6 割、女性の 40 代（53.9%）で 5 割台半ばと高くなっている。（図表 1－10）

＜図表 1－10＞今後、道路整備をしていく上で優先的に対策すべき課題（複数回答）



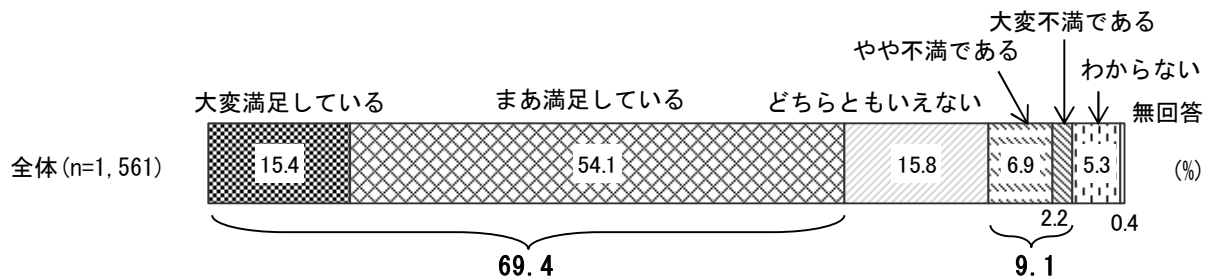


#### （４）上水道の整備の満足度

◇『満足している（計）』が約 7 割

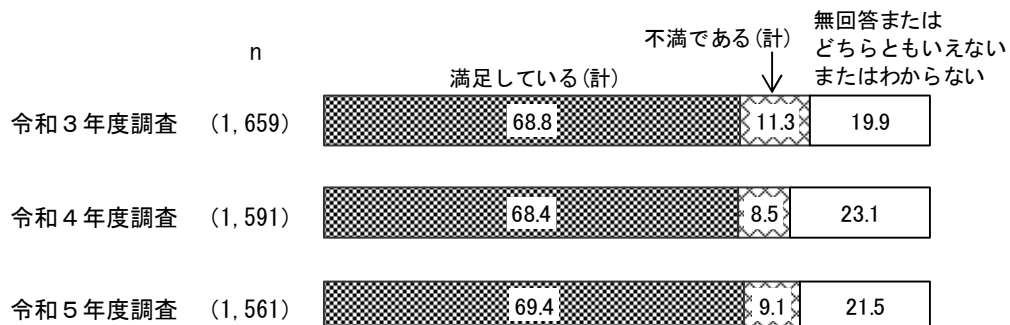
問 4 現在お住まいの地域の、上水道の整備についてどうお感じですか。（○は 1 つ）

＜図表 1－11＞上水道の整備の満足度



現在お住まいの地域の上水道の整備の満足度を聞いたところ、「大変満足している」（15.4%）と「まあ満足している」（54.1%）を合わせた『満足している（計）』（69.4%）が約 7 割となっている。一方、「やや不満である」（6.9%）と「大変不満である」（2.2%）を合わせた『不満である（計）』（9.1%）が約 1 割となっている。（図表 1－11）

〔参考〕令和 3 年度・4 年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



#### 【地域別】

地域別にみると、『不満である（計）』は“海匝地域”（22.5%）が 2 割を超え、“山武地域”（18.6%）が約 2 割で高くなっている。（図表 1－12）

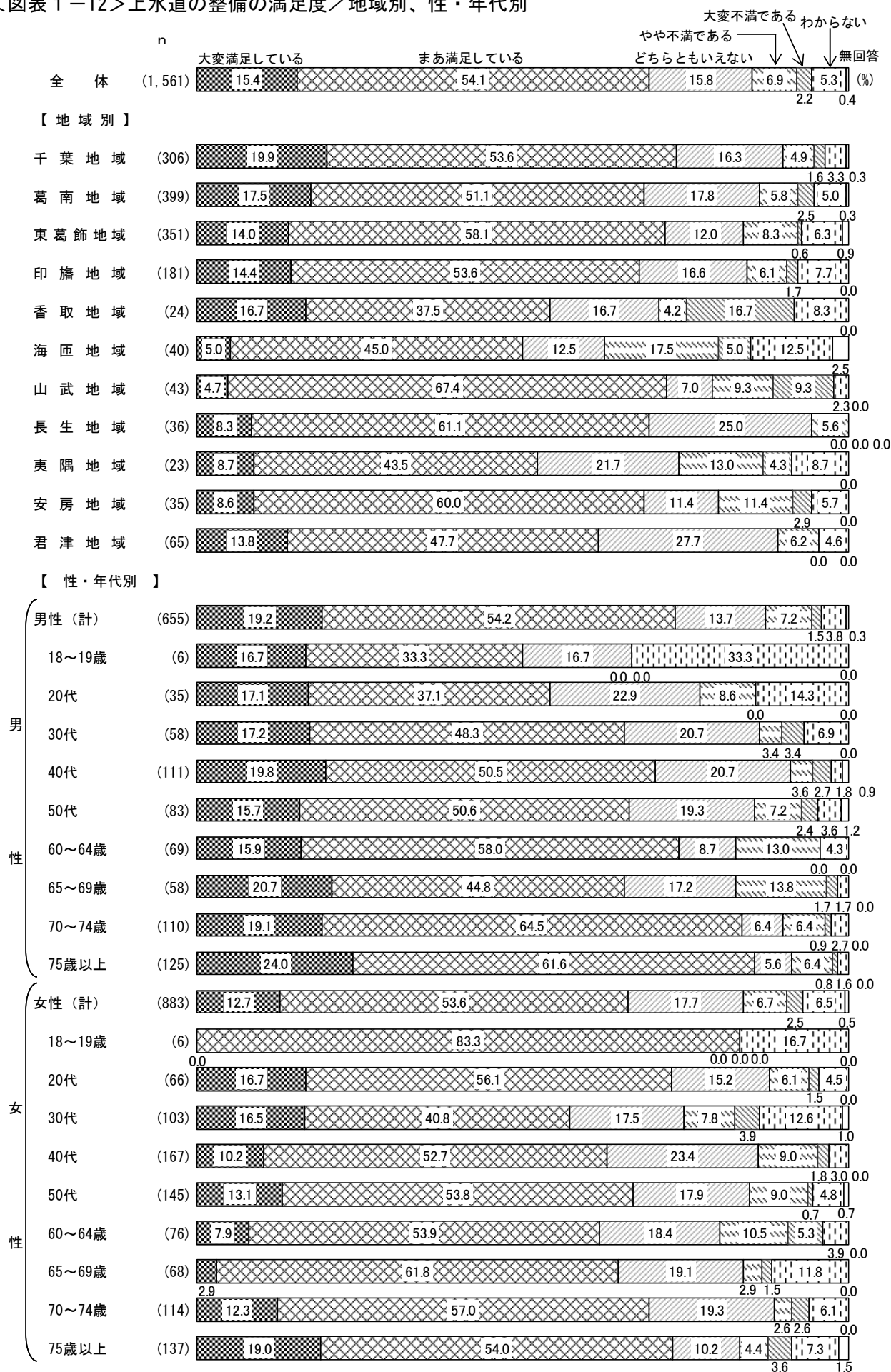
#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『満足している（計）』は男性の 75 歳以上（85.6%）と男性の 70～74 歳（83.6%）が 8 割台半ばで高くなっている。

一方、『不満である（計）』は女性の 60～64 歳（15.8%）が 1 割台半ばで高くなっている。

（図表 1－12）

＜図表 1－12＞上水道の整備の満足度／地域別、性・年代別

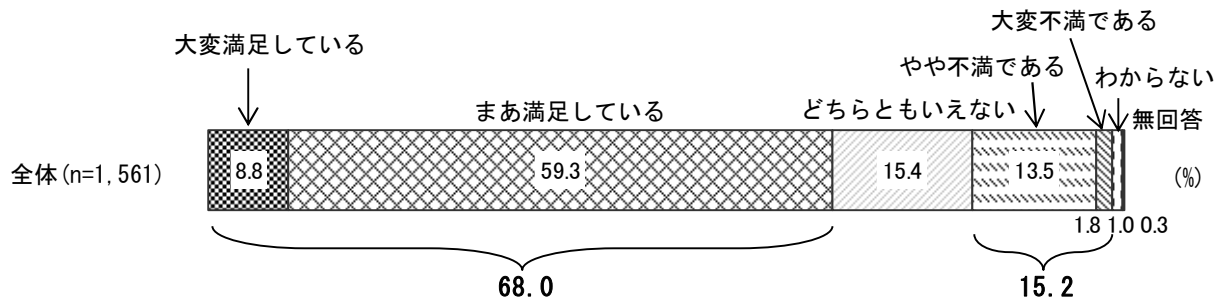


## （５）住生活全般の満足度

◇『満足している（計）』が約 7 割

問 5 現在の住生活全般（住まい・環境・地域社会）についてどう感じですか。（○は 1 つ）

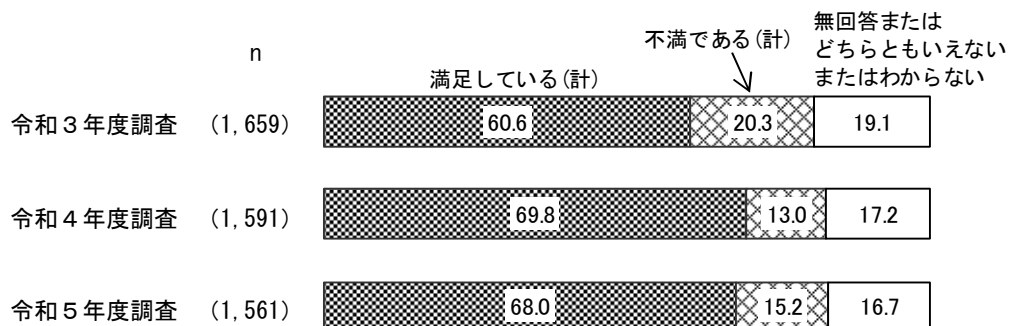
＜図表 1－13＞住生活全般の満足度



現在の住生活全般（住まい・環境・地域社会）について、その満足度を聞いたところ、「大変満足している」（8.8%）と「まあ満足している」（59.3%）を合わせた『満足している（計）』（68.0%）が約 7 割となっている。

一方、「やや不満である」（13.5%）と「大変不満である」（1.8%）を合わせた『不満である（計）』（15.2%）が 1 割台半ばとなっている。（図表 1－13）

〔参考〕令和 3 年度・4 年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



### 【地域別】

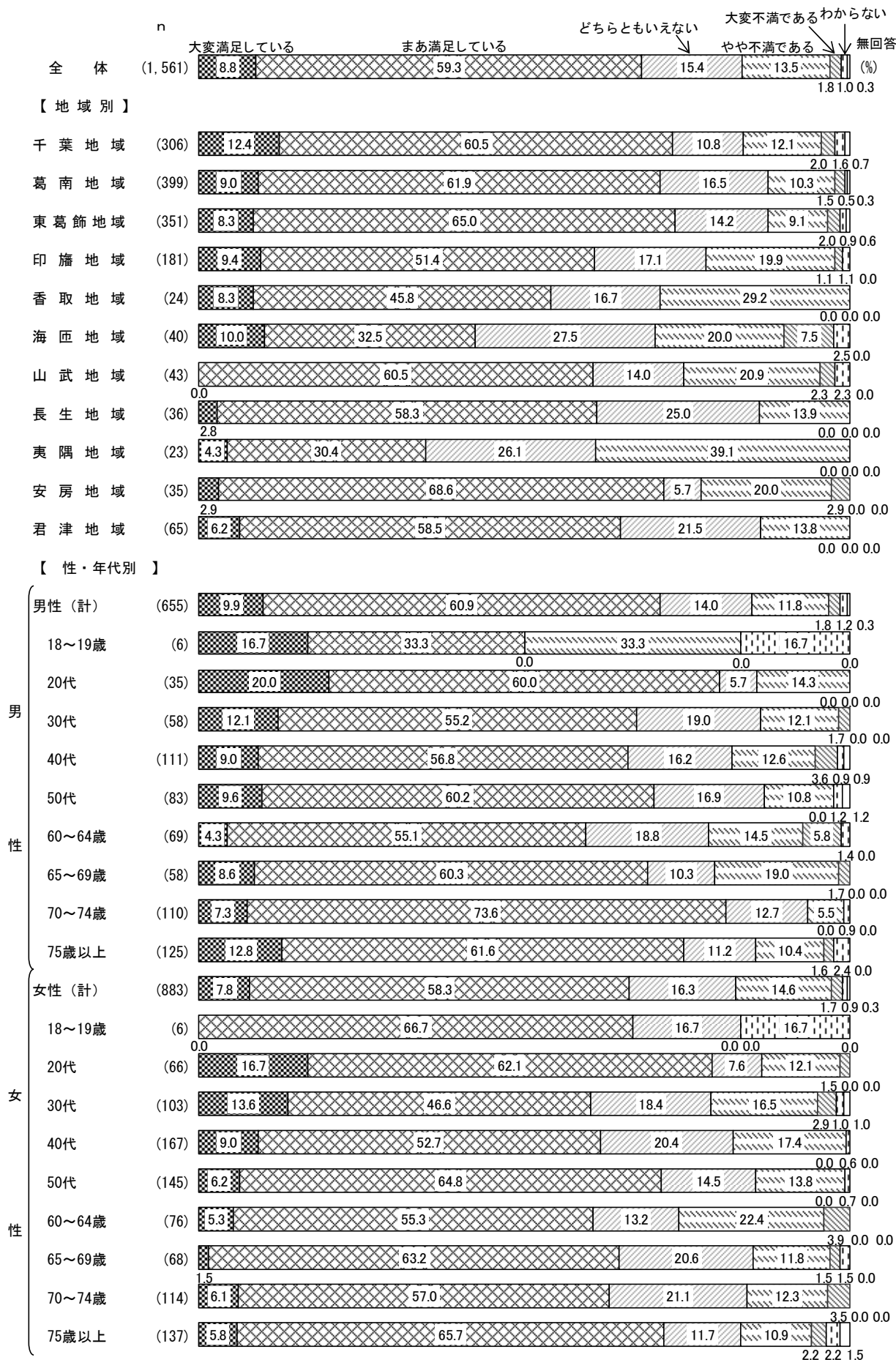
地域別にみると、『満足している（計）』は“東葛飾地域”（73.2%）と“千葉地域”（72.9%）が 7 割を超えて高くなっている。一方、『不満である（計）』は“海匝地域”（27.5%）が約 3 割、“印旛地域”（21.0%）が 2 割を超えて高くなっている。（図表 1－14）

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『満足している（計）』は男性の 70～74 歳（80.9%）が 8 割で高くなっている。一方、『不満である（計）』は女性の 60～64 歳（26.3%）が 2 割台半ばで高くなっている。

（図表 1－14）

<図表 1-14>住生活全般の満足度／地域別、性・年代別

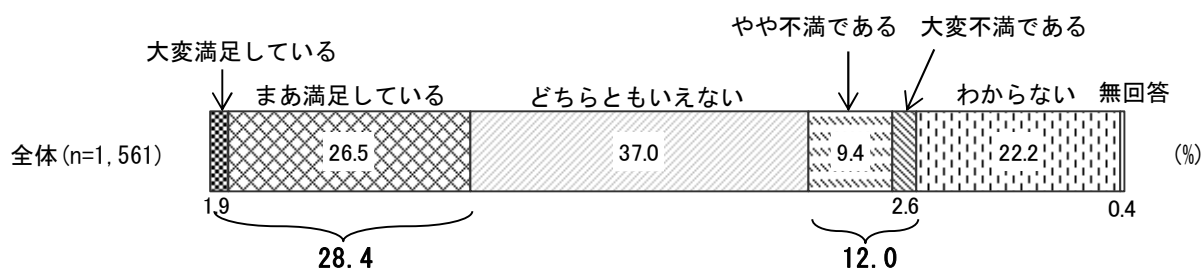


## （６）消費生活全般の満足度

◇『満足している（計）』が約３割

問６ 消費生活全般（消費者トラブルの相談体制、消費者教育の機会、悪質商法への対策、生活必需品の安定供給など）について、どうお感じですか。（○は１つ）

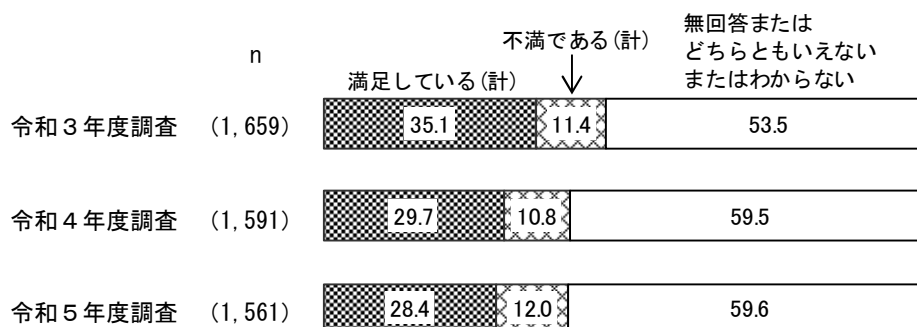
＜図表 1－15＞消費生活全般の満足度



消費生活全般（消費者トラブルの相談体制、消費者教育の機会、悪質商法への対策、生活必需品の安定供給など）について、その満足度を聞いたところ、「大変満足している」（1.9%）と「まあ満足している」（26.5%）を合わせた『満足している（計）』（28.4%）が約３割となっている。

一方、「やや不満である」（9.4%）と「大変不満である」（2.6%）を合わせた『不満である（計）』（12.0%）が１割を超えている。（図表 1－15）

〔参考〕令和３年度・４年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



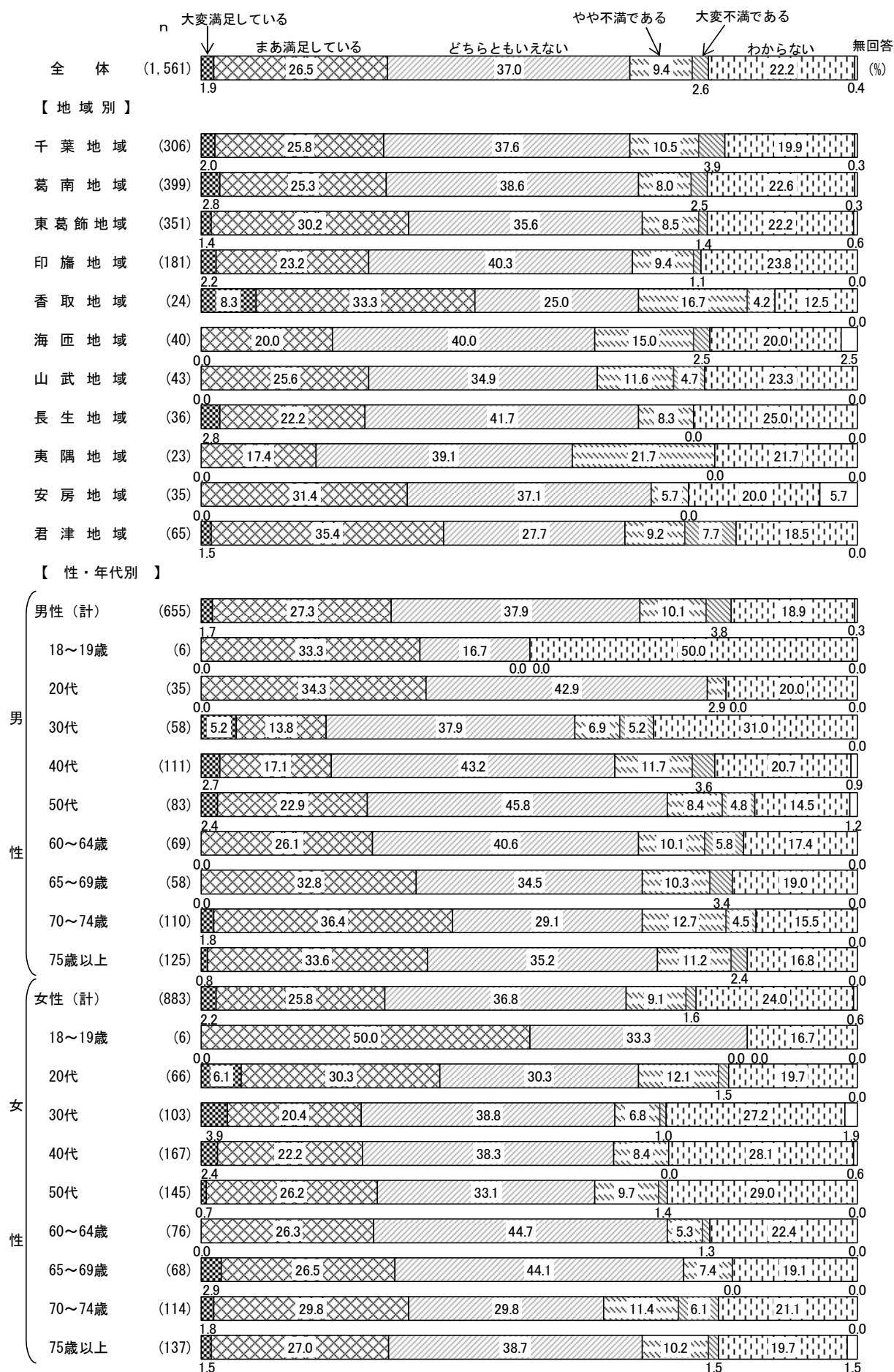
### 【地域別】

地域別にみると、大きな傾向の違いは見られない。（図表 1－16）

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『満足している（計）』は男性の70～74歳（38.2%）が約４割で高くなっている。（図表 1－16）

＜図表１－16＞消費生活全般の満足度／地域別、性・年代別



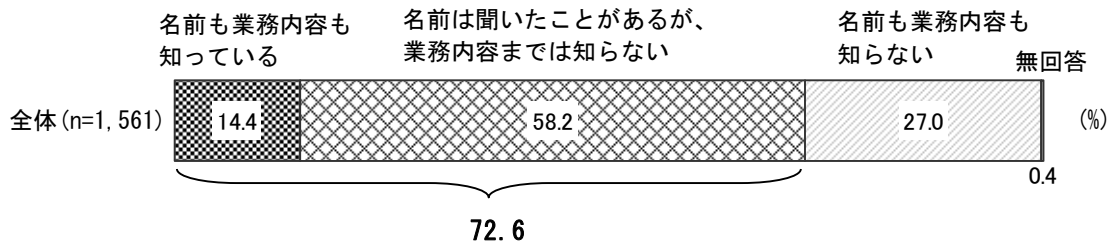


## （７）「県の消費者センター」や「市町村の消費生活センター」の認知度

◇『名前を聞いたことがある（計）』が７割を超える

問７ あなたは、消費者トラブルなどの相談窓口であり、出前講座等も実施している「県の消費者センター」や「市町村の消費生活センター」を知っていますか。（○は１つ）

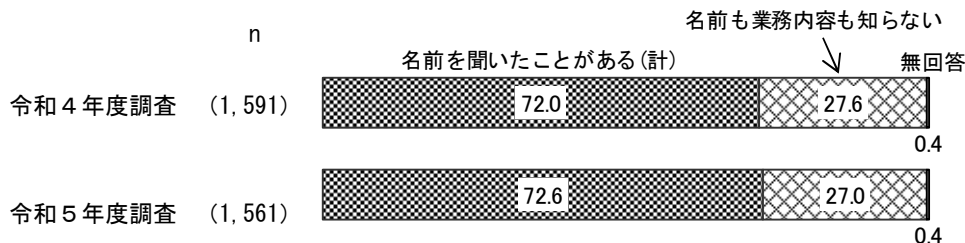
＜図表１－１７＞「県の消費者センター」や「市町村の消費生活センター」の認知度



「県の消費者センター」や「市町村の消費生活センター」を知っているか聞いたところ、「名前も業務内容も知っている」（14.4％）と「名前を聞いたことがあるが、業務内容までは知らない」（58.2％）を合わせた『名前を聞いたことがある（計）』（72.6％）が７割を超えている。

一方、「名前も業務内容も知らない」（27.0％）が約３割となっている。（図表１－１７）

【参考】令和４年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



### 【地域別】

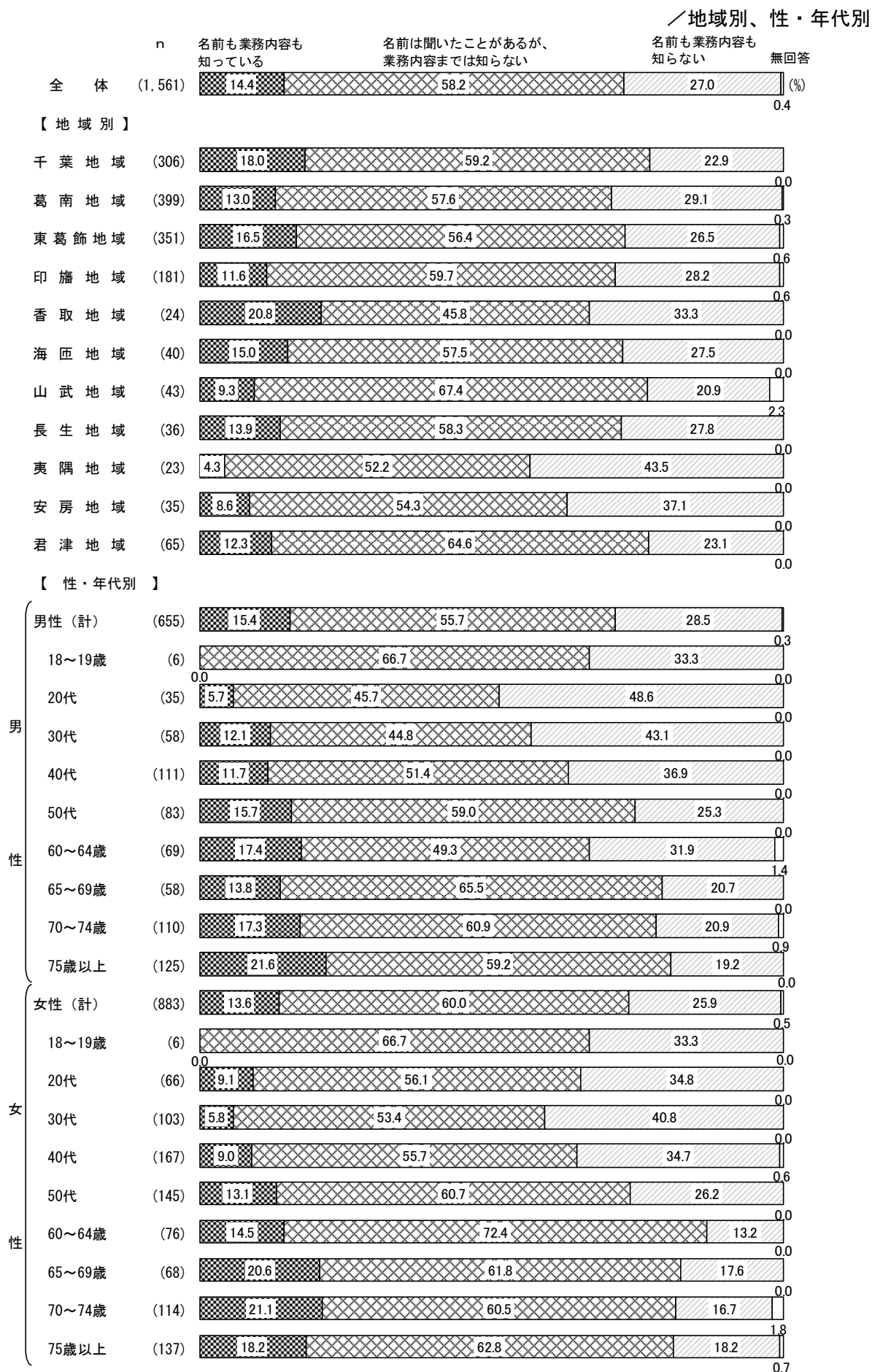
地域別にみると、『名前を聞いたことがある（計）』は“千葉地域”（77.1％）が約８割で高くなっている。（図表１－１８）

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『名前を聞いたことがある（計）』は女性の60～64歳（86.8％）が８割台半ば、女性の70～74歳（81.6％）と女性の75歳以上（81.0％）が８割を超え、男性の75歳以上（80.8％）が８割で高くなっている。

一方「名前も業務内容も知らない」は男性の20代（48.6％）が約５割、男性の30代（43.1％）が４割を超え、女性の30代（40.8％）が４割、男性の40代（36.9％）と女性の40代（34.7％）が３割台半ばで高くなっている。（図表１－１８）

＜図表 1－18＞「県の消費者センター」や「市町村の消費生活センター」の認知度



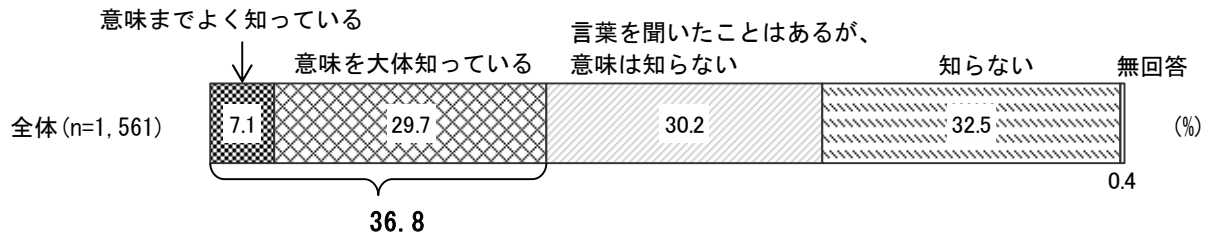
## （８）「気候変動による影響への適応」の認知度

◇『意味を知っている（計）』が３割台半ば

問 8 気候変動による影響に対応し、被害を回避・軽減させることを「気候変動による影響への適応」と言います。「気候変動による影響への適応」という言葉を知っていますか。

（○は１つ）

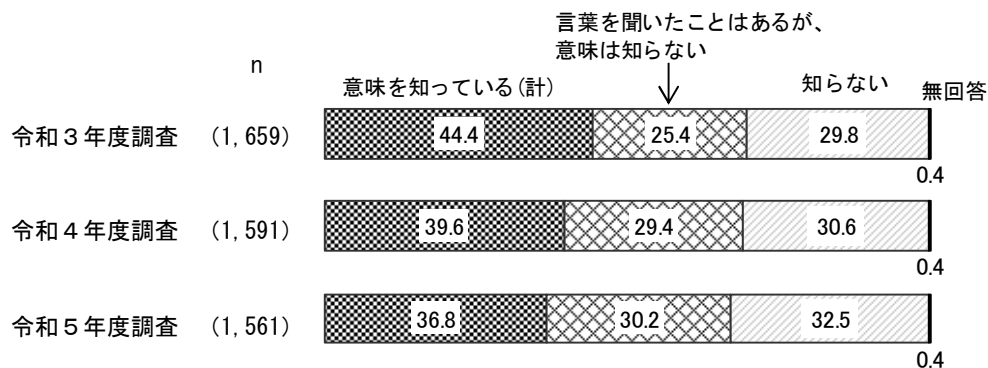
＜図表 1－19＞「気候変動による影響への適応」の認知度



「気候変動による影響への適応」について、その認知度を聞いたところ、「意味までよく知っている」（7.1%）と「意味を大体知っている」（29.7%）を合わせた『意味を知っている（計）』（36.8%）が３割台半ばとなっている。

一方、「言葉を聞いたことはあるが、意味は知らない」（30.2%）は３割、「知らない」（32.5%）は３割を超えている。（図表 1－19）

〔参考〕令和３年度・４年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



### 【地域別】

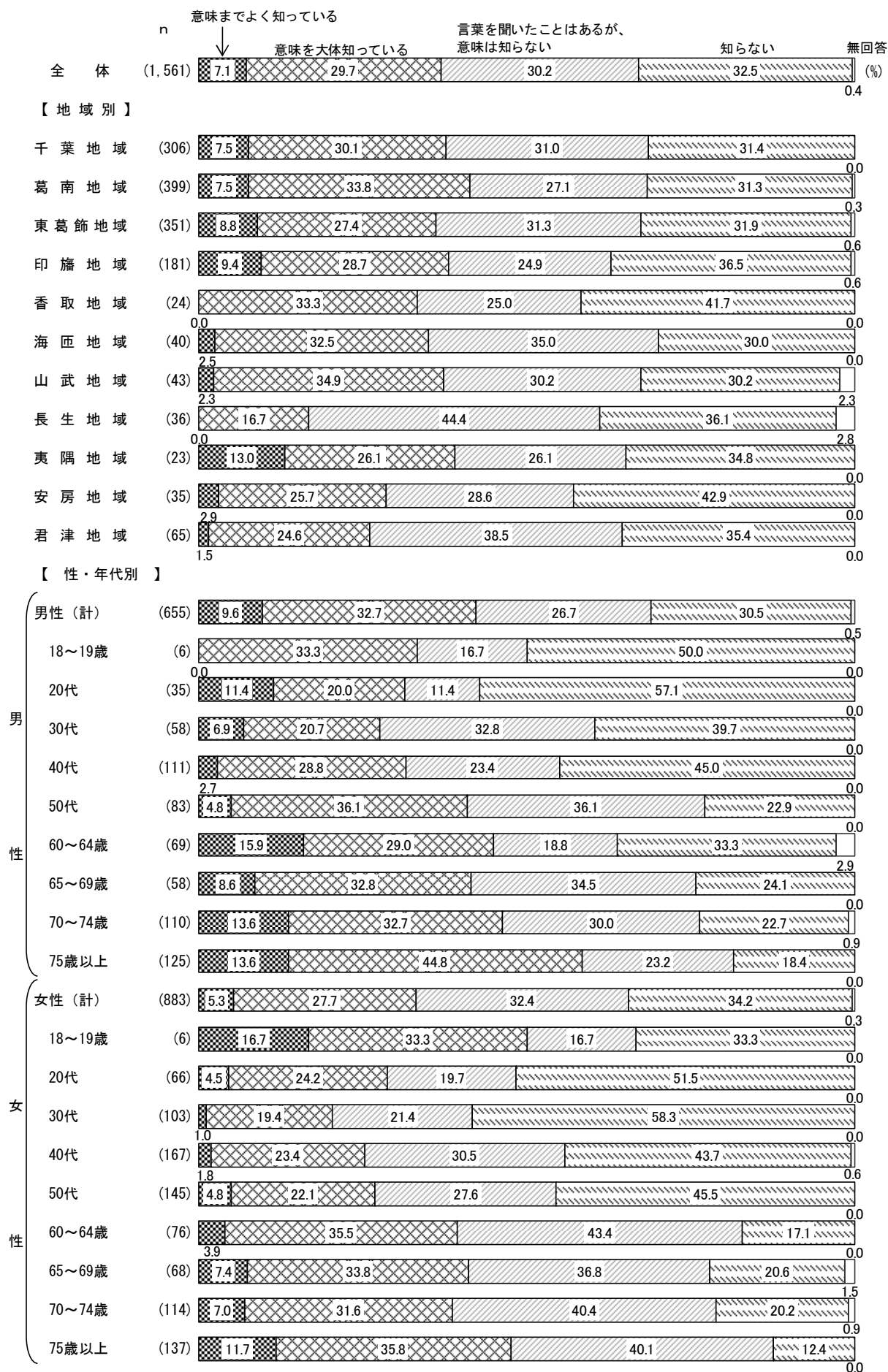
地域別にみると、『意味を知っている（計）』は“葛南地域”（41.4%）が４割を超えて高くなっている。（図表 1－20）

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『意味を知っている（計）』は男性の75歳以上（58.4%）が約６割、女性の75歳以上（47.4%）が約５割、男性の70～74歳（46.4%）が４割台半ばで高くなっている。

一方、「知らない」は女性の30代（58.3%）と男性20代（57.1%）が約６割、女性の20代（51.5%）が５割を超え、女性の50代（45.5%）、男性の40代（45.0%）、女性の40代（43.7%）が４割台半ばで高くなっている。（図表 1－20）

＜図表 1－20＞「気候変動による影響への適応」の認知度／地域別、性・年代別

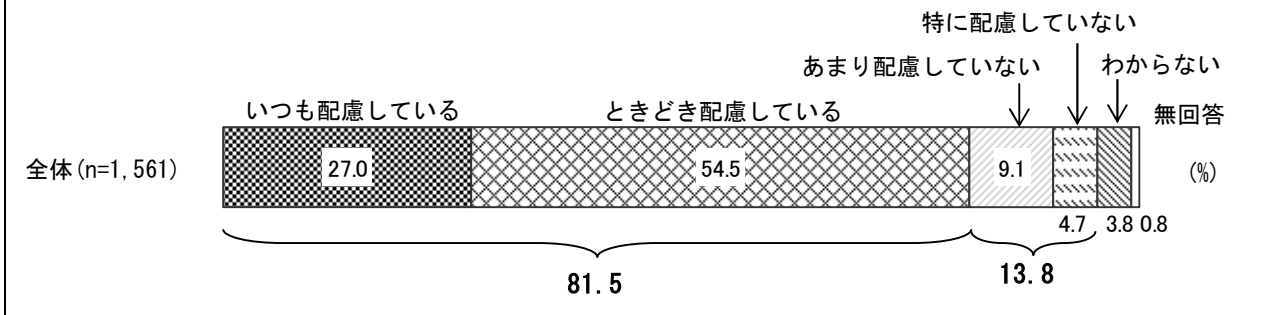


## （９）環境に配慮した行動

◇『配慮している（計）』が８割を超える

問 9 日常生活の中で環境に配慮して行動していますか。（○は 1 つ）

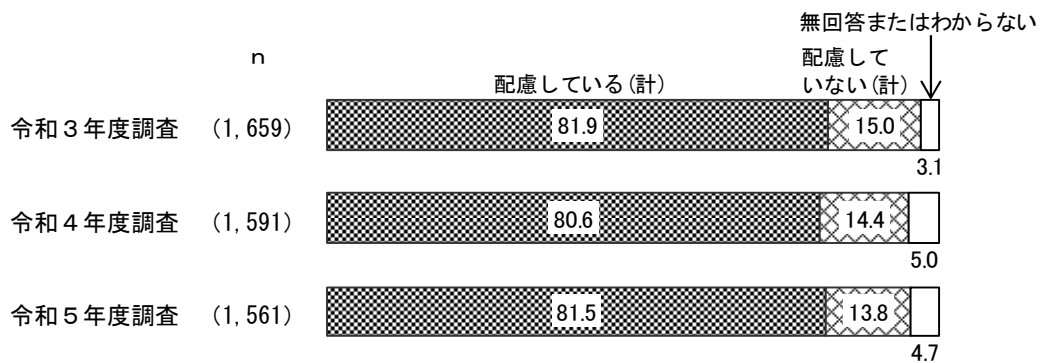
＜図表 1－21＞環境に配慮した行動



日常生活の中で環境に配慮して行動しているか聞いたところ、「いつも配慮している」（27.0%）と「ときどき配慮している」（54.5%）を合わせた『配慮している（計）』（81.5%）が８割を超えている。

一方、「あまり配慮していない」（9.1%）と「特に配慮していない」（4.7%）を合わせた『配慮していない（計）』（13.8%）が１割台半ばとなっている。（図表 1－21）

〔参考〕令和３年度・４年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



### 【地域別】

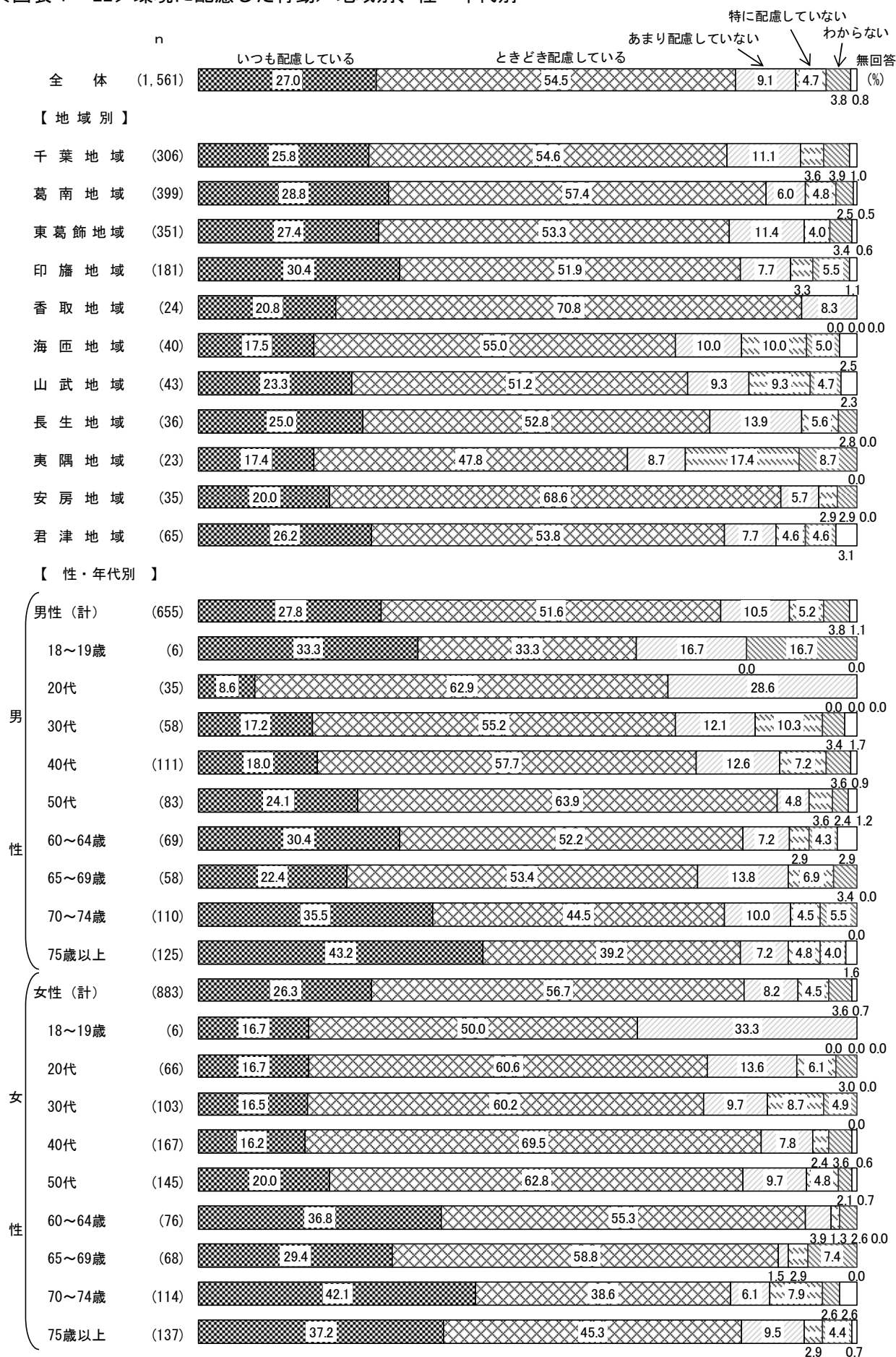
地域別にみると、『配慮している（計）』は“葛南地域”（86.2%）が８割台半ばで高くなっている。（図表 1－22）

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『配慮している（計）』は女性の60～64歳（92.1%）が９割を超えて高くなっている。

一方『配慮していない（計）』は男性の20代（28.6%）が約３割で高くなっている。（図表 1－22）

<図表 1-22>環境に配慮した行動／地域別、性・年代別



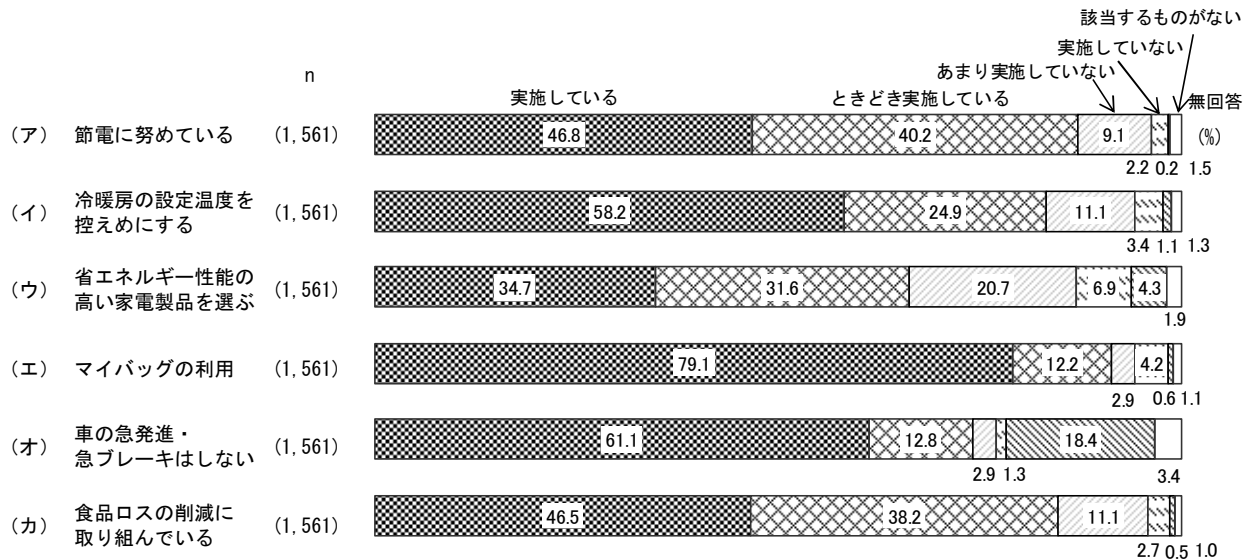
## (10) 普段の生活で環境に配慮した取組の実施状況

◇『実施している（計）』が最も高いのは〈マイバッグの利用〉で9割を超える

問10 あなたは、普段の生活で環境に配慮した次のような取組を行っていますか。

(○はそれぞれ1つずつ)

＜図表 1－23＞普段の生活で環境に配慮した取組の実施状況

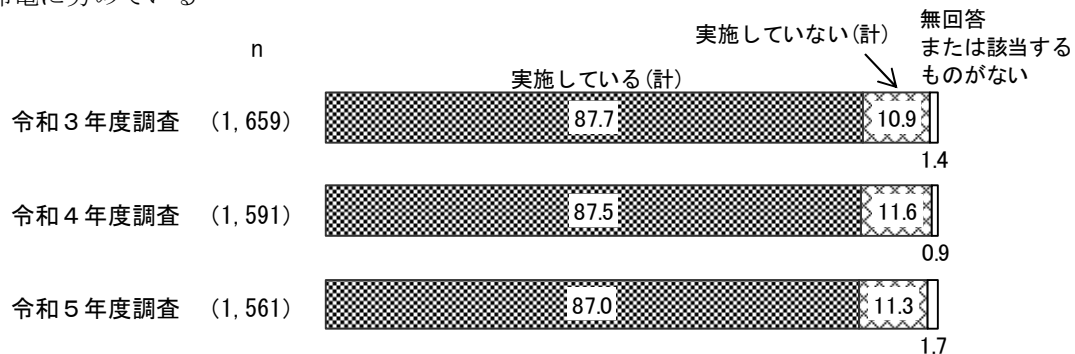


普段の生活で行っている環境保全の取組に関する6つの項目について、それぞれの実施状況を聞いたところ、「実施している」と「ときどき実施している」を合わせた『実施している（計）』が最も高いのは、「(エ) マイバッグの利用」(91.2%)で9割を超え、以下、「(ア) 節電に努めている」(87.0%)が約9割、「(カ) 食品ロスの削減に取り組んでいる」(84.7%)が8割台半ばで続く。

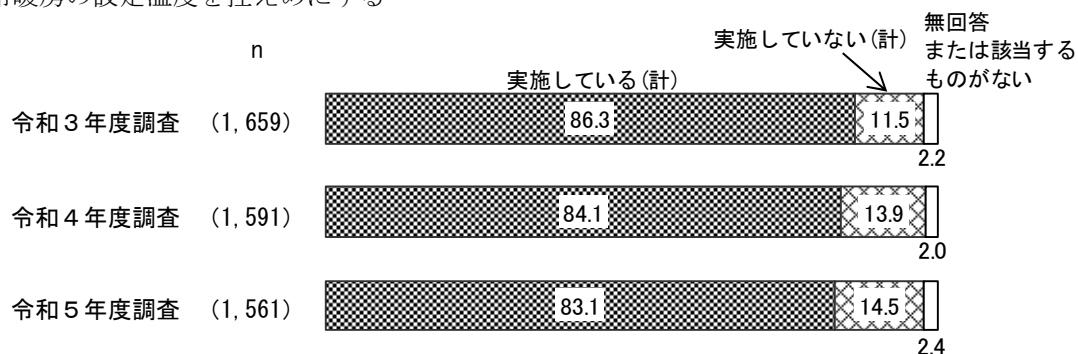
一方、「あまり実施していない」と「実施していない」を合わせた『実施していない（計）』が最も高いのは、「(ウ) 省エネルギー性能の高い家電製品を選ぶ」(27.5%)で約3割となっており、以下、「(イ) 冷暖房の設定温度を控えめにする」(14.5%)と「(カ) 食品ロスの削減に取り組んでいる」(13.8%)が1割台半ばで続く。(図表1－23)

[参考] 令和3年度・4年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

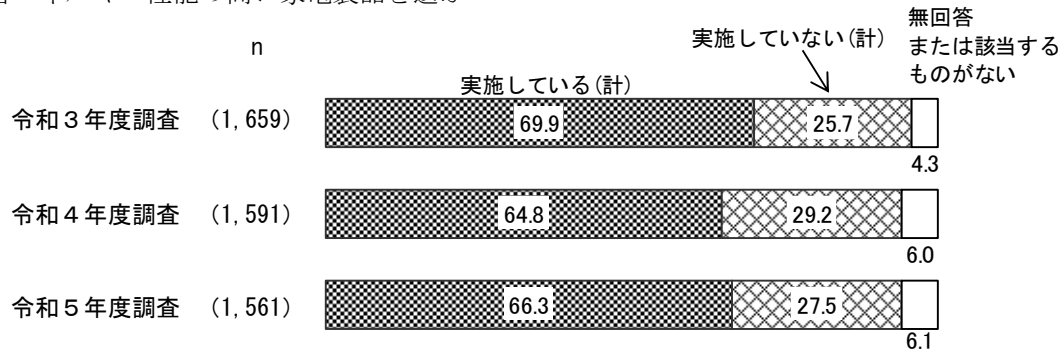
(ア) 節電に努めている



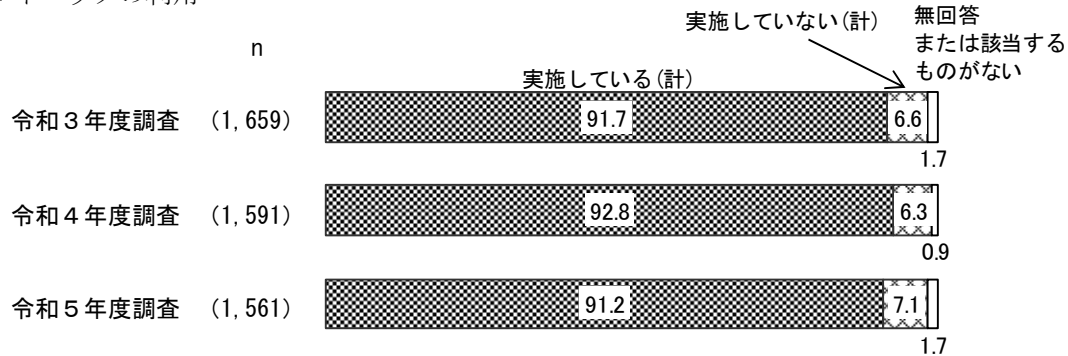
(イ) 冷暖房の設定温度を控えめにする



(ウ) 省エネルギー性能の高い家電製品を選ぶ

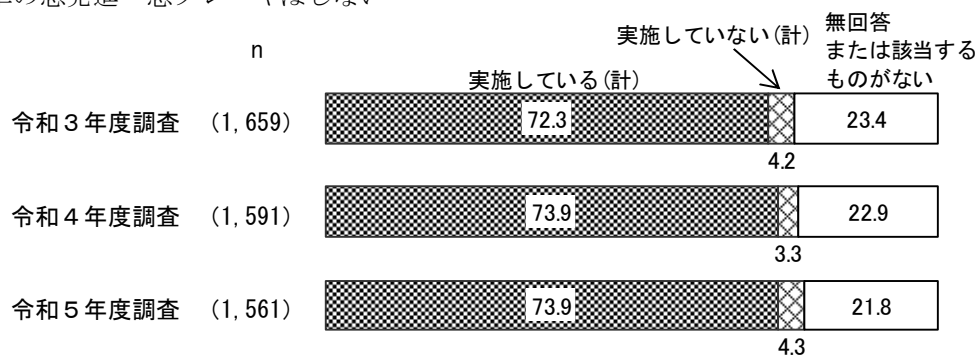


(エ) マイバッグの利用

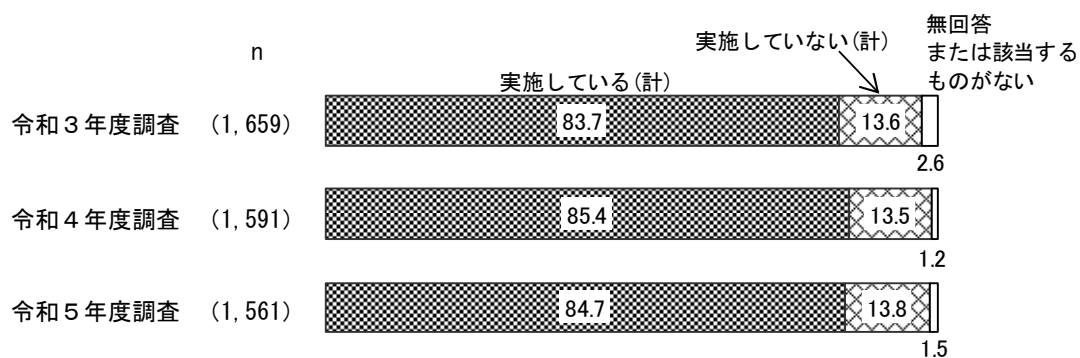




(オ) 車の急発進・急ブレーキはしない



(カ) 食品ロスの削減に取り組んでいる



### 【地域別】

地域別にみると、「(ア) 節電に努めている」で大きな傾向の違いは見られない。

「(イ) 冷暖房の設定温度を控えめにする」の「実施している」は“海匠地域”（75.0%）が7割台半ばで高くなっている。

「(ウ) 省エネルギー性能の高い家電製品を選ぶ」の『実施していない（計）』は“長生地域”（44.4%）が4割台半ばで高くなっている。

「(エ) マイバグの利用」で大きな傾向の違いは見られない。

「(オ) 車の急発進・急ブレーキはしない」の『実施している（計）』は“君津地域”（90.8%）が9割、“長生地域”（88.9%）が約9割、“印旛地域”（81.2%）が8割を超えて高くなっている。

「(カ) 食品ロスの削減に取り組んでいる」で大きな傾向の違いは見られない。（図表１－24）

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「(ア) 節電に努めている」の『実施している（計）』は女性の65～69歳（95.6%）が9割台半ば、女性の70～74歳（93.0%）が9割を超えて高くなっている。

一方、『実施していない（計）』は男性の30代（24.1%）が2割台半ば、女性の30代（21.4%）と女性の20代（21.2%）が2割を超え、男性の40代（18.9%）が約2割で高くなっている。

「(イ) 冷暖房の設定温度を控えめにする」の『実施している（計）』は女性の70～74歳（90.4%）と女性の50代（90.3%）が9割で高くなっている。

一方、『実施していない（計）』は男性の20代（31.4%）が3割を超え、男性の30代（29.3%）が約3割、女性の30代（26.2%）と男性の40代（25.2%）が2割台半ばで高くなっている。

「(ウ) 省エネルギー性能の高い家電製品を選ぶ」の『実施している（計）』は男性の50代（77.1%）が約8割で高くなっている。

一方、『実施していない（計）』は男性の30代（44.8%）が4割台半ば、男性の20代（42.9%）が4割を超え、女性の20代（40.9%）が4割、男性の40代（39.6%）が約4割で高くなっている。

「(エ) マイバグの利用」の『実施している（計）』は女性の65～69歳（98.5%）が約10割、女性の50代（96.6%）、女性の70～74歳（96.5%）が9割台半ばで高くなっている。

一方、『実施していない（計）』は男性の40代（20.7%）が2割、男性の20代（17.1%）が約2割、男性の65～69歳（15.5%）、男性の50代（14.5%）、男性の30代（13.8%）が1割台半ば、男性の70～74歳（12.7%）が1割を超えて高くなっている。

「(オ) 車の急発進・急ブレーキはしない」の『実施している（計）』は男性の50代（88.0%）が約9割、男性の65～69歳（86.2%）が8割台半ば、男性の70～74歳（81.8%）が8割を超えて高くなっている。

一方、『実施していない（計）』は男性の40代（11.7%）が1割を超えて高くなっている。

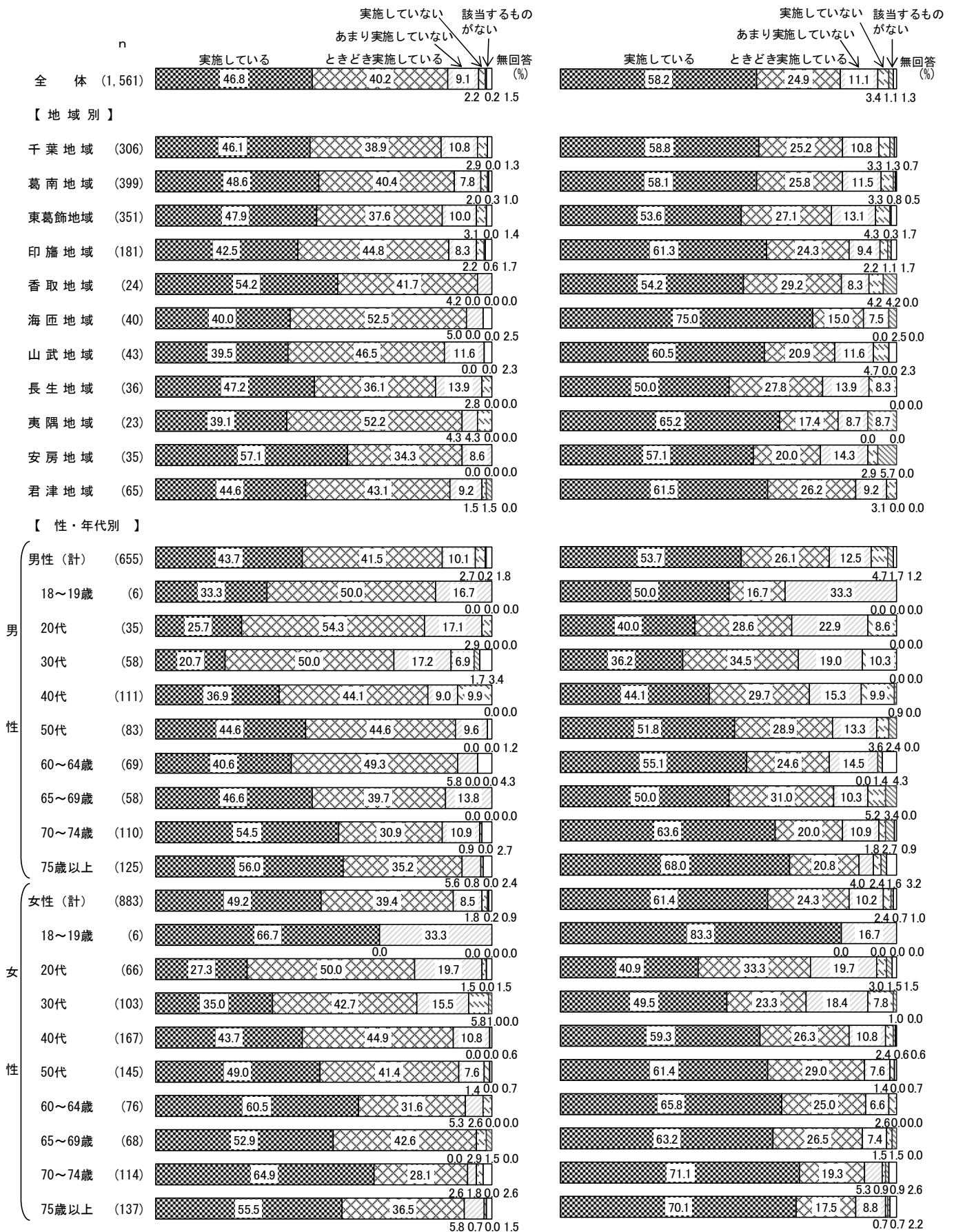
「(カ) 食品ロスの削減に取り組んでいる」の『実施している（計）』は女性の65～69歳（94.1%）が9割台半ばで高くなっている。

一方、『実施していない（計）』は男性の30代（27.6%）が約3割、男性の20代（25.7%）が2割台半ば、男性の40代（22.5%）が2割を超えて高くなっている。（図表１－24）

＜図表 1－24＞普段の生活で環境に配慮した取組の実施状況／地域別、性・年代別

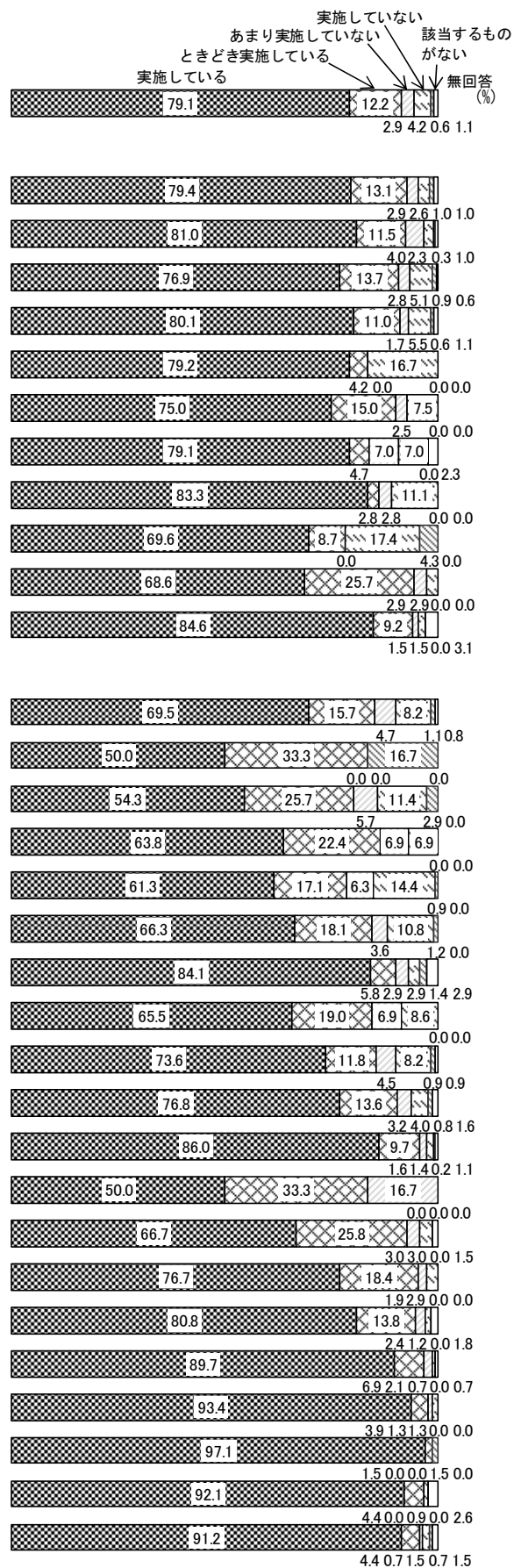
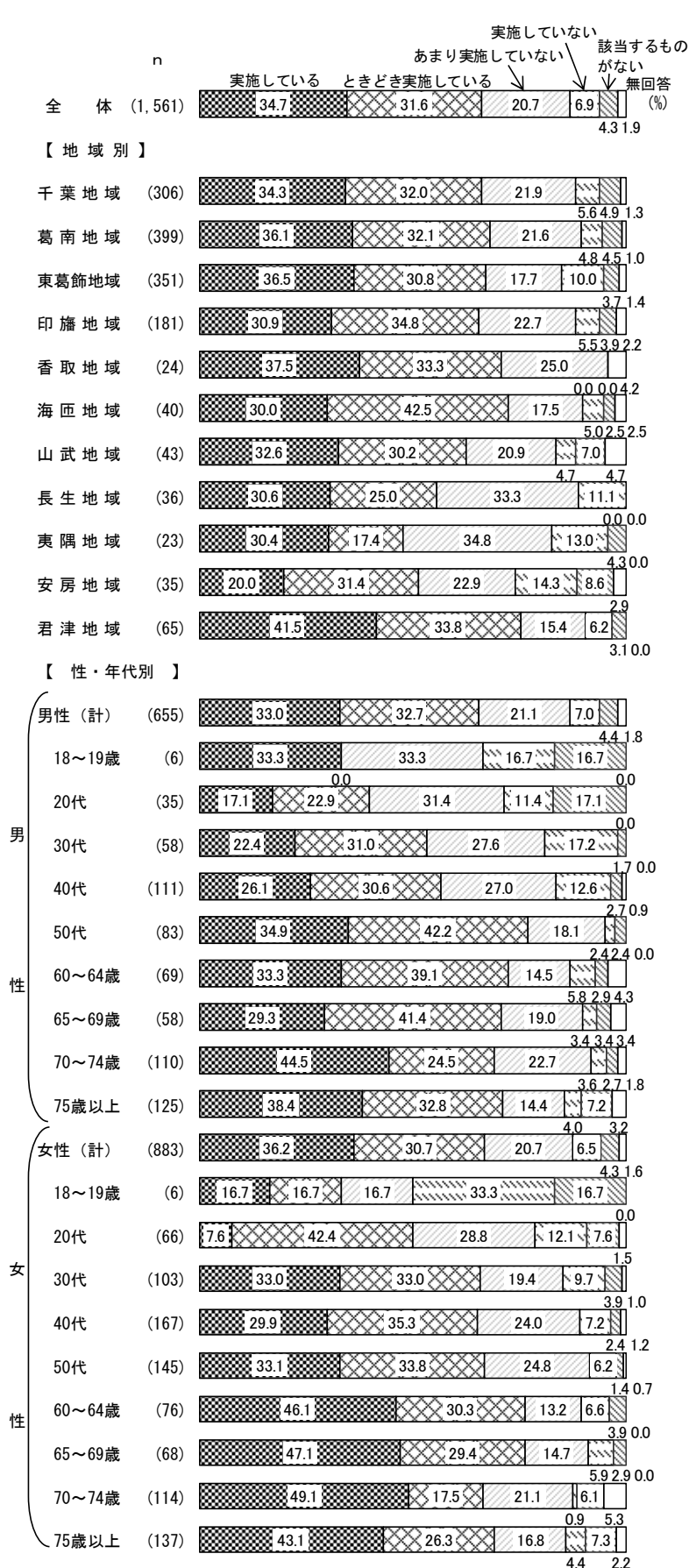
（ア）節電に努めている

（イ）冷暖房の設定温度を控えめにする



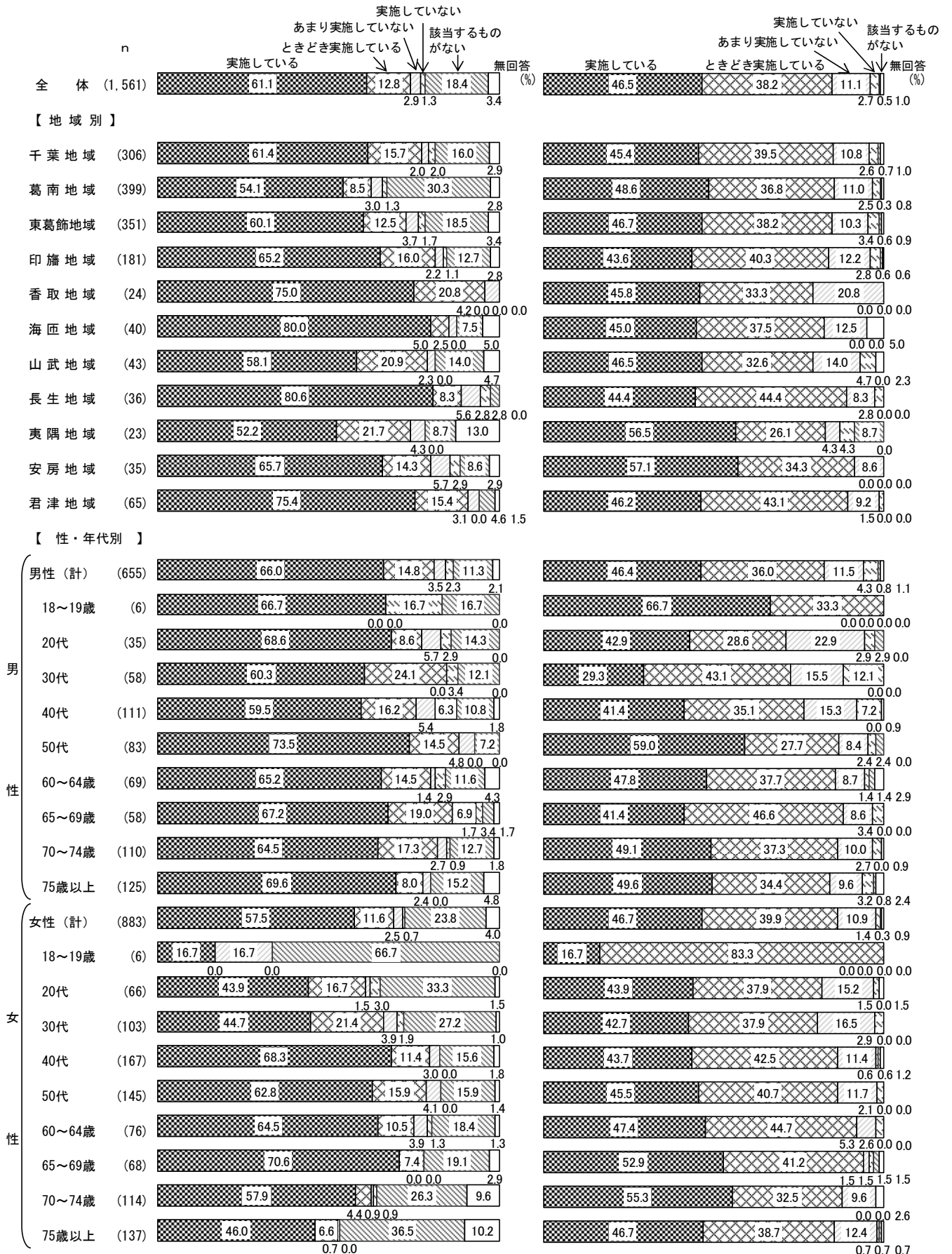
(ウ) 省エネルギー性能の高い家電製品を選ぶ

(エ) マイバッグの利用



(オ) 車の急発進・急ブレーキはしない

(カ) 食品ロスの削減に取り組んでいる



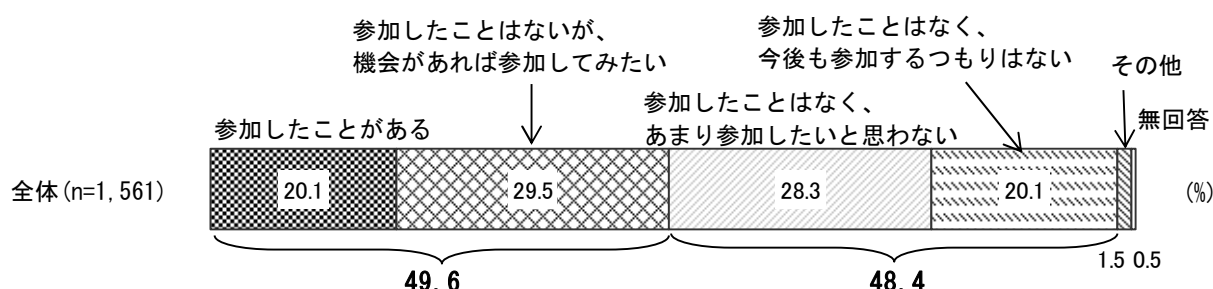
## (11) 環境保全に関する講演やセミナー、環境ボランティア活動への参加状況

◇『参加意向あり（計）』が約５割

問11 これまでに環境保全に関する講演やセミナー（オンラインでの参加を含む）、あるいは環境ボランティア活動（植林や清掃活動など）に参加したことがありますか。

（○は１つ）

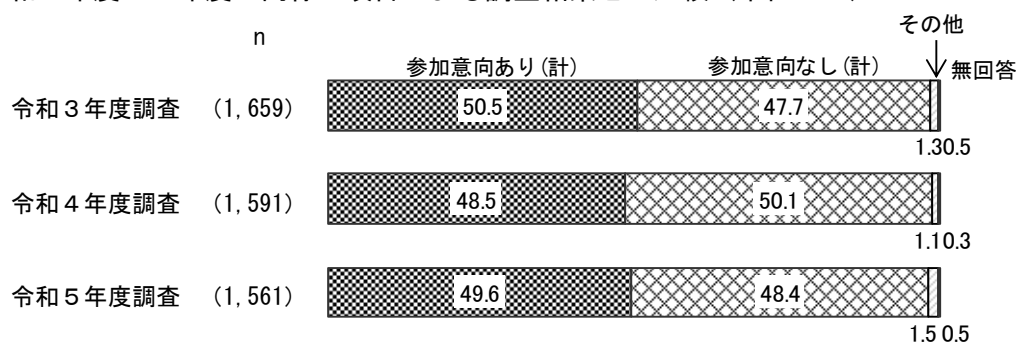
＜図表１－25＞環境保全に関する講演やセミナー、環境ボランティア活動への参加状況



環境保全に関する講演やセミナー（オンライン参加含む）、環境ボランティア活動への参加状況を聞いたところ、「参加したことがある」（20.1%）が２割となっており、これと「参加したことはないが、機会があれば参加してみたい」（29.5%）を合わせた『参加意向あり（計）』（49.6%）が約５割となっている。

一方、「参加したことはなく、あまり参加したいと思わない」（28.3%）と「参加したことはなく、今後も参加するつもりはない」（20.1%）を合わせた『参加意向なし（計）』（48.4%）が約５割となっている。（図表１－25）

【参考】令和３年度・４年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



### 【地域別】

地域別にみると、「参加したことがある」は“安房地域”（34.3%）が３割台半ばで高くなっている。（図表１－26）

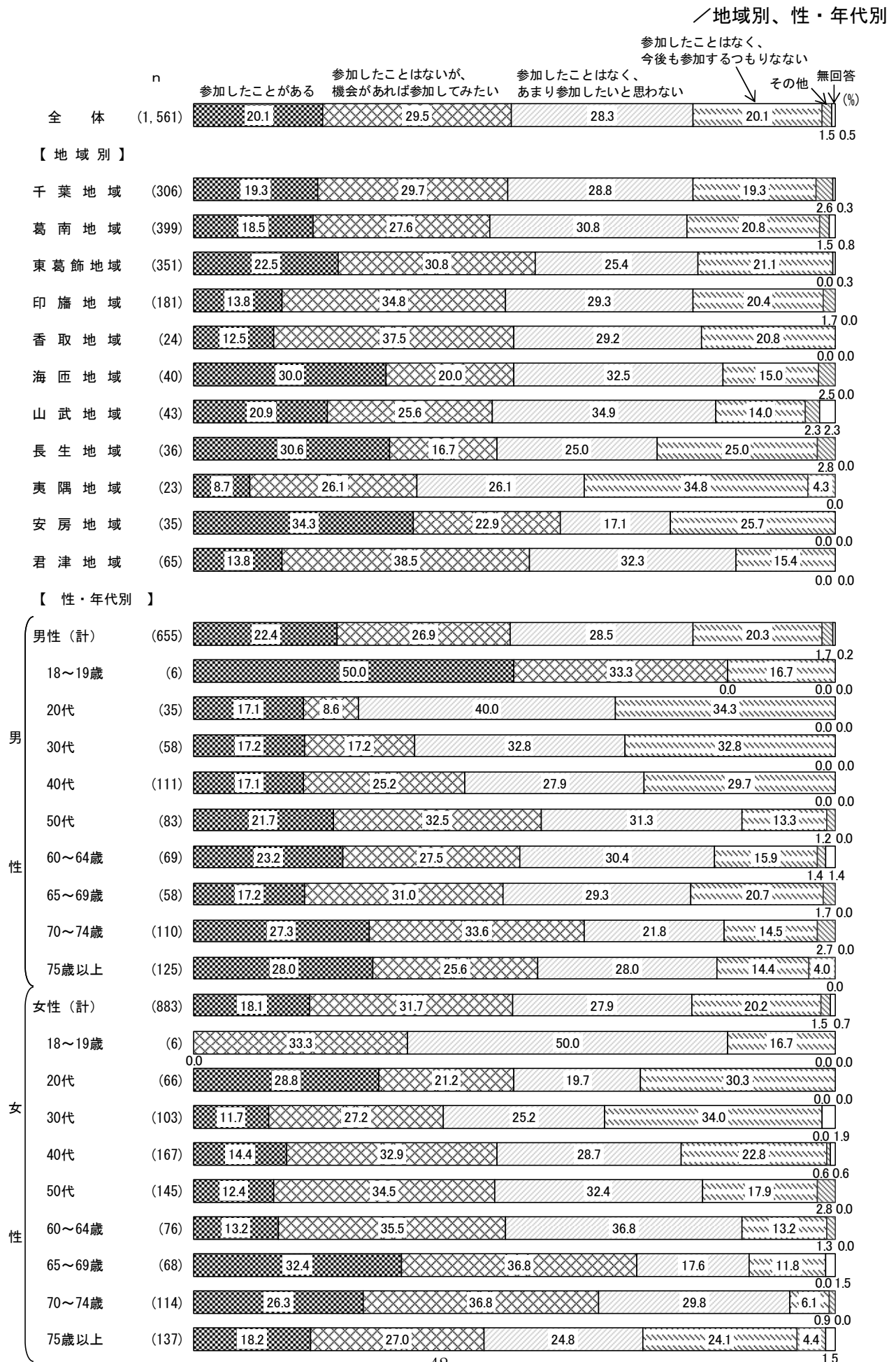
### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『参加意向あり（計）』は女性の65～69歳（69.1%）が約７割、女性の70～74歳（63.2%）が６割を超え、男性の70～74歳（60.9%）が６割で高くなっている。

一方、『参加意向なし（計）』は男性の20代（74.3%）が７割台半ば、男性の30代（65.5%）が６割台半ば、女性の30代（59.2%）と男性の40代（57.7%）が約６割で高くなっている。

（図表１－26）

&lt;図表 1-26&gt;環境保全に関する講演やセミナー、環境ボランティア活動への参加状況



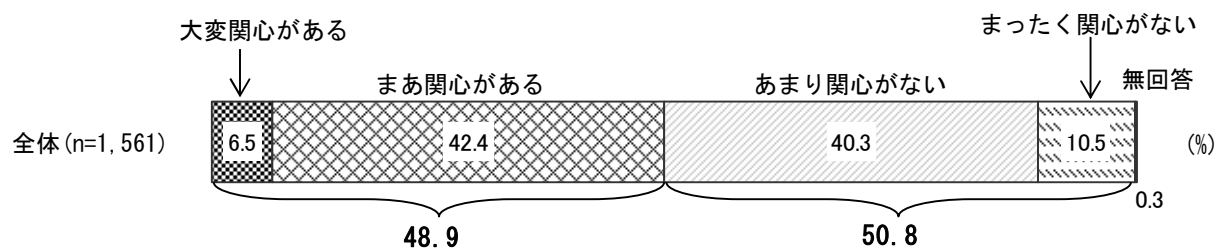
## (12) 市民活動団体やボランティア活動の関心度

◇『関心がある（計）』が約5割

問12 市民活動団体※の活動や、ボランティア活動に関心がありますか。（○は1つ）

※ 「市民活動団体」とは、市民の自発性に基づき、福祉や子育て支援、まちづくり、環境等様々な分野の地域課題の解決のために、自立的・継続的に社会貢献活動を行う営利を目的としない団体（行政が認証したNPO法人やボランティア団体等任意団体）です。

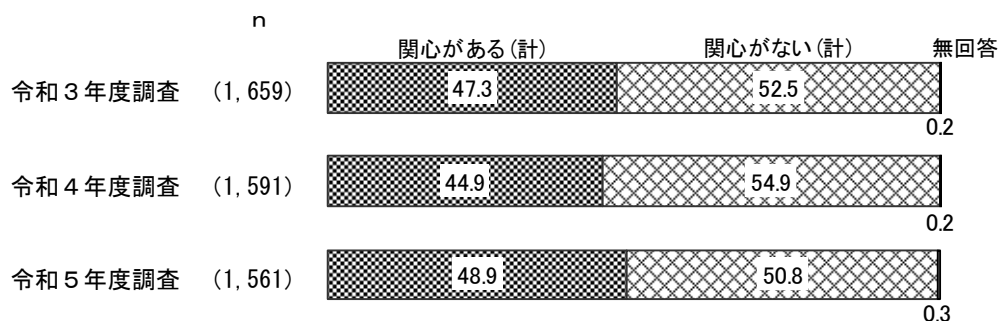
<図表 1-27>市民活動団体やボランティア活動の関心度



市民活動団体の活動や、ボランティア活動への関心度を聞いたところ、「大変関心がある」(6.5%)と「まあ関心がある」(42.4%)を合わせた『関心がある（計）』(48.9%)が約5割となっている。

一方、「あまり関心がない」(40.3%)と「まったく関心がない」(10.5%)を合わせた『関心がない（計）』(50.8%)が5割となっている。(図表 1-27)

〔参考〕令和3年度・4年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



### 【地域別】

地域別にみると、『関心がない（計）』は“長生地域” (72.2%) が7割を超えて高くなっている。

(図表 1-28)

### 【性・年代別】

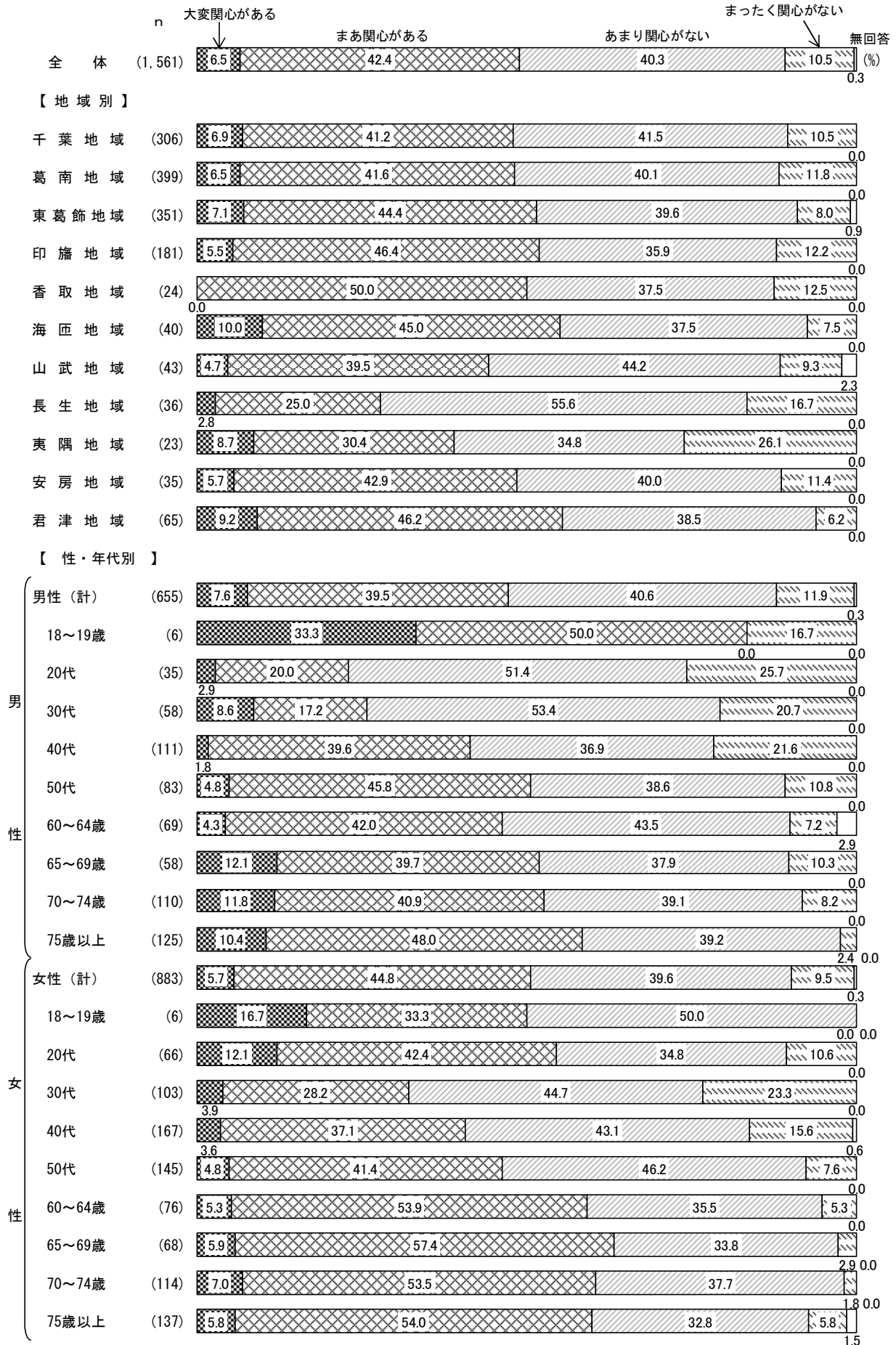
性・年代別にみると、『関心がある（計）』は女性の65～69歳 (63.2%) が6割を超え、女性の70～74歳 (60.5%) が6割、女性の75歳以上 (59.9%) と男性の75歳以上 (58.4%) が約6割で高くなっている。

一方、『関心がない（計）』は男性の20代 (77.1%) が約8割、男性の30代 (74.1%) が7割台半ば、女性の30代 (68.0%) が約7割、女性の40代 (58.7%) が約6割で高くなっている。

(図表 1-28)



&lt;図表 1-28&gt;市民活動団体やボランティア活動の関心度／地域別、性・年代別



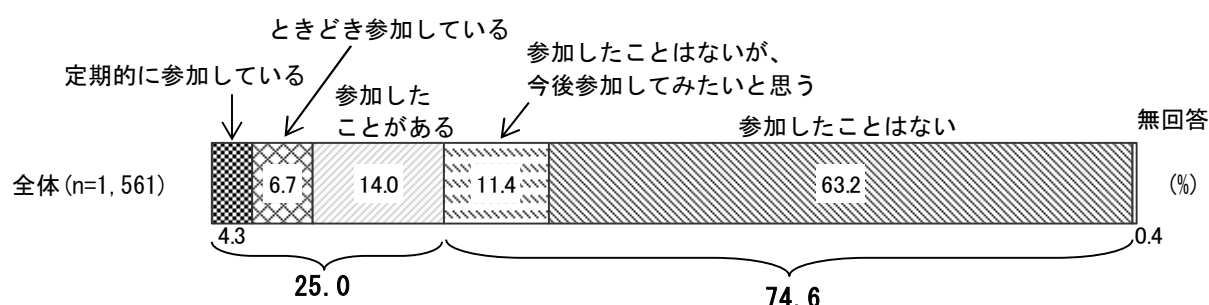
### （13）市民活動団体の活動への参加経験

◇『参加したことがある（計）』が2割台半ば

問13 市民活動団体の活動に参加※したことがありますか。（○は1つ）

※ ここでいう「参加」とは、団体の会員やボランティアとしての参加のみならず、団体への資金・物品・技術・場所等の提供・寄付などの支援を通しての参加や、団体が提供するサービスの利用・イベントへの参加などを指します。

＜図表 1－29＞市民活動団体の活動への参加経験

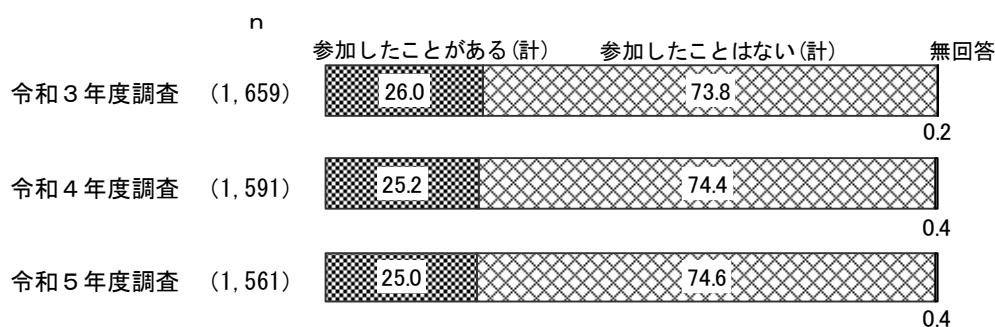


市民活動団体の活動への参加経験を聞いたところ、「定期的に参加している」（4.3%）、「ときどき参加している」（6.7%）、「参加したことがある」（14.0%）の3つを合わせた『参加したことがある（計）』（25.0%）が2割台半ばとなっている。

一方、「参加したことはないが、今後参加してみたいと思う」（11.4%）と「参加したことはない」（63.2%）を合わせた『参加したことはない（計）』（74.6%）が7割台半ばとなっている。

（図表 1－29）

【参考】令和3年度・4年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



#### 【地域別】

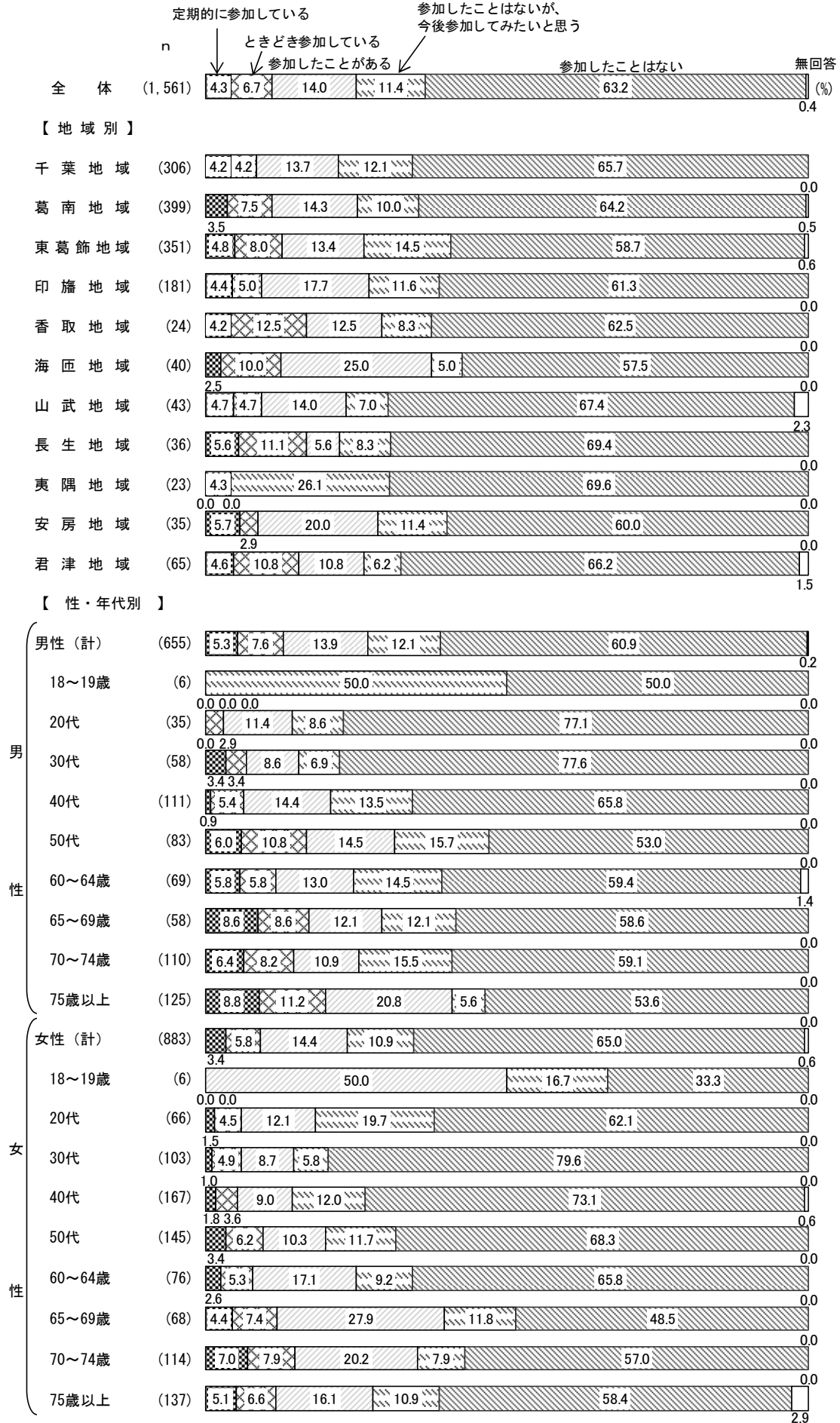
地域別にみると、大きな傾向の違いは見られない。（図表 1－30）

#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『参加したことがある（計）』は男性の75歳以上（40.8%）が4割、女性の65～69歳（39.7%）が約4割、女性の70～74歳（35.1%）が3割台半ばで高くなっている。

一方、『参加したことはない（計）』は女性の30代（85.4%）と女性の40代（85.0%）が8割台半ばで高くなっている。（図表 1－30）

＜図表 1－30＞市民活動団体の活動への参加経験／地域別、性・年代別



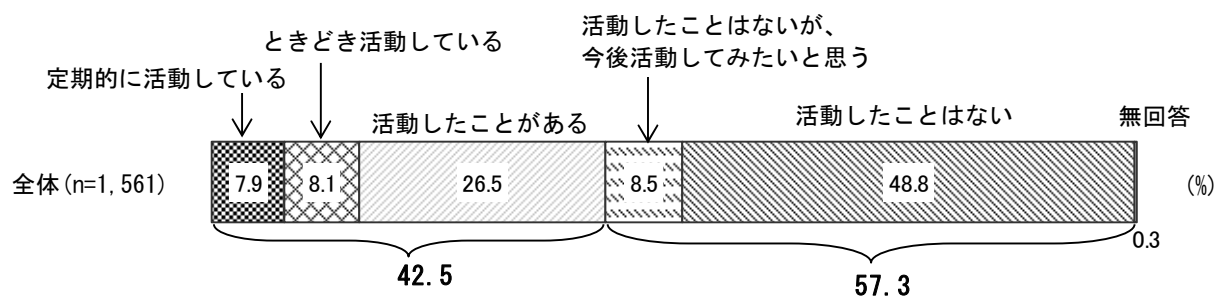
## (14) ボランティア活動経験

◇『活動したことがある（計）』が４割を超える

問14 ボランティアとして活動※したことがありますか。（○は１つ）

※ ここでいう「ボランティア活動」とは、市民の自発性に基づき地域や社会に貢献する活動（町会・自治会の活動、PTA活動や学校行事の手伝い、子ども会の活動、交通安全運動、道路や公園等の清掃なども含む）のことであり、市民活動団体が行うボランティア活動への参加のみならず、個人として行うものを含むボランティア活動全般を指します。

＜図表１－31＞ボランティア活動経験

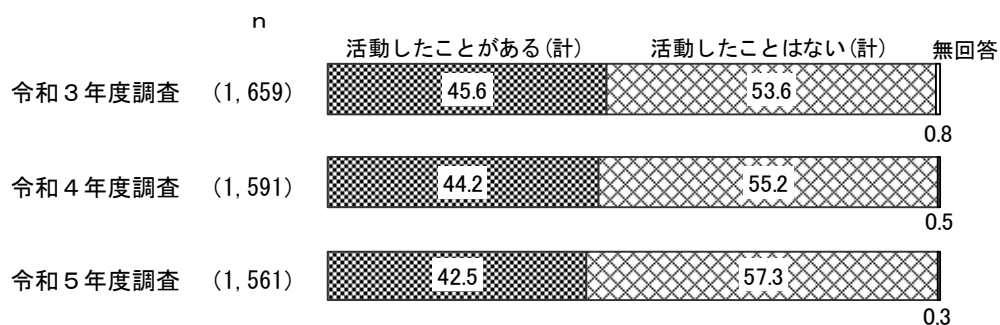


ボランティアとして活動したことがあるか聞いたところ、「定期的活動している」（7.9%）、「時々活動している」（8.1%）、「活動したことがある」（26.5%）の３つを合わせた『活動したことがある（計）』（42.5%）が４割を超えている。

一方、「活動したことはないが、今後活動してみたいと思う」（8.5%）と「活動したことはない」（48.8%）を合わせた『活動したことはない（計）』（57.3%）が約６割となっている。

（図表１－31）

〔参考〕令和３年度・４年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



### 【地域別】

地域別にみると、「定期的活動している」は“安房地域”（20.0%）が２割で高くなっている。

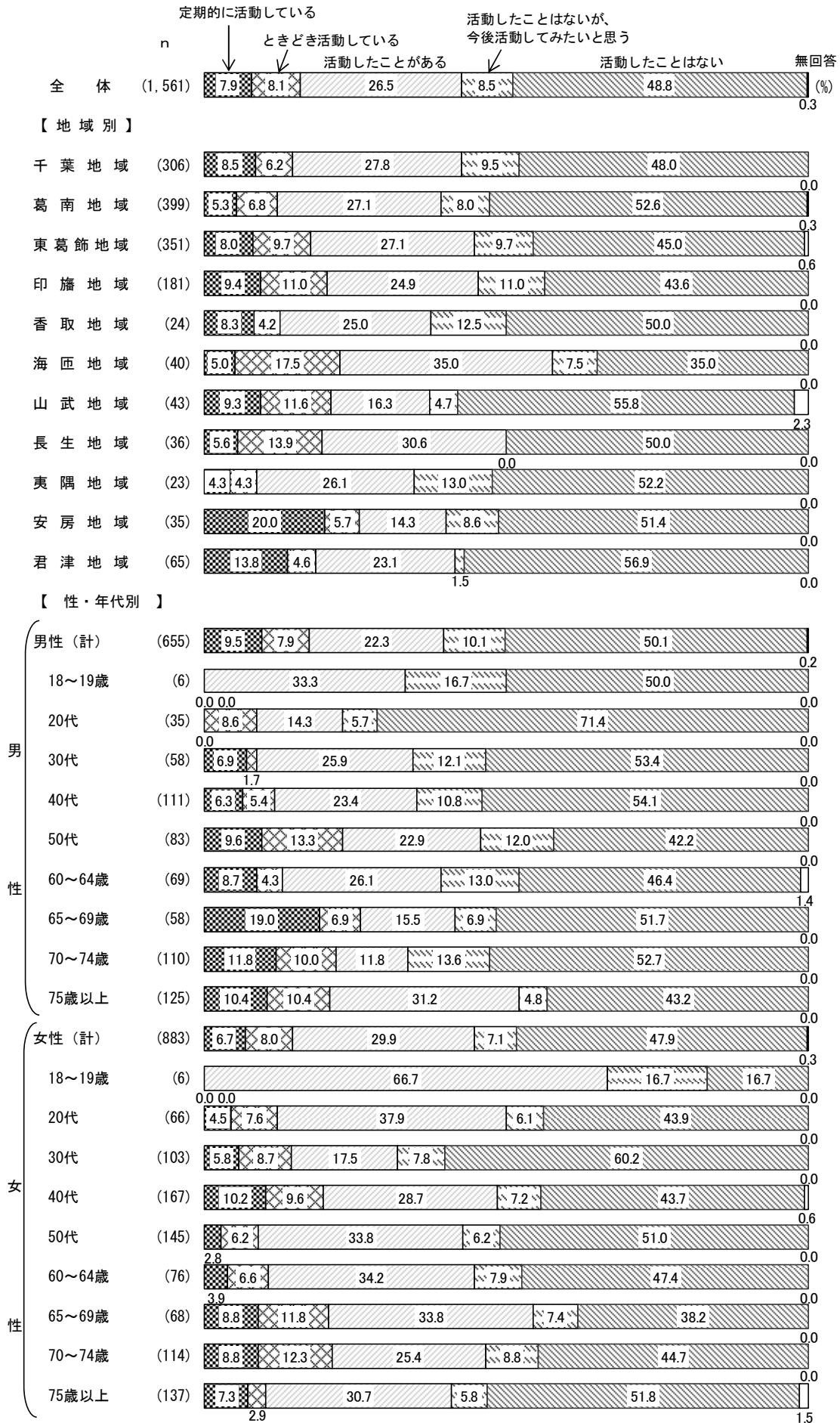
（図表１－32）

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『活動したことがある（計）』は女性の65～69歳（54.4%）が５割台半ば、男性の75歳以上（52.0%）が５割を超えて高くなっている。

一方、『活動したことはない（計）』は男性の20代（77.1%）が約８割、女性の30代（68.0%）が約７割、男性の70～74歳（66.4%）が６割台半ばで高くなっている。（図表１－32）

&lt;図表 1-32&gt; ボランティア活動経験／地域別、性・年代別



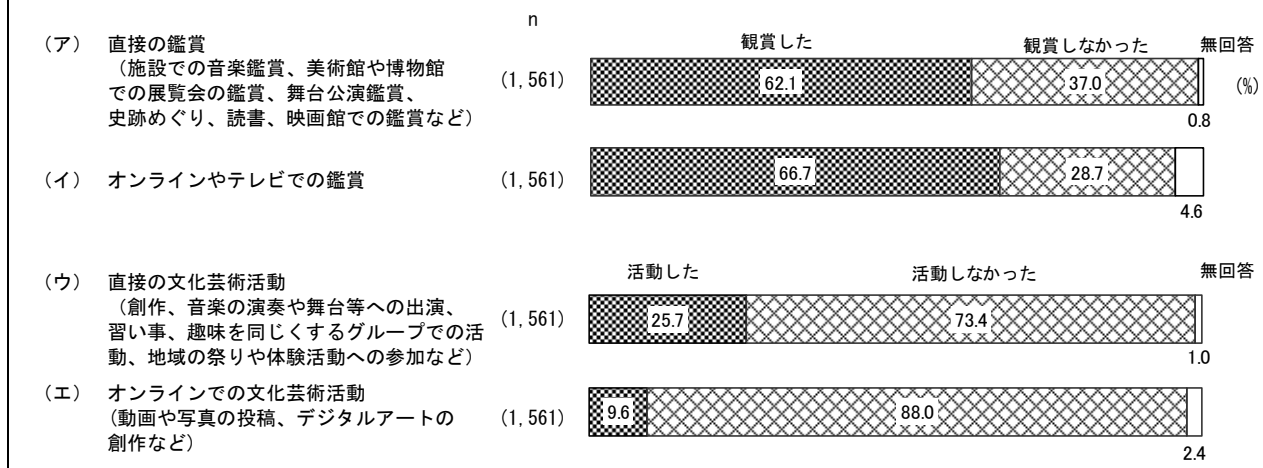
## (15) この1年間の文化芸術の鑑賞及び活動の経験

◇鑑賞は〈オンラインやテレビ〉が6割台半ば、活動は〈直接〉が2割台半ば

問15 あなたは、この1年間に、文化芸術※を鑑賞しましたか。また、鑑賞ではなく、自分で文化芸術活動をしましたか。（○はそれぞれ1つつつ）

※ 「文化芸術」とは、映画（アニメ含む）、音楽（全てのジャンル）、美術（写真・デジタルアート含む）、文芸（マンガ含む）、ダンス、茶道・華道・書道、歌舞伎、地域に伝わる祭り、文化財などを指します。

＜図表1－33＞この1年間の文化芸術の鑑賞及び活動の経験

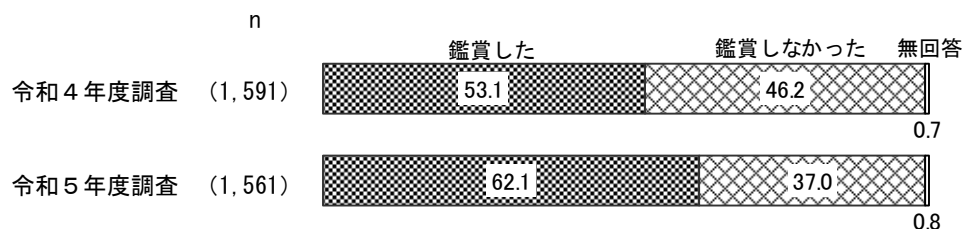


この1年間の文化芸術の鑑賞及び活動の経験を聞いたところ、鑑賞については「(イ) オンラインやテレビでの鑑賞」(66.7%)が6割台半ば、「(ア) 直接の鑑賞」(62.1%)が6割を超えており、(ア) か (イ) いずれか、又はその両方を通じて鑑賞した県民の割合は76.7%となった。

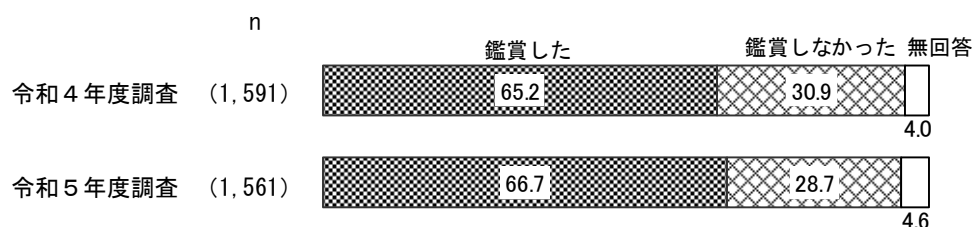
活動については「(ウ) 直接の文化芸術活動」(25.7%)が2割台半ば、「(エ) オンラインでの文化芸術活動」(9.6%)が約1割となっており（図表1－33）、(ウ) か (エ) いずれか、又はその両方を通じて活動した県民の割合は28.0%となった。

[参考] 令和4年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

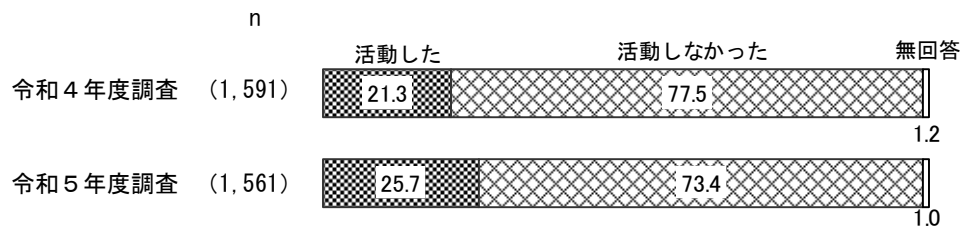
(ア) 直接の鑑賞（施設での音楽鑑賞、美術館や博物館での展覧会の鑑賞、舞台公演鑑賞、史跡めぐり、読書、映画館での鑑賞など）



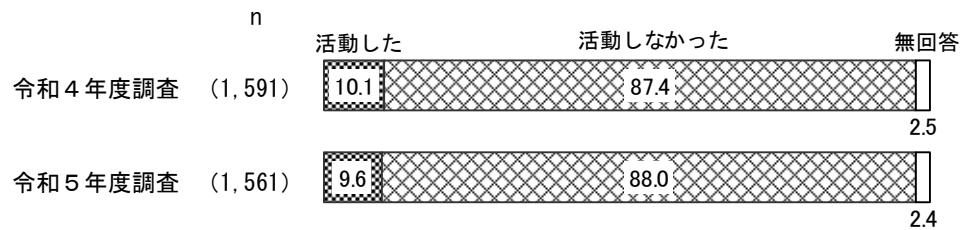
(イ) オンラインやテレビでの鑑賞



（ウ） 直接の文化芸術活動（創作、音楽の演奏や舞台等への出演、習い事、趣味を同じくするグループでの活動、地域の祭りや体験活動への参加など）



（エ） オンラインでの文化芸術活動（動画や写真の投稿、デジタルアートの創作など）



【地域別】

地域別にみると、鑑賞について「(ア) 直接の鑑賞」で「鑑賞した」は“東葛飾地域” (67.5%) が約7割で高くなっている。

一方、「鑑賞しなかった」は“長生地域” (55.6%) が5割台半ばで高くなっている。

「(イ) オンラインやテレビでの鑑賞」は大きな傾向の違いはみられない。

活動については、「(ウ) 直接の文化芸術活動」、「(エ) オンラインでの文化芸術活動」とともに大きな傾向の違いはみられない。(図表1-34)

【性・年代別】

性・年代別にみると、鑑賞について「(ア) 直接の鑑賞」で「鑑賞した」は女性の20代 (83.3%) が8割を超え、女性の30代 (77.7%) が約8割、女性の40代 (74.9%) が7割台半ば、女性の50代 (72.4%) が7割を超えて高くなっている。

一方、「鑑賞しなかった」は女性の75歳以上 (51.1%) が5割を超え、男性の75歳以上 (50.4%) と女性の70～74歳 (50.0%) が5割で高くなっている。

「(イ) オンラインやテレビでの鑑賞」で「鑑賞した」は女性の20代 (86.4%) と男性の20代 (85.7%) が8割台半ば、女性の30代 (78.6%)、女性の50代 (78.6%)、男性の50代 (77.1%) が約8割、女性の40代 (76.6%) が7割台半ばで高くなっている。

一方、「鑑賞しなかった」は男性の70～74歳 (40.9%) と女性の75歳以上 (40.1%) が4割、女性の70～74歳 (38.6%) と男性の75歳以上 (38.4%) が約4割で高くなっている。

活動について「(ウ) 直接の文化芸術活動」で「活動した」は女性の20代 (36.4%) と女性の75歳以上 (34.3%) が3割台半ばで高くなっている。

一方、「活動しなかった」は男性の60～64歳 (88.4%) が約9割で高くなっている。

「(エ) オンラインでの文化芸術活動」で「活動した」は女性の20代 (34.8%) が3割台半ば、男性の50代 (21.7%) が2割を超えて高くなっている。

一方、「活動しなかった」は女性の40代 (92.8%) が9割を超えて高くなっている。

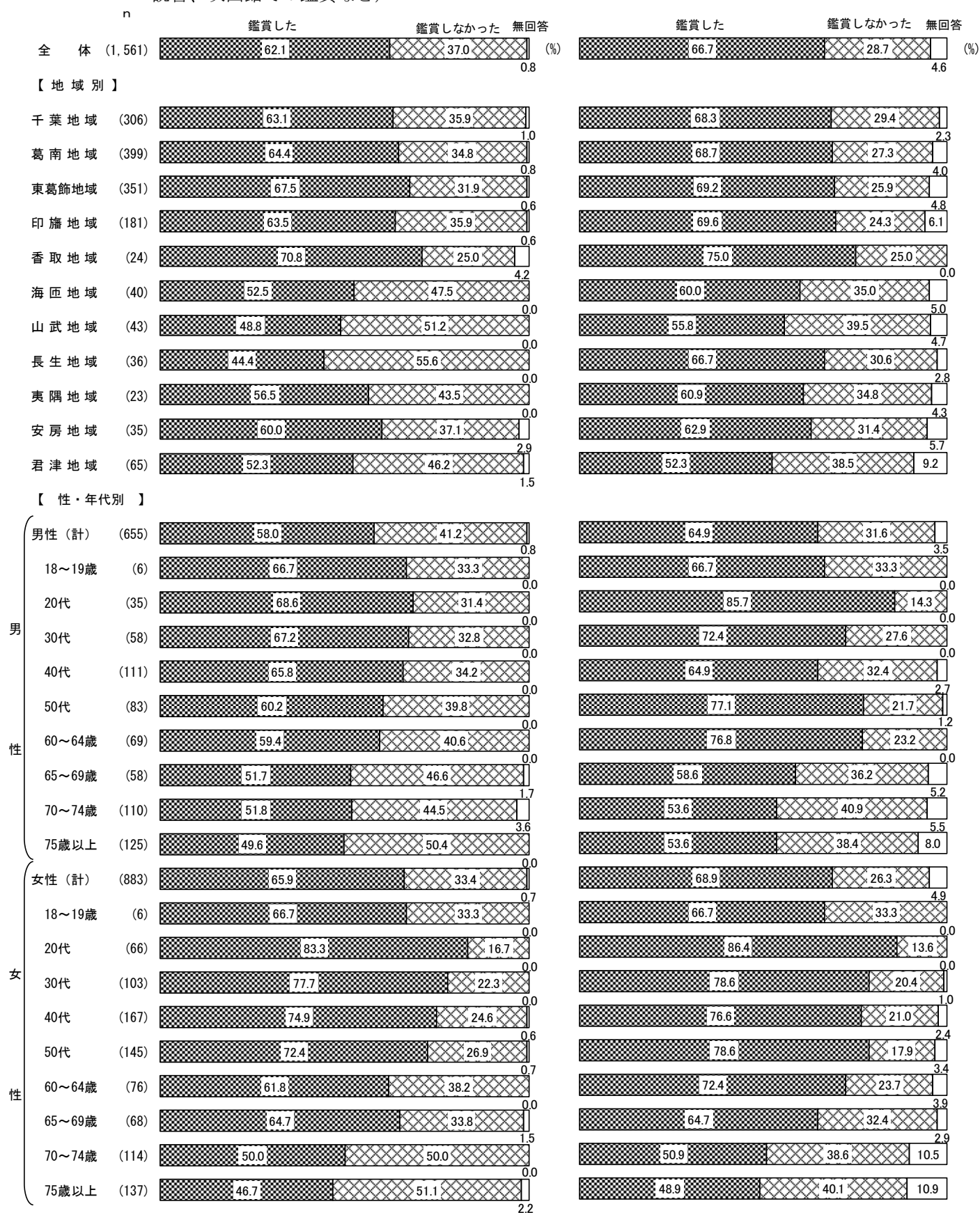
(図表1-34)

＜図表 1－34＞この 1 年間の文化芸術の鑑賞及び活動の経験／地域別、性・年代別

(ア) 直接の鑑賞

(イ) オンラインやテレビでの鑑賞

（施設での音楽鑑賞、美術館や博物館での  
展覧会の鑑賞、舞台公演鑑賞、史跡めぐり、  
読書、映画館での鑑賞など）



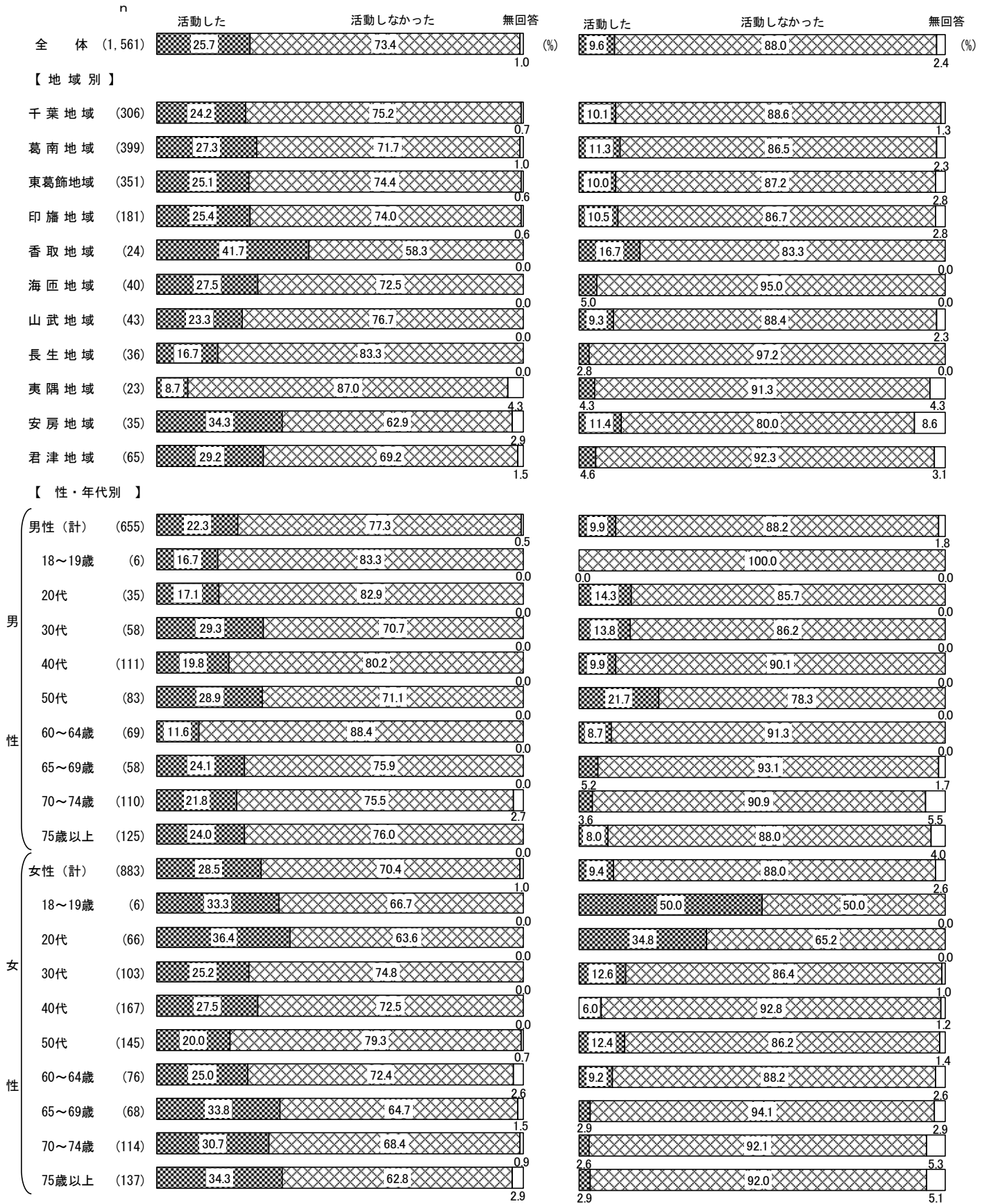


（ウ）直接の文化芸術活動

（創作、音楽の演奏や舞台等への出演、習い事、趣味を同じくするグループでの活動、地域の祭りや体験活動への参加など）

（エ）オンラインでの文化芸術活動

（動画や写真の投稿、デジタルアートの創作など）



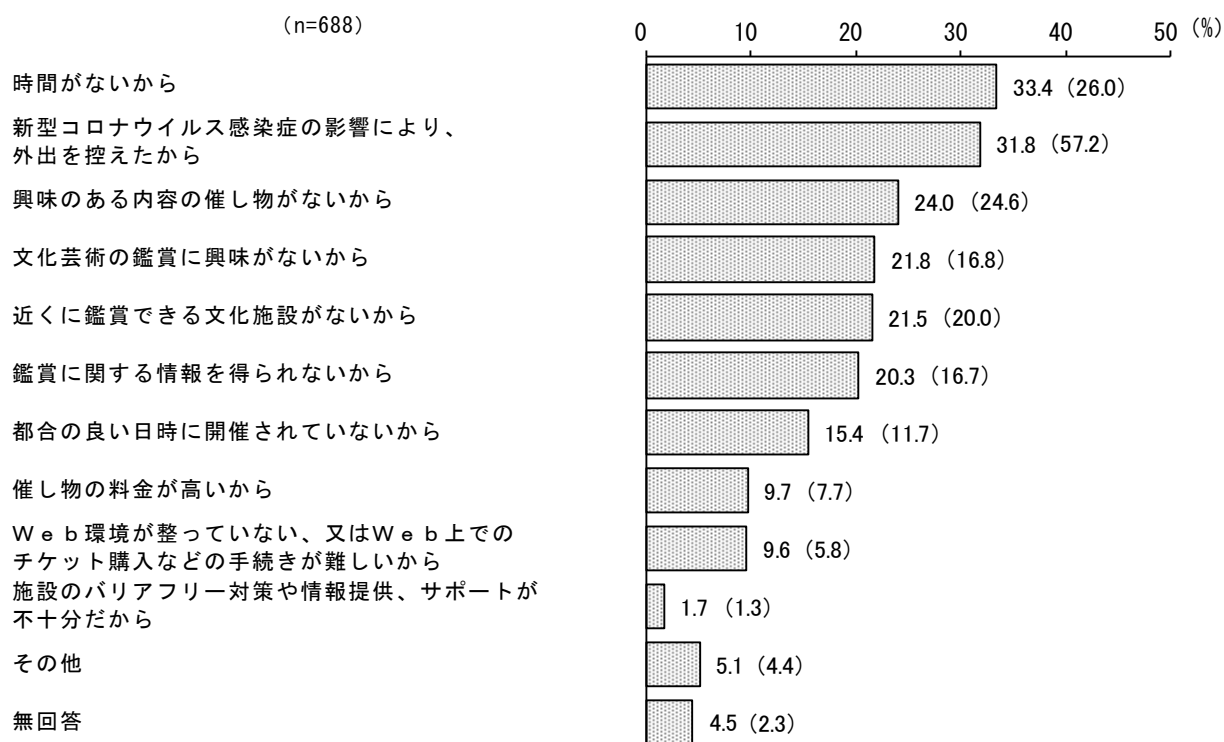
## （15－１）文化芸術を鑑賞しなかった理由

◇「時間がないから」が３割を超える

（問15（ア）（イ）のいずれかで「鑑賞しなかった」をお答えの方に）

問15－１ 「鑑賞しなかった」とお答えの主な理由は何ですか。（○はいくつでも）

＜図表１－35＞文化芸術を鑑賞しなかった理由（複数回答）



注）（ ）の数字は令和４年度の同様の項目による調査結果 n＝839

この１年間の文化芸術の鑑賞について、直接またはオンラインやテレビで鑑賞しなかったと回答した688人を対象に、鑑賞しなかった理由を聞いたところ、「時間がないから」（33.4％）が３割を超えて最も高く、以下、「新型コロナウイルス感染症の影響により、外出を控えたから」（31.8％）、「興味のある内容の催し物がないから」（24.0％）、「文化芸術の鑑賞に興味がないから」（21.8％）が続く。（図表１－35）

### 【地域別】

地域別にみると、は大きな傾向の違いはみられない。（図表１－36）

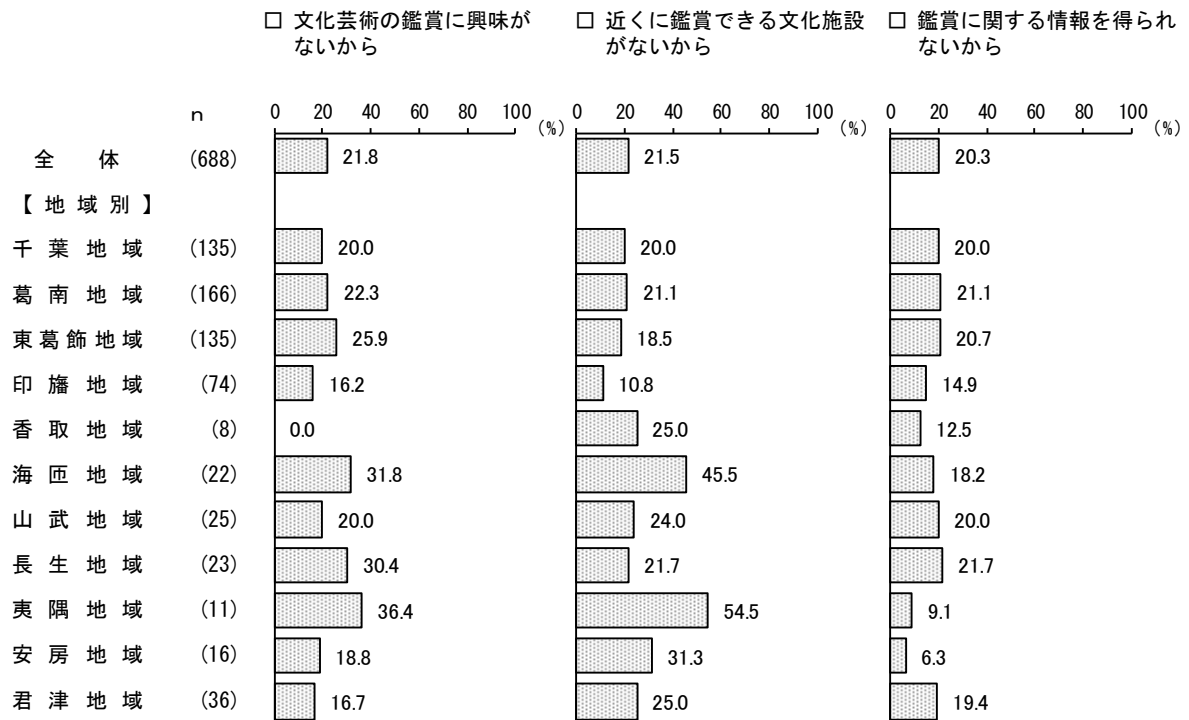
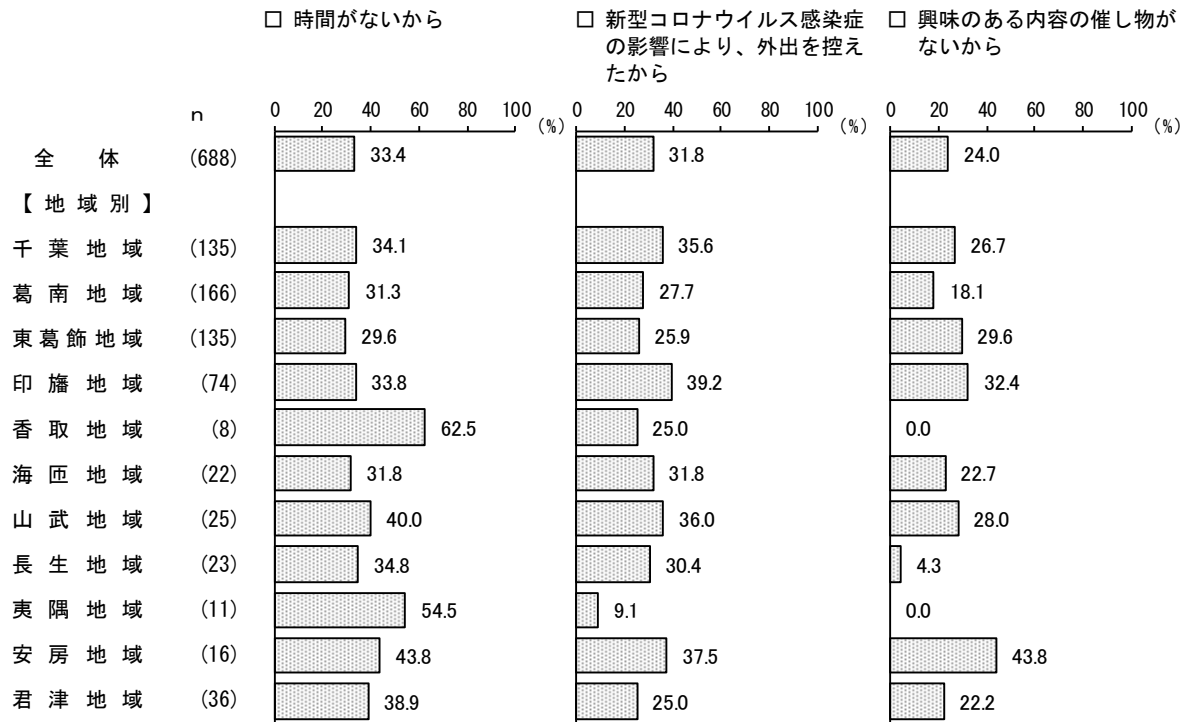
### 【性・年代別】

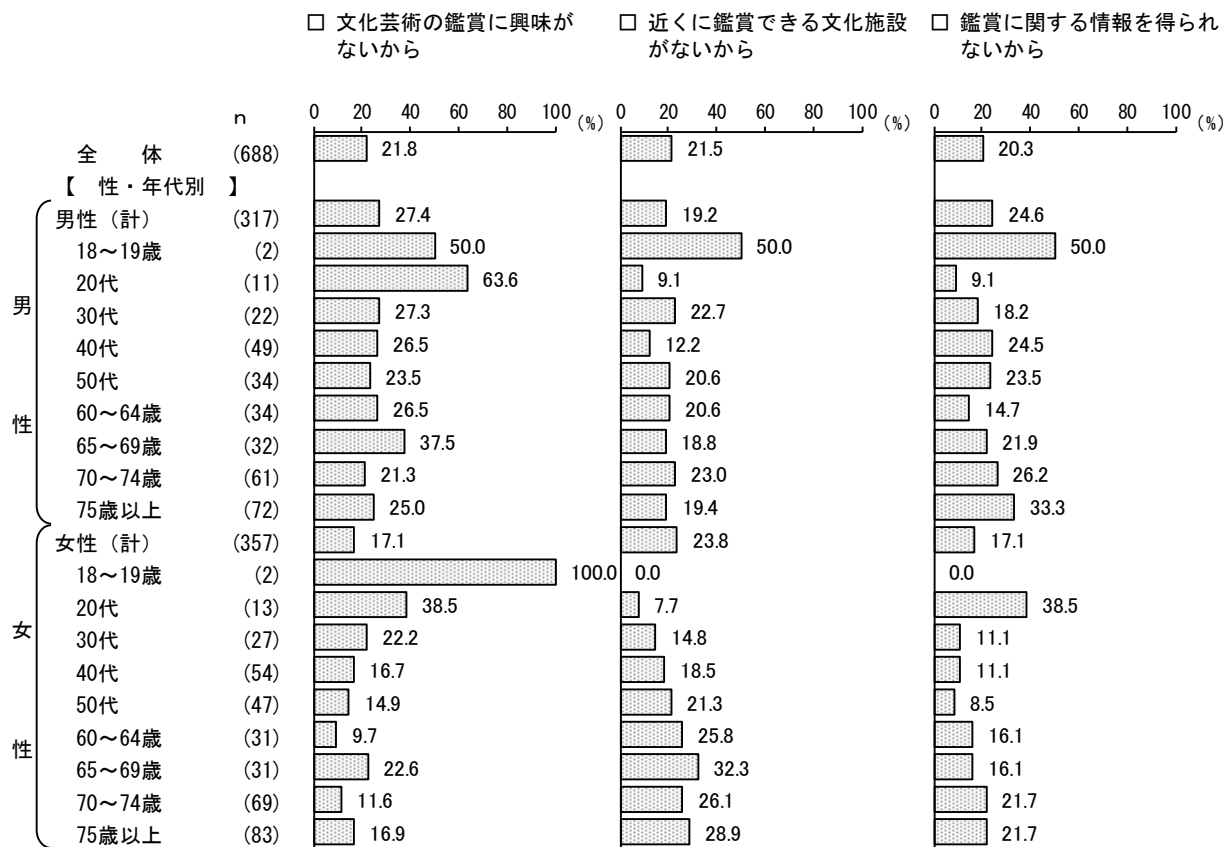
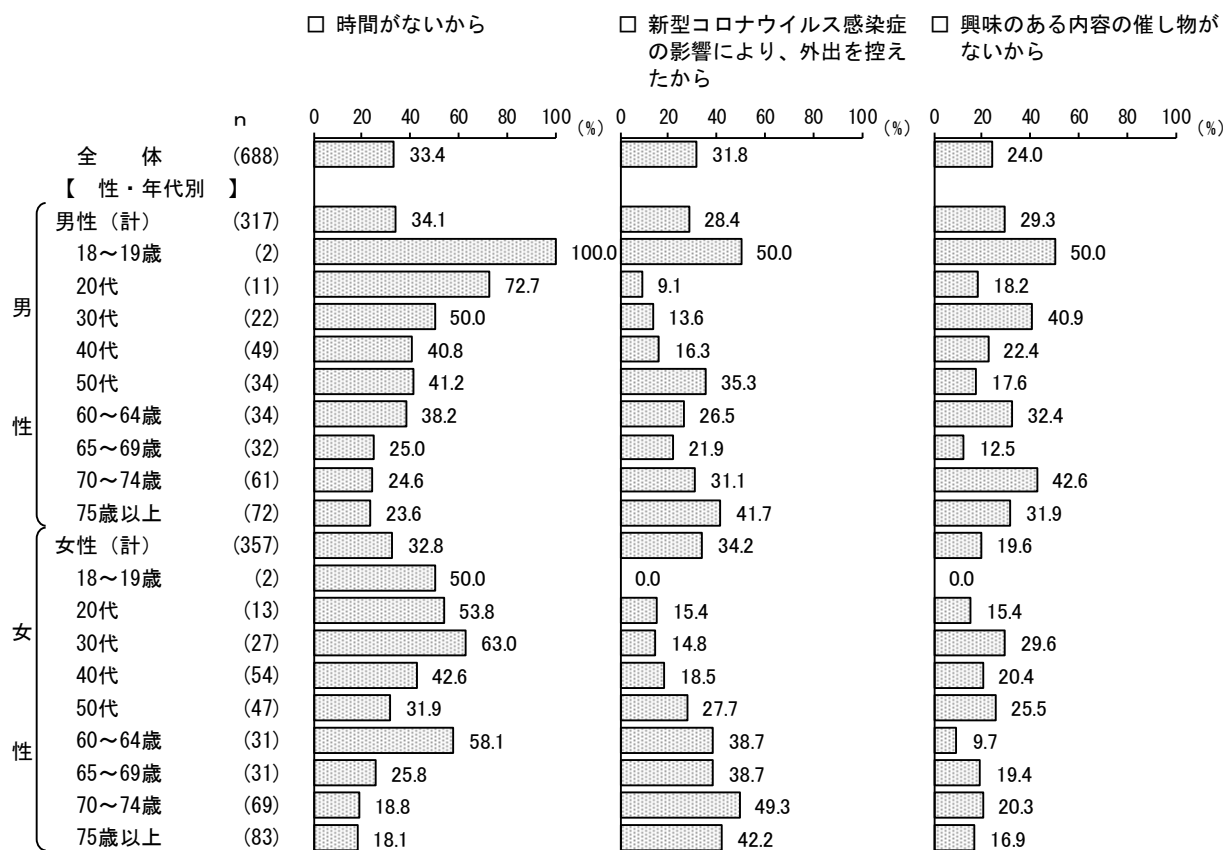
性・年代別にみると、「時間がないから」は女性の60～64歳（58.1％）が約６割で高くなっている。

「新型コロナウイルス感染症の影響により、外出を控えたから」は女性の70～74歳（49.3％）が約５割、女性の75歳以上（42.2％）が４割を超えて高くなっている。

「興味のある内容の催し物がないから」は男性の70～74歳（42.6％）が４割を超えて高くなっている。（図表１－36）

<図表 1-36>文化芸術を鑑賞しなかった理由（複数回答）／地域別、性・年代別（上位 6 項目）





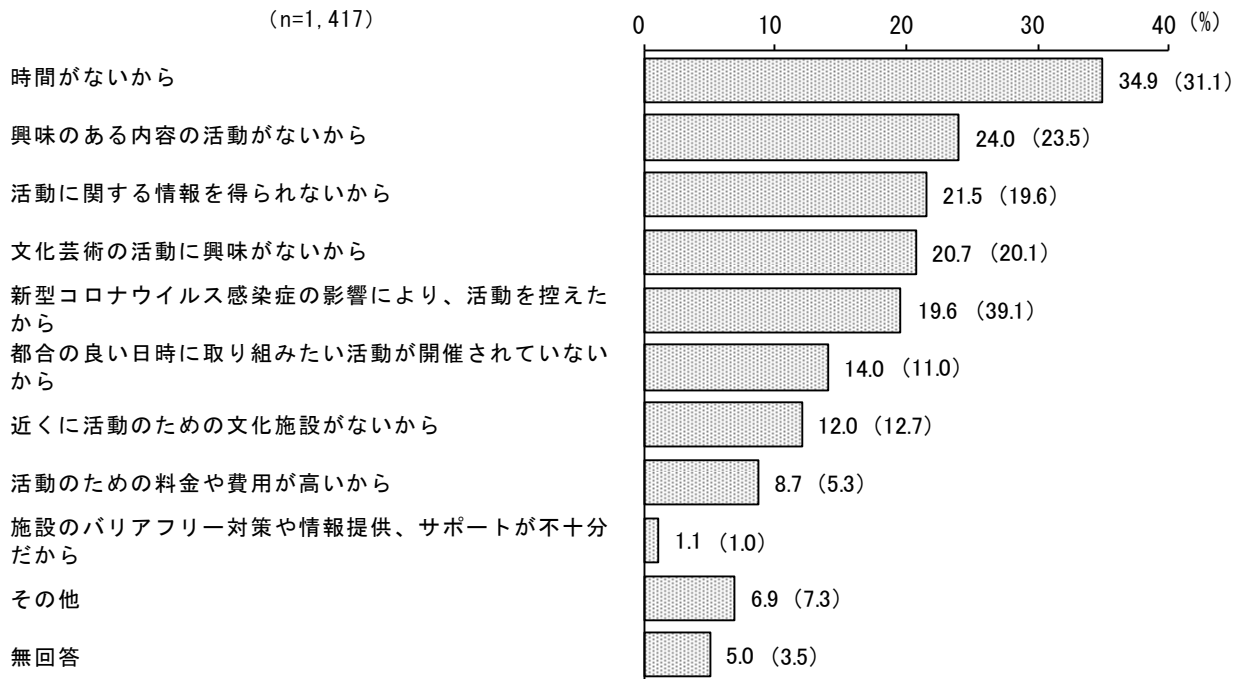
## （15－2）文化芸術活動をしなかった理由

◇「時間がないから」が3割台半ば

（問15（ウ）（エ）のいずれかで「活動しなかった」をお答えの方に）

問15－2 「活動しなかった」とお答えの主な理由は何ですか。（○はいくつでも）

＜図表 1－37＞文化芸術活動をしなかった理由（複数回答）



注）（ ）の数字は令和4年度の同様の項目による調査結果 n=1,446

この1年間の文化芸術活動について、直接またはオンラインで活動しなかったと回答した1,417人を対象に、活動しなかった理由を聞いたところ、「時間がないから」（34.9%）が3割台半ばで最も高く、以下、「興味のある内容の活動がないから」（24.0%）、「活動に関する情報を得られないから」（21.5%）、「文化芸術の活動に興味がないから」（20.7%）が続く。（図表 1－37）

### 【地域別】

地域別にみると、「興味のある内容の活動がないから」は“千葉地域”（30.2%）が3割で高くなっている。（図表 1－38）

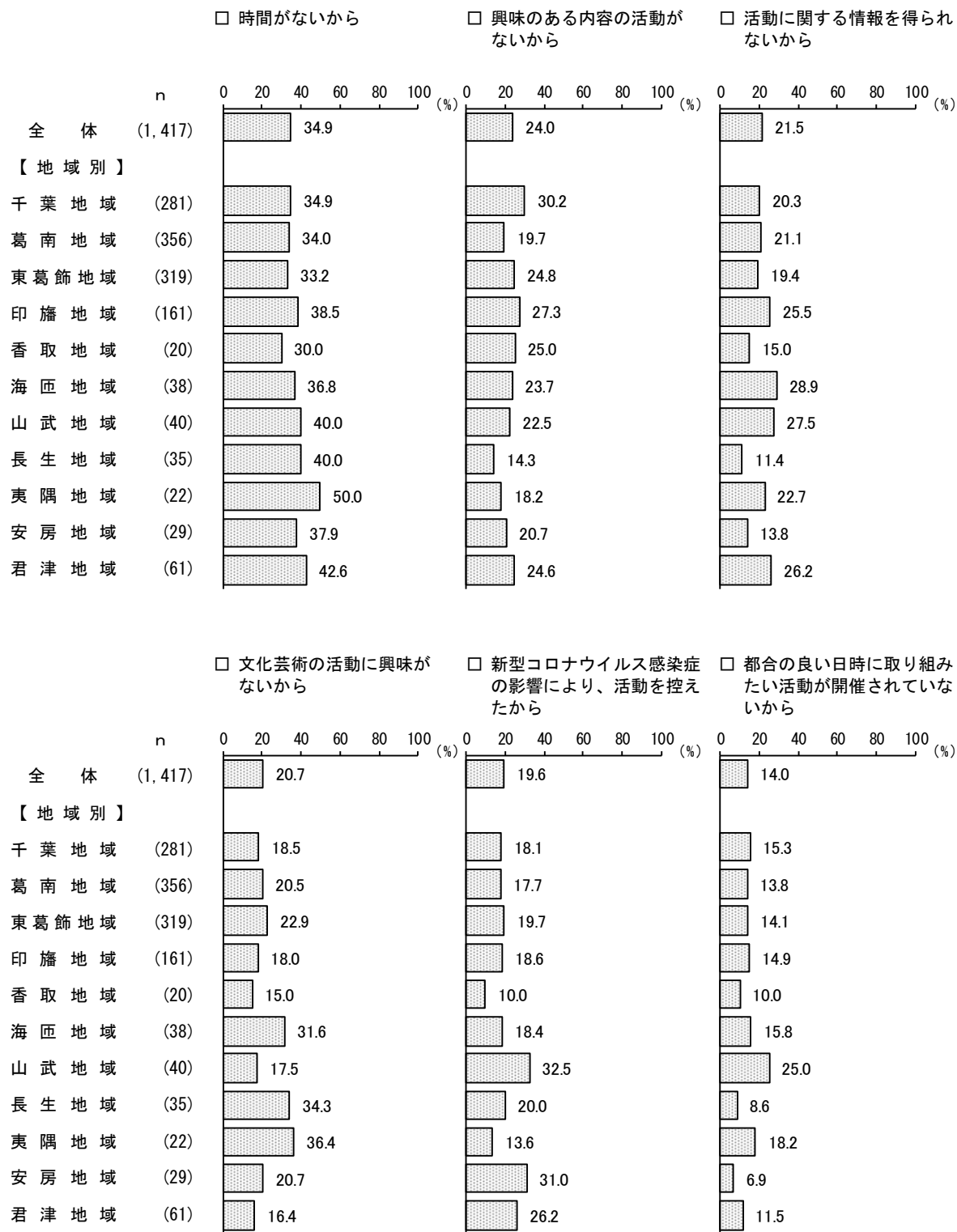
### 【性・年代別】

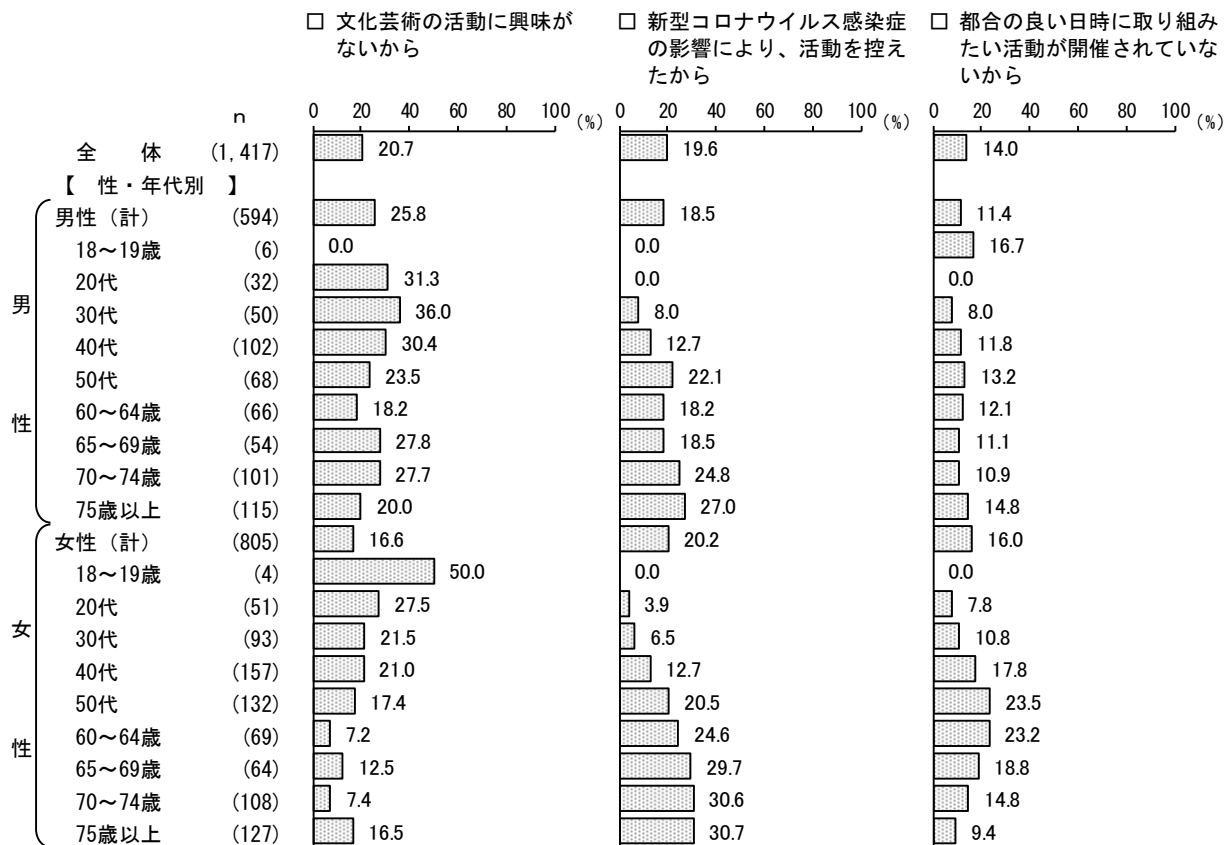
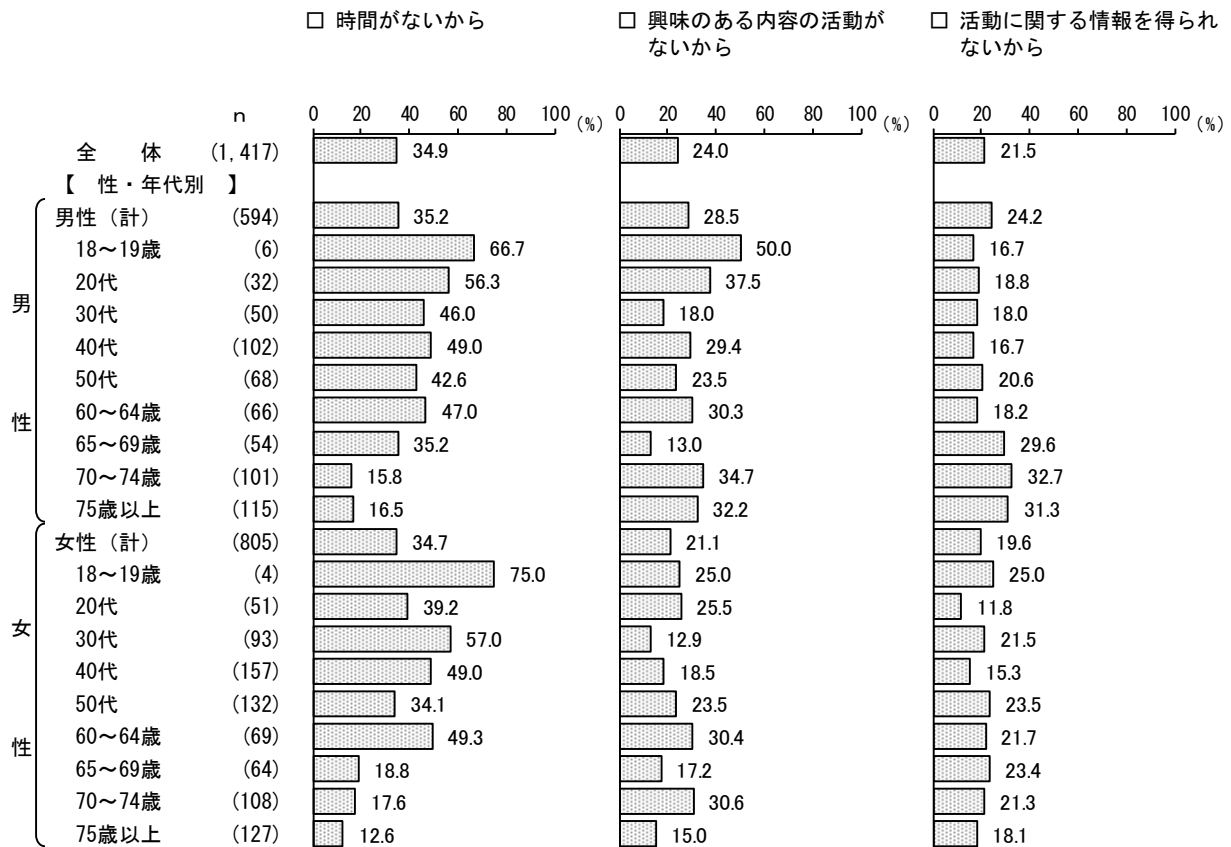
性・年代別にみると、「時間がないから」は女性の30代（57.0%）が約6割、男性の20代（56.3%）が5割台半ば、女性の60～64歳（49.3%）、男性の40代（49.0%）、女性の40代（49.0%）、男性の60～64歳（47.0%）が約5割で高くなっている。

「興味のある内容の活動がないから」は男性の70～74歳（34.7%）が3割台半ば、男性の75歳以上（32.2%）が3割を超えて高くなっている。

「活動に関する情報を得られないから」は男性の70～74歳（32.7%）と男性の75歳以上（31.3%）が3割を超えて高くなっている。（図表1－38）

＜図表1－38＞文化芸術活動をしなかった理由（複数回答）／地域別、性・年代別（上位6項目）



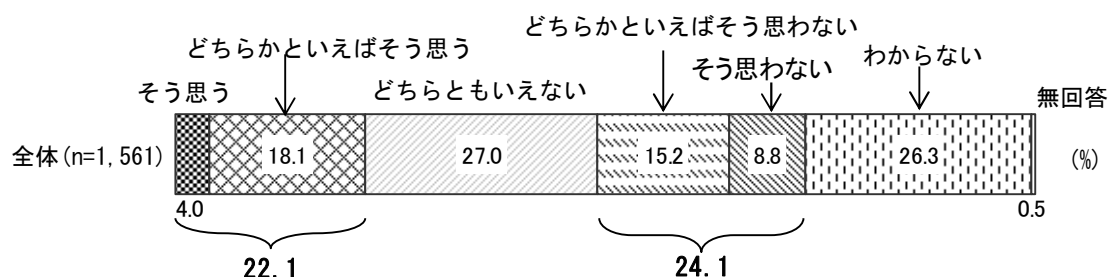


## （16）文化芸術に触れ、自ら取り組むことができる環境の整備状況

◇『そう思う（計）』が2割を超える

問16 あなたは、千葉県において、文化芸術に触れ、自ら取り組むことができる環境が整っていると思いますか。（○は1つ）

＜図表 1－39＞文化芸術に触れ、自ら取り組むことができる環境の整備状況

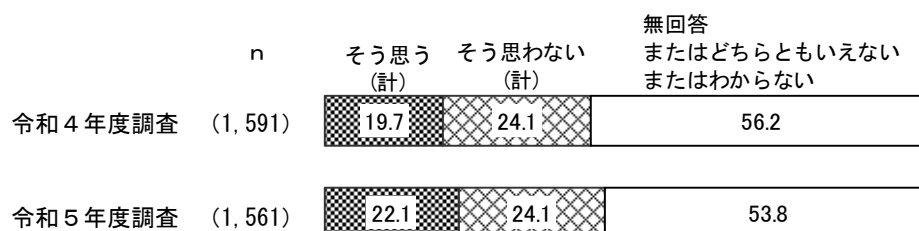


千葉県において、文化芸術に触れ、自ら取り組むことができる環境が整っていると思うか聞いたところ、「そう思う」(4.0%)と「どちらかといえばそう思う」(18.1%)を合わせた『そう思う(計)』(22.1%)が2割を超えている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」(15.2%)と「そう思わない」(8.8%)を合わせた『そう思わない(計)』(24.1%)が2割台半ばとなっている。

また、「どちらともいえない」(27.0%)が約3割となっている。(図表 1－39)

〔参考〕令和4年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



### 【地域別】

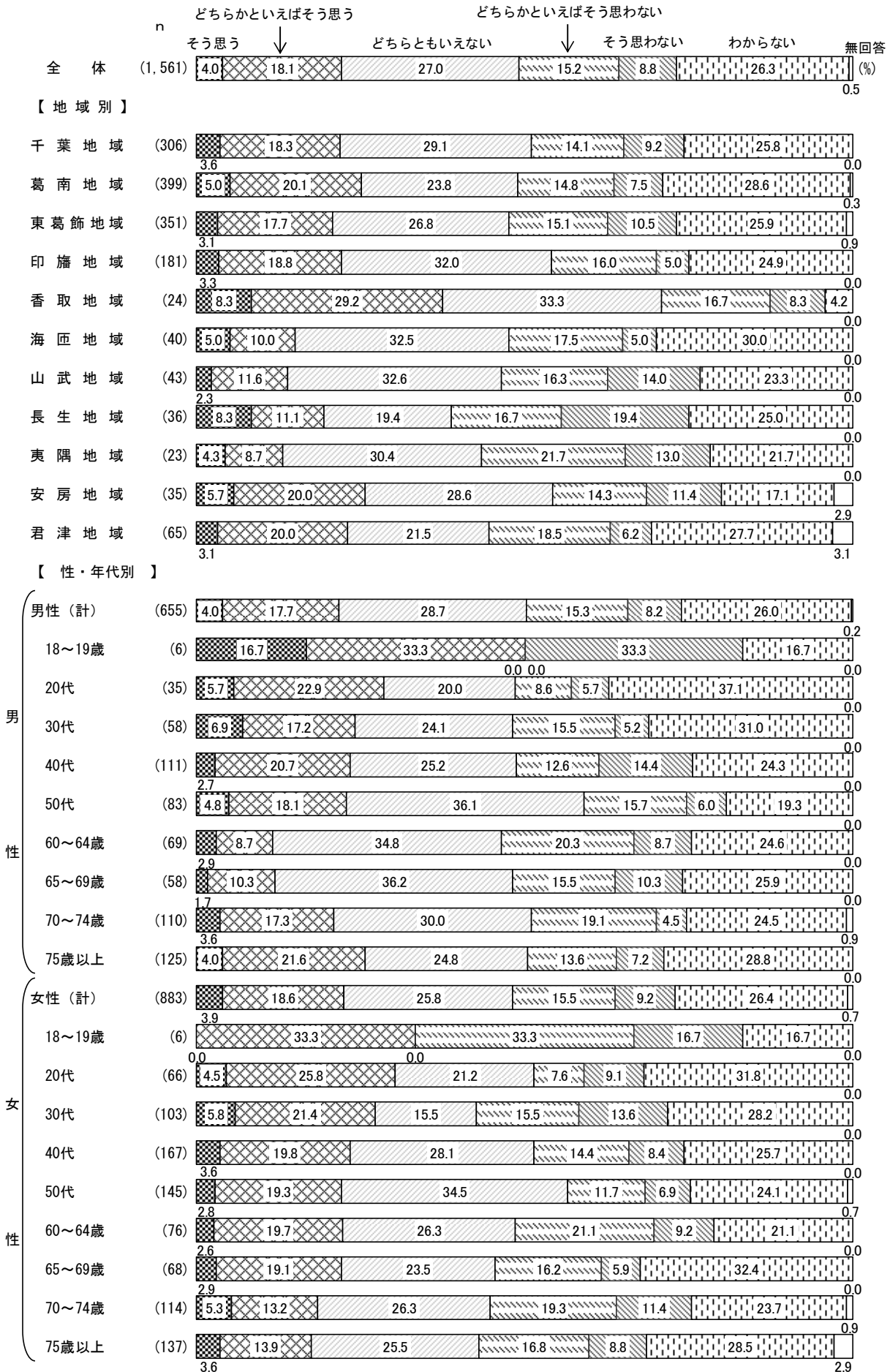
地域別にみると、大きな傾向の違いは見られない。(図表 1－40)

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、大きな傾向の違いは見られない。(図表 1－40)



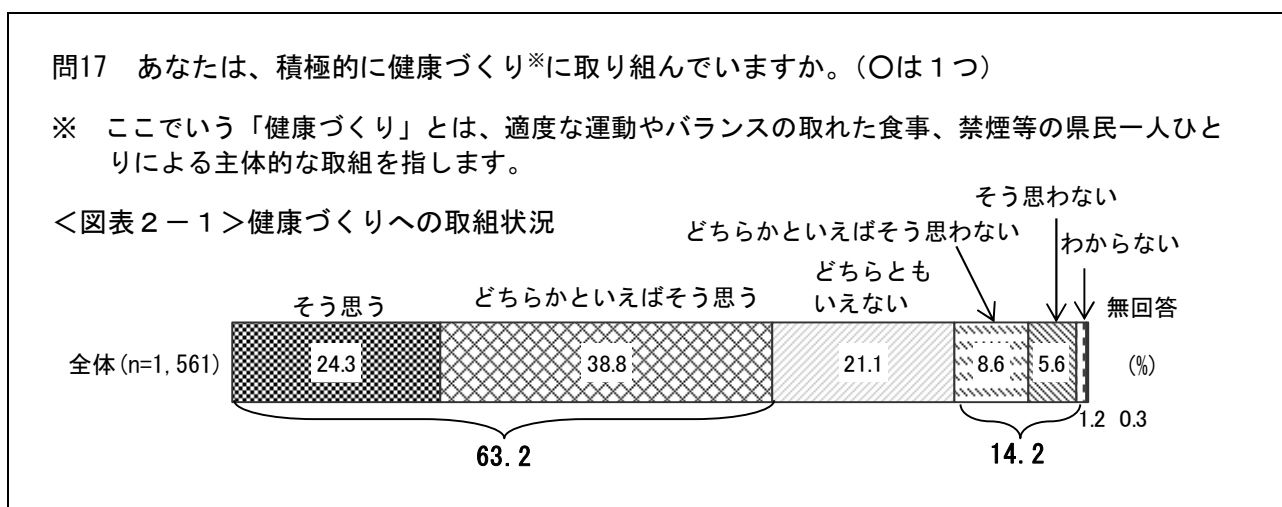
＜図表 1－40＞文化芸術に触れ、自ら取り組むことができる環境の整備状況／地域別、性・年代別



## 2 健康について

### （１）健康づくりへの取組状況

◇『そう思う（計）』が6割を超える



積極的に健康づくりに取り組んでいるか聞いたところ、「そう思う」（24.3%）と「どちらかといえばそう思う」（38.8%）を合わせた『そう思う（計）』（63.2%）が6割を超えている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」（8.6%）と「そう思わない」（5.6%）を合わせた『そう思わない（計）』（14.2%）が1割台半ばとなっている。（図表 2－1）

〔参考〕令和3年度・4年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



#### 【地域別】

地域別にみると、「そう思わない」は“長生地域”（16.7%）が1割台半ばで高くなっている。

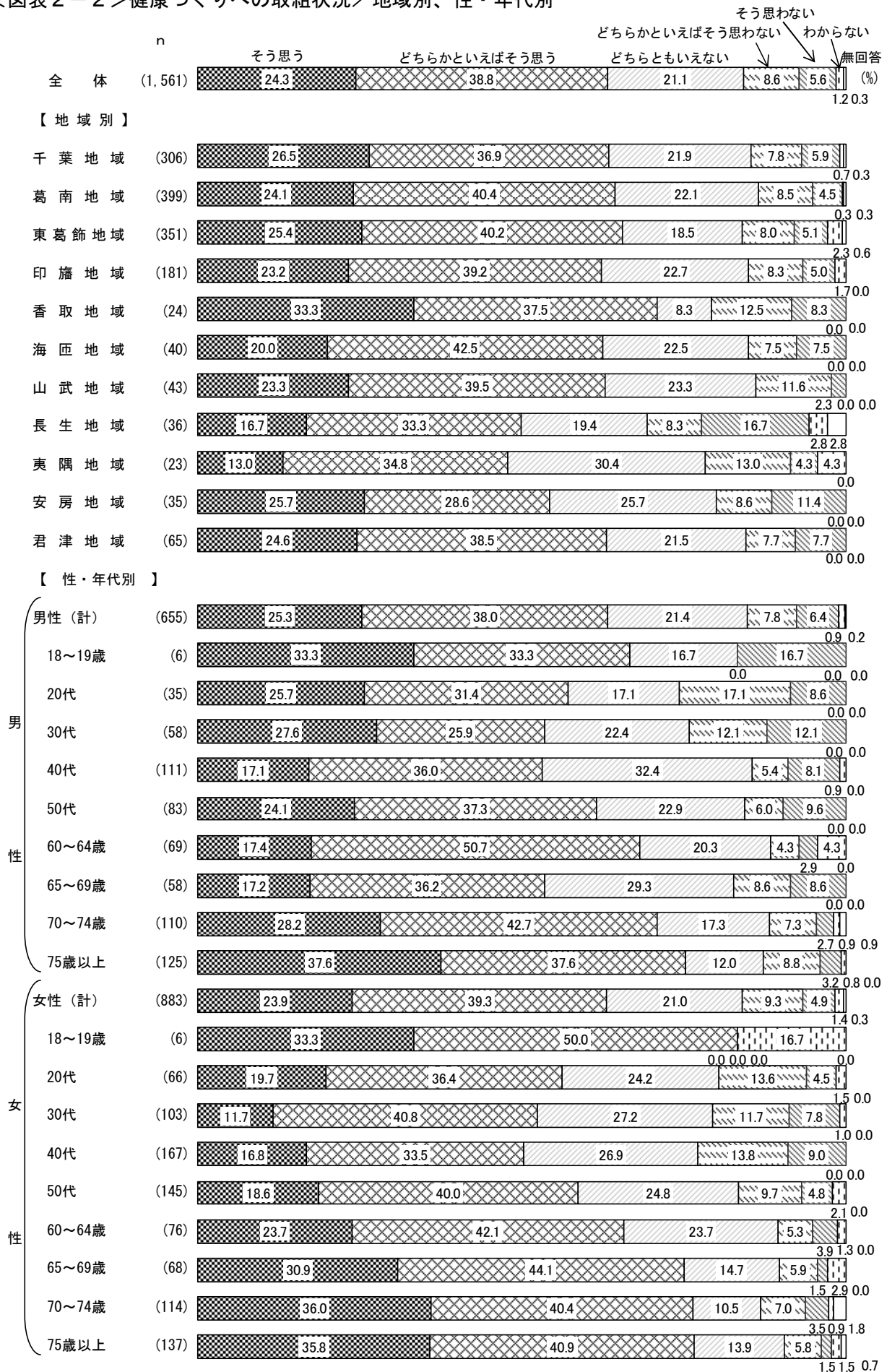
（図表 2－2）

#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う（計）』は女性の75歳以上（76.6%）、女性の70～74歳（76.3%）、男性の75歳以上（75.2%）、女性の65～69歳（75.0%）が7割台半ばで高くなっている。

一方、『そう思わない（計）』は男性の20代（25.7%）と男性の30代（24.1%）が2割台半ば、女性の40代（22.8%）が2割を超えて高くなっている。（図表 2－2）

<図表 2-2>健康づくりへの取組状況／地域別、性・年代別

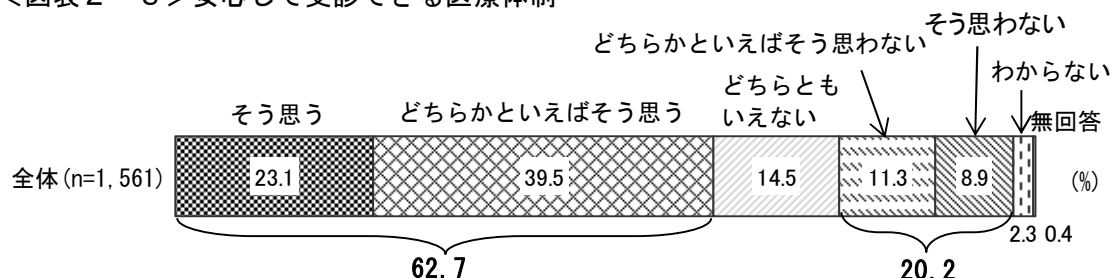


## （２）安心して受診できる医療体制

◇『そう思う（計）』が６割を超える

問18 あなたは、自分が住み慣れた地域で安心して受診できる医療体制にあると思いますか。  
（○は１つ）

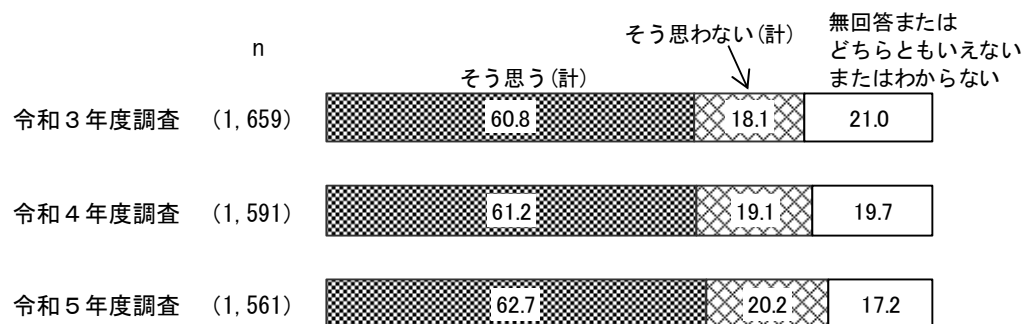
＜図表２－３＞安心して受診できる医療体制



住み慣れた地域で安心して受診できる医療体制にあると思うか聞いたところ、「そう思う」（23.1%）と「どちらかといえばそう思う」（39.5%）を合わせた『そう思う（計）』（62.7%）が６割を超えている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」（11.3%）と「そう思わない」（8.9%）を合わせた『そう思わない（計）』（20.2%）が２割となっている。（図表２－３）

〔参考〕令和３年度・４年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



### 【地域別】

地域別にみると、『そう思う（計）』は“葛南地域”（69.2%）と“東葛飾地域”（68.1%）が約７割で高くなっている。

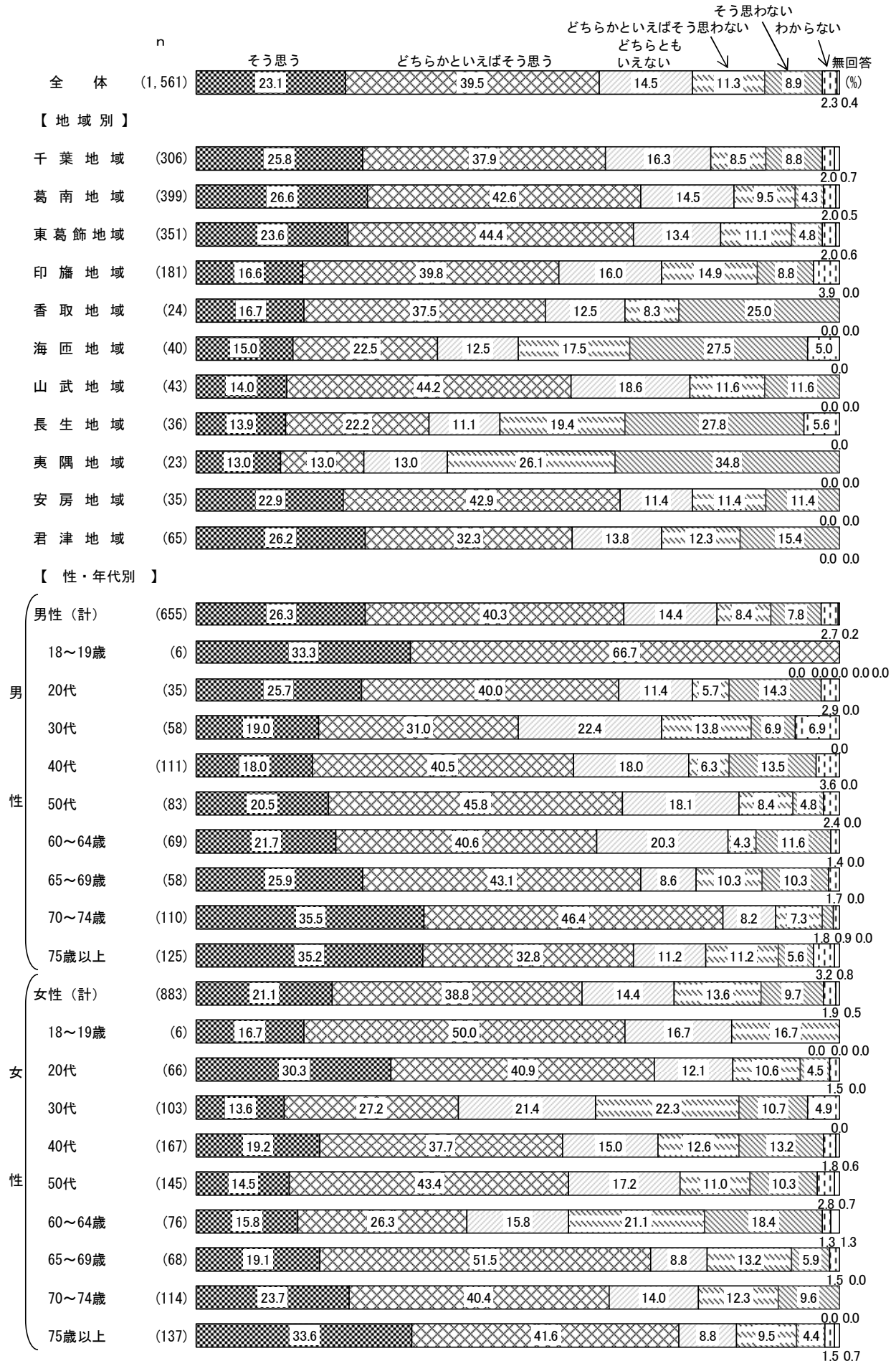
一方、『そう思わない（計）』は“長生地域”（47.2%）が約５割、“海匝地域”（45.0%）が４割台半ばで高くなっている。（図表２－４）

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う（計）』は男性の70～74歳（81.8%）が８割を超え、女性の75歳以上（75.2%）が７割台半ばで高くなっている。

一方、『そう思わない（計）』は女性の60～64歳（39.5%）が約４割、女性の30代（33.0%）が３割を超えて高くなっている。（図表２－４）

&lt;図表2-4&gt;安心して受診できる医療体制／地域別、性・年代別

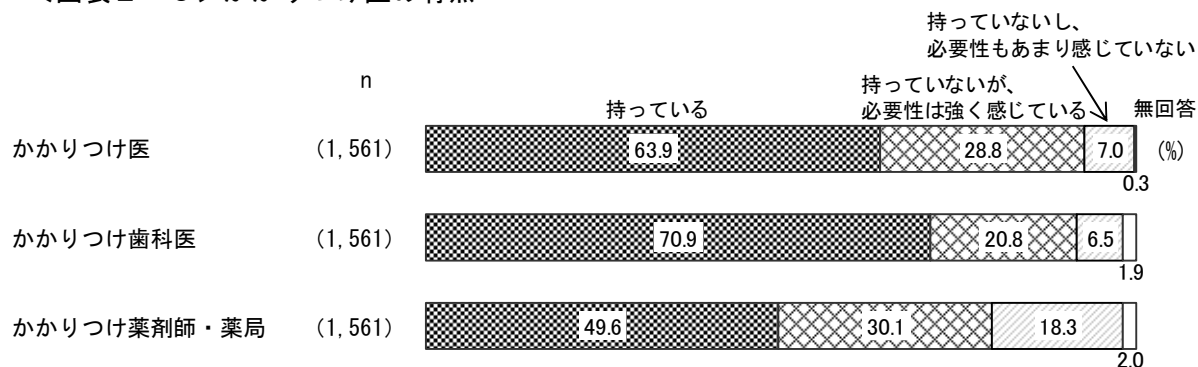


### （３）かかりつけ医の有無

◇かかりつけ歯科医を持っているが７割、かかりつけ医を持っているが６割台半ば

問19 「かかりつけ医」、「かかりつけ歯科医」、「かかりつけ薬剤師・薬局」をお持ちですか。  
（○はそれぞれ１つずつ）

＜図表２－５＞かかりつけ医の有無



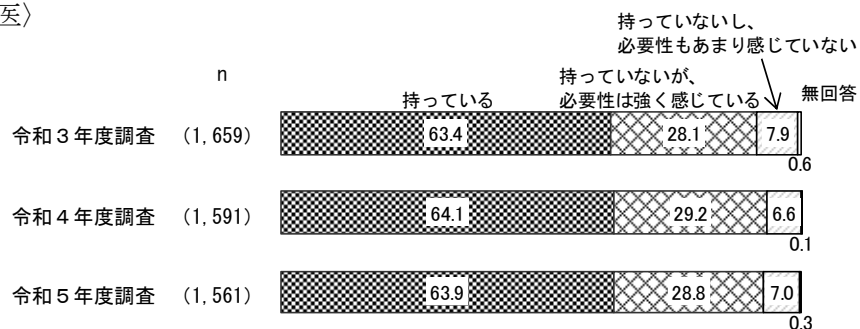
かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬剤師・薬局を持っているかどうかを聞いたところ、「持っている」は〈かかりつけ歯科医〉（70.9%）が７割、〈かかりつけ医〉（63.9%）が６割台半ば、〈かかりつけ薬剤師・薬局〉（49.6%）が約５割となっている。

また、「持っていないが、必要性は強く感じている」は〈かかりつけ薬剤師・薬局〉（30.1%）が３割、〈かかりつけ医〉（28.8%）が約３割、〈かかりつけ歯科医〉（20.8%）が２割となっている。

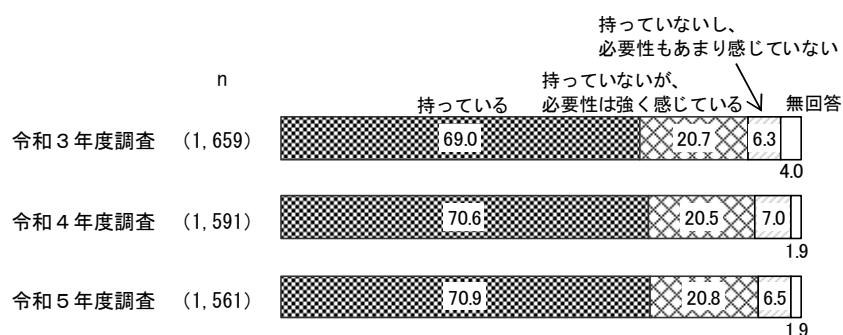
「持っていないし、必要性もあまり感じていない」は〈かかりつけ薬剤師・薬局〉（18.3%）が約２割となっている。（図表２－５）

〔参考〕令和３年度・４年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

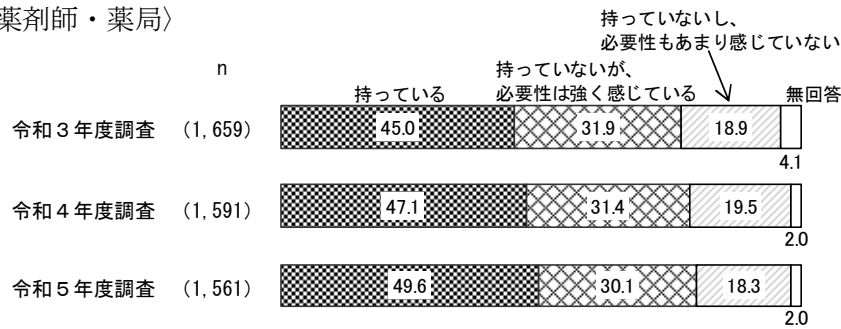
〈かかりつけ医〉



〈かかりつけ歯科医〉



〈かかりつけ薬剤師・薬局〉



【地域別】

地域別にみると、〈かかりつけ医〉を「持っている」は“君津地域”（75.4%）が7割台半ばで高くなっている。また、「持っていないが、必要性は強く感じている」は“印旛地域”（35.9%）が3割台半ばで高くなっている。

〈かかりつけ歯科医〉については、「持っていないが、必要性は強く感じている」は“葛南地域”（25.1%）が2割台半ばで高くなっている。

〈かかりつけ薬剤師・薬局〉については、「持っている」は“君津地域”（63.1%）が6割を超えて高くなっている。（図表2－6）

【性・年代別】

性・年代別にみると、〈かかりつけ医〉を「持っている」は女性の75歳以上（89.8%）が約9割、男性の75歳以上（85.6%）が8割台半ば、女性の70～74歳（79.8%）が約8割、男性の70～74歳（74.5%）が7割台半ばで高くなっている。

「持っていないが、必要性は強く感じている」は女性の30代（53.4%）が5割を超え、男性の40代（42.3%）が4割を超え、女性の20代（40.9%）と女性の60～64歳（40.8%）が4割、女性の40代（35.3%）が3割台半ばで高くなっている。

「持っていないし、必要性もあまり感じていない」は男性の20代（25.7%）が2割台半ば、男性の30代（19.0%）が約2割で高くなっている。

〈かかりつけ歯科医〉を「持っている」は女性の70～74歳（89.5%）が約9割、女性の75歳以上（80.3%）と男性の70～74歳（80.0%）が8割で高くなっている。

「持っていないが、必要性は強く感じている」は男性の30代（37.9%）と男性の20代（37.1%）が約4割、男性の50代（32.5%）が3割を超えて高くなっている。

「持っていないし、必要性もあまり感じていない」は男性の20代（22.9%）が2割を超え、男性の30代（13.8%）と男性の40代（13.5%）が1割台半ばで高くなっている。

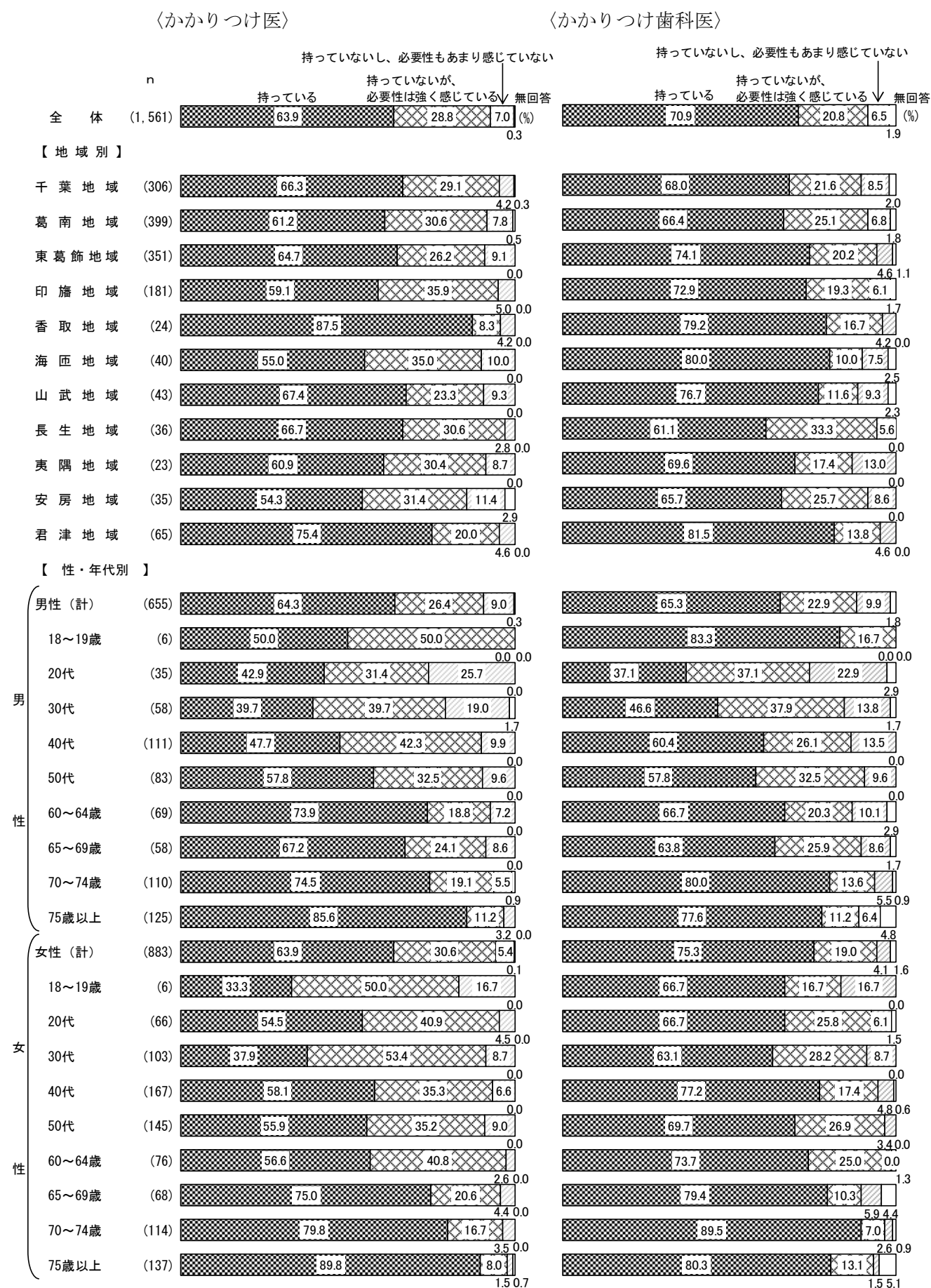
〈かかりつけ薬剤師・薬局〉を「持っている」は女性の75歳以上（71.5%）が7割を超え、女性の70～74歳（70.2%）が7割、女性の65～69歳（66.2%）と男性の75歳以上（65.6%）が6割台半ばで高くなっている。

「持っていないが、必要性は強く感じている」は女性の30代（48.5%）と女性の20代（47.0%）が約5割、男性の40代（45.0%）が4割台半ば、女性の50代（37.2%）が約4割で高くなっている。

「持っていないし、必要性もあまり感じていない」は男性の30代（36.2%）と男性の20代（34.3%）が3割台半ば、男性の50代（26.5%）と女性の40代（24.0%）が2割台半ばで高くなっている。

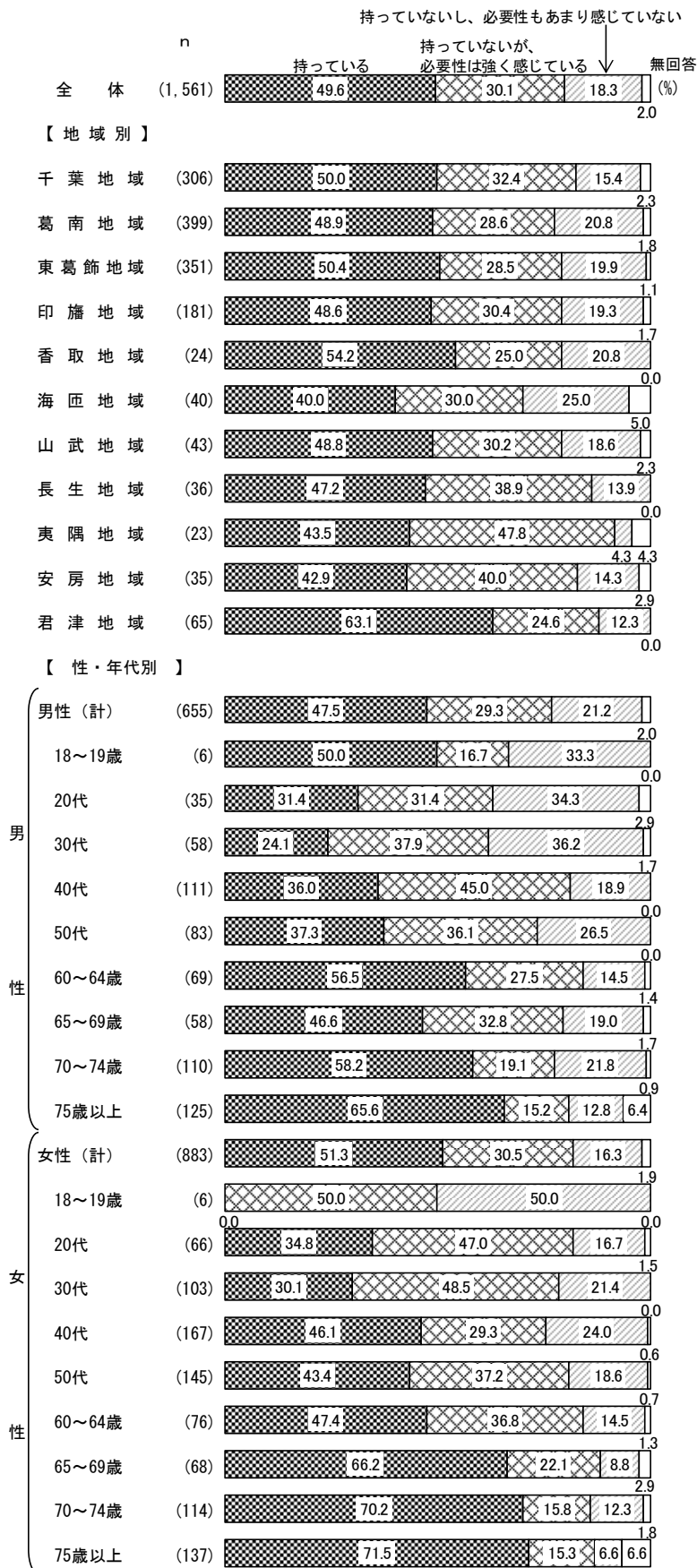
（図表2－6）

＜図表 2－6＞かかりつけ医の有無／地域別、性・年代別





〈かかりつけ薬剤師・薬局〉



### 3 福祉について

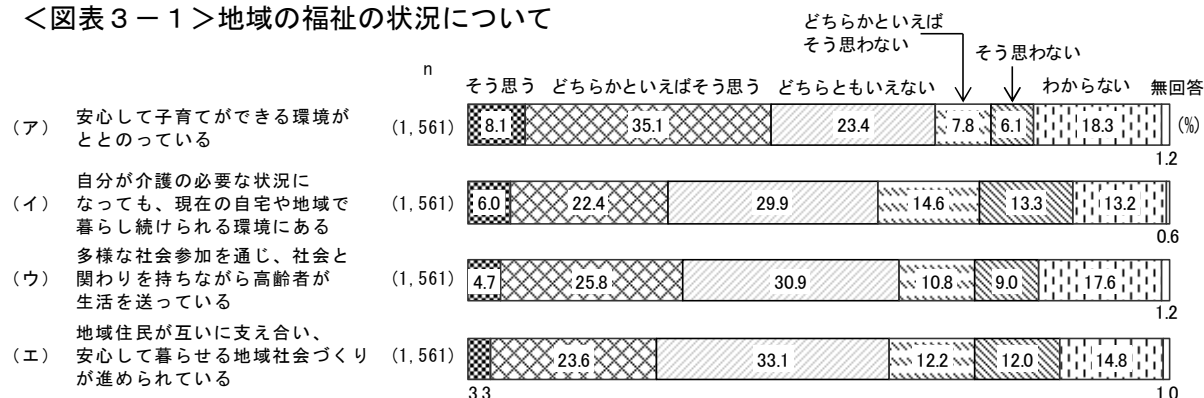
#### （１）地域の福祉の状況について

◇『そう思う（計）』が＜安心して子育てができる環境がととのっている＞で４割を超える

問20 以下について、お住まいの地域はどのような状況だと思いますか。

（○はそれぞれ１つずつ）

＜図表３－１＞地域の福祉の状況について



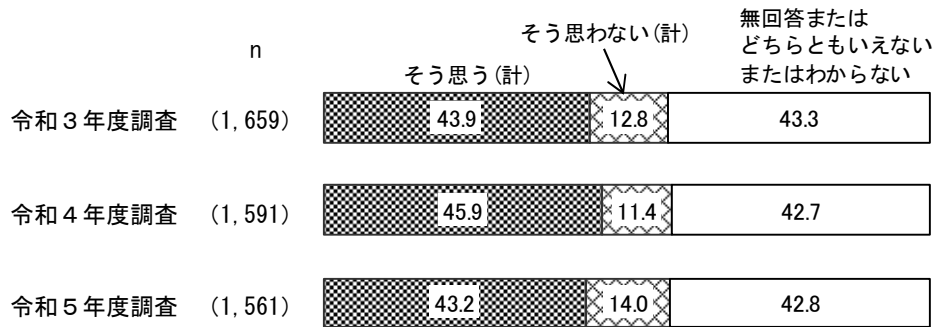
地域の福祉の状況に関する４項目について、お住まいの地域がどのような状況か聞いたところ、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う（計）』は、「(ア) 安心して子育てができる環境がととのっている」（43.2％）で４割を超えており、「(ウ) 多様な社会参加を通じ、社会と関わりを持ちながら高齢者が生活を送っている」（30.5％）が３割、「(イ) 自分が介護の必要な状況になっても、現在の自宅や地域で暮らし続けられる環境にある」（28.4％）が約３割となっている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない（計）』は、「(イ) 自分が介護の必要な状況になっても、現在の自宅や地域で暮らし続けられる環境にある」（27.9％）で約３割となっており、「(エ) 地域住民が互いに支え合い、安心して暮らせる地域社会づくりが進められている」（24.2％）が２割台半ば、「(ウ) 多様な社会参加を通じ、社会と関わりを持ちながら高齢者が生活を送っている」（19.8％）が約２割となっている。

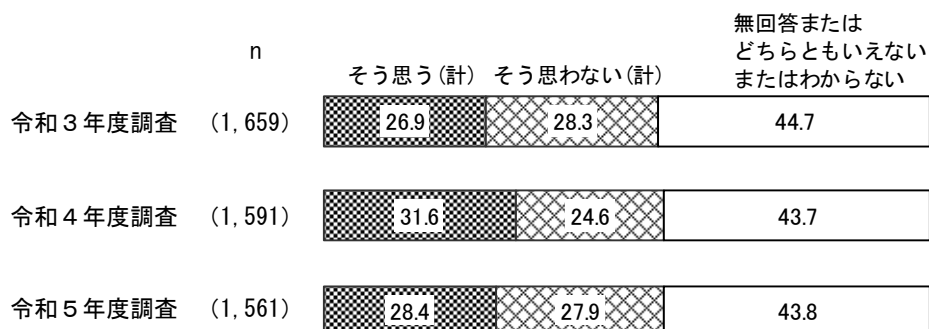
（図表３－１）

〔参考〕 令和3年度・4年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

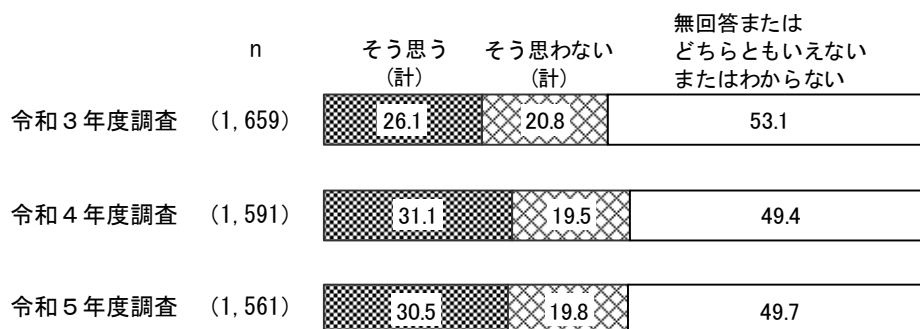
安心して子育てができる環境がととのっている



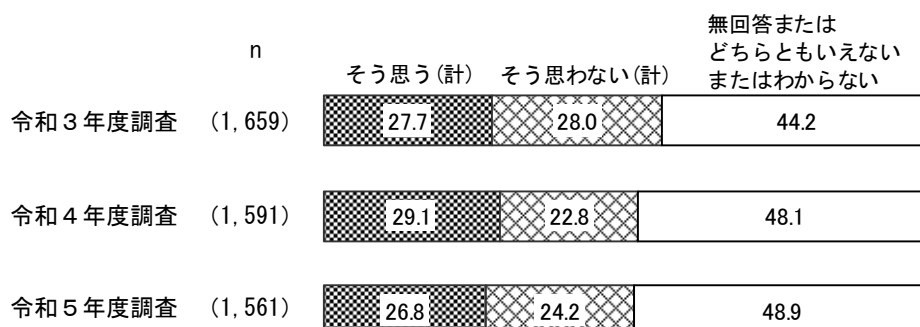
自分が介護の必要な状況になっても、現在の自宅や地域で暮らし続けられる環境にある



多様な社会参加を通じ、社会と関わりを持ちながら高齢者が生活を送っている



地域住民が互いに支え合い、安心して暮らせる地域社会づくりが進められている



### 【地域別】

地域別にみると、「(ア) 安心して子育てができる環境がととのっている」の『そう思わない(計)』は“海匝地域”(42.5%)が4割を超えて高くなっている。

「(イ) 自分が介護の必要な状況になっても、現在の自宅や地域で暮らし続けられる環境にある」の『そう思う(計)』は“東葛飾地域”(34.2%)が3割台半ばで高くなっている。

一方、『そう思わない(計)』は“長生地域”(44.4%)が4割台半ば、“山武地域”(41.9%)が4割を超えて高くなっている。

「(ウ) 多様な社会参加を通じ、社会と関わりを持ちながら高齢者が生活を送っている」の『そう思う(計)』は“東葛飾地域”(35.0%)が3割台半ばで高くなっている。

一方、『そう思わない(計)』は“海匝地域”(35.0%)が3割台半ば、“山武地域”(32.6%)が3割を超えて高くなっている。

「(エ) 地域住民が互いに支え合い、安心して暮らせる地域社会づくりが進められている」の『そう思わない(計)』は“海匝地域”(47.5%)が約5割、“山武地域”(41.9%)が4割を超えて高くなっている。(図表3-2)

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「(ア) 安心して子育てができる環境がととのっている」の『そう思う(計)』は男性の50代(54.2%)が5割台半ばで高くなっている。

一方、『そう思わない(計)』は女性の40代(23.4%)と女性の30代(23.3%)が2割を超えて高くなっている。

「(イ) 自分が介護の必要な状況になっても、現在の自宅や地域で暮らし続けられる環境にある」の『そう思う(計)』は女性の75歳以上(38.7%)が約4割で高くなっている。

一方、『そう思わない(計)』は女性の30代(41.7%)が4割を超え、女性の40代(38.3%)が約4割で高くなっている。

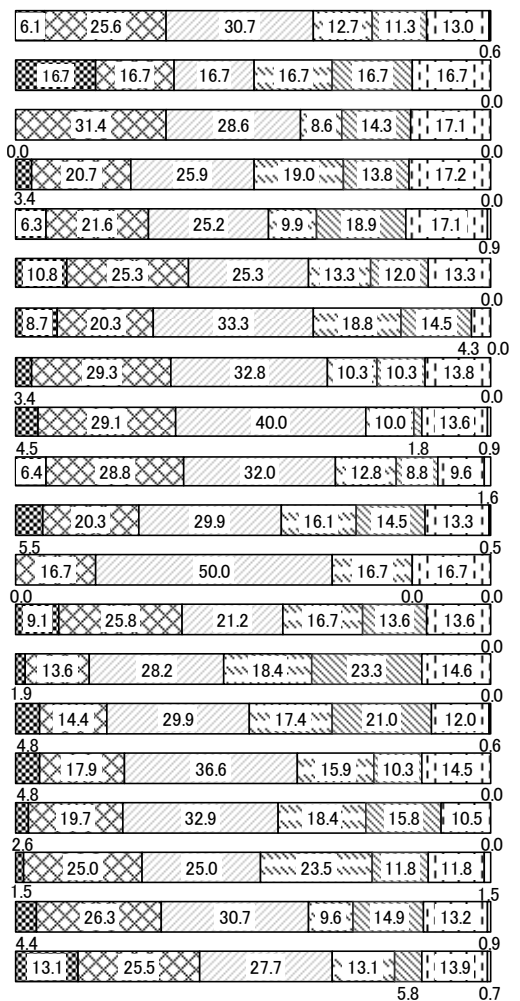
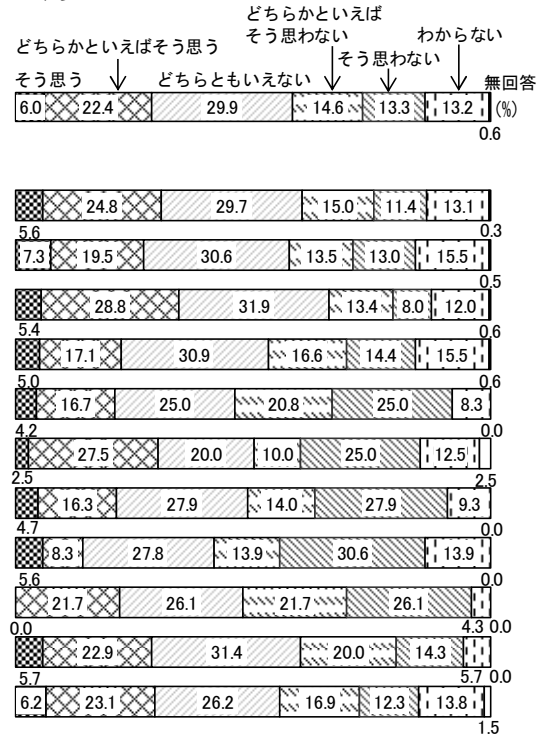
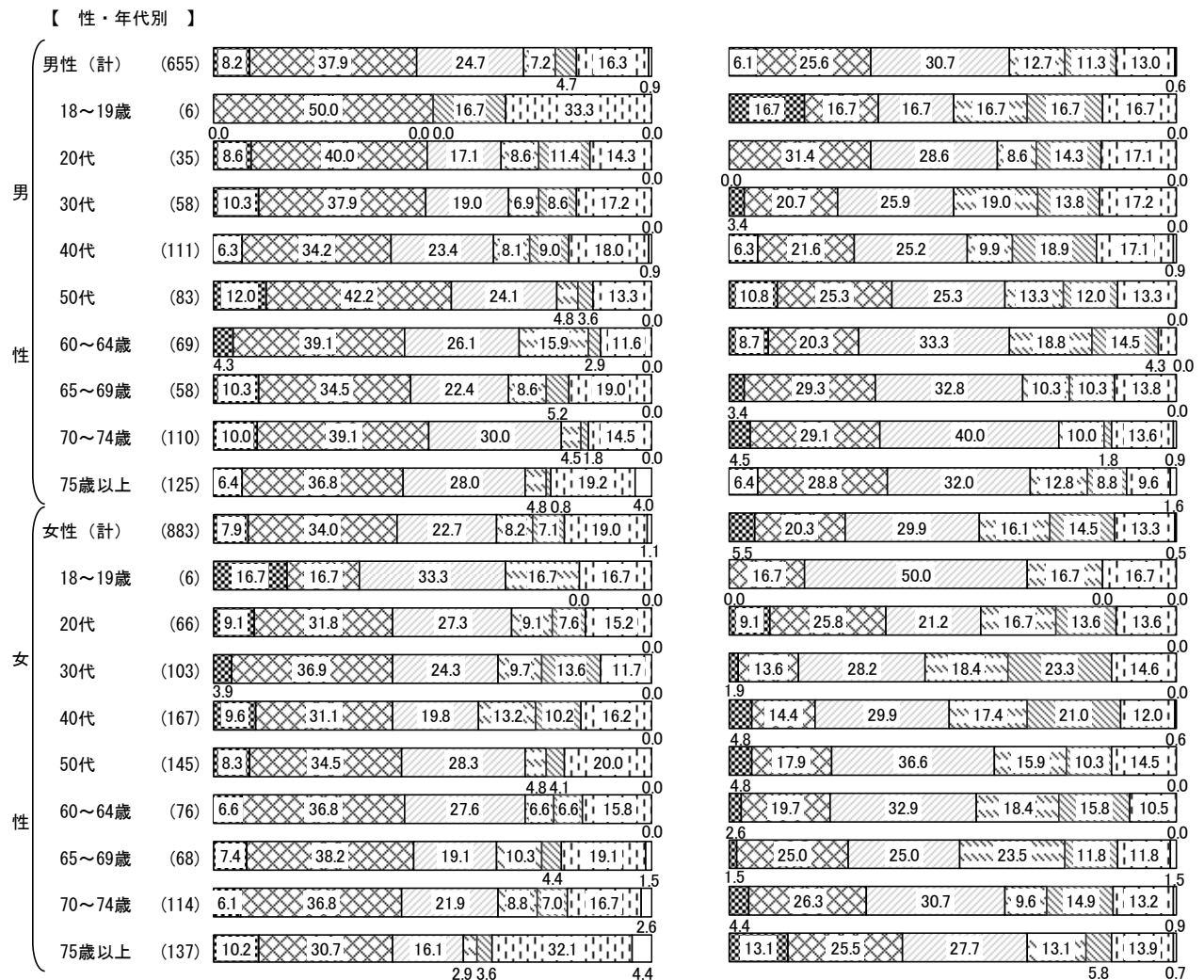
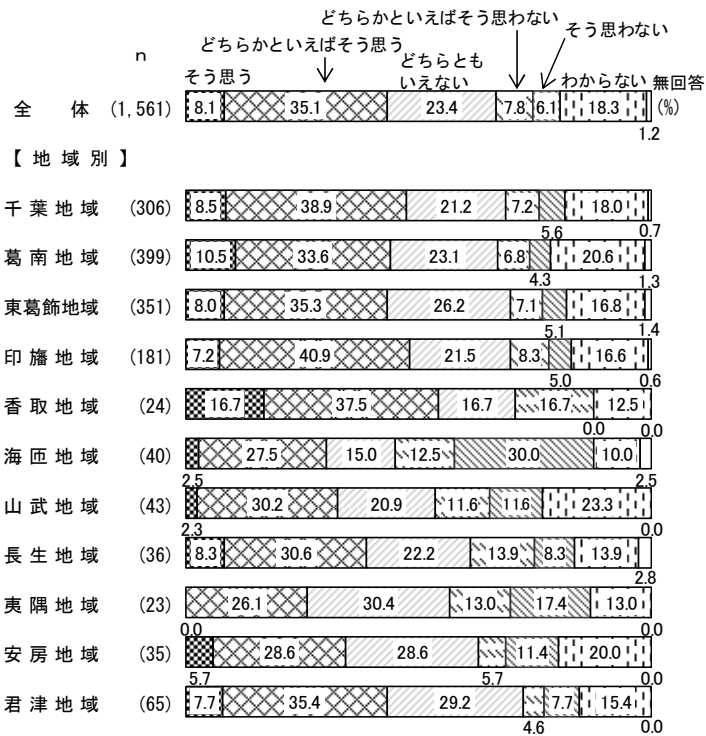
「(ウ) 多様な社会参加を通じ、社会と関わりを持ちながら高齢者が生活を送っている」の『そう思う(計)』は男性の20代(45.7%)が4割台半ば、女性の75歳以上(38.0%)が約4割で高くなっている。

「(エ) 地域住民が互いに支え合い、安心して暮らせる地域社会づくりが進められている」の『そう思う(計)』は男性の50代(43.4%)が4割を超え、女性の20代(39.4%)が約4割で高くなっている。

一方、『そう思わない(計)』は女性の60～64歳(35.5%)が3割台半ばで高くなっている。

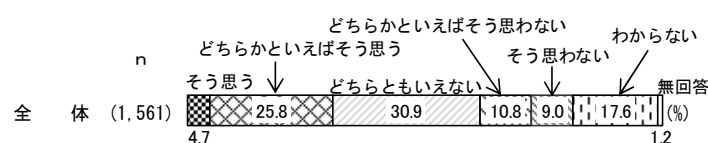
(図表3-2)

&lt;図表3-2&gt;地域の福祉の状況について／地域別、性・年代別

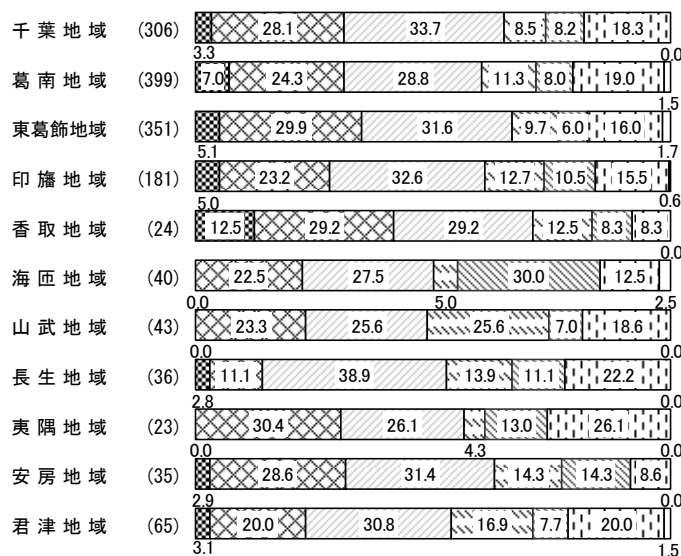
(ア) 安心して子育てができる  
環境がととのっている(イ) 自分が介護の必要な状況になっても、  
現在の自宅や地域で暮らし続けられる  
環境にある

(ウ) 多様な社会参加を通じ、社会と関わりを  
持ちながら高齢者が生活を送っている

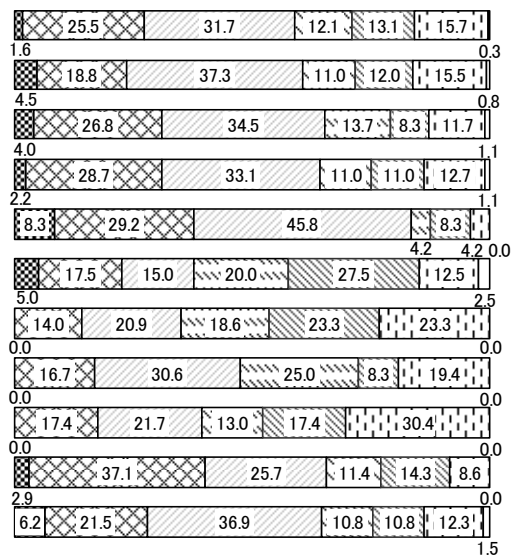
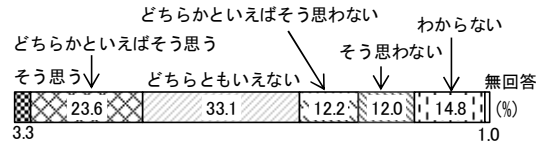
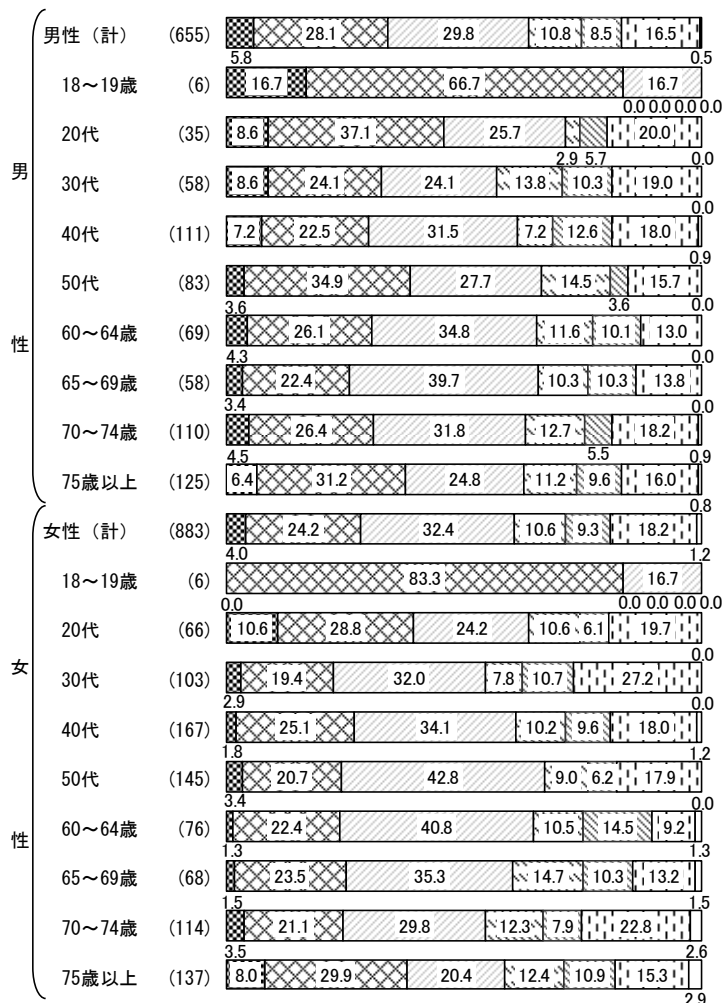
(エ) 地域住民が互いに支え合い、安心して  
暮らせる地域社会づくりが進められて  
いる



【 地域別 】



【 性・年代別 】

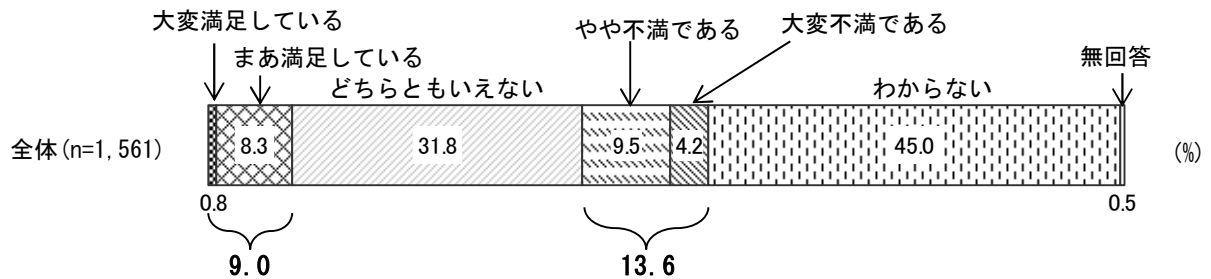


## （２）お年寄りが安心して暮らせる高齢者施策について

◇『満足している（計）』が約１割

問21 あなたは、県が進めている「お年寄りが安心して暮らせる高齢者施策」についてどうお感じですか。（○は１つ）

＜図表３－３＞お年寄りが安心して暮らせる高齢者施策について

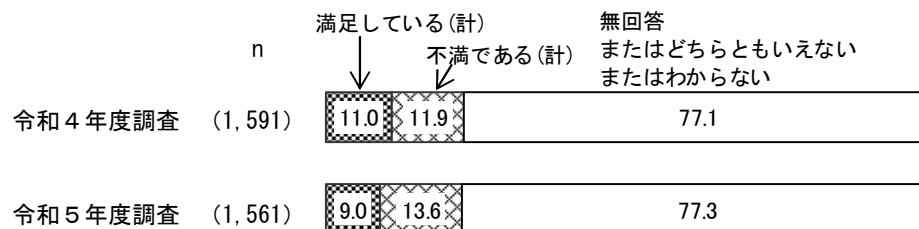


県が進めている「お年寄りが安心して暮らせる高齢者施策」について、その満足度を聞いたところ、「大変満足している」（0.8％）と「まあ満足している」（8.3％）を合わせた『満足している（計）』（9.0％）が約１割となっている。

一方、「やや不満である」（9.5％）と「大変不満である」（4.2％）を合わせた『不満である（計）』（13.6％）が１割台半ばとなっている。

また、「どちらともいえない」（31.8％）が３割を超えている。（図表３－３）

【参考】令和４年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



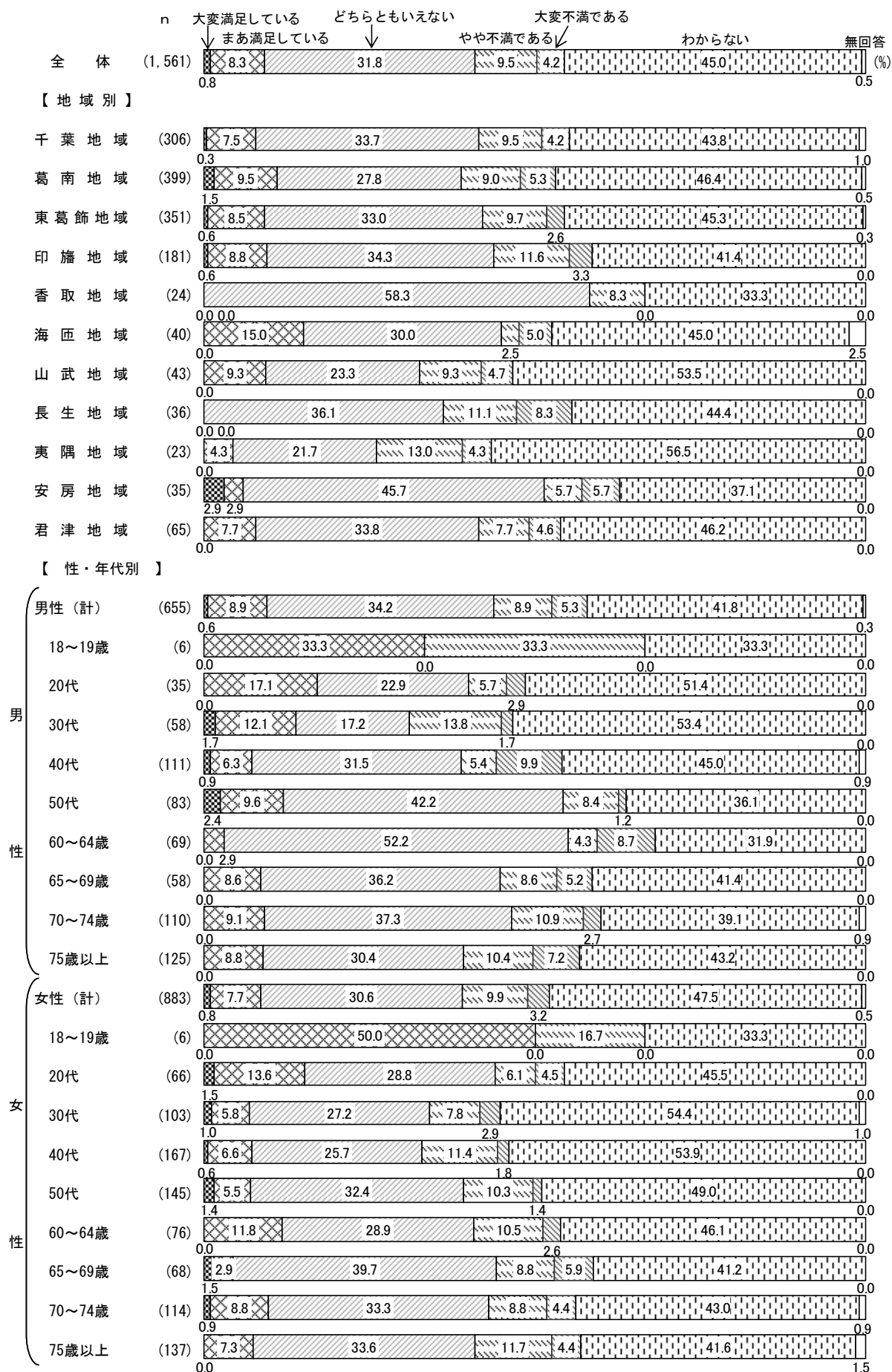
### 【地域別】

地域別にみると、大きな傾向の違いはみられない。（図表３－４）

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「わからない」は女性の30代（54.4％）と女性の40代（53.9％）が５割台半ばで高くなっている。（図表３－４）

＜図表３－４＞お年寄りが安心して暮らせる高齢者施策について／地域別、性・年代別



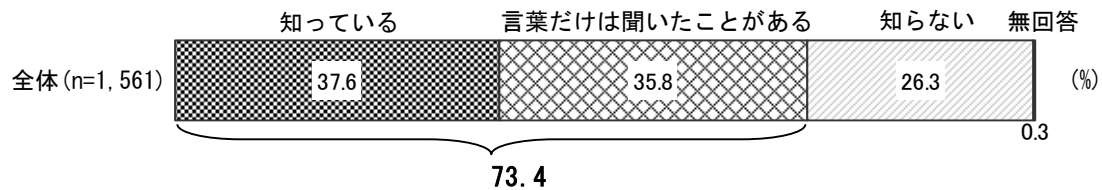


### （３）「共生社会」の認知度

◇『聞いたことがある（計）』が7割を超える

問22 障害のある・なしにかかわらず、誰もが社会の一員としてお互いを尊重し、支え合って暮らす「共生社会」という考え方を知っていますか。（○は1つ）

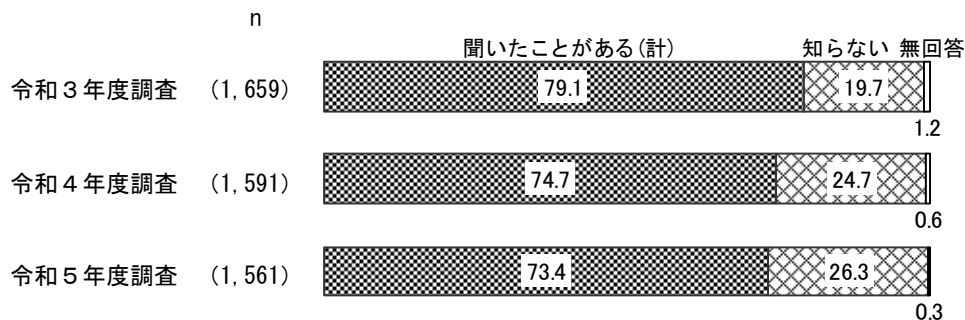
＜図表 3－5＞「共生社会」の認知度



「共生社会」という考え方を知っているか聞いたところ、「知っている」（37.6％）と「言葉だけは聞いたことがある」（35.8％）を合わせた『聞いたことがある（計）』（73.4％）が7割を超えている。

一方、「知らない」（26.3％）が2割台半ばとなっている。（図表 3－5）

〔参考〕令和3年度・4年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



#### 【地域別】

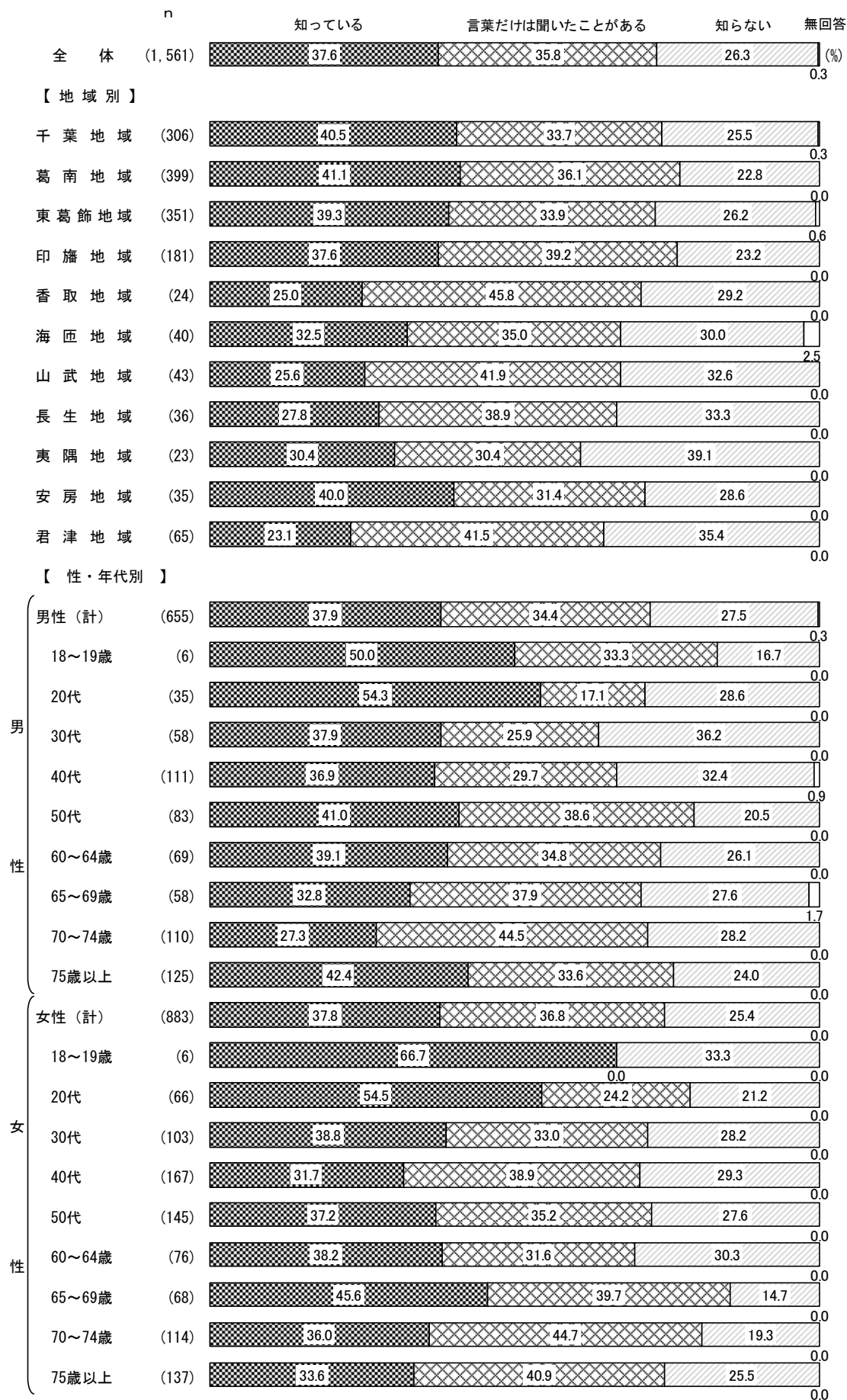
地域別にみると、『聞いたことがある（計）』は“葛南地域”（77.2％）が約8割で高くなっている。

（図表 3－6）

#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『聞いたことがある（計）』は女性の65～69歳（85.3％）が8割台半ばで高くなっている。（図表 3－6）

＜図表 3－6＞「共生社会」の認知度／地域別、性・年代別



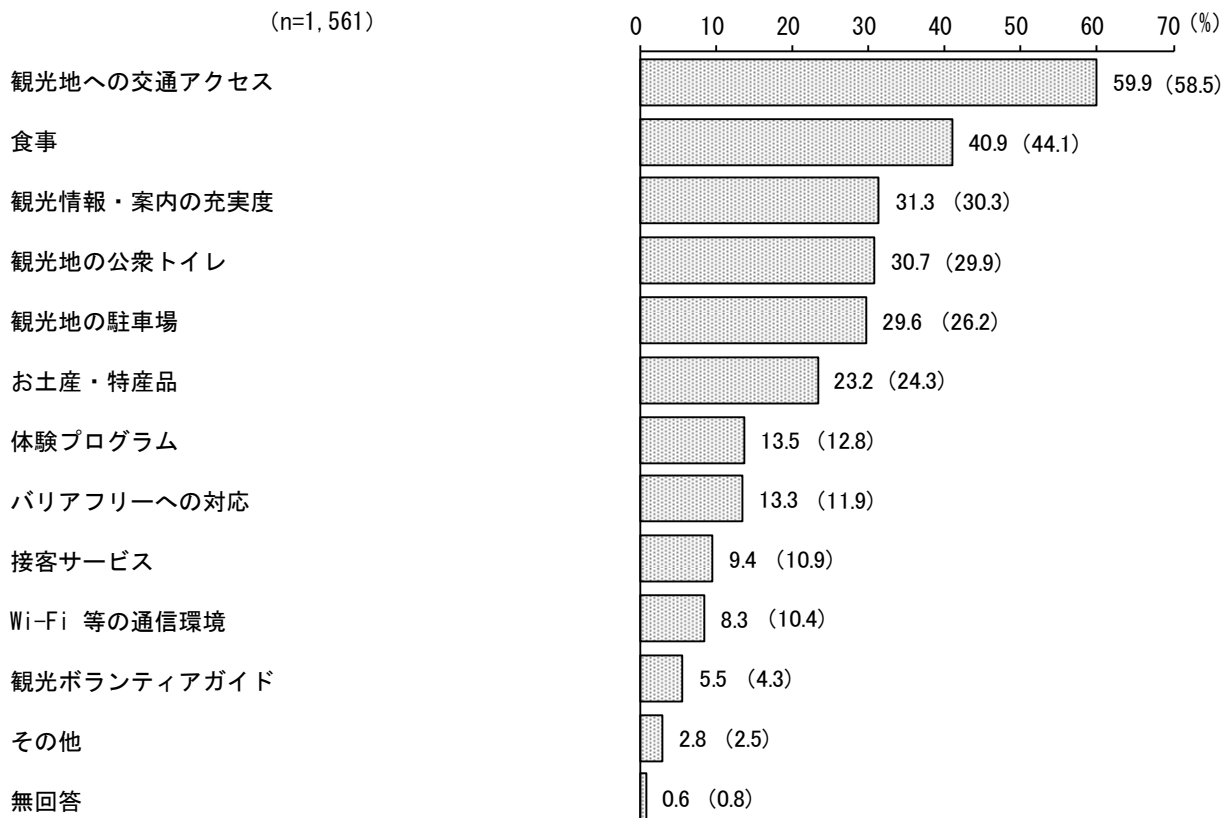
## 4 観光について

### （１）県内でより快適な旅行をするために充実してほしいこと

◇「観光地への交通アクセス」が約６割

問23 千葉県内を旅行する場合、より快適な旅行をするためには、特に何が充実していてほしいですか。（○は３つまで）

＜図表４－１＞県内でより快適な旅行をするために充実してほしいこと（３つまでの複数回答）



注）（ ）の数字は令和４年度の同様の項目による調査結果 n=1,591

千葉県内を旅行する場合、より快適な旅行をするためには、特に何が充実していてほしいか聞いたところ、「観光地への交通アクセス」(59.9%) が約６割で最も高く、以下、「食事」(40.9%)、「観光情報・案内の充実度」(31.3%)、「観光地の公衆トイレ」(30.7%)が続く。

(図表４－１)

#### 【地域別】

地域別にみると、「観光地への交通アクセス」は“海匝地域”(75.0%)が７割台半ばで高くなっている。「観光情報・案内の充実度」は“東葛飾地域”(35.6%)が３割台半ばで高くなっている。

(図表４－２)

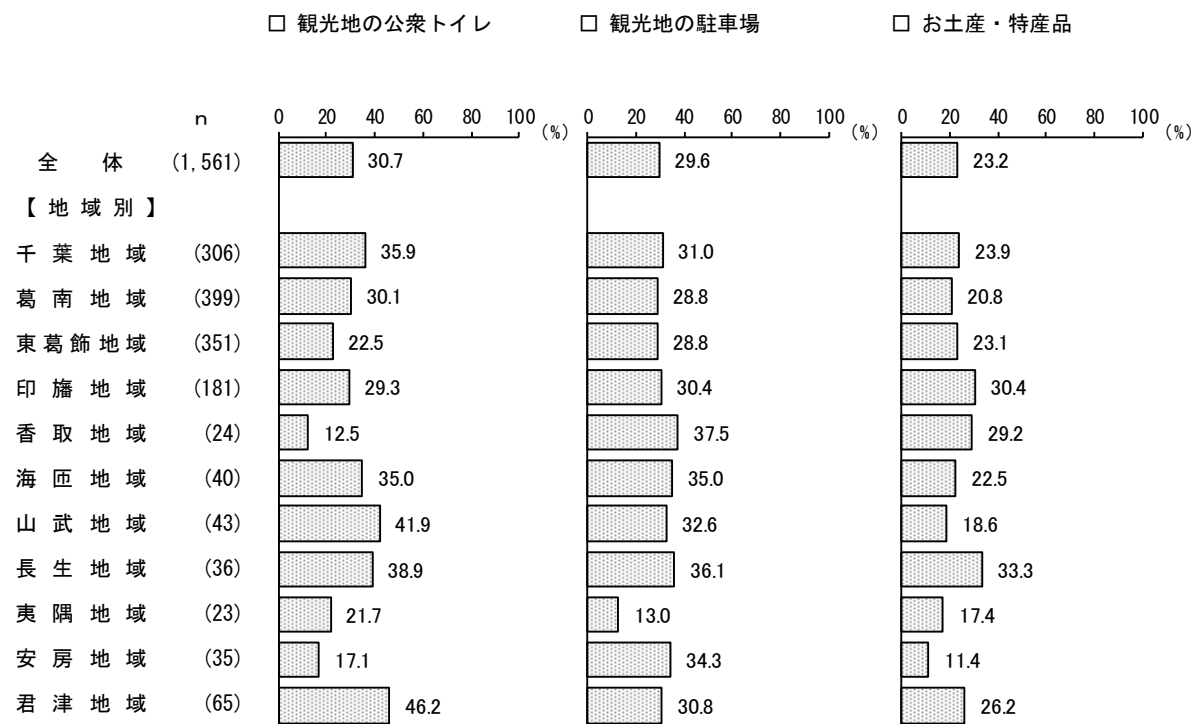
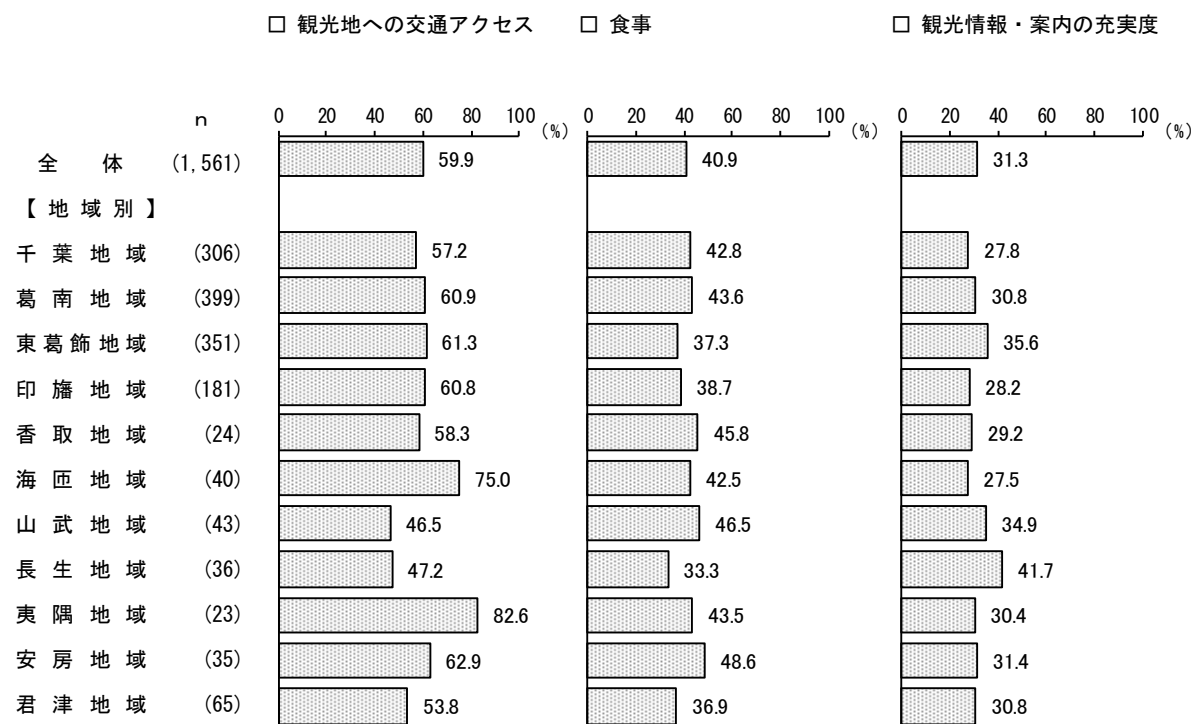
#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「食事」は女性の30代(61.2%)が６割を超え、女性の20代(53.0%)が５割を超えて高くなっている。

「観光情報・案内の充実度」は女性の70～74歳(44.7%)と男性の70～74歳(44.5%)が４割台

半ば、男性の75歳以上（42.4%）が4割を超えて高くなっている。（図表４－２）

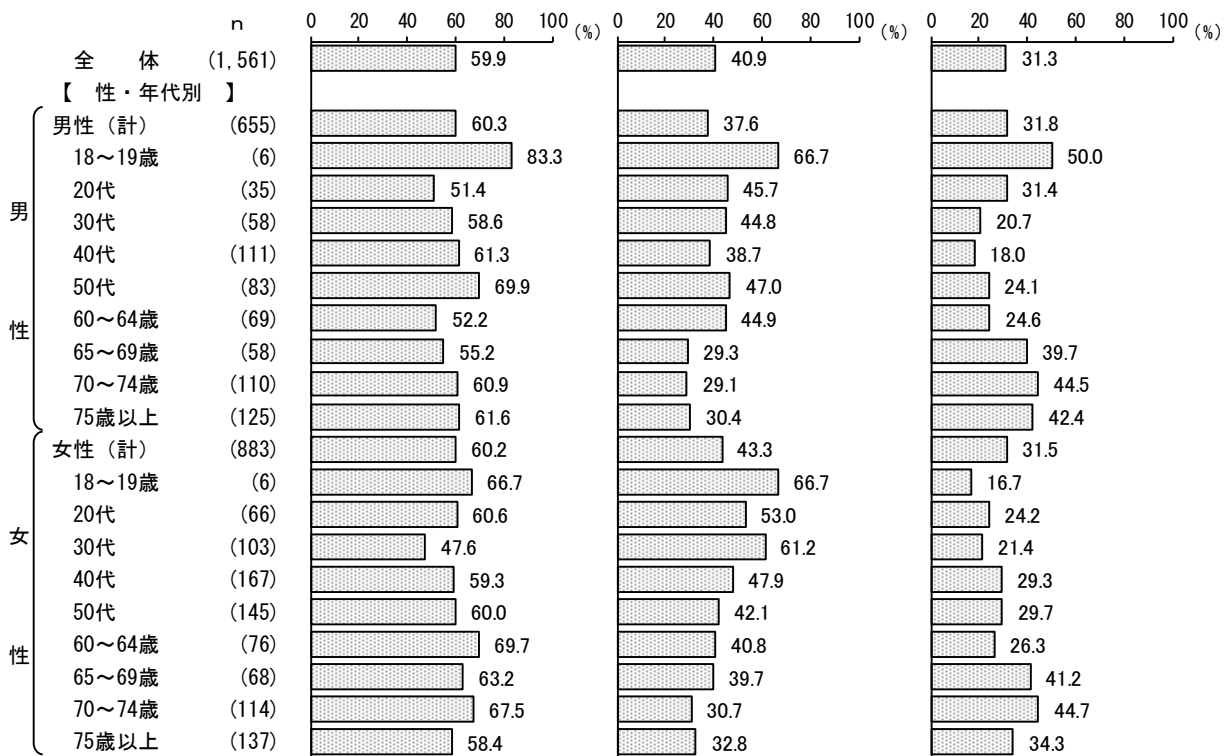
＜図表４－２＞県内でより快適な旅行をするために充実してほしいこと（３つまでの複数回答）／  
地域別、性・年代別（上位６項目）



□ 観光地への交通アクセス

□ 食事

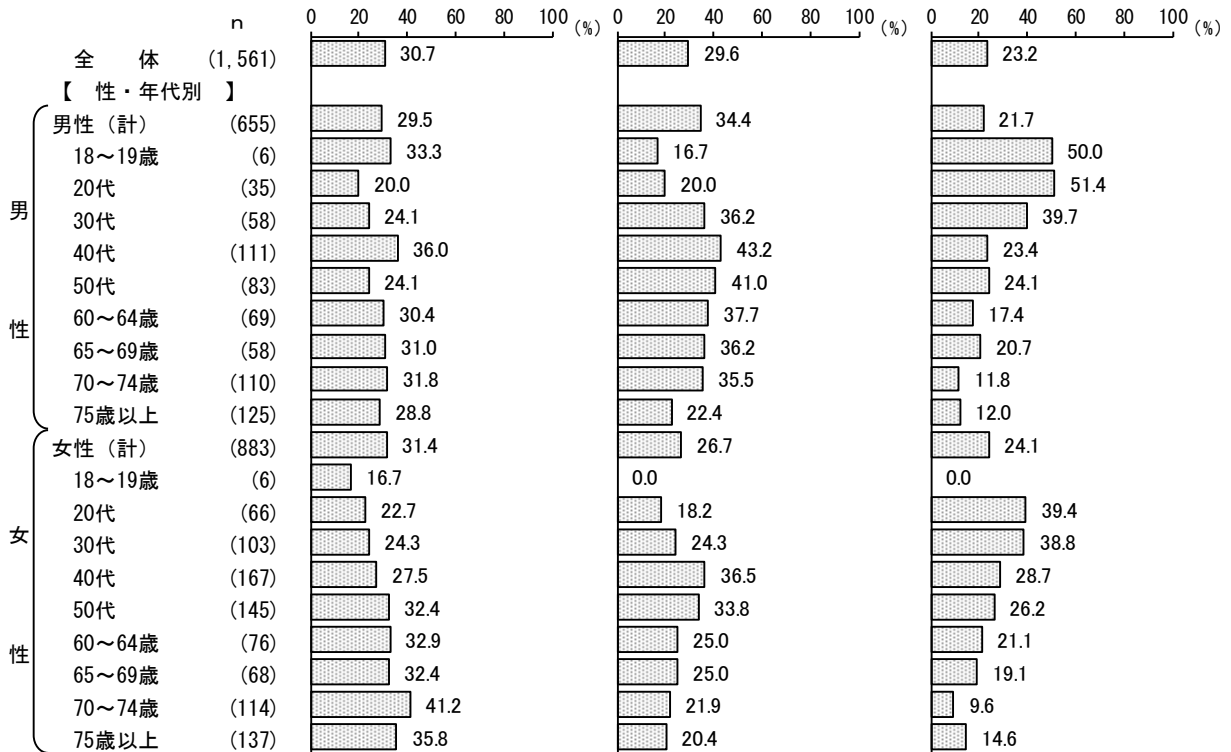
□ 観光情報・案内の充実度



□ 観光地の公衆トイレ

□ 観光地の駐車場

□ お土産・特産品

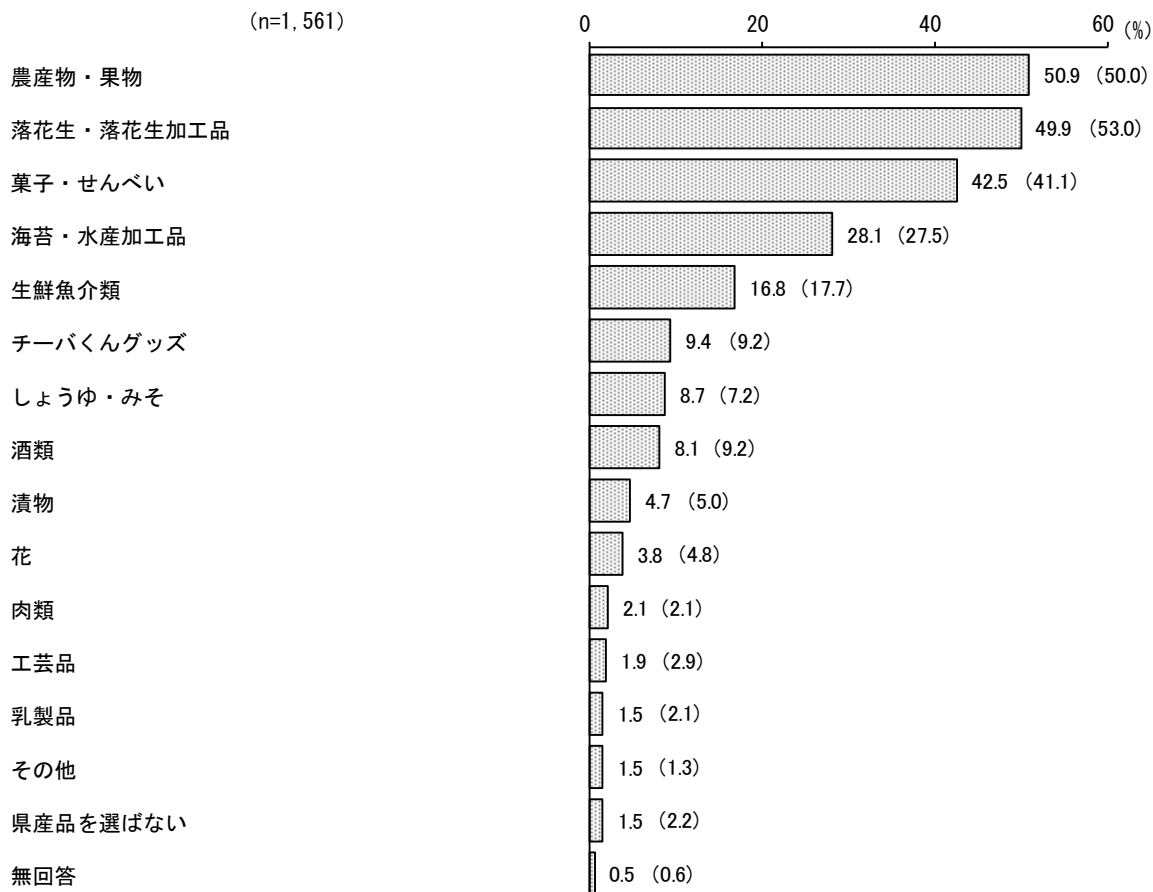


## （２）お土産や贈答品として選ぶ県産品

### ◇「農産物・果物」が５割

問24 県産品をお土産や贈答品とする場合、何を選びますか。（〇は３つまで）

＜図表４－３＞お土産や贈答品として選ぶ県産品（３つまでの複数回答）



注）（ ）の数字は令和４年度の同様の項目による調査結果 n=1,591

県産品をお土産や贈答品とする場合、何を選ぶか３つまで選んでもらったところ、「農産物・果物」（50.9%）が５割で最も高く、以下、「落花生・落花生加工品」（49.9%）、「菓子・せんべい」（42.5%）、「海苔・水産加工品」（28.1%）が続く。（図表４－３）

### 【地域別】

地域別にみると、「農産物・果物」は“印旛地域”（60.8%）が６割、“葛南地域”（56.4%）が５割台半ばで高くなっている。

「落花生・落花生加工品」は“千葉地域”（56.9%）が５割台半ばで高くなっている。

「菓子・せんべい」は“東葛飾地域”（50.7%）が５割で高くなっている。（図表４－４）

### 【性・年代別】

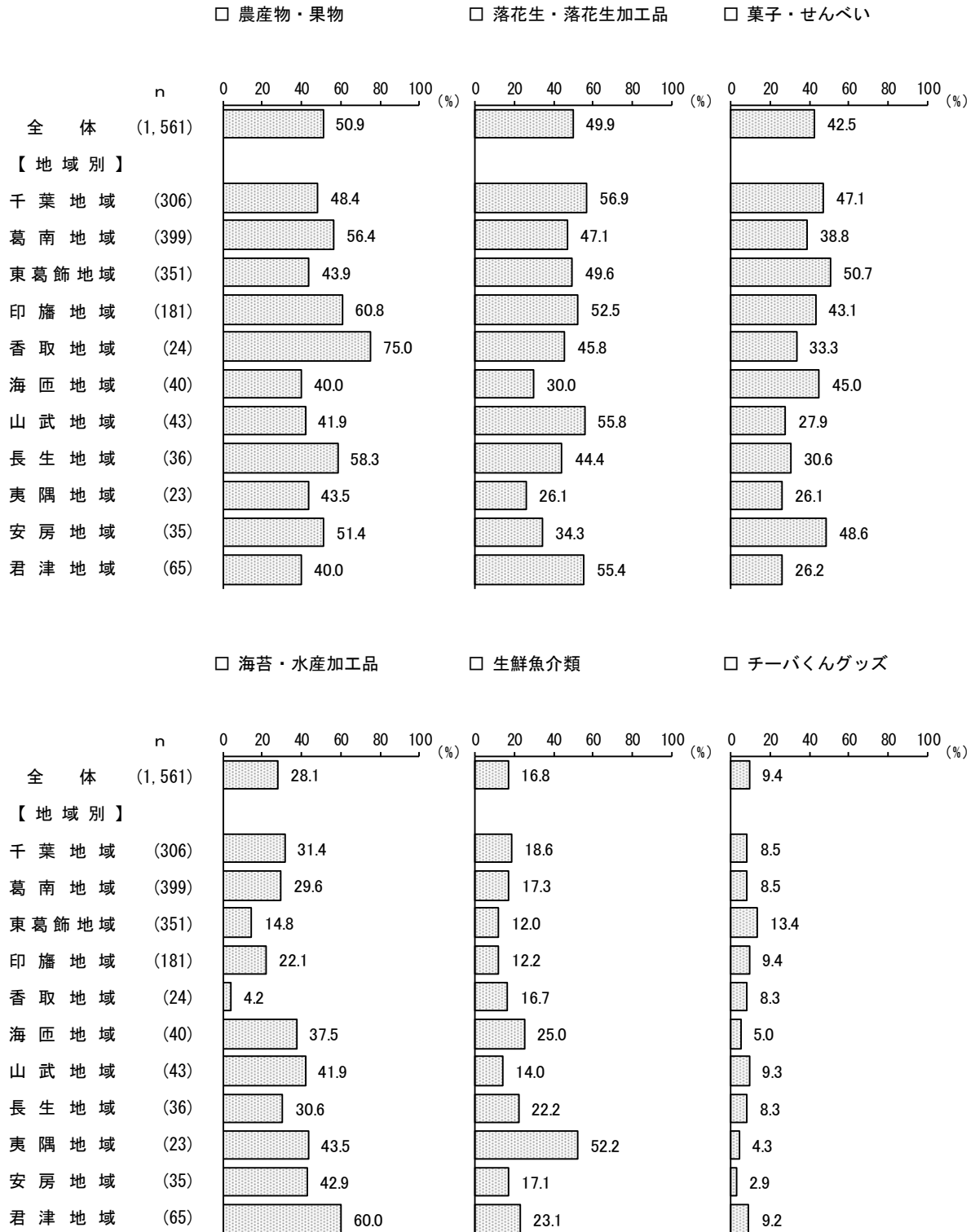
性・年代別にみると、「農産物・果物」は女性の65～69歳（66.2%）が６割台半ば、女性の50代（59.3%）が約６割で高くなっている。

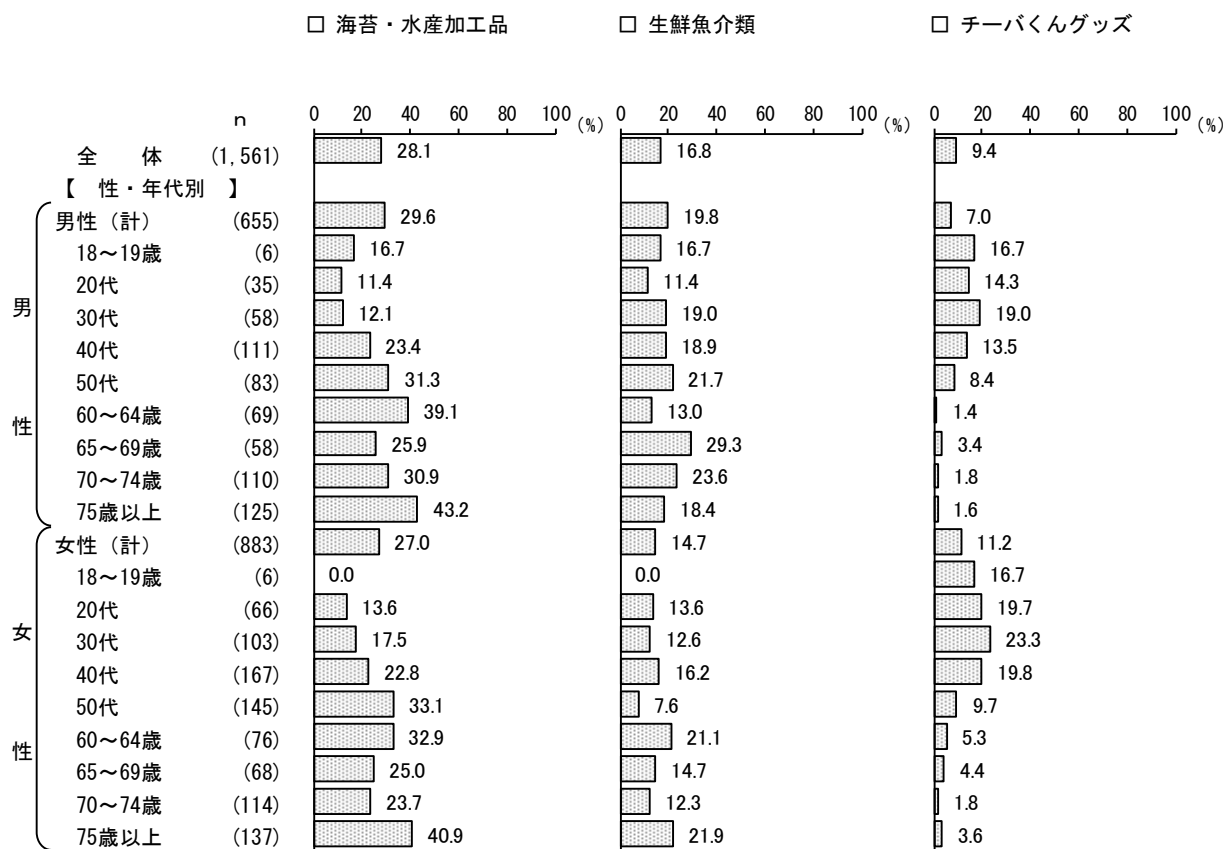
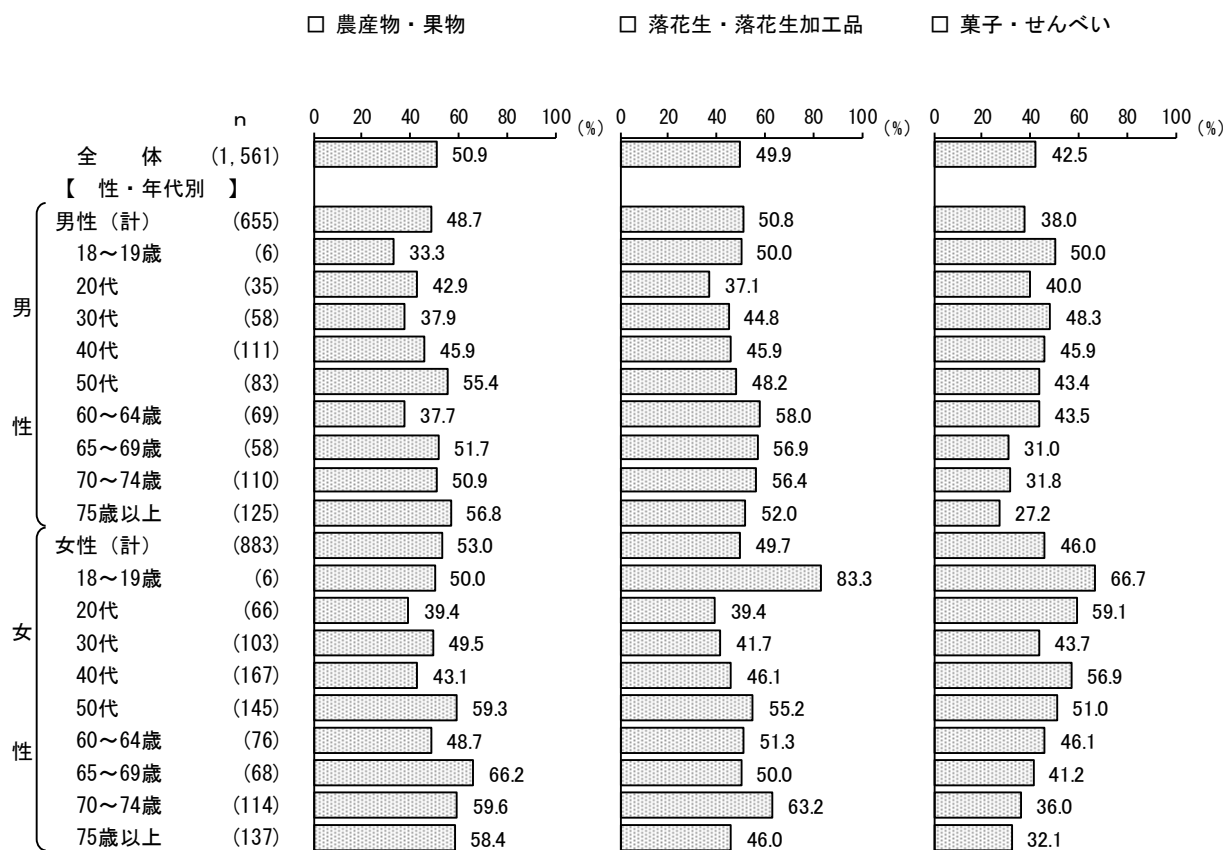
「落花生・落花生加工品」は女性の70～74歳（63.2%）が６割を超えて高くなっている。

「菓子・せんべい」は女性の20代（59.1%）が約6割、女性の40代（56.9%）が5割台半ば、女性の50代（51.0%）が5割を超えて高くなっている。（図表4－4）

＜図表4－4＞お土産や贈答品として選ぶ県産品（3つまでの複数回答）／

地域別、性・年代別（上位6項目）



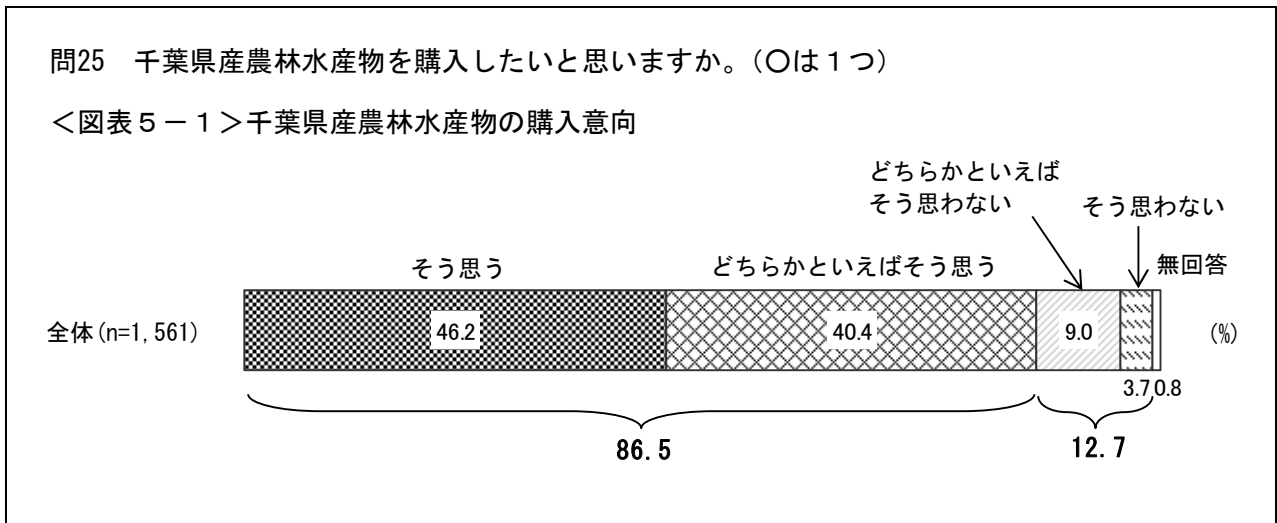




## 5 県の農林水産物について

### （１）千葉県産農林水産物の購入意向

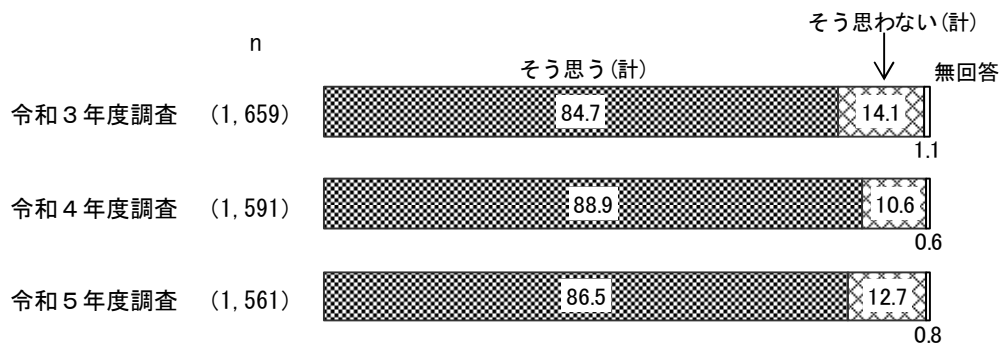
◇『そう思う（計）』が８割台半ば



千葉県産農林水産物を購入したいと思うか聞いたところ、「そう思う」（46.2%）と「どちらかといえばそう思う」（40.4%）を合わせた『そう思う（計）』（86.5%）が８割台半ばとなっている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」（9.0%）と「そう思わない」（3.7%）を合わせた『そう思わない（計）』（12.7%）は１割を超えている。（図表５－１）

〔参考〕令和３年度・４年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



#### 【地域別】

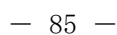
地域別にみると、『そう思う（計）』は“千葉地域”（90.5%）が９割で高くなっている。

一方、『そう思わない（計）』は“東葛飾地域”（17.4%）が約２割で高くなっている。

（図表５－２）

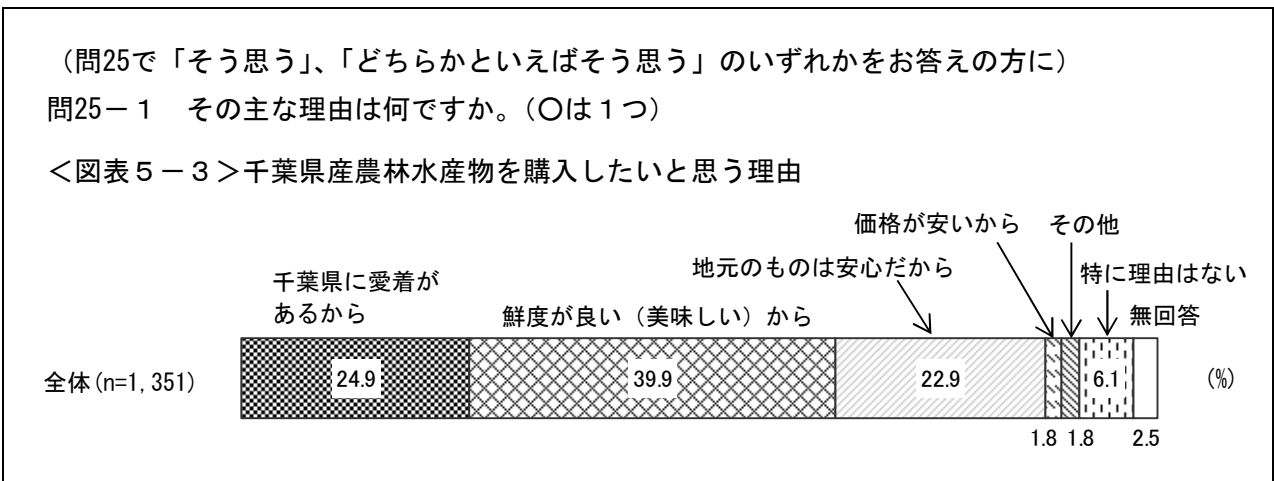
#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、大きな傾向の違いは見られない。（図表５－２）



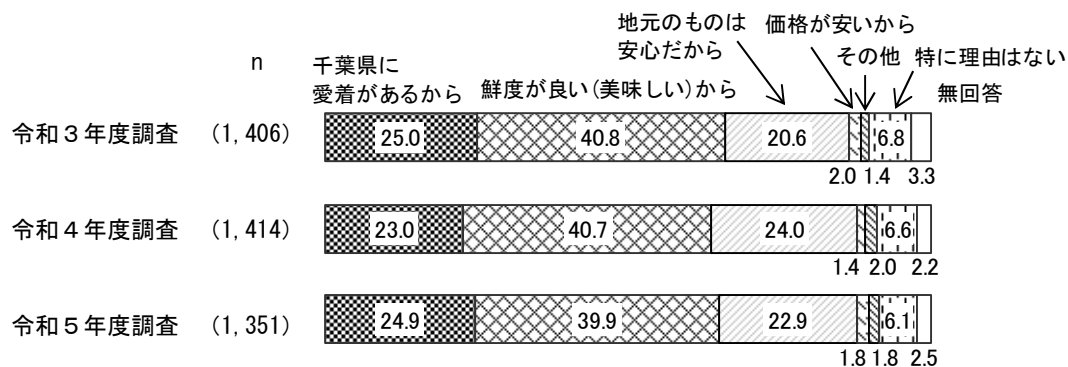
## （１－１）千葉県産農林水産物を購入したいと思う理由

◇「鮮度が良い（美味しい）から」が約４割



千葉県産農林水産物を購入したいと回答した1,351人を対象に、その主な理由を聞いたところ、「鮮度が良い（美味しい）から」（39.9%）が約４割で最も高く、以下、「千葉県に愛着があるから」（24.9%）、「地元のものは安心だから」（22.9%）が続く。（図表５－３）

〔参考〕令和３年度・４年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



### 【地域別】

地域別にみると、「千葉県に愛着があるから」は“東葛飾地域”（30.8%）が３割で高くなっている。

「地元のものは安心だから」は“山武地域”（42.1%）が４割を超え、“君津地域”（36.7%）が３割台半ばで高くなっている。（図表５－４）

### 【性・年代別】

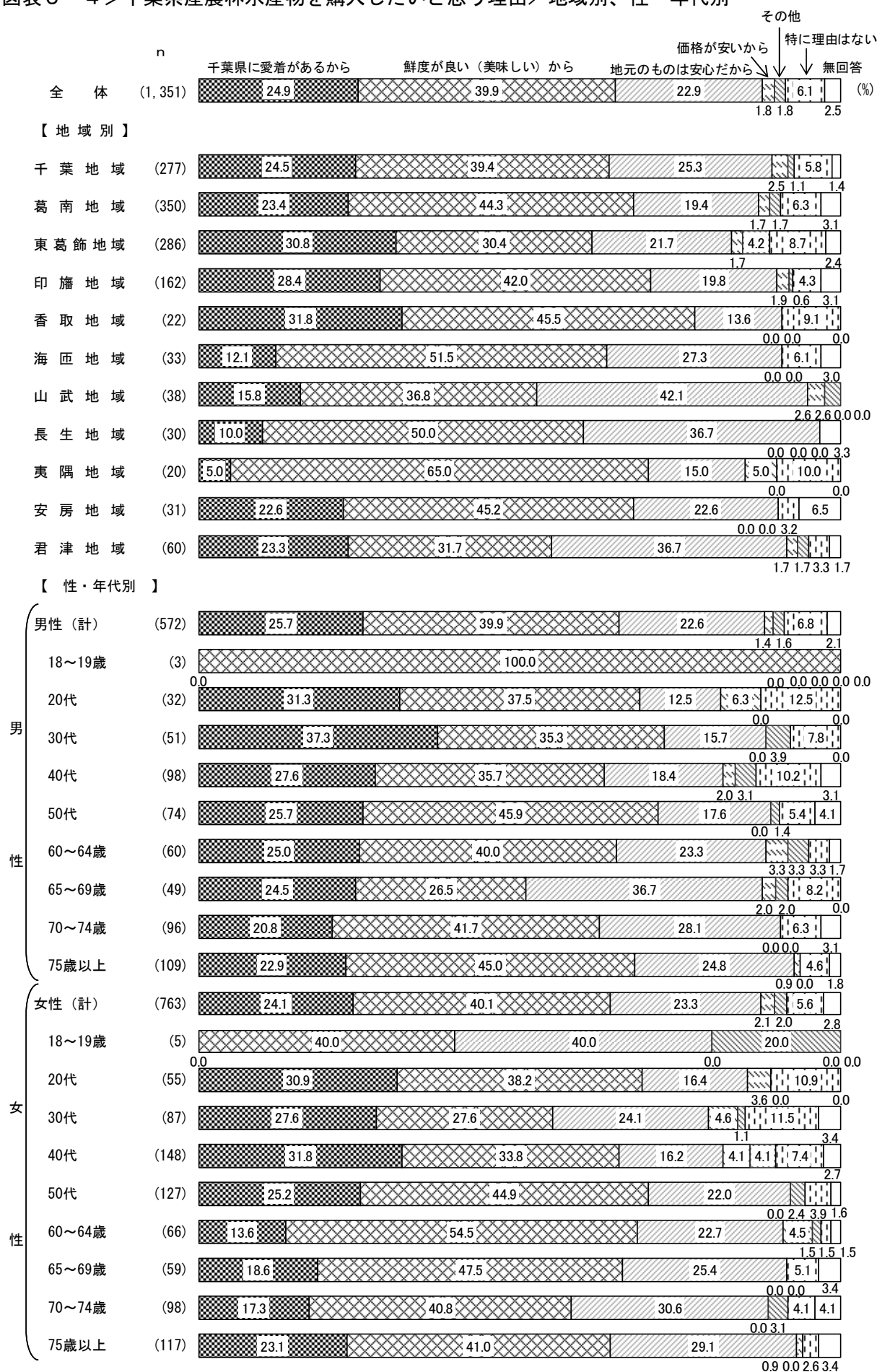
性・年代別にみると、「鮮度が良い（美味しい）から」は女性の60～64歳（54.5%）が５割台半ばで高くなっている。

「千葉県に愛着があるから」は男性の30代（37.3%）が約４割、女性の40代（31.8%）が３割を超えて高くなっている。

「地元のものは安心だから」は男性の65～69歳（36.7%）が３割台半ばで高くなっている。

（図表５－４）

＜図表５－４＞千葉県産農林水産物を購入したいと思う理由／地域別、性・年代別

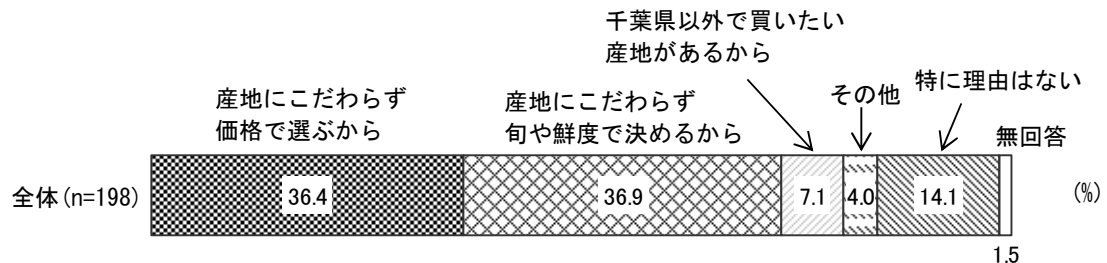


## （１－２）千葉県産農林水産物を購入したいと思わない理由

◇「産地にこだわらず旬や鮮度で決めるから」が３割台半ば

（問25で「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」のいずれかをお答えの方に）  
 問25－２ その主な理由は何ですか。（○は１つ）

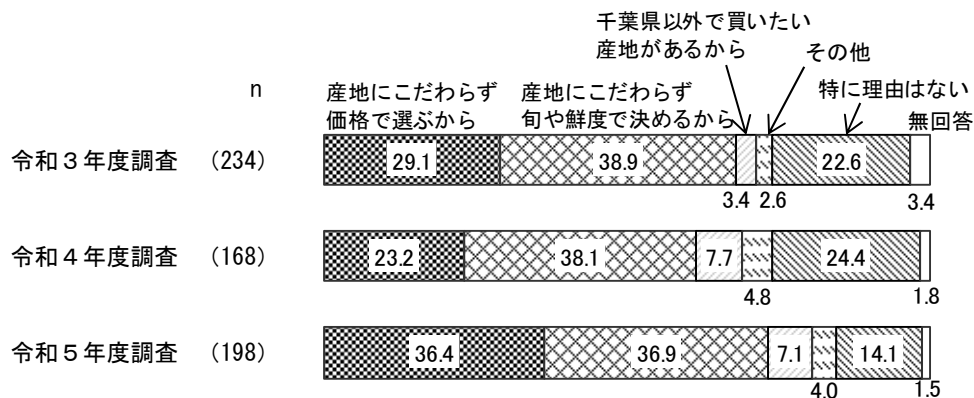
&lt;図表５－５&gt;千葉県産農林水産物を購入したいと思わない理由



千葉県産農林水産物を購入したいと思わないと回答した198人を対象に、その主な理由を聞いたところ、「産地にこだわらず旬や鮮度で決めるから」（36.9%）が３割台半ばで最も高く、以下、「産地にこだわらず価格で選ぶから」（36.4%）、「千葉県以外で買いたい産地があるから」（7.1%）が続く。

一方、「特に理由はない」（14.1%）が１割台半ばとなっている。（図表５－５）

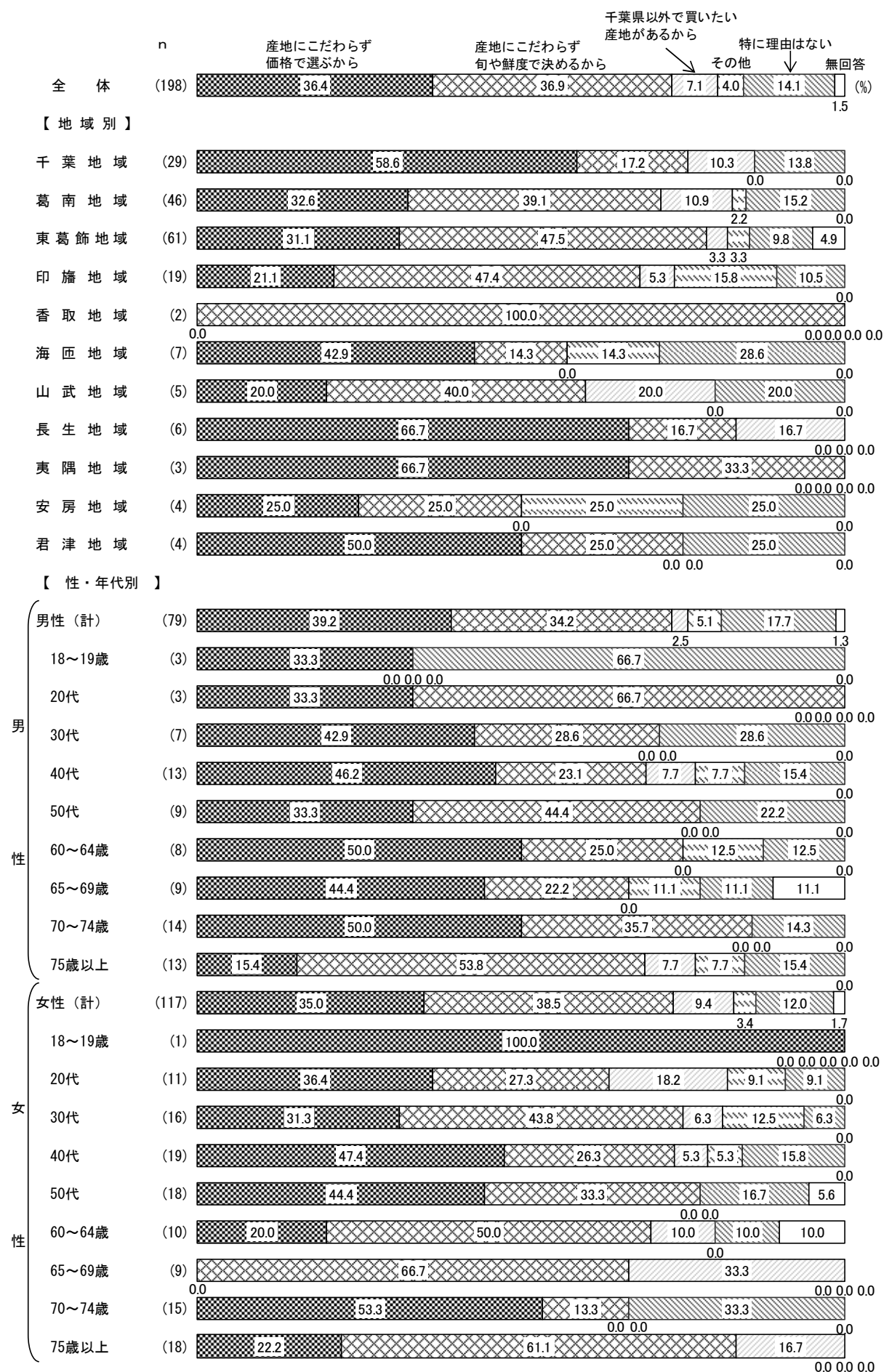
〔参考〕令和３年度・４年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



※サンプル数が少ないため、【地域別】、【性・年代別】は参考までに図示するにとどめる。

（８ページ「報告書の見方（５）」を参照）（図表５－６）

[参考] <図表 5－6> 千葉県産農林水産物を購入したいと思わない理由／地域別、性・年代別



## （２）環境にやさしい農産物や制度の認知度

◇「有機農産物」が約４割

問26 千葉県では、農薬や化学肥料をできるだけ減らすなど、「環境にやさしい農業に取り組む農業者」や「環境にやさしい農産物」についての認証制度を設けています。次の農産物や制度を知っていますか。（○はいくつでも）

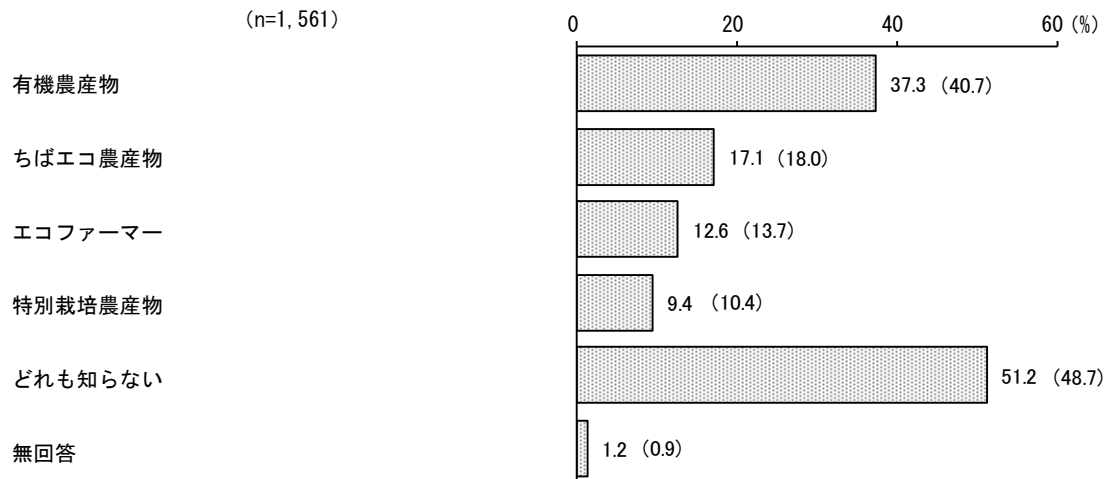
※「有機農産物」：「有機農産物の日本農林規格」に基づき生産された農産物。化学肥料・化学合成農薬を使用しないこと、遺伝子組換え技術を利用しないことなどを基本として生産されたことを国の登録認証機関が認証する

「ちばエコ農産物」：県の基準に基づき化学肥料・化学合成農薬の使用を通常の５割以下で栽培し、県が認証した農産物

「エコファーマー」：「持続性の高い農業生産方式の導入の促進に関する法律」に基づき、たい肥等による土づくり、化学肥料・化学合成農薬の使用低減技術に取り組む栽培計画を立て、県が認定した農業者

「特別栽培農産物」：国のガイドラインに基づき化学肥料・化学合成農薬の使用を通常の５割以下に減らして栽培し、生産者が定める責任者が確認した農産物

＜図表５－７＞環境にやさしい農産物や制度の認知度（複数回答）



注）（ ）の数字は令和４年度の同様の項目による調査結果 n = 1,591

農薬や化学肥料の使用量の低減などに取り組む農業者・農産物や認証する制度を聞いたことがあるか聞いたところ、「有機農産物」(37.3%)が約４割で最も高く、以下、「ちばエコ農産物」(17.1%)、「エコファーマー」(12.6%)、「特別栽培農産物」(9.4%)が続く。(図表５－７)

### 【地域別】

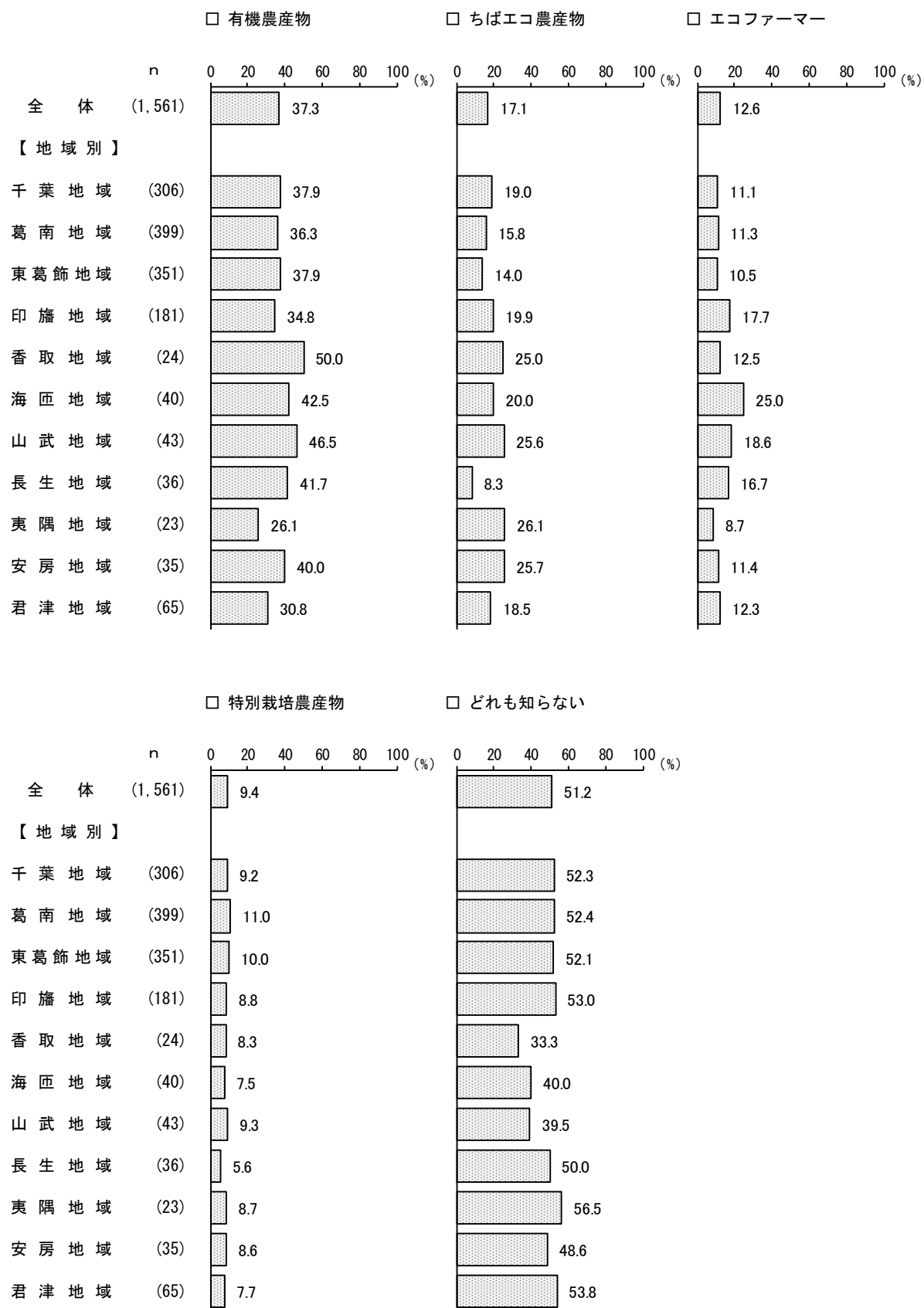
地域別にみると、「エコファーマー」は“海匝地域”(25.0%)が２割台半ば、“印旛地域”(17.7%)が約２割で高くなっている。(図表５－８)

### 【性・年代別】

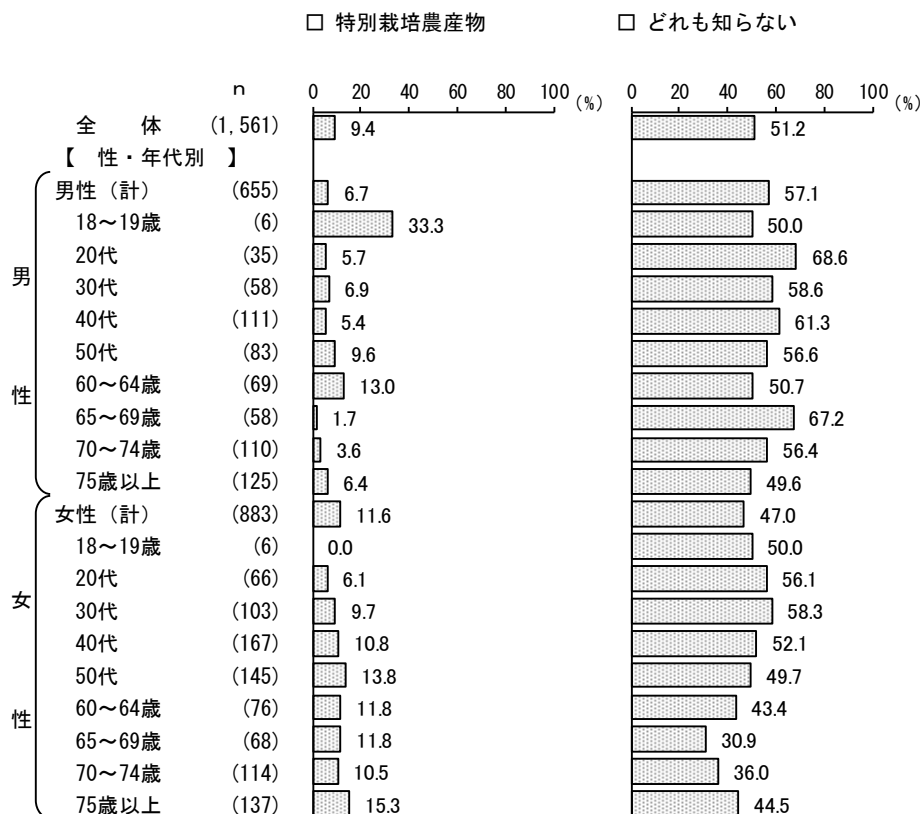
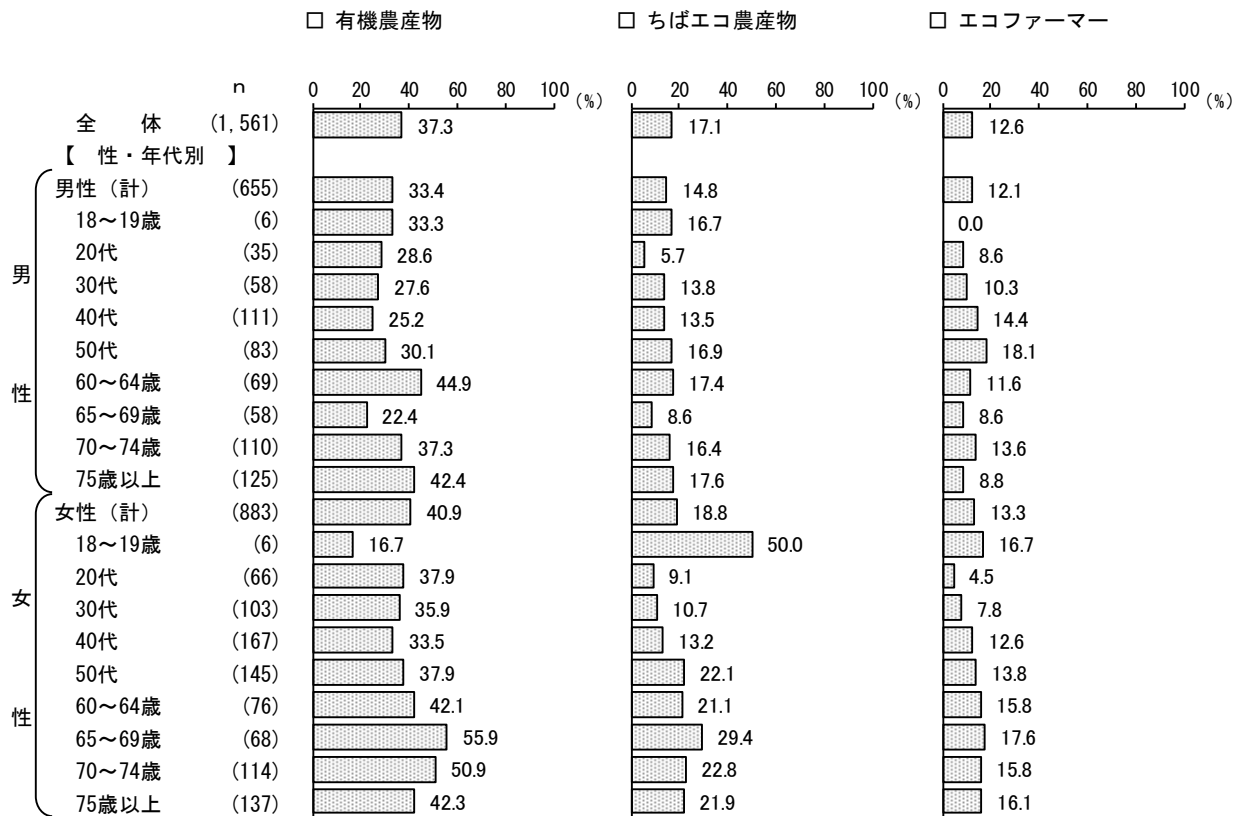
性・年代別にみると、「有機農産物」は女性の65～69歳(55.9%)が５割台半ば、女性の70～74歳(50.9%)が５割で高くなっている。

「ちばエコ農産物」は女性の65～69歳(29.4%)が約３割で高くなっている。(図表５－８)

＜図表５－８＞環境にやさしい農産物や制度の認知度（複数回答）／地域別、性・年代別







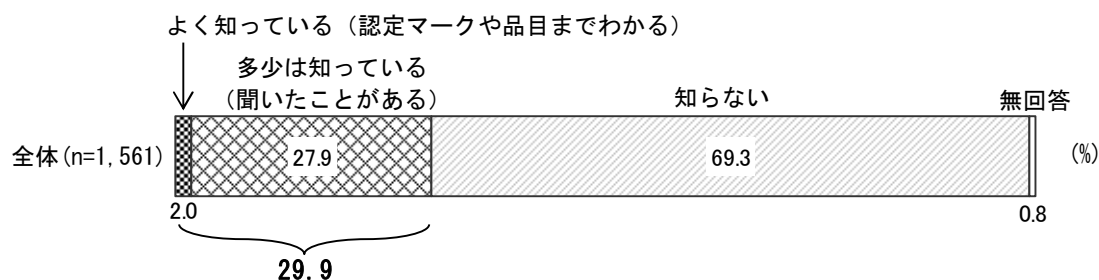
### （３）「千葉ブランド水産物」の認知度

◇『知っている（計）』が約３割

問27 「千葉ブランド水産物」を知っていますか。（○は１つ）

※千葉県では、千葉のさかなの認知度を高め、広く県内外にアピールするため、「銚子つりきんめ」、「外房イセエビ」、「九十九里地はまぐり」などの優良な県産水産物を「千葉ブランド水産物」として認定しています。

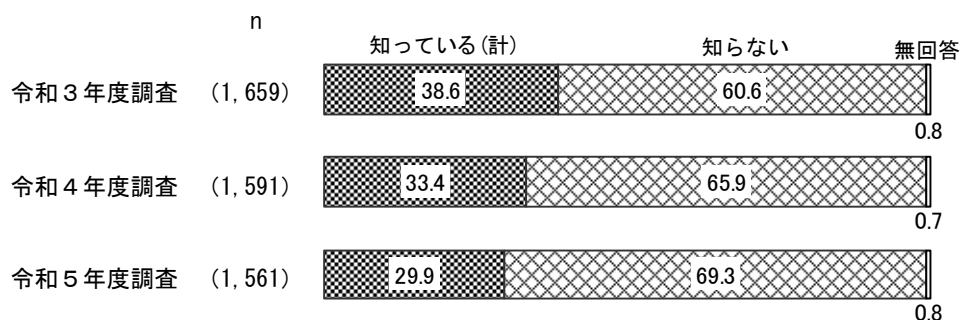
＜図表５－９＞「千葉ブランド水産物」の認知度



「千葉ブランド水産物」を知っているか聞いたところ、「よく知っている（認定マークや品目までわかる）」（2.0％）と「多少は知っている（聞いたことがある）」（27.9％）を合わせた『知っている（計）』（29.9％）が約３割となっている。

一方、「知らない」（69.3％）が約７割となっている。（図表５－９）

〔参考〕令和３年度・４年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



#### 【地域別】

地域別にみると、『知っている（計）』は“海匝地域”（52.5％）が５割を超え、“長生地域”（50.0％）が５割、“山武地域”（46.5％）が４割台半ばで高くなっている。

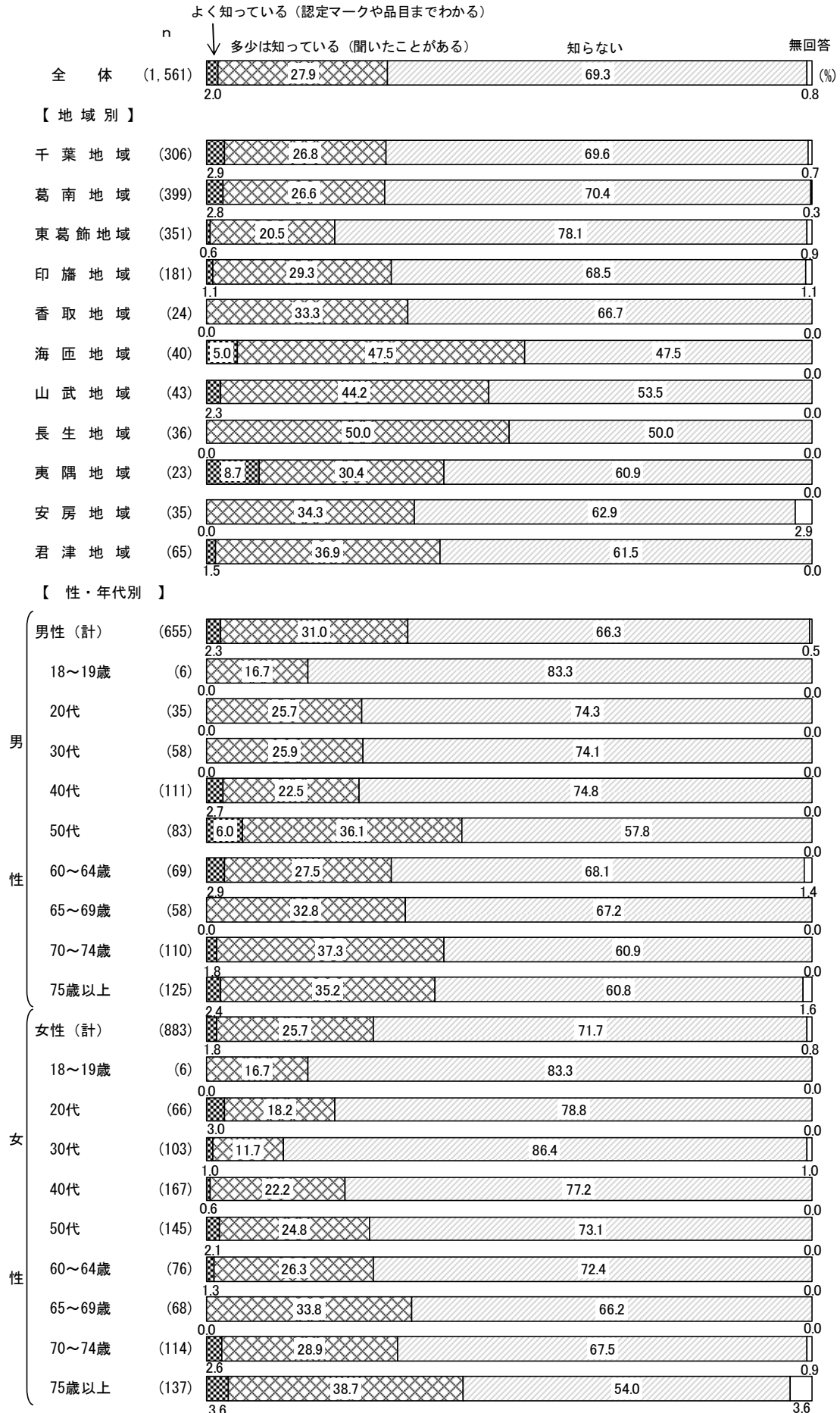
一方、「知らない」は“東葛飾地域”（78.1％）が約８割で高くなっている。（図表５－10）

#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『知っている（計）』は女性の75歳以上（42.3％）と男性の50代（42.2％）が４割を超え、男性の70～74歳（39.1％）が約４割で高くなっている。

一方、「知らない」は女性の30代（86.4％）が８割台半ば、女性の40代（77.2％）が約８割で高くなっている。（図表５－10）

＜図表５－１０＞「千葉ブランド水産物」の認知度／地域別、性・年代別



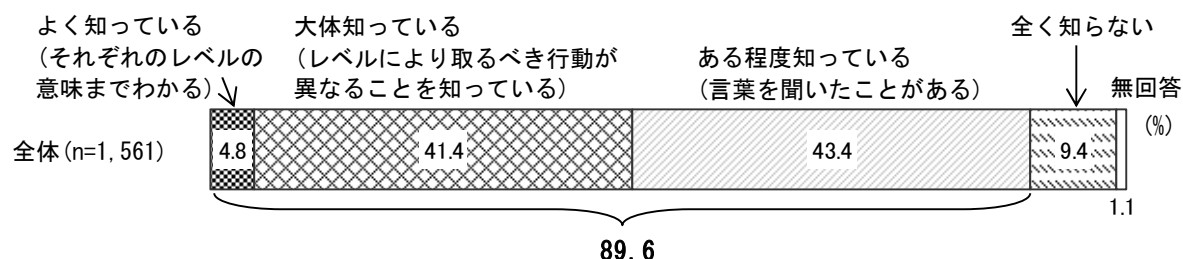
## 6 防災に関する取組について

### （１）防災情報の警戒レベルの意味・取るべき行動の認知度

◇『知っている（計）』が約９割

問28 災害発生危険度の危険度と、とるべき避難行動を示す各警戒レベルの意味や、その際にとるべき行動について知っていますか。（○は１つ）

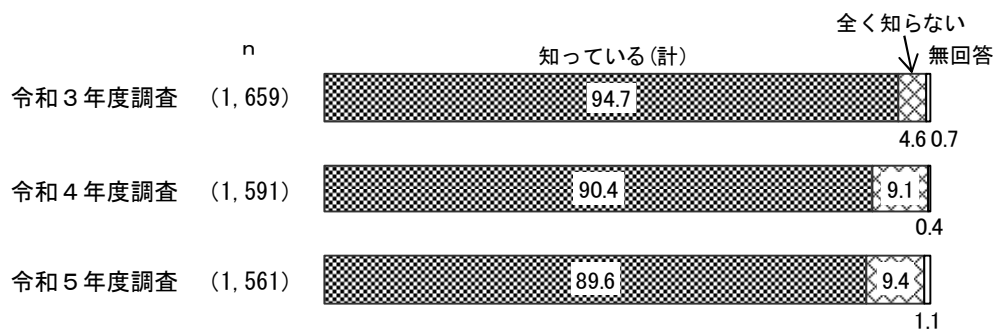
＜図表 6－１＞防災情報の警戒レベルの意味・取るべき行動の認知度



水害・土砂災害の防災情報の伝え方で、各警戒レベルの意味や、その際にとるべき行動について知っているか聞いたところ、「よく知っている（それぞれのレベルの意味までわかる）」（4.8％）と「大体知っている（レベルにより取るべき行動が異なることを知っている）」（41.4％）、「ある程度知っている（言葉を聞いたことがある）」（43.4％）の３つを合わせた『知っている（計）』（89.6％）が約９割となっている。

一方、「全く知らない」（9.4％）が約１割となっている。（図表 6－１）

【参考】令和３年度・４年度の同様の項目による調査結果（単位：％）



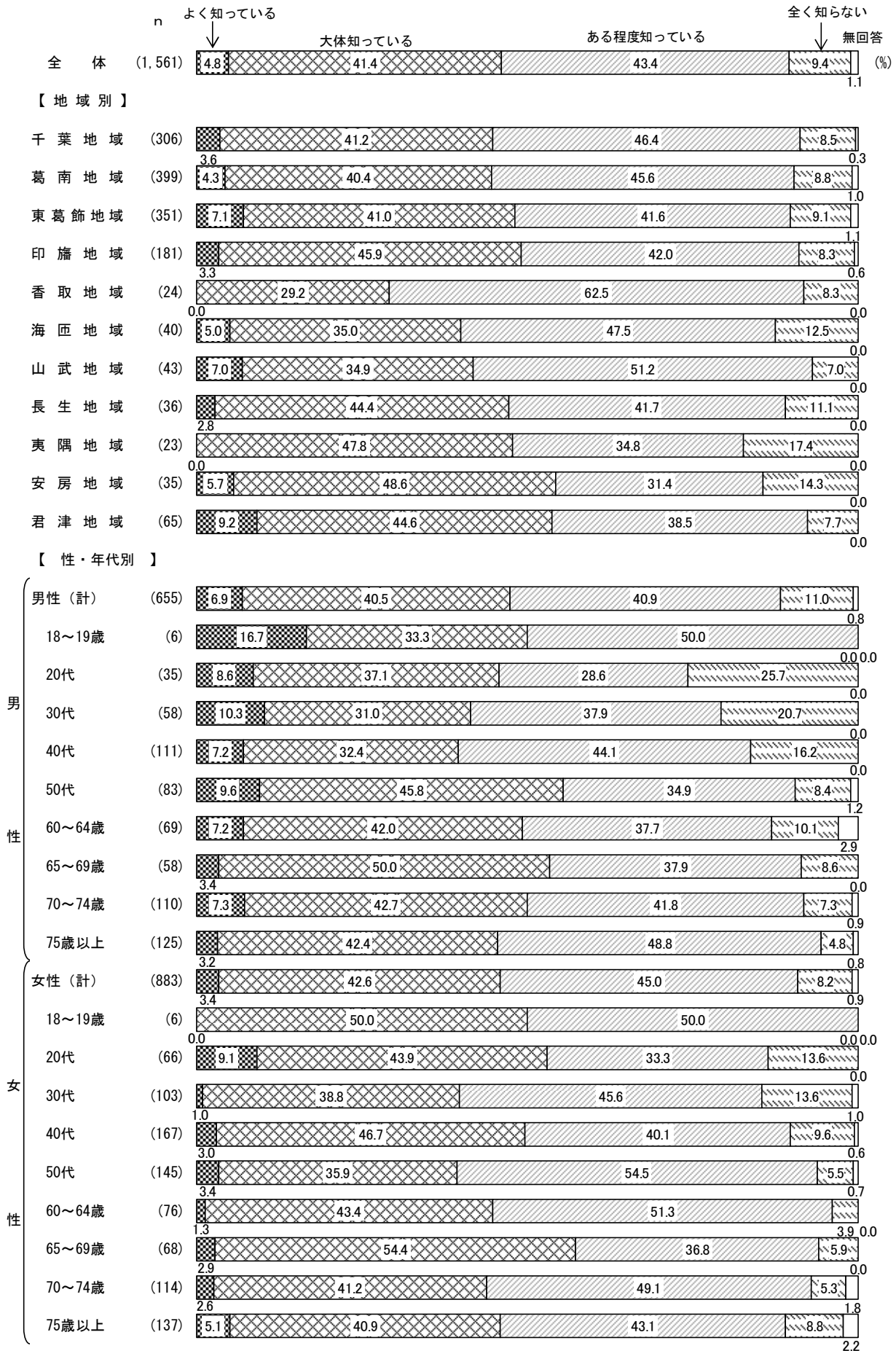
#### 【地域別】

地域別にみると、大きな傾向の違いはみられない。（図表 6－２）

#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「全く知らない」は男性の20代（25.7％）が２割台半ば、男性の30代（20.7％）が２割、男性の40代（16.2％）が１割台半ばで高くなっている。（図表 6－２）

＜図表 6－2＞防災情報の警戒レベルの意味・取るべき行動の認知度／地域別、性・年代別



## （２）飲料水や食料、災害用トイレ（簡易・携帯）の備蓄状況

◇『用意している（計）』が最も高いのは＜飲料水＞で約８割

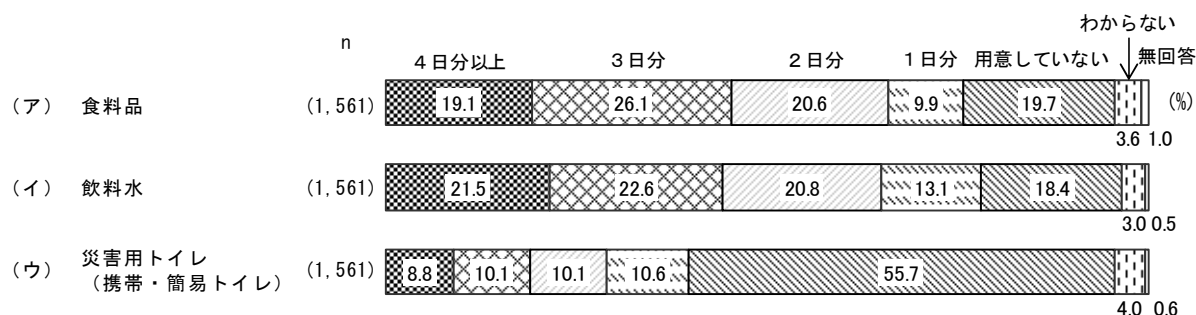
問29 あなたの家では、災害時に利用できる食料品等を何日分用意していますか。

\*飲料水 1日分＝1人当たり3リットル×家族の人数

\*トイレ 1日分＝1人当たり1日5回分×家族の人数

（○はそれぞれ1つつつ）

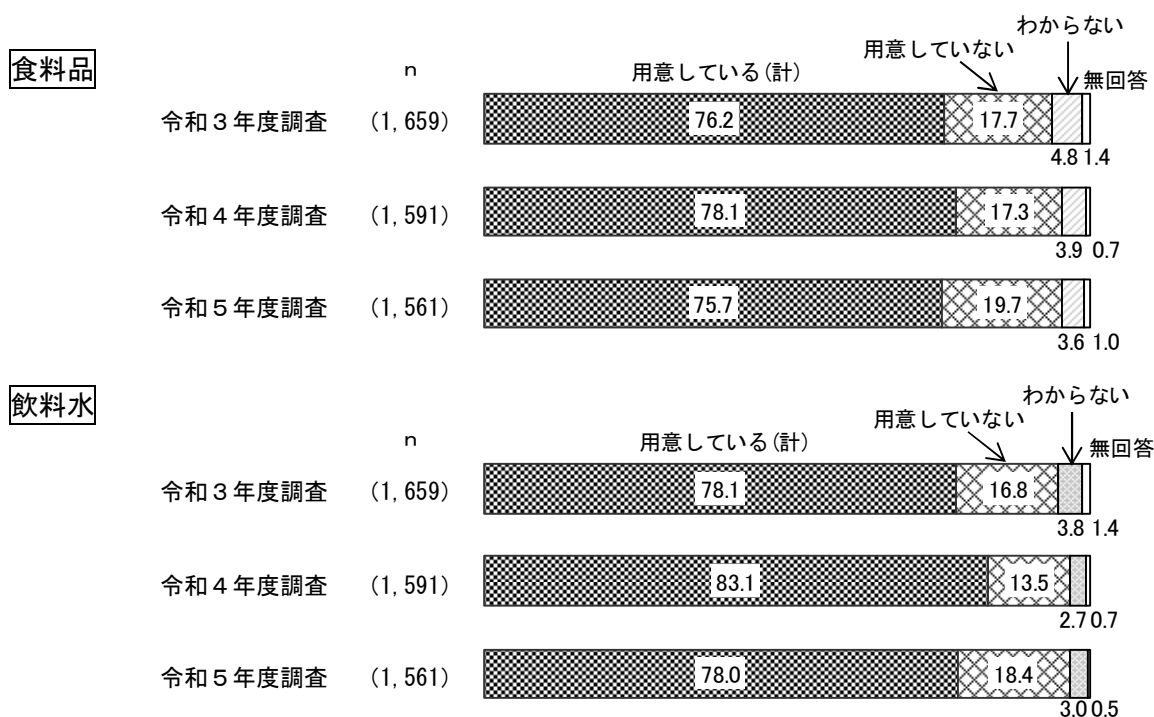
＜図表6－3＞飲料水や食料、災害用トイレ（簡易・携帯）の備蓄状況



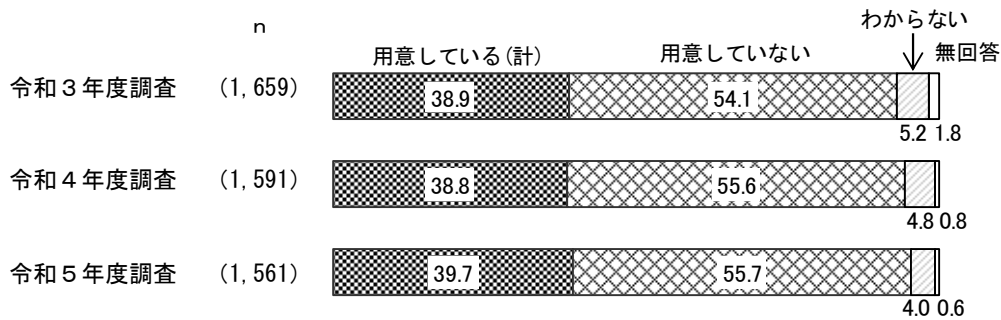
災害時に利用できる食料品等を何日分用意しているか聞いたところ、「4日分以上」、「3日分」、「2日分」、「1日分」の4つを合わせた『用意している（計）』が最も高いのは、「(イ) 飲料水」(78.0%)で約8割、以下、「(ア) 食料品」(75.7%)が7割台半ば、「(ウ) 災害用トイレ（携帯・簡易トイレ）」(39.7%)が約4割となっている。

一方、「用意していない」が最も高いのは、「(ウ) 災害用トイレ（携帯・簡易トイレ）」(55.7%)で5割台半ばとなっており、以下、「(ア) 食料品」(19.7%)と「(イ) 飲料水」(18.4%)が約2割となっている。（図表6－3）

〔参考〕令和3年度・4年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



## 災害用トイレ（携帯・簡易トイレ）



## 【地域別】

地域別にみると、「(ア) 食料品」の「用意していない」は“長生地域”（36.1%）が3割台半ばで高くなっている。

「(イ) 飲料水」の『用意している（計）』は“君津地域”（90.8%）が9割で高くなっている。

一方、「用意していない」は“長生地域”（36.1%）が3割台半ばで高くなっている。

「(ウ) 災害用トイレ（携帯・簡易トイレ）」は大きな傾向の違いは見られない。（図表6－4）

## 【性・年代別】

性・年代別にみると、「(ア) 食料品」の『用意している（計）』は男性の50代（91.6%）が9割を超え、女性の70～74歳（83.3%）と男性の75歳以上（83.2%）が8割を超えて高くなっている。

一方、「用意していない」は女性の20代（39.4%）が約4割、女性の30代（27.2%）が約3割で高くなっている。

「(イ) 飲料水」の『用意している（計）』は男性の50代（90.4%）が9割、女性の70～74歳（88.6%）が約9割、女性の75歳以上（85.4%）が8割台半ばで高くなっている。

一方、「用意していない」は女性の20代（30.3%）が3割、男性の40代（28.8%）が約3割で高くなっている。

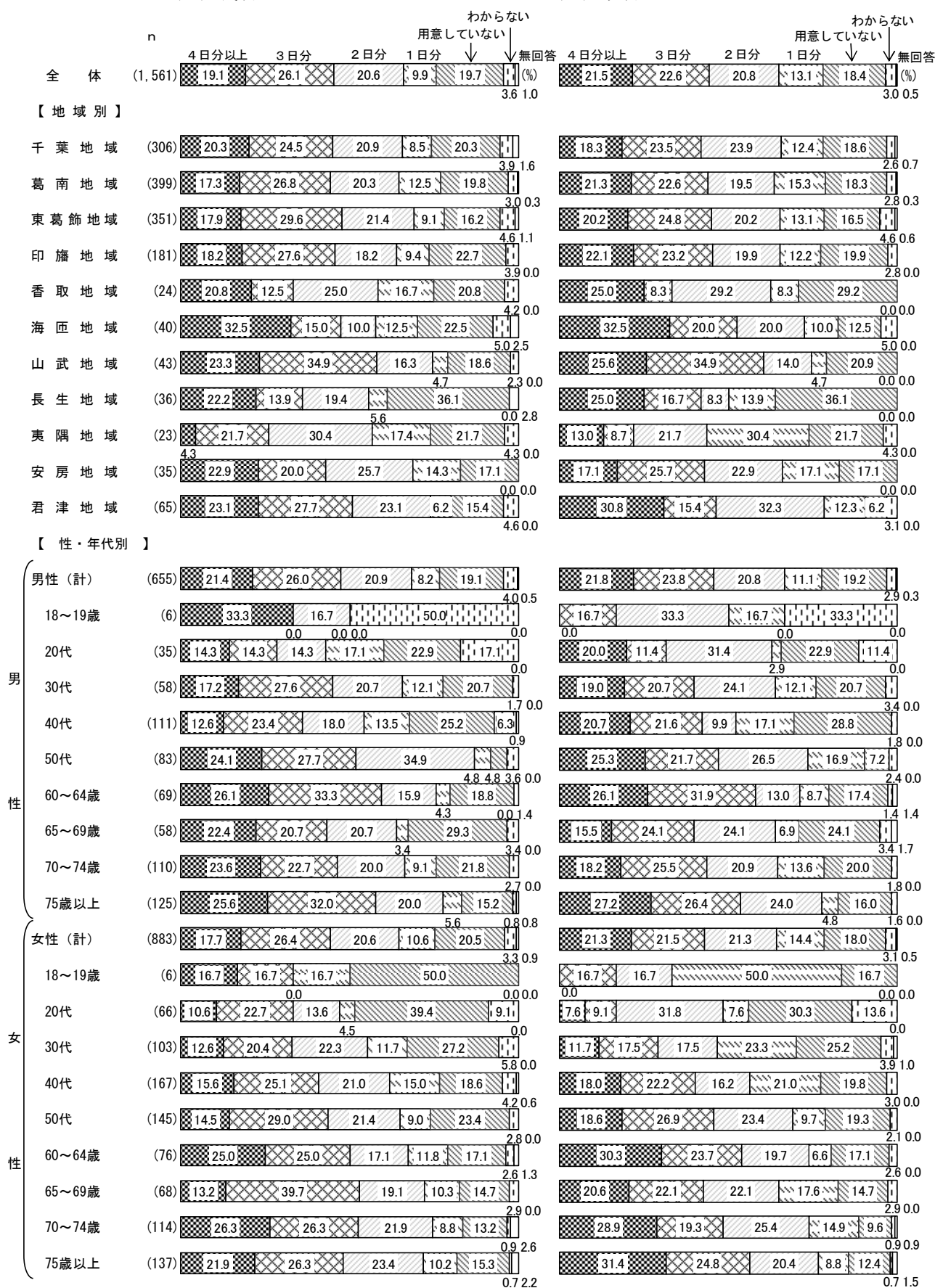
「(ウ) 災害用トイレ（携帯・簡易トイレ）」の『用意している（計）』は女性の75歳以上（48.9%）が約5割で高くなっている。

一方、「用意していない」は男性の40代（71.2%）が7割を超え、男性の70～74歳（67.3%）が約7割で高くなっている。（図表6－4）

＜図表 6－4＞飲料水や食料、災害用トイレ（簡易・携帯）の備蓄状況／地域別、性・年代別

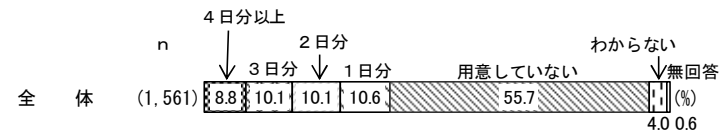
（ア）食料品

（イ）飲料水

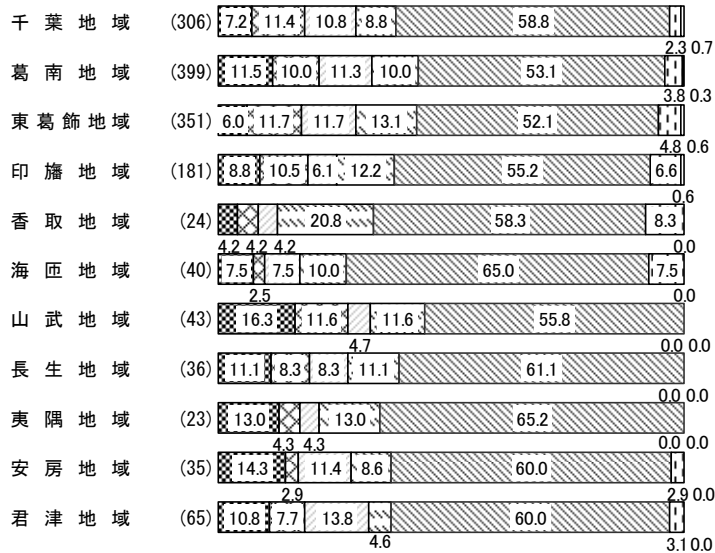




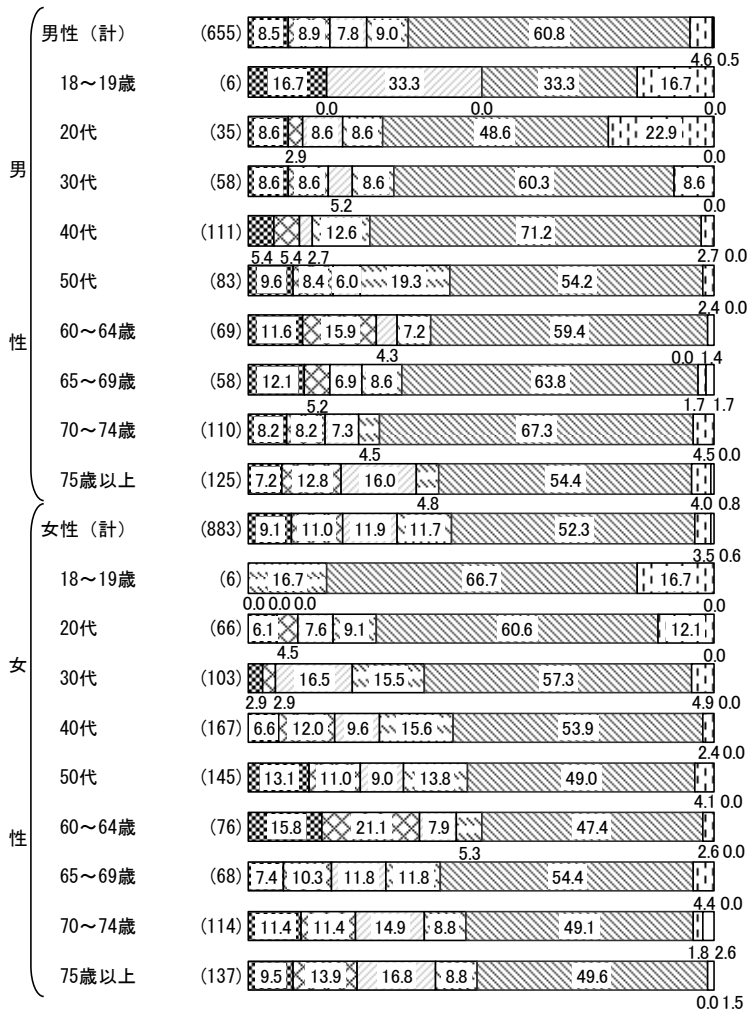
(ウ) 災害用トイレ（携帯・簡易トイレ）



【地域別】



【 性・年代別 】



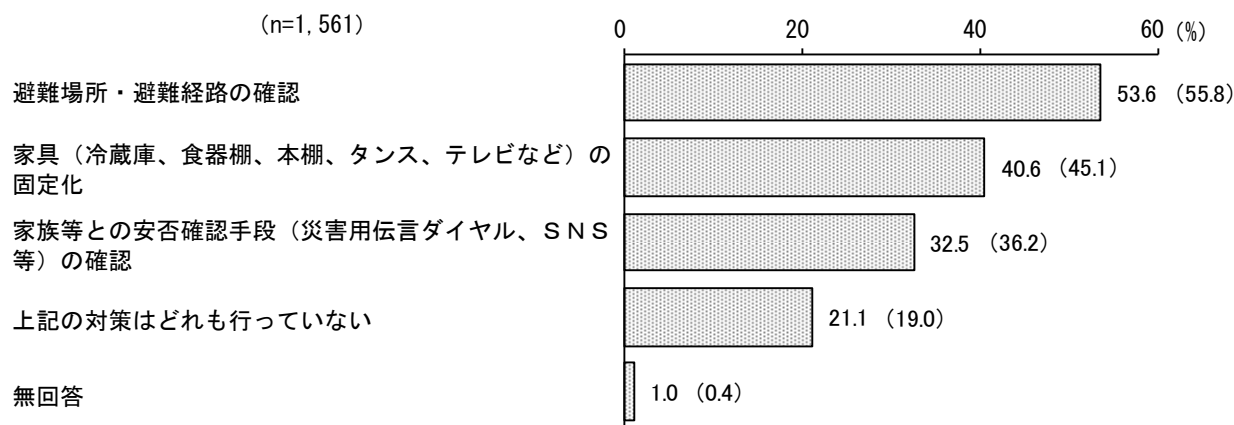
### （３）地震や台風などの災害への対策

#### ◇「避難場所・避難経路の確認」が５割台半ば

問30 あなたは、地震や台風などの災害に備えて、次の対策を行っていますか。

（○はいくつでも）

＜図表 6－5＞地震や台風などの災害への対策（複数回答）



注）（ ）の数字は令和4年度の同様の項目による調査結果 n=1,591

地震や台風などの災害に備えて、どのような対策を行っているか聞いたところ、「避難場所・避難経路の確認」（53.6%）が５割台半ばで最も高く、以下、「家具（冷蔵庫、食器棚、本棚、タンス、テレビなど）の固定化」（40.6%）、「家族等との安否確認手段（災害用伝言ダイヤル、SNS等）の確認」（32.5%）が続く。

一方、「上記の対策はどれも行っていない」（21.1%）が２割を超えている。（図表 6－5）

#### 【地域別】

地域別にみると、大きな傾向の違いは見られない。（図表 6－6）

#### 【性・年代別】

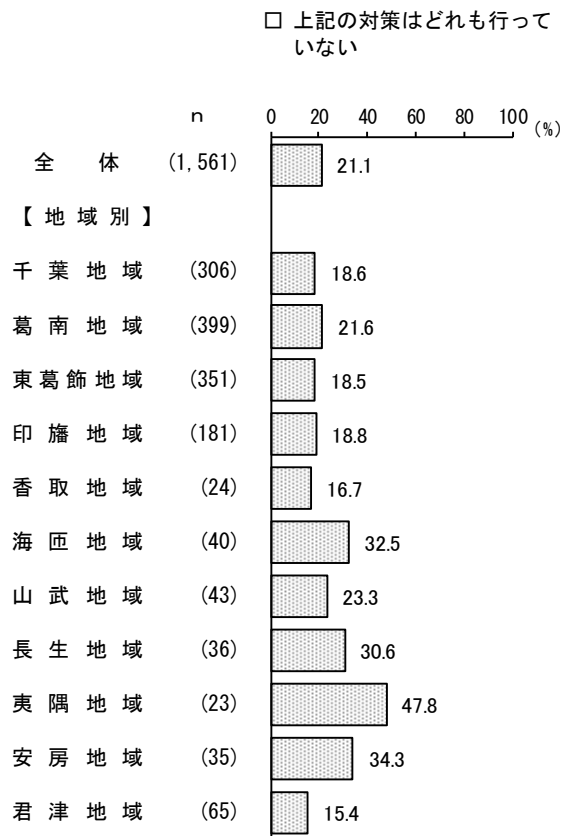
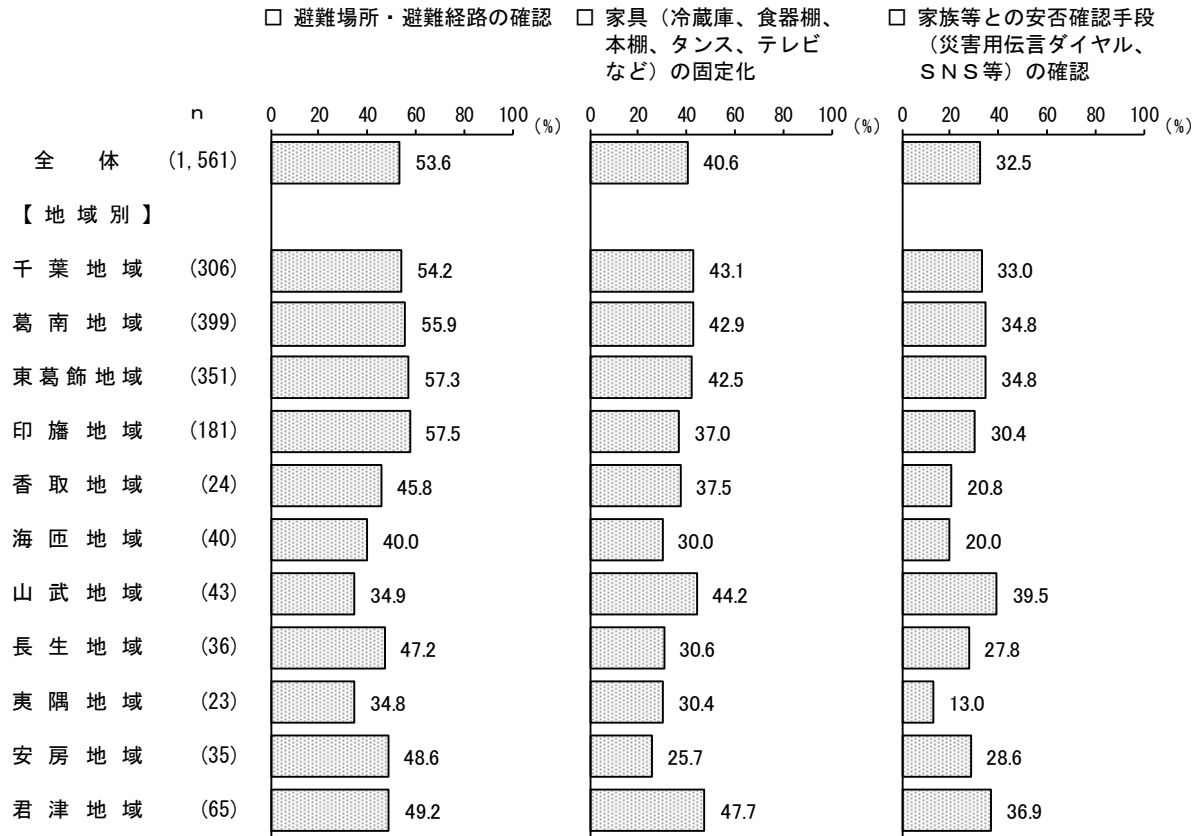
性・年代別にみると、「避難場所・避難経路の確認」は女性の65～69歳（66.2%）と女性の70～74歳（64.0%）が６割台半ばで高くなっている。

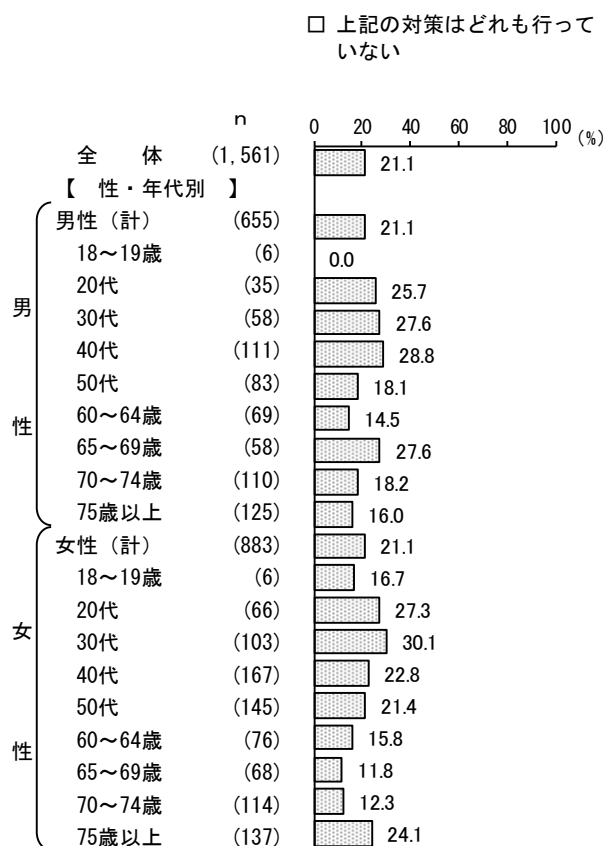
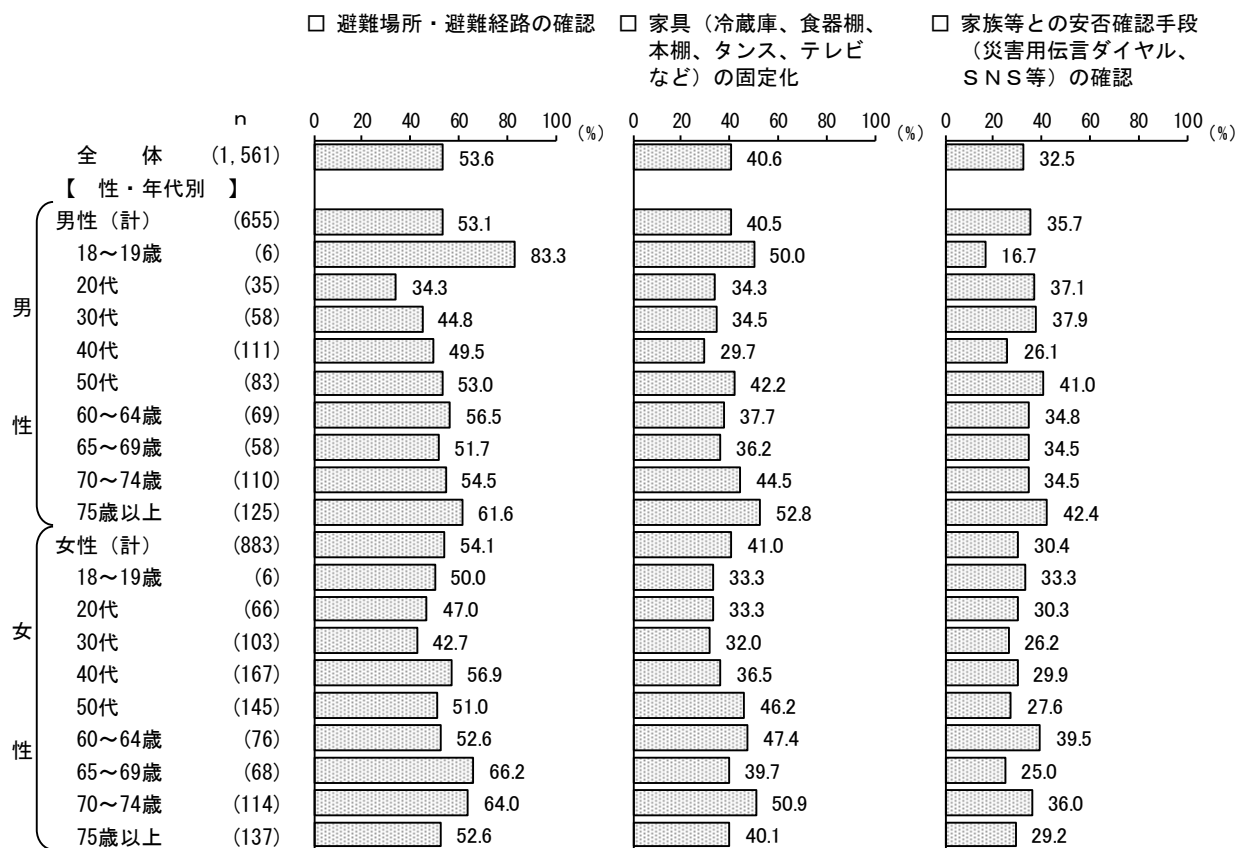
「家具（冷蔵庫、食器棚、本棚、タンス、テレビなど）の固定化」は男性の75歳以上（52.8%）が５割を超え、女性の70～74歳（50.9%）が５割で高くなっている。

「家族等との安否確認手段（災害用伝言ダイヤル、SNS等）の確認」は男性の75歳以上（42.4%）が４割を超えて高くなっている。

一方、「上記の対策はどれも行っていない」は女性の30代（30.1%）が３割、男性の40代（28.8%）が約３割で高くなっている。（図表 6－6）

＜図表 6－6＞地震や台風などの災害への対策（複数回答）／地域別、性・年代別





## 7 公金のキャッシュレス化の推進について

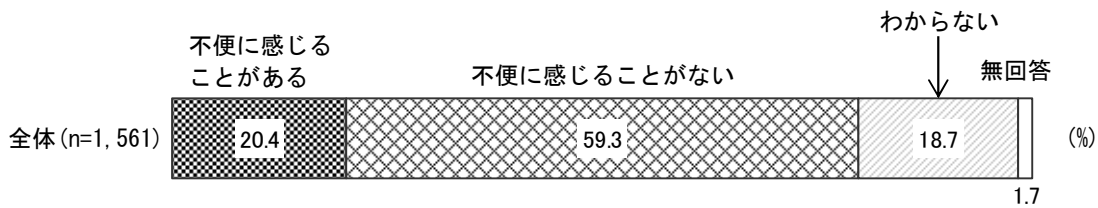
### （１）公金の納付に当たり不便と感ずることの有無

◇「不便に感ずることがある」が２割

県では、収納方法について、県民の皆様の利便性や事務の効率性の観点から「キャッシュレス化の推進」に向けて取り組んでいます。

問31 あなたは、税金や使用料・手数料などの県の公金の納付に当たり、不便と感ずることがあります。か。（○は１つ）

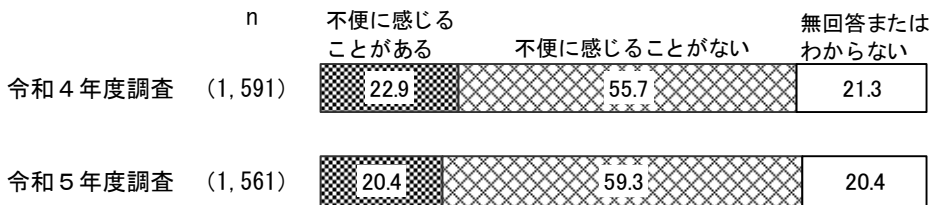
＜図表 7－1＞公金の納付に当たり不便と感ずることの有無



税金や使用料・手数料などの県の公金の納付に当たり、不便と感ずることがあるかを聞いたところ、「不便に感ずることがある」（20.4%）が２割となっている。

一方、「不便に感ずることがない」（59.3%）が約６割となっている。（図表 7－1）

〔参考〕令和 4 年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



#### 【地域別】

地域別にみると、「わからない」は“海匠地域”（37.5%）が約４割で高くなっている。

（図表 7－2）

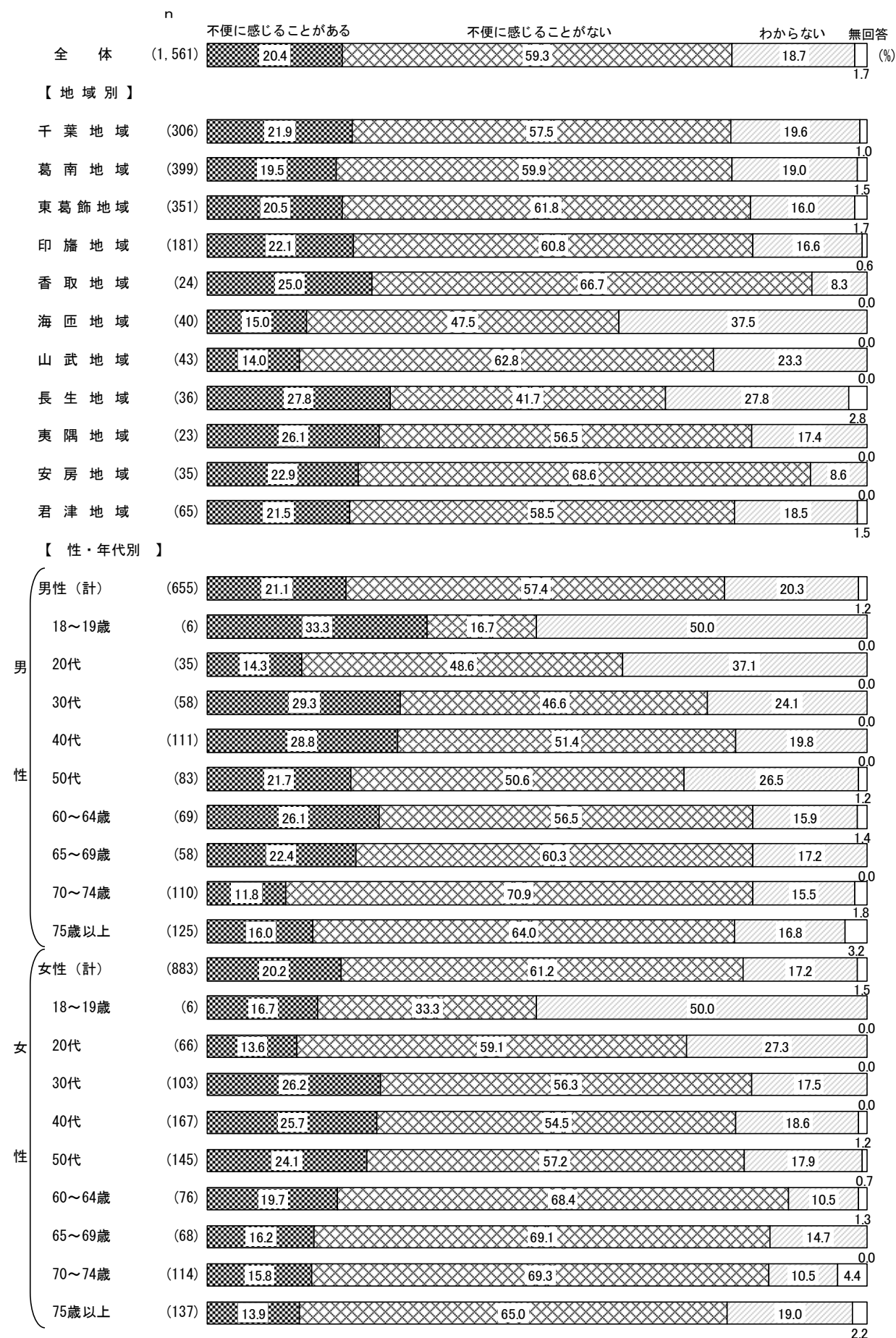
#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「不便に感ずることがある」は男性の40代（28.8%）が約３割で高くなっている。

一方、「不便に感ずることがない」は男性の70～74歳（70.9%）が7割、女性の70～74歳（69.3%）が約7割で高くなっている。

また、「わからない」は男性の20代（37.1%）が約４割で高くなっている。（図表 7－2）

＜図表７－２＞公金の納付に当たり不便と感ずることの有無／地域別、性・年代別



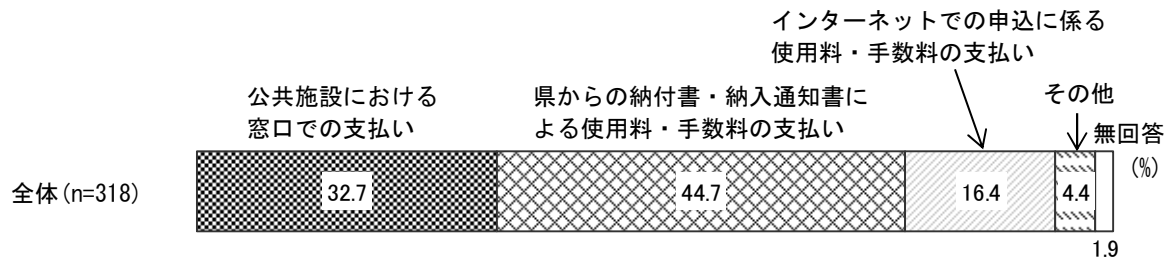
## （１－１）キャッシュレス決済を導入すべきだと思う場面

◇「県からの納付書・納入通知書による使用料・手数料の支払い」が４割台半ば

（問31で「不便に感じることもある」とお答えの方に）

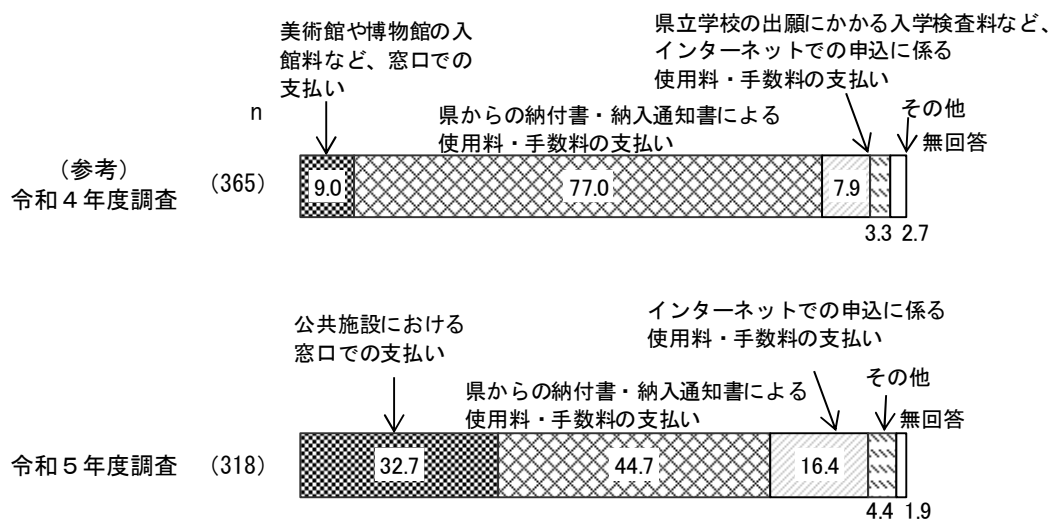
問31－１ あなたは、公金の納付に関して、県がキャッシュレス決済を導入とした場合、特に、どの場面に導入すべきだと思いますか。（○は１つ）

＜図表 7－3＞キャッシュレス決済を導入すべきだと思う場面



公金の納付にあたり「不便に感じることもある」と回答した318人を対象に、県がキャッシュレス決済を導入とした場合、特に、どの場面に導入すべきだと思うかを聞いたところ、「県からの納付書・納入通知書による使用料・手数料の支払い」（44.7%）が４割台半ばと最も高く、以下、「公共施設における窓口での支払い」（32.7%）、「インターネットでの申込に係る使用料・手数料の支払い」（16.4%）と続く。（図表 7－3）

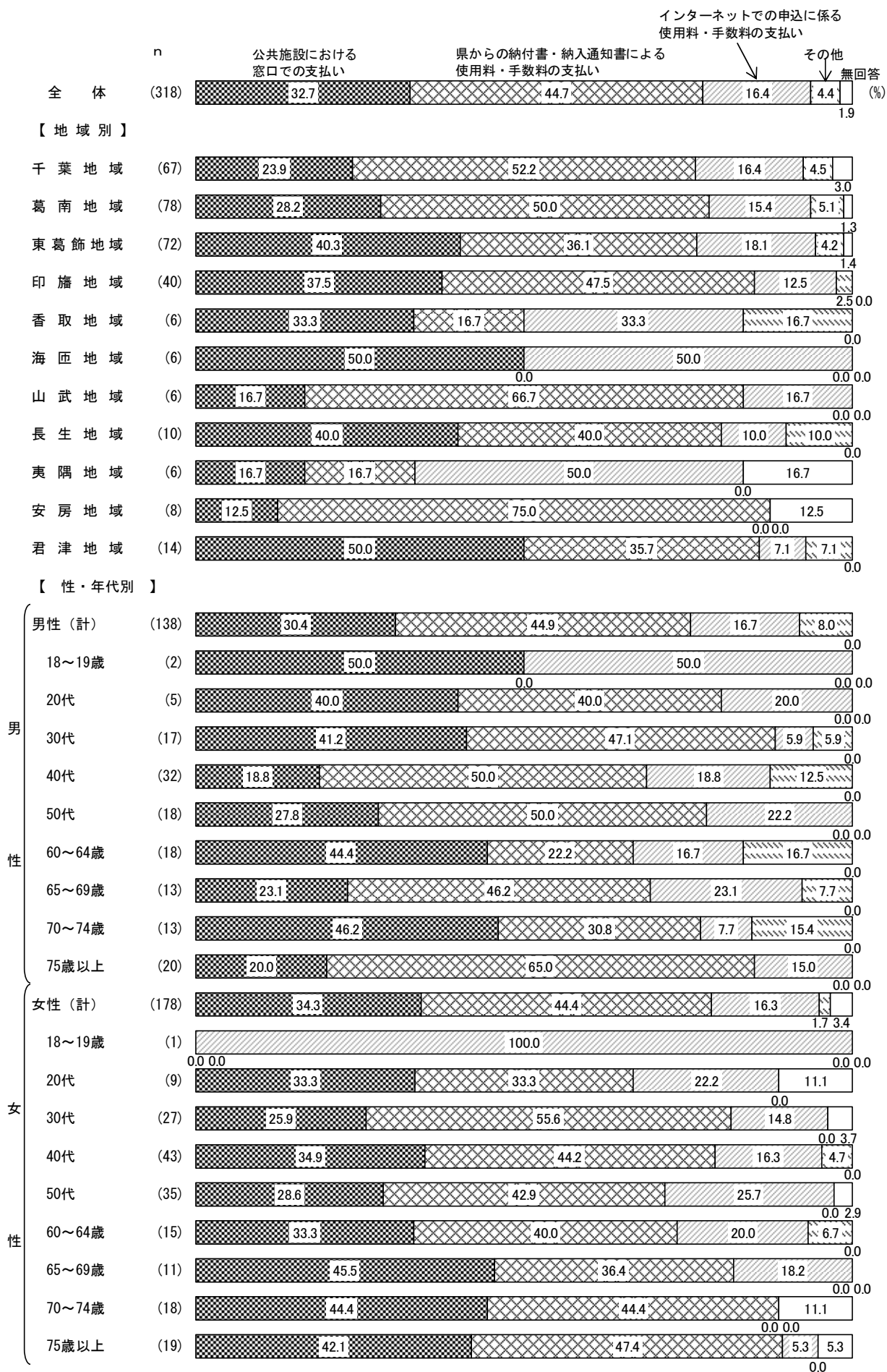
〔参考〕令和４年度の類似の項目による調査結果との比較（単位：％）



※サンプル数が少ないため、【地域別】、【性・年代別】は参考までに図示するにとどめる。

（８ページ「報告書の見方（５）」を参照）（図表 7－4）

〔参考〕＜図表７－４＞キャッシュレス決済を導入すべきだと思う場面／地域別、性・年代別



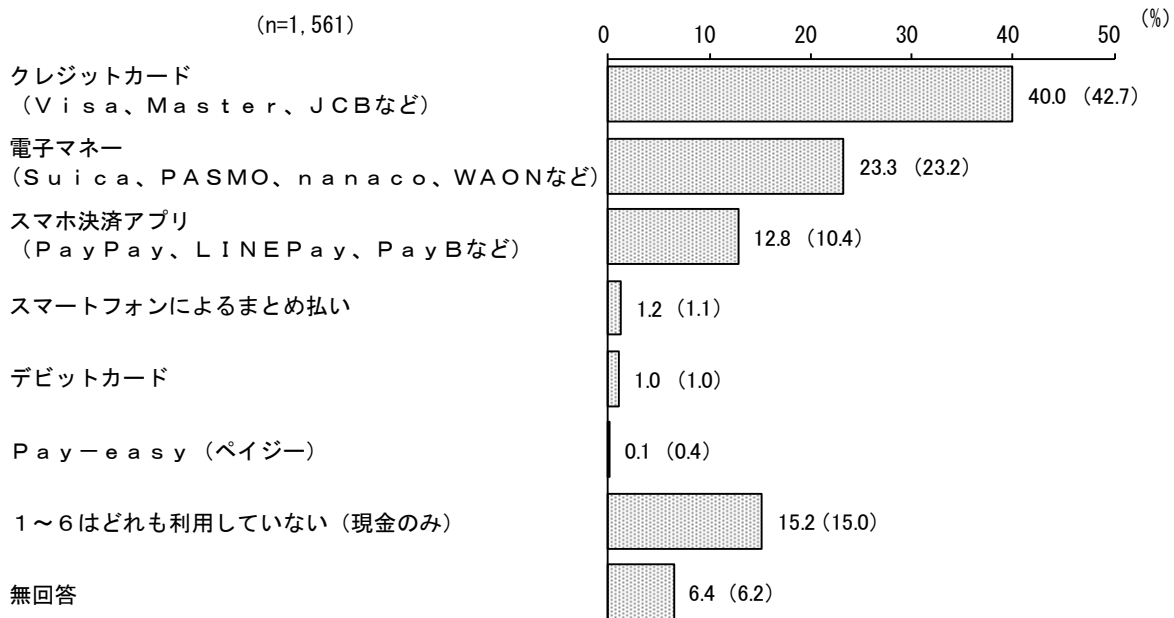


## （２）普段の生活で主に利用しているキャッシュレス決済

◇「クレジットカード（V i s a、M a s t e r、J C Bなど）」が４割

問32 あなたは、普段の生活の中で、主に、どのようなキャッシュレス決済を利用していますか。  
(○は１つ)

＜図表 7－5＞普段の生活で主に利用しているキャッシュレス決済（単一回答）



注) ( ) の数字は令和4年度の同様の項目による調査結果 n=1,591

普段の生活で主に利用しているキャッシュレス決済を聞いたところ、「クレジットカード（V i s a、M a s t e r、J C Bなど）」(40.0%) が４割で最も高く、以下、「電子マネー(S u i c a、P A S M O、n a n a c o、W A O Nなど)」(23.3%)、「スマホ決済アプリ（P a y P a y、L I N E P a y、P a y Bなど）」(12.8%) が続く。

一方、「1～6はどれも利用していない（現金のみ）」(15.2%) が１割台半ばとなっている。

(図表 7－5)

### 【地域別】

地域別にみると、「1～6はどれも利用していない（現金のみ）」は“海匠地域”(30.0%) が３割で高くなっている。(図表 7－6)

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「クレジットカード（V i s a、M a s t e r、J C Bなど）」は女性の50代(51.0%) が５割を超え、女性の40代(50.3%) が５割で高くなっている。

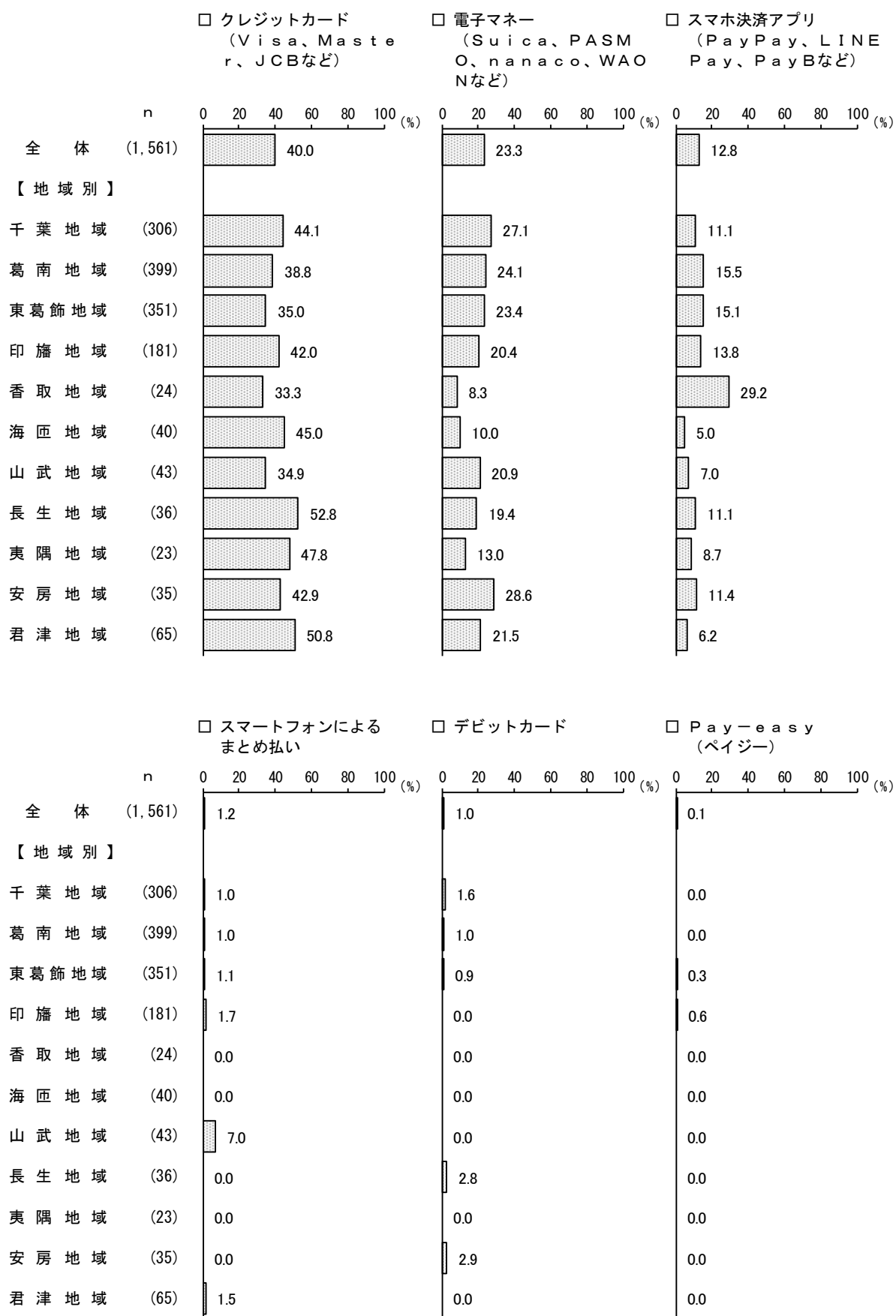
「電子マネー(S u i c a、P A S M O、n a n a c o、W A O Nなど)」は女性の60～64歳(34.2%) と男性の40代(33.3%) が３割を超えて高くなっている。

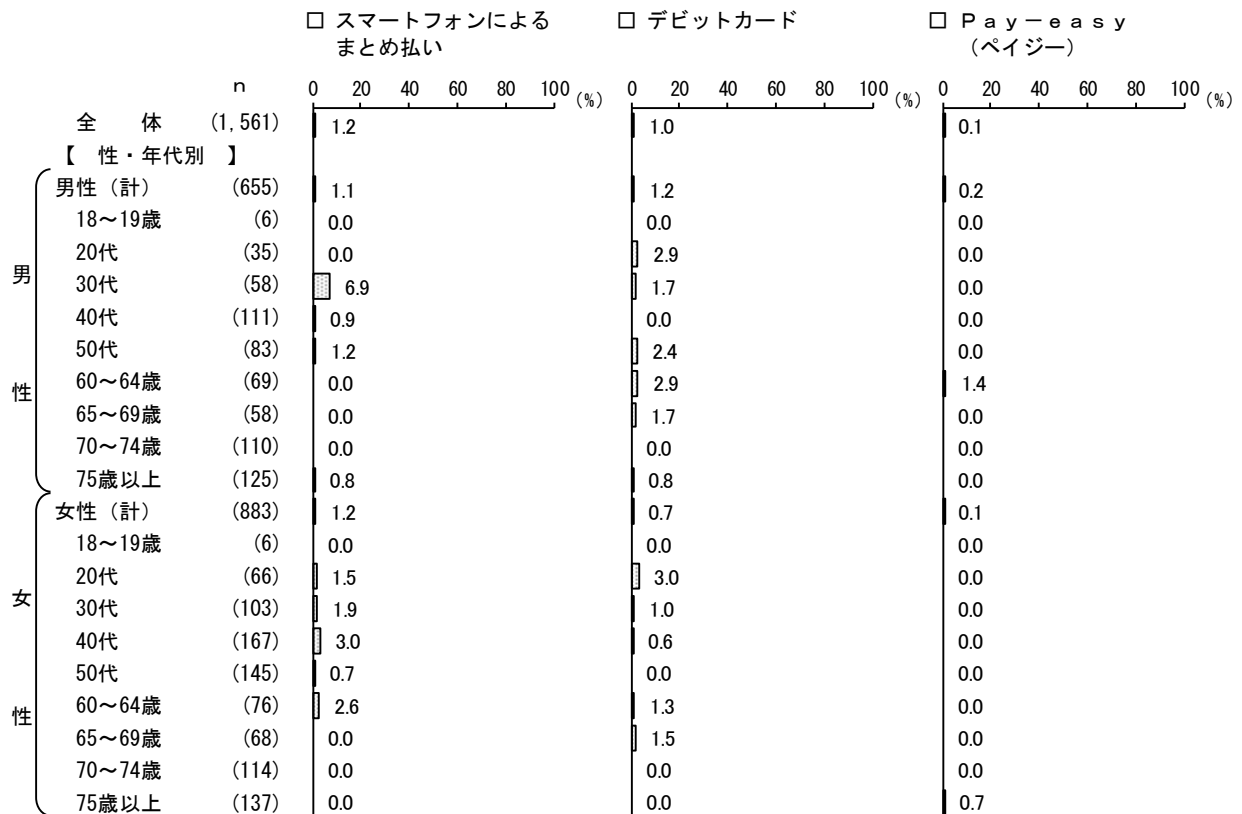
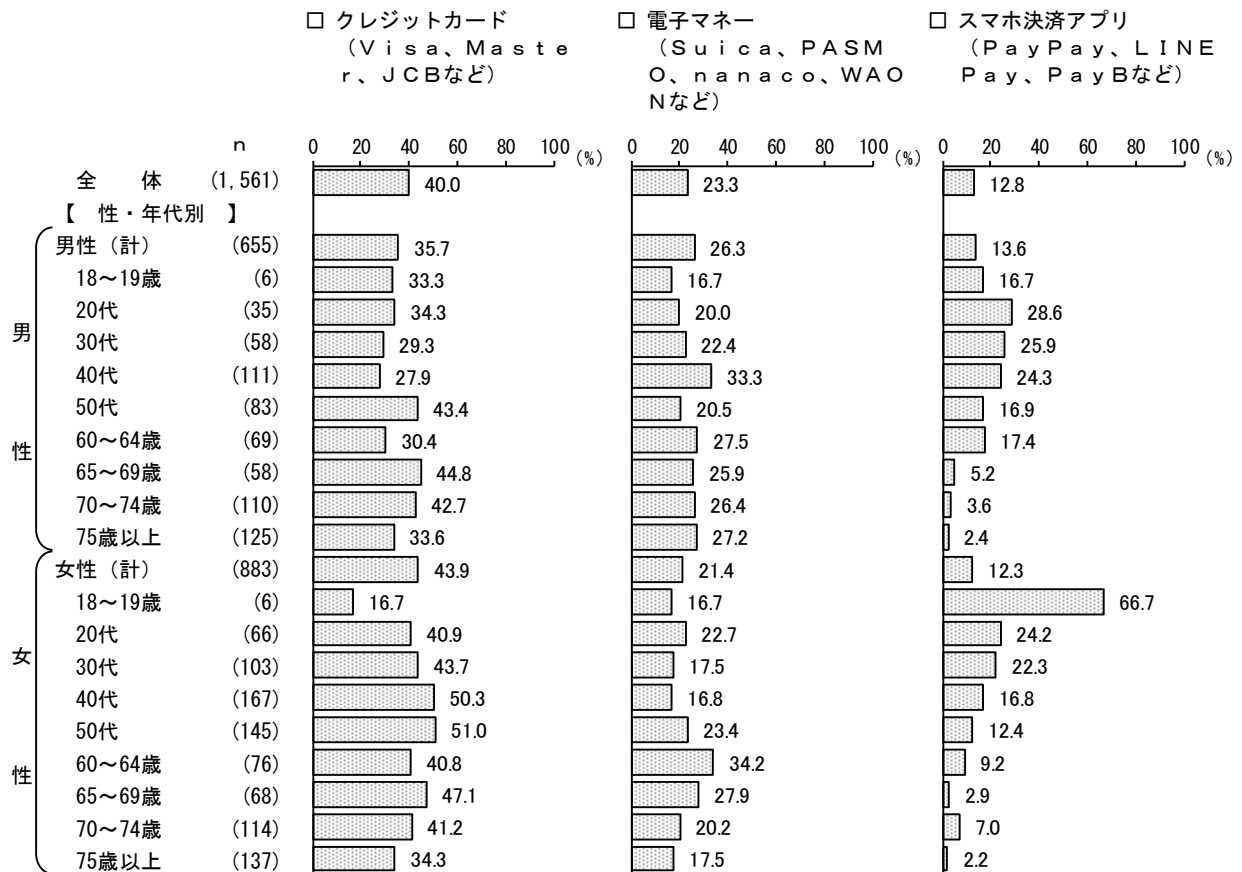
「スマホ決済アプリ（P a y P a y、L I N E P a y、P a y Bなど）」は男性の20代(28.6%) が約３割、男性の30代(25.9%)、男性の40代(24.3%)、女性の20代(24.2%) が２割台半ば、女性の30代(22.3%) が２割を超えて高くなっている。

一方、「1～6はどれも利用していない（現金のみ）」は女性の75歳以上(40.1%) が４割、男性の75歳以上(28.0%) が約３割で高くなっている。(図表 7－6)

＜図表７－６＞普段の生活で主に利用しているキャッシュレス決済（単一回答）

／地域別、性・年代別（上位６項目）





## 8 生涯学習について

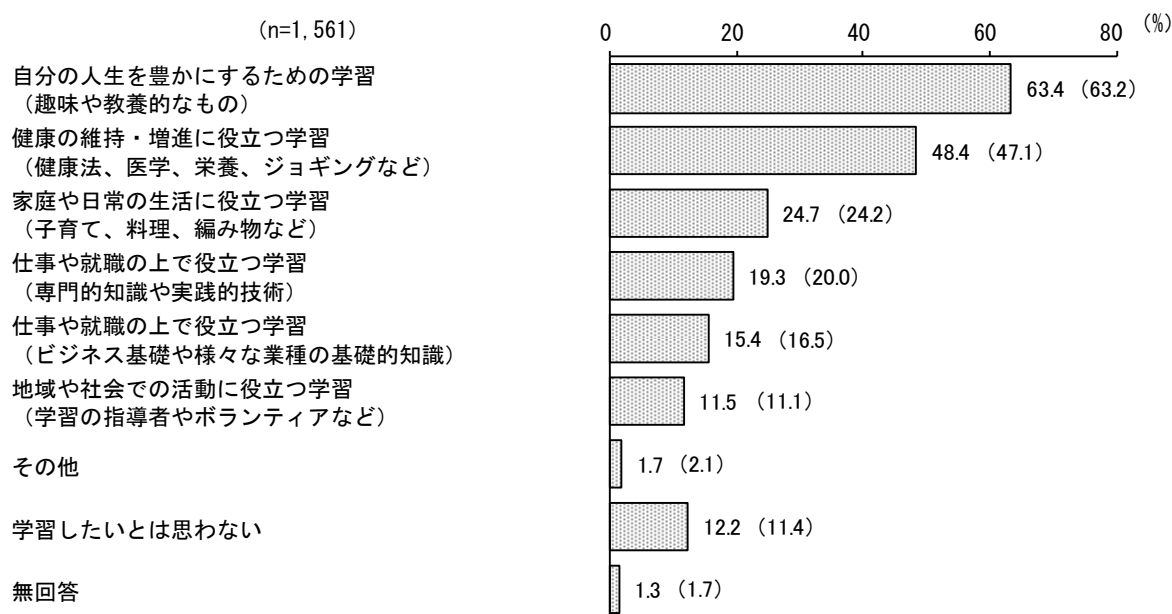
### （１）今後学習したいと思うこと

◇「自分の人生を豊かにするための学習（趣味や教養的なもの）」が６割を超える

県では、人生100年時代到来や技術革新など、社会が大きく変化する中、新しい時代に合った生涯学習を推進していくため、今後の施策推進の参考にいたします。

問33 あなたは、今後、学習したいと思うことはありますか。この中からいくつでもあげてください。（〇はいくつでも）

＜図表 8－１＞今後学習したいと思うこと（複数回答）



注）（ ）の数字は令和4年度の同様の項目による調査結果 n=1,591

今後、学習したいと思うことを聞いたところ、「自分の人生を豊かにするための学習（趣味や教養的なもの）」（63.4%）が６割を超えて最も高く、以下、「健康の維持・増進に役立つ学習（健康法、医学、栄養、ジョギングなど）」（48.4%）、「家庭や日常の生活に役立つ学習（子育て、料理、編み物など）」（24.7%）、「仕事や就職の上で役立つ学習（専門的知識や実践的技術）」（19.3%）が続く。

一方、「学習したいとは思わない」（12.2%）が１割を超えている。（図表 8－１）

#### 【地域別】

地域別にみると、「自分の人生を豊かにするための学習（趣味や教養的なもの）」は“葛南地域”（69.4%）が約７割で高くなっている。（図表 8－２）

#### 【性・年代別】

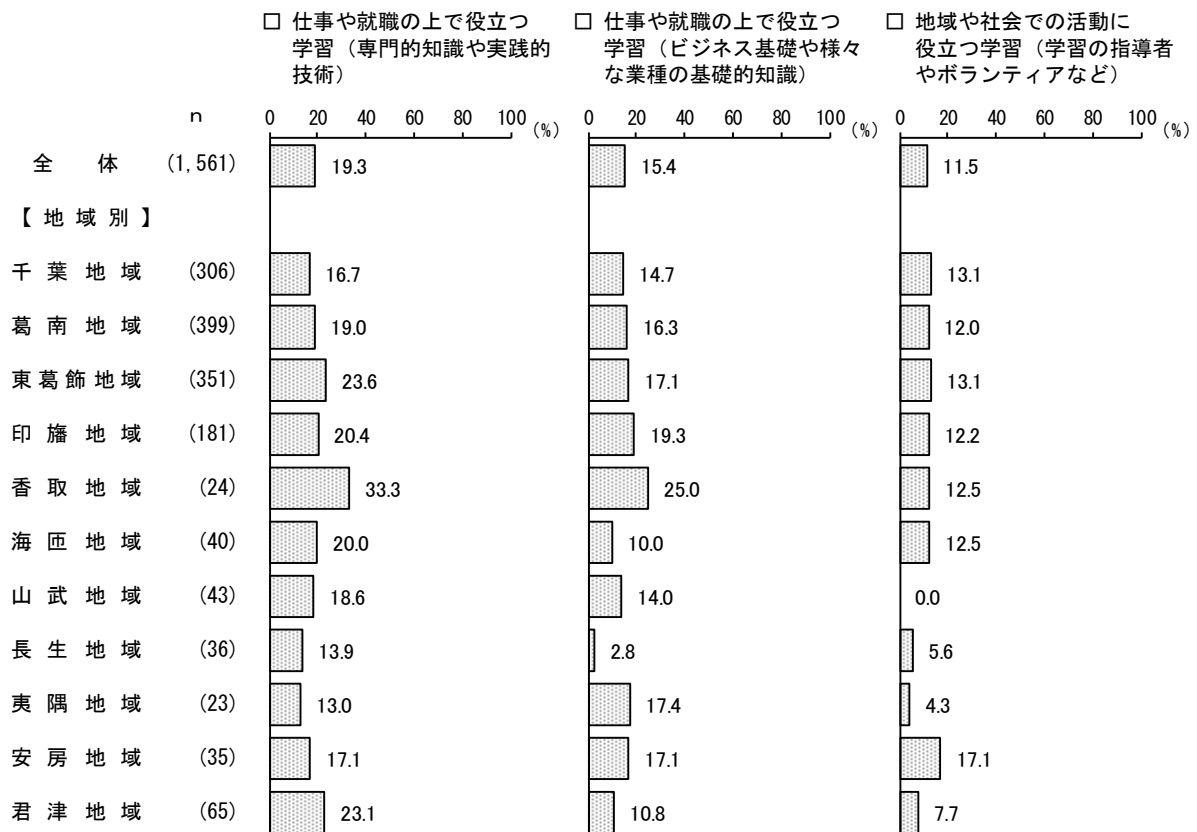
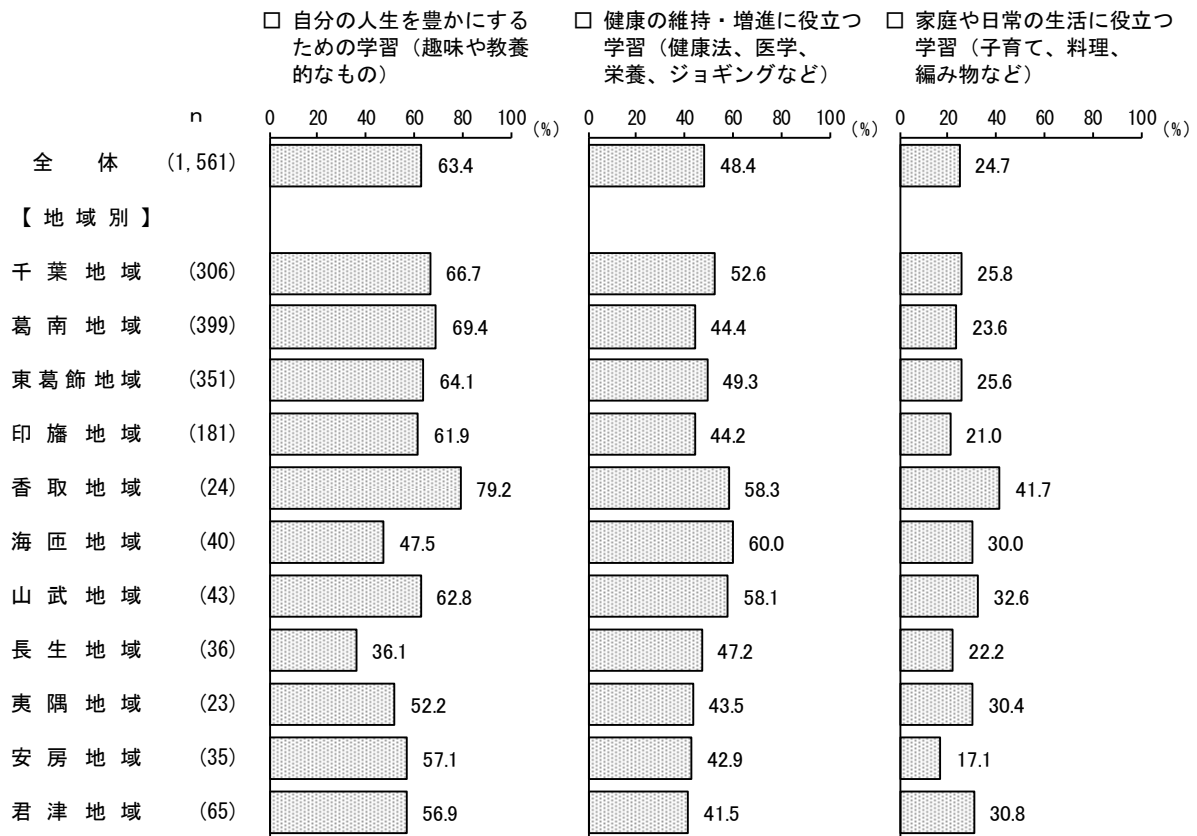
性・年代別にみると、「自分の人生を豊かにするための学習（趣味や教養的なもの）」は女性の60～64歳（77.6%）が約８割、女性の30代（76.7%）が７割台半ば、女性の50代（72.4%）が７割を超え、女性の40代（70.7%）が７割で高くなっている。

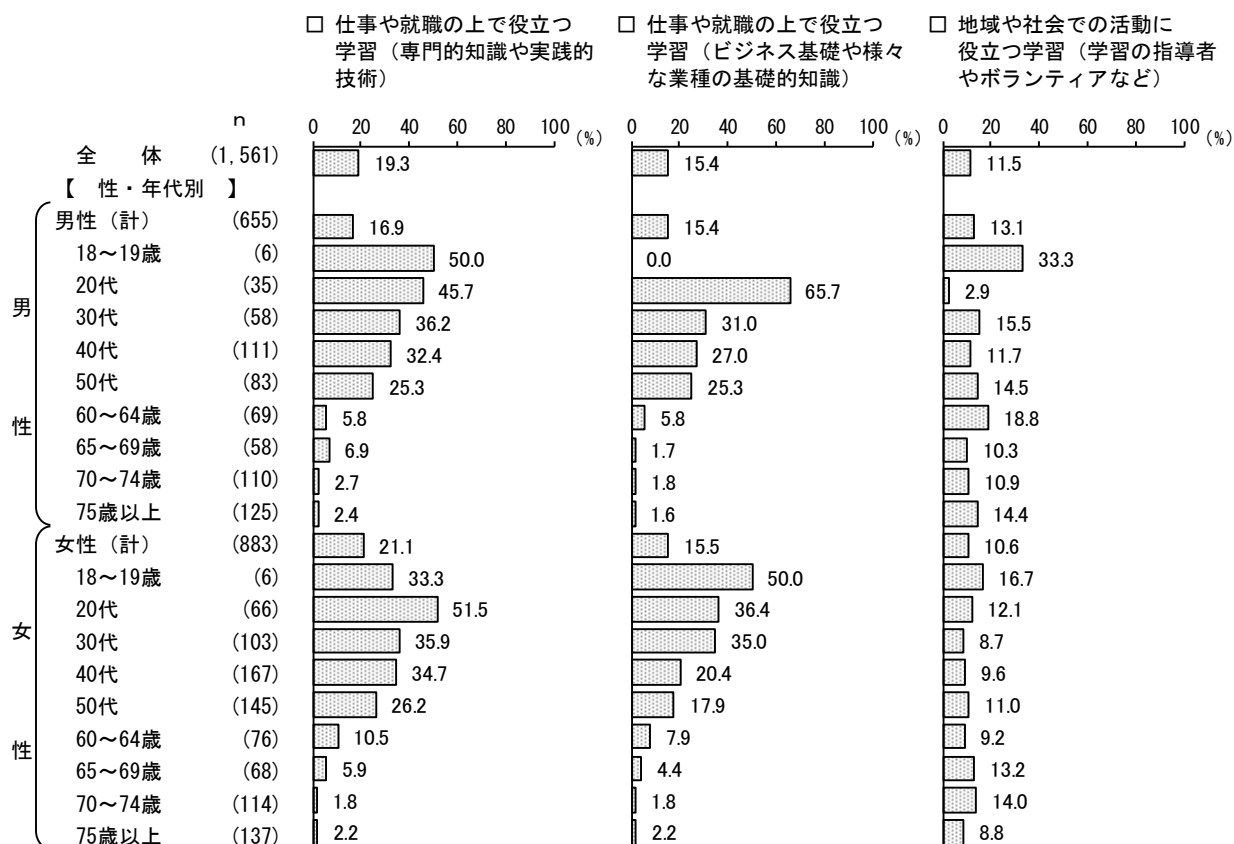
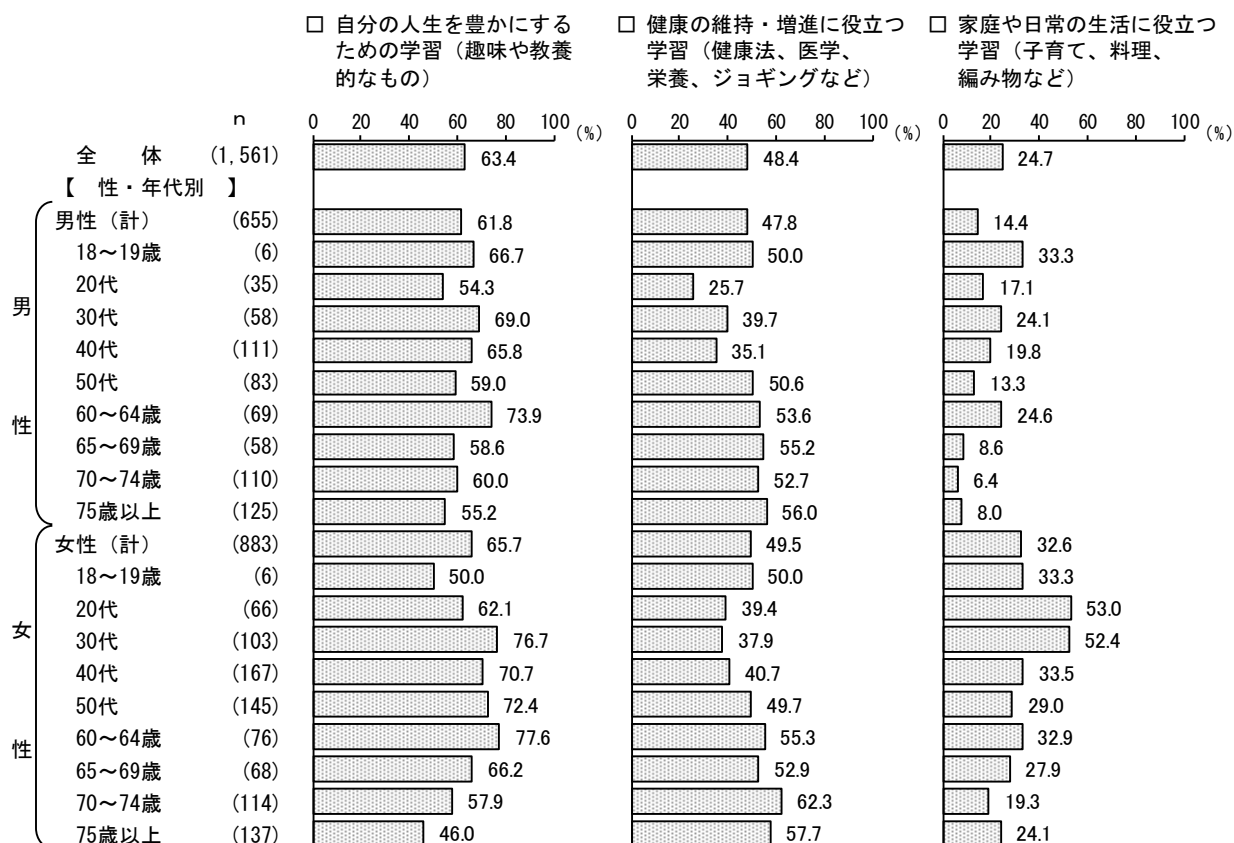
「健康の維持・増進に役立つ学習（健康法、医学、栄養、ジョギングなど）」は女性の70～74歳（62.3%）が６割を超え、女性の75歳以上（57.7%）が約６割で高くなっている。

「家庭や日常の生活に役立つ学習（子育て、料理、編み物など）」は女性の20代（53.0%）、女性の30代（52.4%）が5割を超え、女性の40代（33.5%）が3割台半ばで高くなっている。

（図表8－2）

＜図表8－2＞今後学習したいと思うこと（複数回答）／地域別、性・年代別（上位6項目）





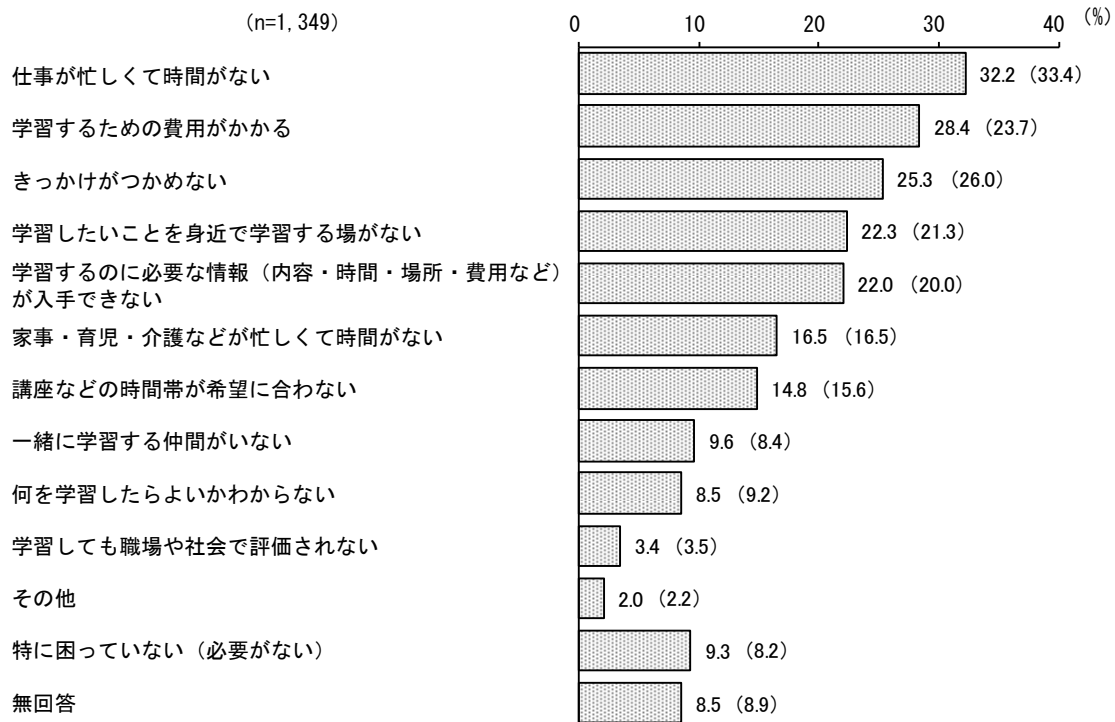
## （１－１）学習する上で困っていること

◇「仕事が忙しくて時間がない」が３割を超える

【問33で「学習したいとは思わない」以外を回答した方】

問34 学習する上で困っていることは何ですか。この中からいくつでもあげてください。（問33で「学習したいとは思わない」と回答した方は、学習したいとは思わない理由をお答えください。）（○はいくつでも）

＜図表 8－3＞学習する上で困っていること（複数回答）



注）（ ）の数字は令和４年度の同様の項目による調査結果 n=1,382

「学習したいとは思わない」以外を回答した1,349人に、学習する上で困っていることを聞いたところ、「仕事が忙しくて時間がない」（32.2%）が３割を超えて最も高く、以下、「学習するための費用がかかる」（28.4%）、「きっかけがつかめない」（25.3%）、「学習したいことを身近で学習する場がない」（22.3%）が続く。

一方、「特に困っていない（必要がない）」（9.3%）が約１割となっている。（図表 8－3）

### 【地域別】

地域別にみると、「仕事が忙しくて時間がない」は“東葛飾地域”（40.4%）が４割で高くなっている。

「学習するための費用がかかる」は“山武地域”（44.7%）が４割台半ばで高くなっている。

（図表 8－4）

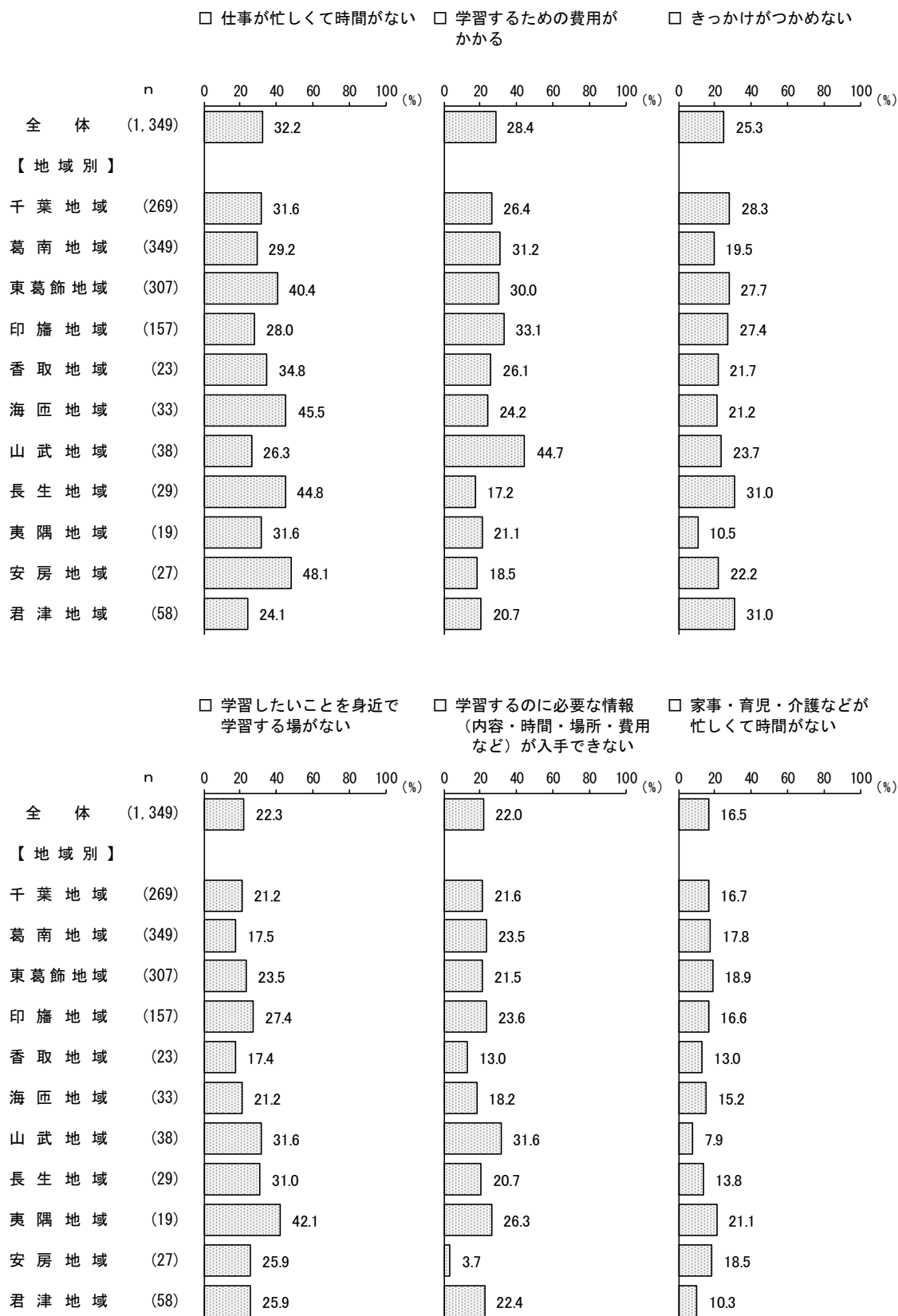
### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「仕事が忙しくて時間がない」は男性の30代（61.1%）が６割を超え、男性

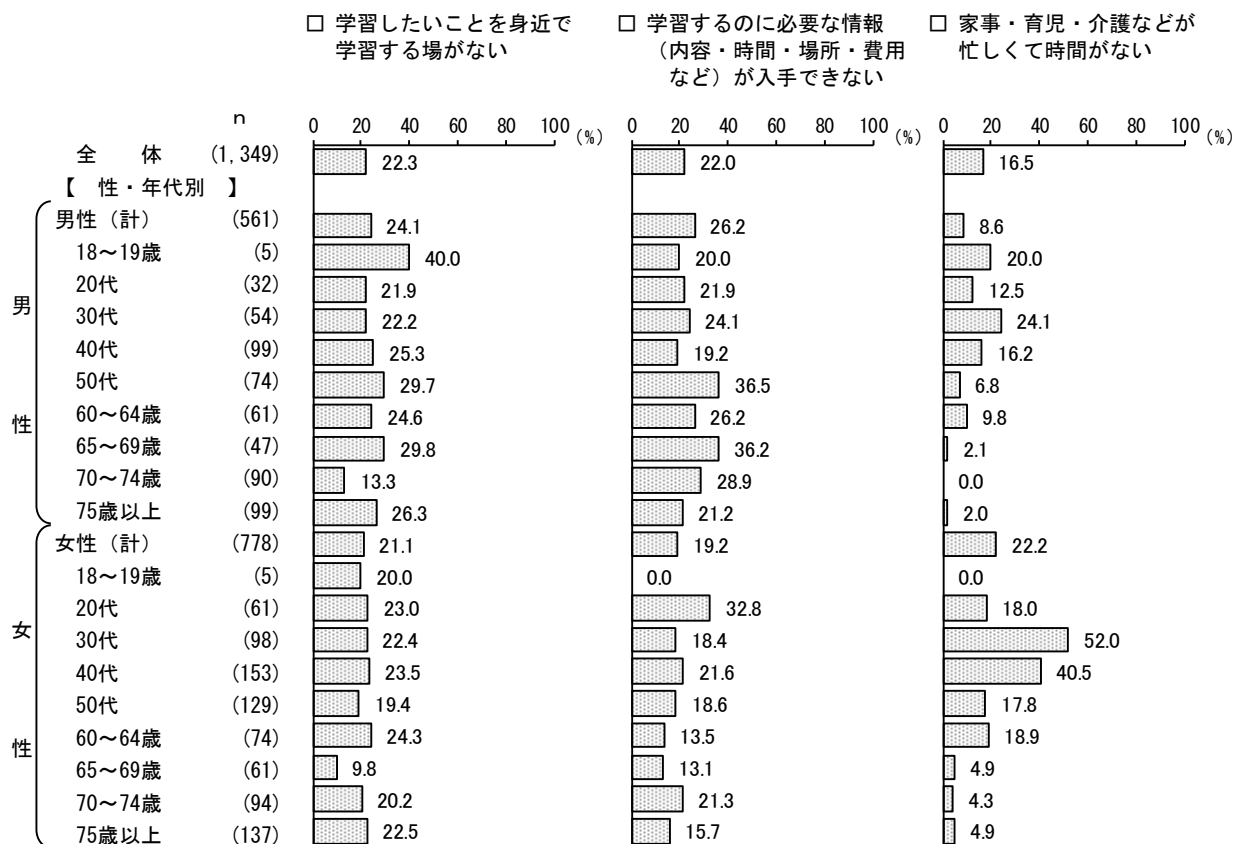
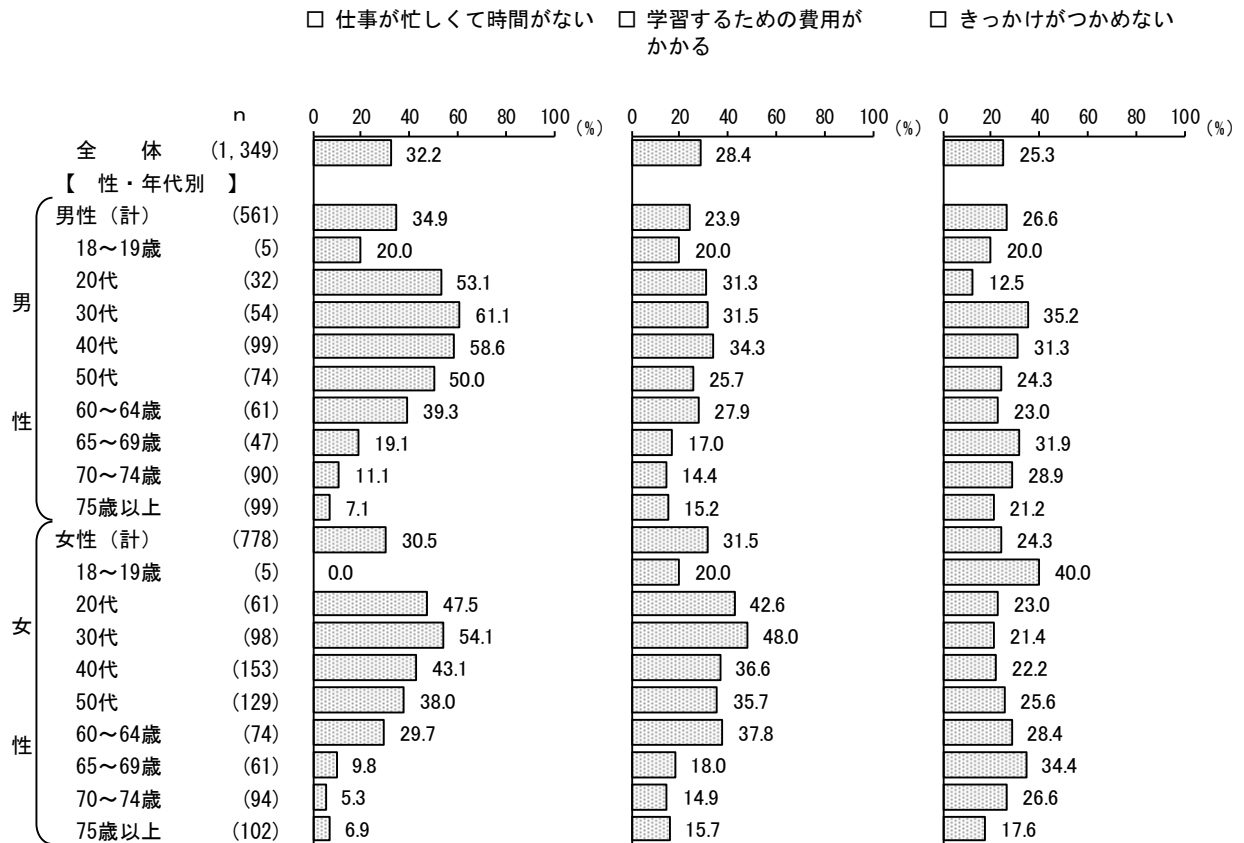
の40代（58.6%）が約6割、女性の30代（54.1%）が5割台半ば、男性の20代（53.1%）が5割を超え、男性の50代（50.0%）が5割、女性の20代（47.5%）が約5割、女性の40代（43.1%）が4割を超えて高くなっている。

「学習するための費用がかかる」は女性の30代（48.0%）が約5割、女性の20代（42.6%）が4割を超え、女性の40代（36.6%）が3割台半ばで高くなっている。（図表８－４）

＜図表８－４＞学習する上で困っていること（複数回答）／地域別、性・年代別（上位6項目）







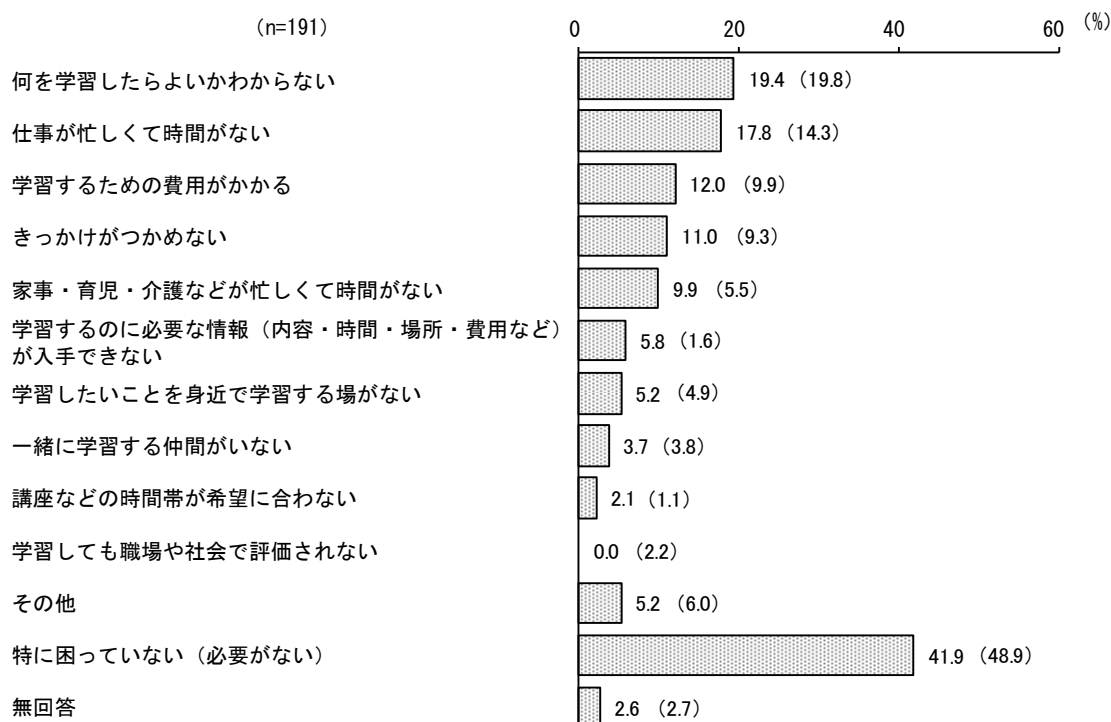
## （１－２）学習したいと思わない理由

◇「何を学習したらよいかわからない」が約２割

【問33で「学習したいとは思わない」を回答した方】

問34 学習する上で困っていることは何ですか。この中からいくつでもあげてください。（問33で「学習したいとは思わない」と回答した方は、学習したいと思わない理由をお答えください。）（〇はいくつでも）

＜図表 8－5＞学習したいと思わない理由（複数回答）



注) ( ) の数字は令和4年度の同様の項目による調査結果 n=182

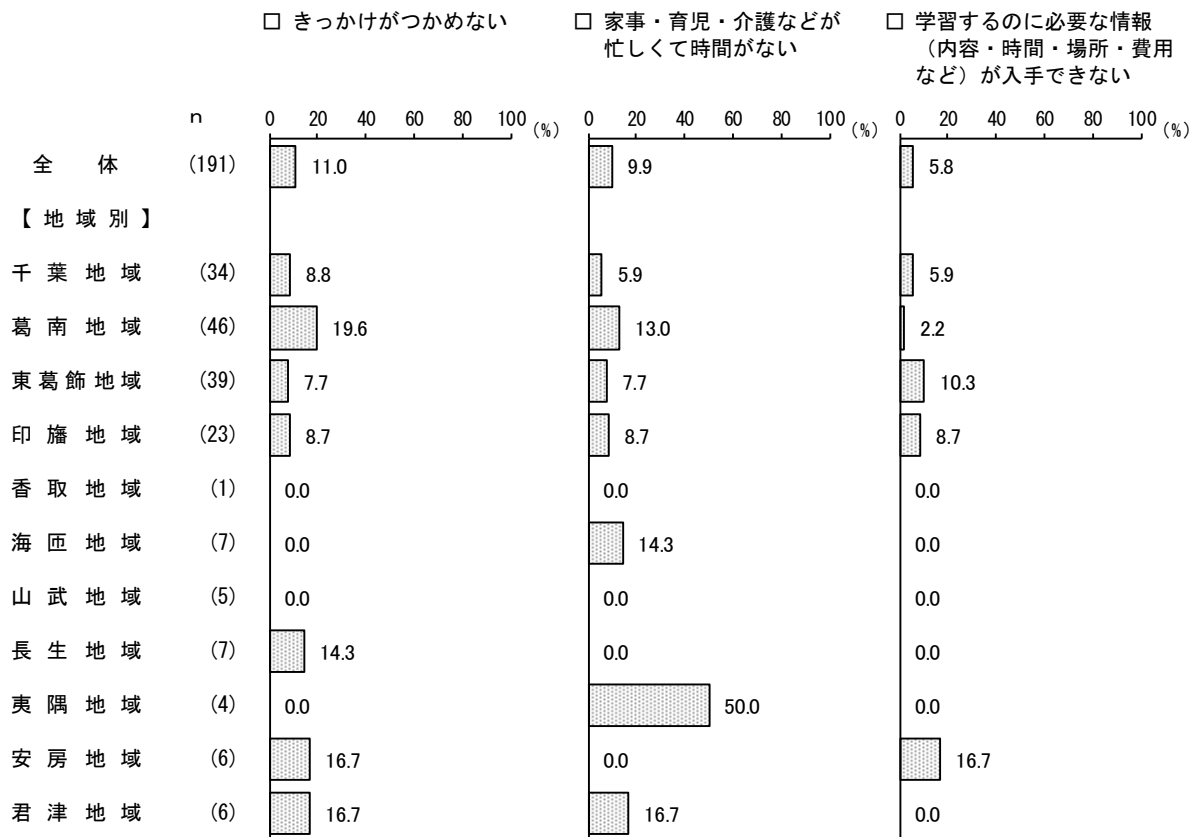
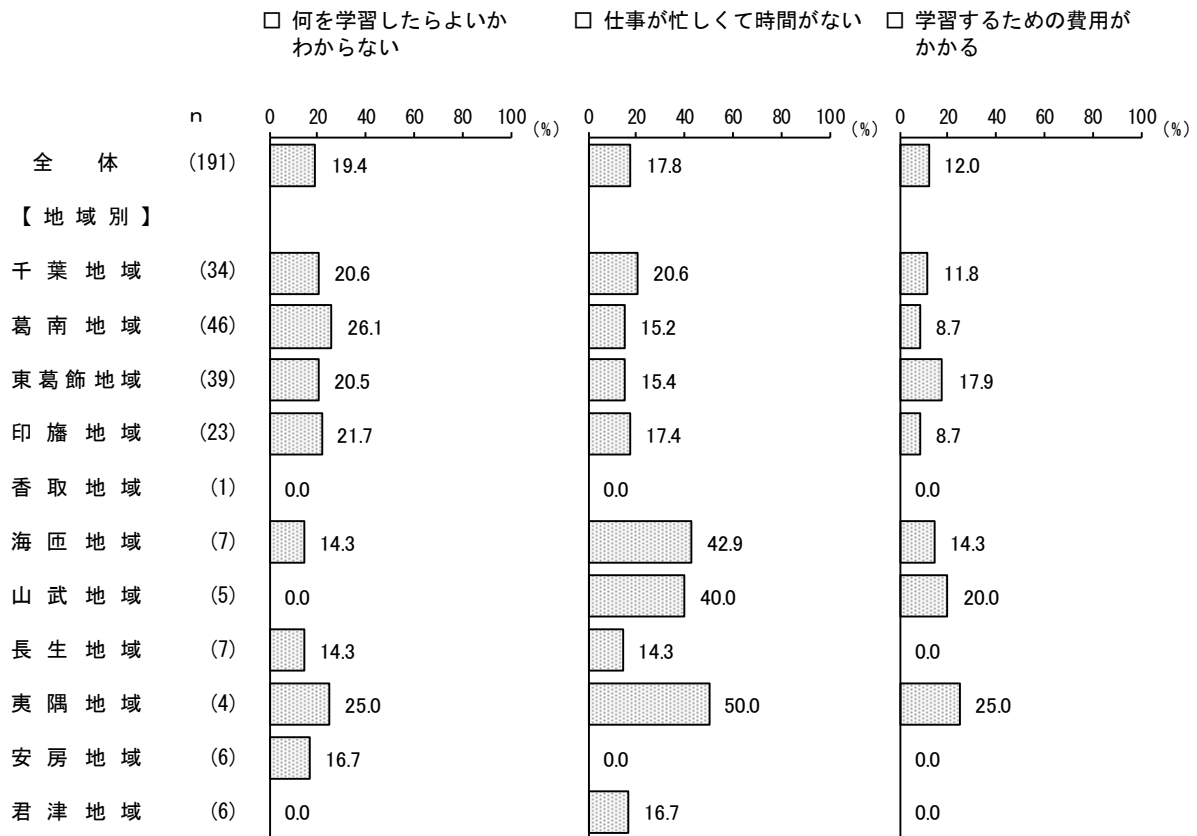
「学習したいとは思わない」と回答した191人に、学習したいと思わない理由を聞いたところ、「何を学習したらよいかわからない」(19.4%) が約２割で最も高く、以下、「仕事が忙しくて時間がない」(17.8%)、「学習するための費用がかかる」(12.0%)、「きっかけがつかめない」(11.0%)が続く。

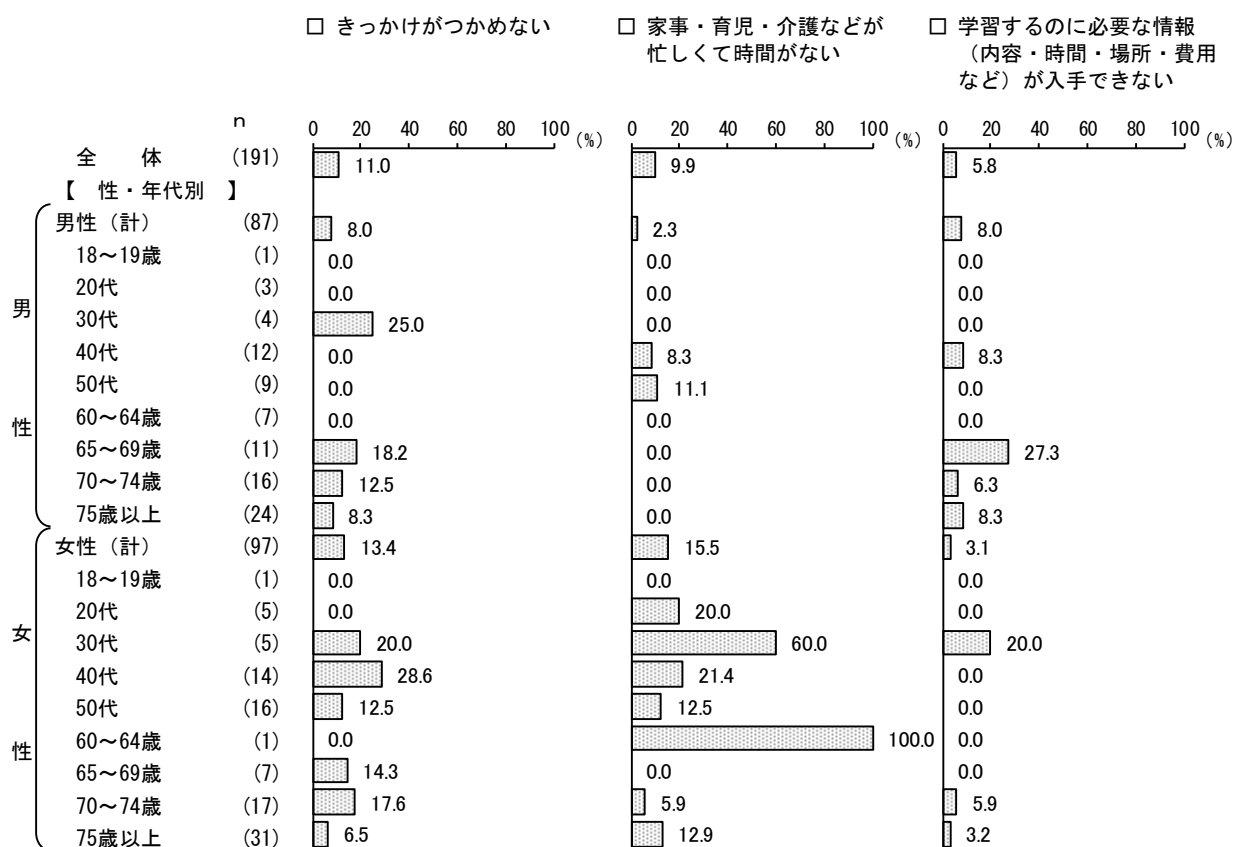
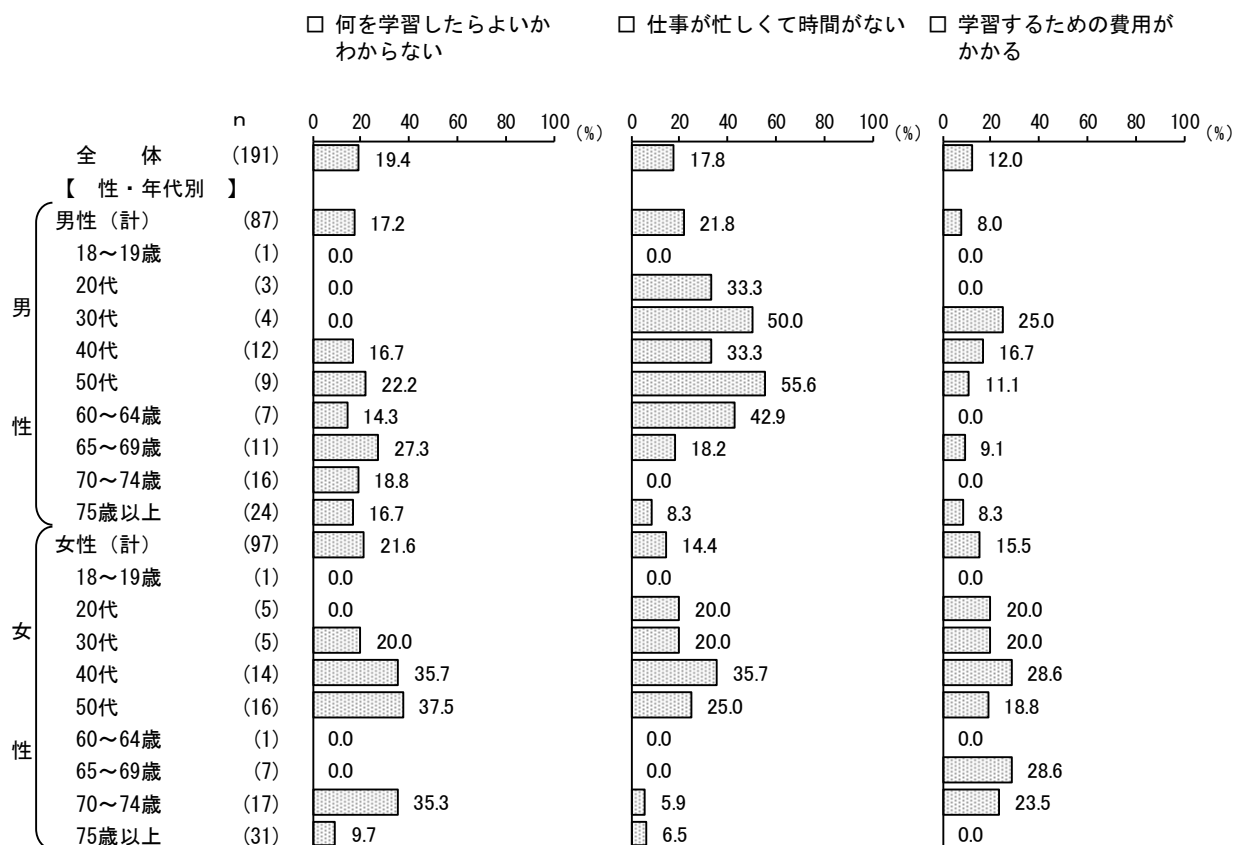
一方、「特に困っていない（必要がない）」(41.9%) が４割を超えている。（図表 8－5）

※サンプル数が少ないため、【地域別】、【性・年代別】は参考までに図示するにとどめる。

（8 ページ「報告書の見方（5）」を参照）（図表 8－6）

〔参考〕＜図表 8－6＞学習したいと思わない理由（複数回答）／地域別、性・年代別（上位 6 項目）



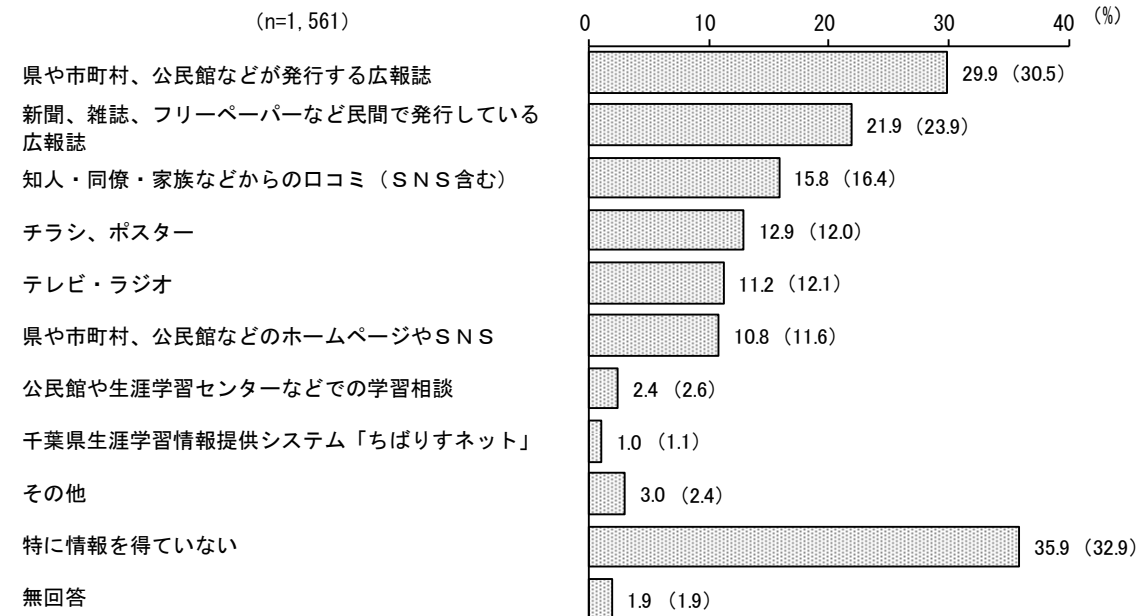


## （２）生涯学習の情報を得る手段

◇「県や市町村、公民館などが発行する広報誌」が約３割

問35 あなたは、生涯学習の情報をどこから得ていますか。この中からいくつでもあげてください。（○はいくつでも）

＜図表８－７＞生涯学習の情報を得る手段（複数回答）



注）（ ）の数字は令和４年度の同様の項目による調査結果 n=1,591

生涯学習の情報を得る手段について聞いたところ、「県や市町村、公民館などが発行する広報誌」（29.9%）が約３割で最も高く、以下、「新聞、雑誌、フリーペーパーなど民間で発行している広報誌」（21.9%）、「知人・同僚・家族などからの口コミ（SNS含む）」（15.8%）、「チラシ、ポスター」（12.9%）が続く。

一方、「特に情報を得ていない」（35.9%）が３割台半ばとなっている。（図表８－７）

### 【地域別】

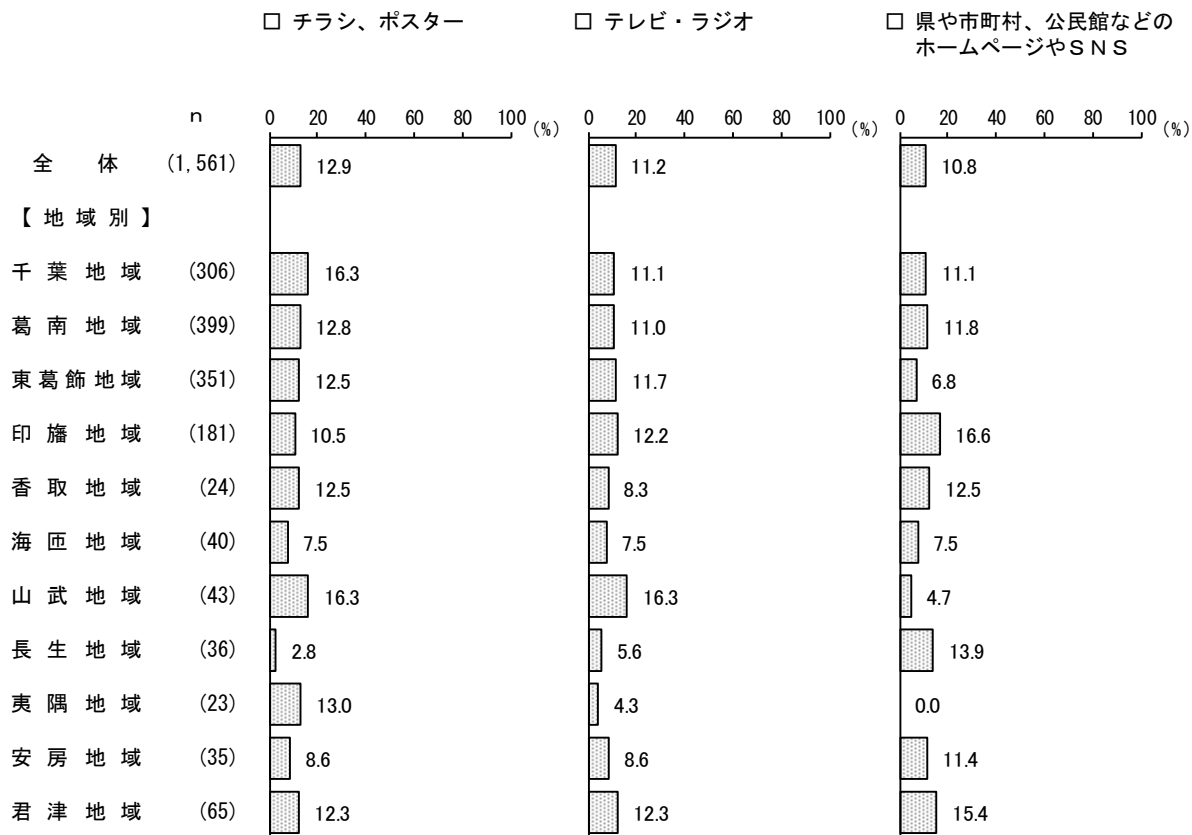
地域別にみると、「チラシ、ポスター」は“千葉地域”（16.3%）が１割台半ばで高くなっている。（図表８－８）

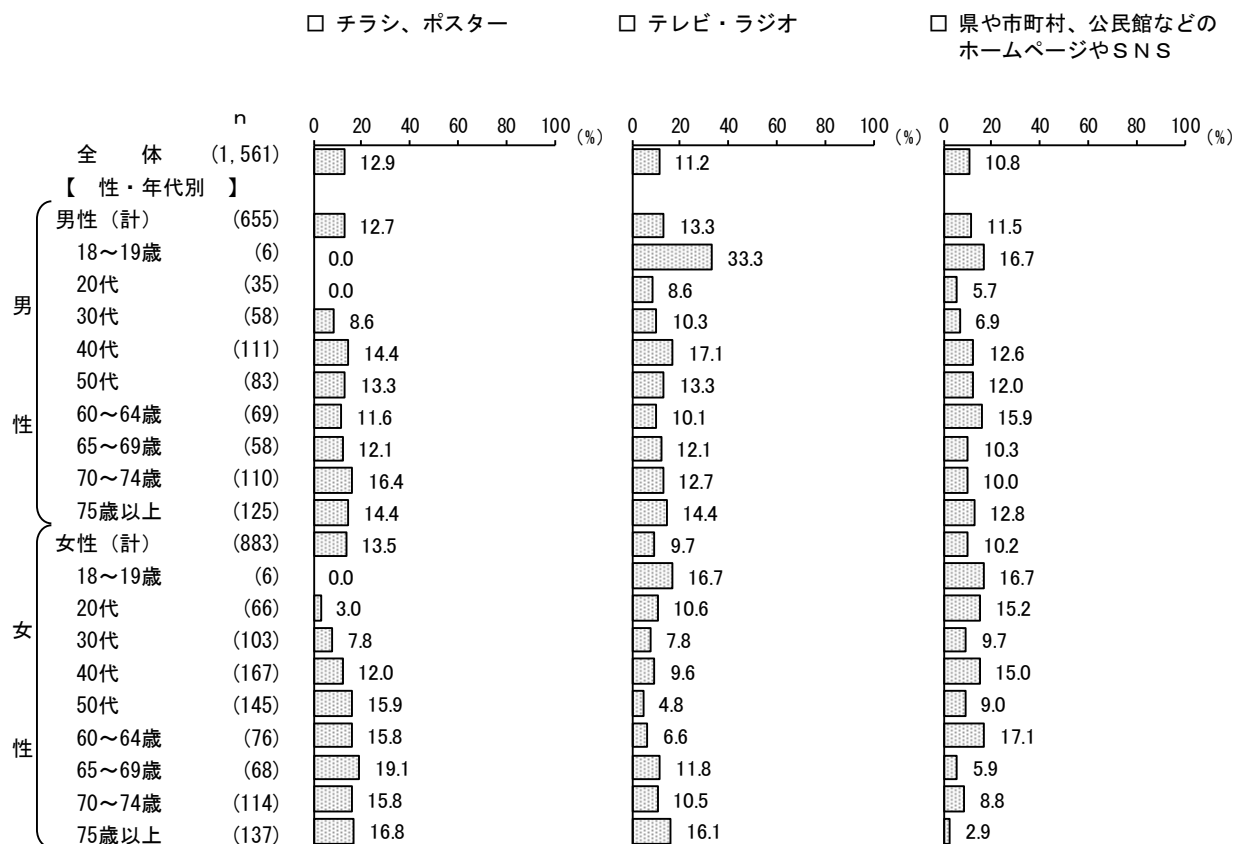
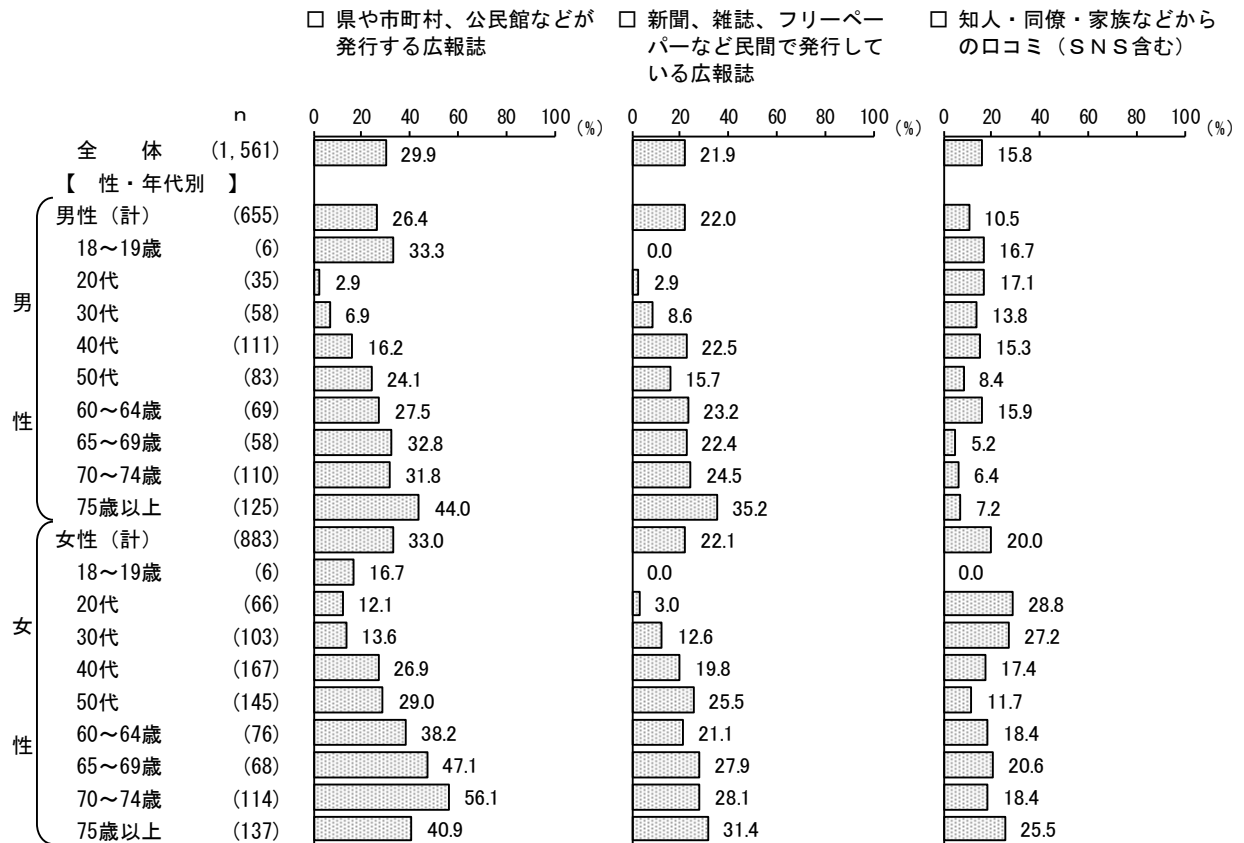
### 【性・年代別】

性・年代別にみると「県や市町村、公民館などが発行する広報誌」は女性の70～74歳（56.1%）が５割台半ば、女性の65～69歳（47.1%）が約５割、男性の75歳以上（44.0%）が４割台半ば、女性の75歳以上（40.9%）が４割で高くなっている。

「新聞、雑誌、フリーペーパーなど民間で発行している広報誌」は男性の75歳以上（35.2%）が３割台半ば、女性の75歳以上（31.4%）が３割を超えて高くなっている。

「知人・同僚・家族などからの口コミ（SNS含む）」は女性の20代（28.8%）、女性の30代（27.2%）が約３割、女性の75歳以上（25.5%）が２割台半ばで高くなっている。（図表８－８）





## 9 S D G s 等について

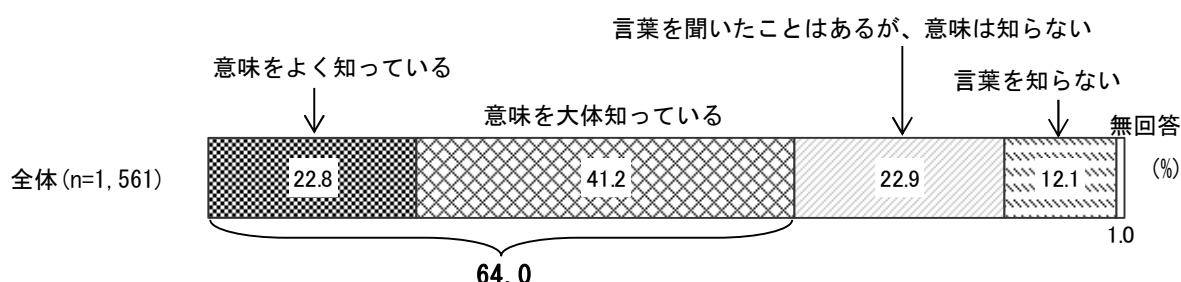
### （１）S D G s の言葉の認知度

◇『意味を知っている（計）』が6割台半ば

問36 あなたは、S D G s※の言葉の意味を知っていましたか。（○は1つ）

※ S D G s（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）とは、2015年9月の国連サミットで採択された2030年を達成年限とする世界共通の目標です。経済・社会・環境の三側面の調和がとれた社会を目指す目標として、17のゴールから構成され、「誰一人取り残さない」という理念を掲げています。

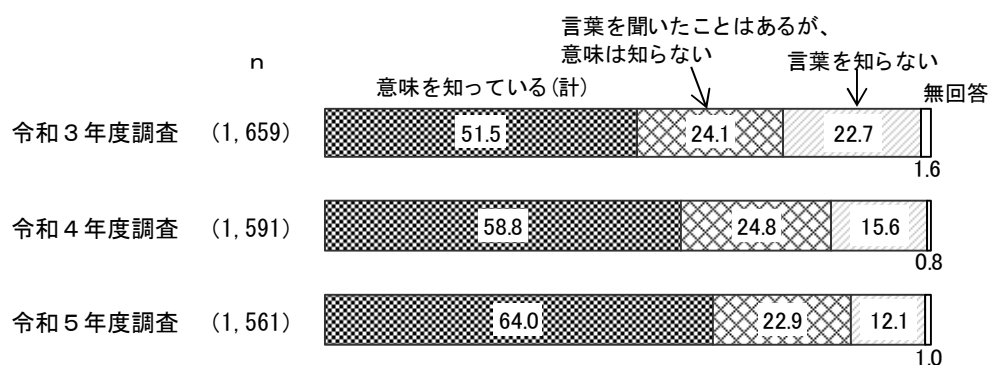
＜図表9－1＞S D G s の言葉の認知度



S D G s の言葉の意味を知っているか聞いたところ、「意味をよく知っている」（22.8％）と「意味を大体知っている」（41.2％）を合わせた『意味を知っている（計）』（64.0％）が6割台半ばとなっている。

一方、「言葉を聞いたことはあるが、意味は知らない」（22.9％）が2割を超え、「言葉を知らない」（12.1％）が1割を超えている。（図表9－1）

【参考】令和3年度・4年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



#### 【地域別】

地域別にみると、『意味を知っている（計）』は“東葛飾地域”（70.9％）が7割で高くなっている。  
（図表9－2）

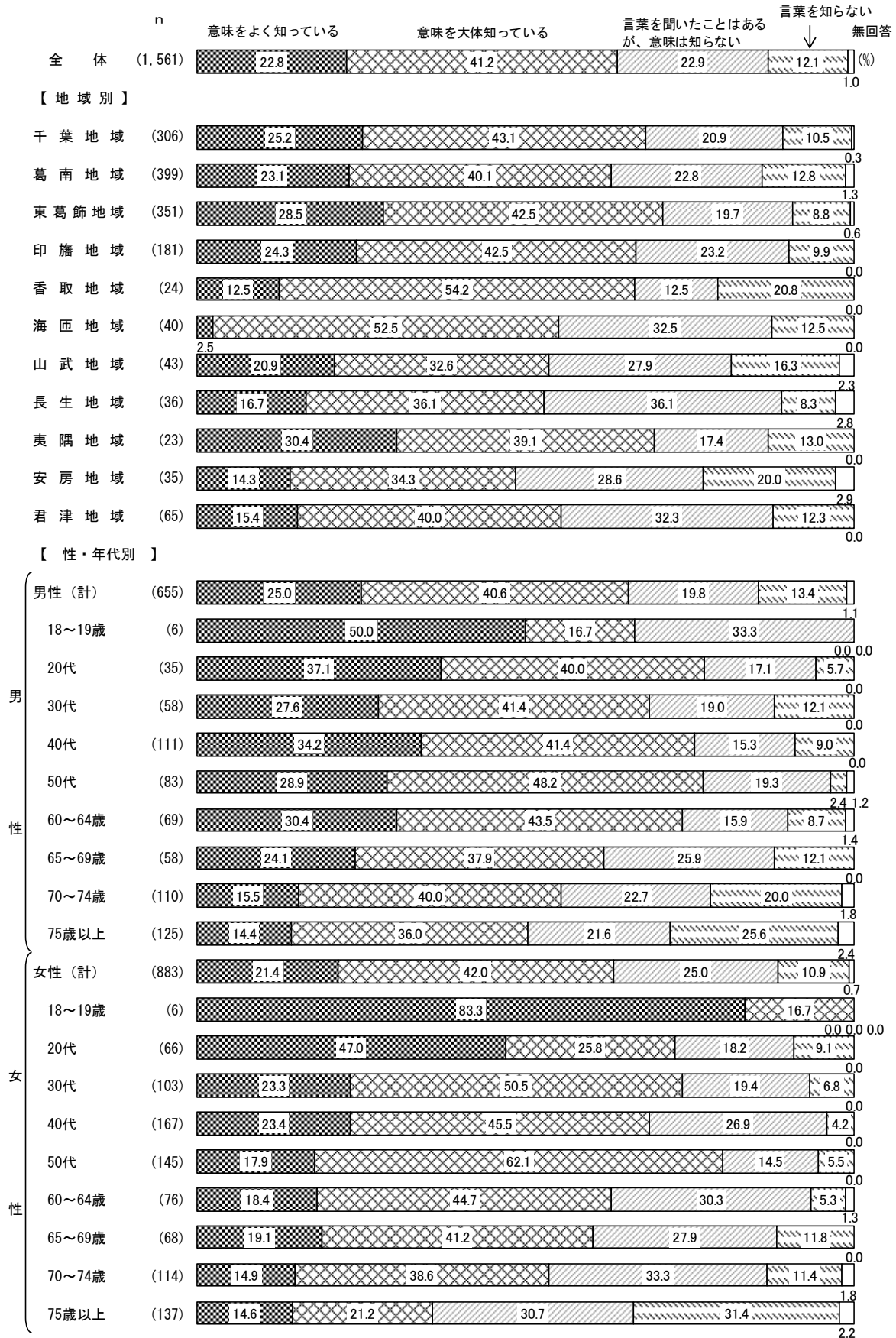
#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『意味を知っている（計）』は女性の50代（80.0％）が8割、男性の50代（77.1％）が約8割、男性の40代（75.7％）と女性の30代（73.8％）が7割台半ばで高くなっている。

一方、「言葉を知らない」は女性の75歳以上（31.4％）が3割を超え、男性の75歳以上（25.6％）が2割台半ば、男性の70～74歳（20.0％）が2割で高くなっている。（図表9－2）



<図表 9－2>SDGsの言葉の認知度／地域別、性・年代別



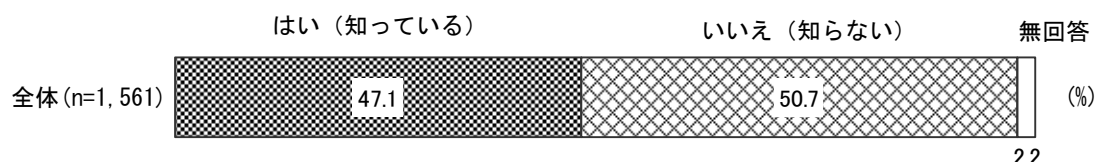
## （２）「ダイバーシティ」概念の認知度

◇『はい（知っている）』が約５割

問37 「ダイバーシティ※」という概念を知っていましたか。（○は１つ）

※ 「ダイバーシティ」とは、多様性のことをいい、性別や国籍、年齢、障害の有無などに関わりなく、多様な個性が力を発揮し、共存できる社会のことを「ダイバーシティ社会」といいます。

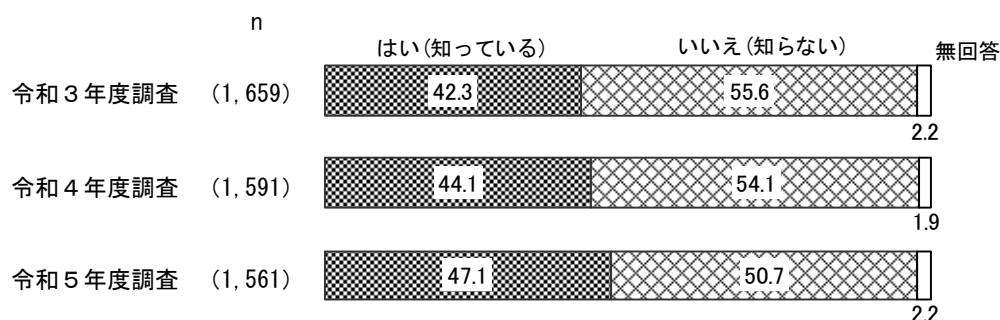
＜図表 9－3＞「ダイバーシティ」概念の認知度



「ダイバーシティ」という概念を知っていたか聞いたところ、『はい（知っている）』（47.1%）が約５割となっている。

一方、『いいえ（知らない）』（50.7%）が５割となっている。（図表 9－3）

〔参考〕令和３年度・４年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



### 【地域別】

地域別にみると、『はい（知っている）』は“東葛飾地域”（54.1%）が５割台半ば、“葛南地域”（53.1%）が５割を超えて高くなっている。

一方、『いいえ（知らない）』は“君津地域”（66.2%）が６割台半ばで高くなっている。

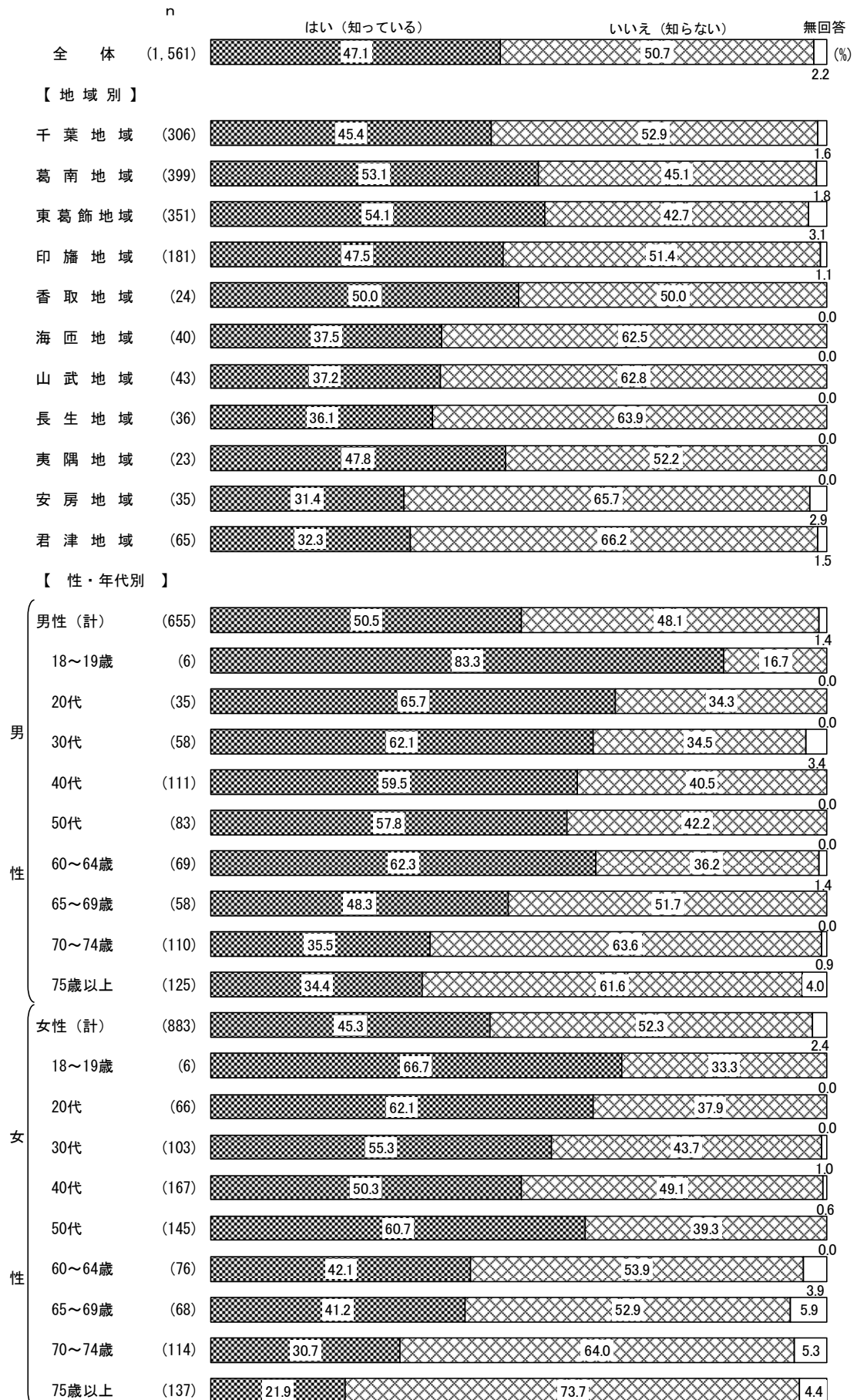
（図表 9－4）

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『はい（知っている）』は男性の20代（65.7%）が６割台半ば、男性の60～64歳（62.3%）、男性の30代（62.1%）、女性の20代（62.1%）が６割を超え、女性の50代（60.7%）が６割、男性の40代（59.5%）と男性の50代（57.8%）が約６割で高くなっている。

一方、『いいえ（知らない）』は女性の75歳以上（73.7%）が７割台半ば、女性の70～74歳（64.0%）と男性の70～74歳（63.6%）が６割台半ば、男性の75歳以上（61.6%）が６割を超えて高くなっている。（図表 9－4）

＜図表 9－4＞「ダイバーシティ」概念の認知度／地域別、性・年代別



## （２－１）千葉県における「ダイバーシティ社会」の実現について

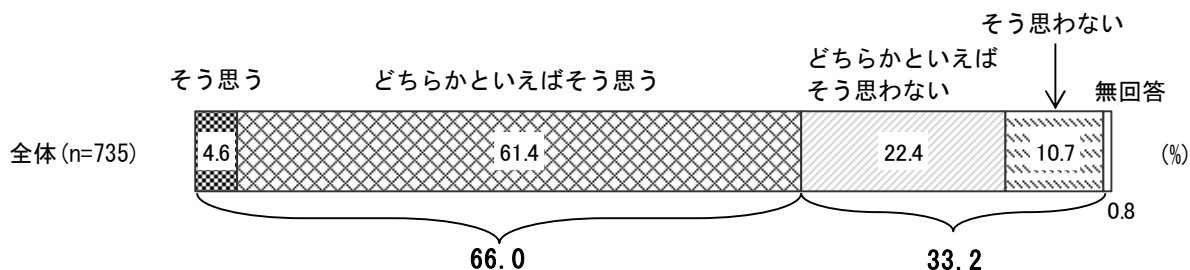
◇『そう思う（計）』が６割台半ば

（問37で『はい（知っている）』とお答えの方に）

問37－１ 千葉県で「ダイバーシティ社会」が実現できていると思いますか。

「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」を選んだ方は、その理由をご記載ください。（任意）（○は１つ）

＜図表９－５＞千葉県における「ダイバーシティ社会」の実現について



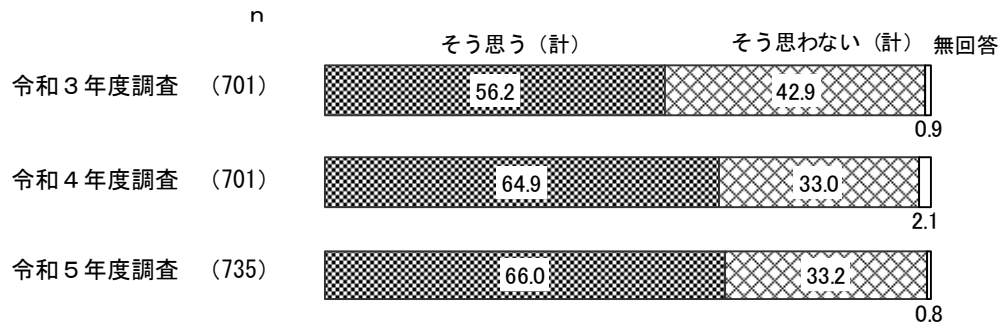
ダイバーシティの概念を知っている735人を対象に、千葉県でダイバーシティ社会が実現できているか聞いたところ、「そう思う」（4.6％）と「どちらかといえばそう思う」（61.4％）を合わせた『そう思う（計）』（66.0％）が６割台半ばとなっている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」（22.4％）と「そう思わない」（10.7％）を合わせた『そう思わない（計）』（33.2％）が３割を超えている。（図表９－５）

どちらかといえばそう思わない／そう思わないを選んだ人の理由は以下の通り。

- ・ダイバーシティ社会の実感がない／具体例を知らないため（48件）
- ・千葉県の取り組みが遅れている／浸透していないため（40件）
- ・性別による格差があるため（19件）
- ・障がいによる差別があるため（19件）
- ・多様性との共存が難しいと感じるから（17件）
- ・国籍、人種、言語による差別があるため（12件）
- ・保守的な体制や考え方の人々が多いため（10件）
- ・年齢による格差があるため（8件）
- ・県だけではなく世の中がそうになっていない（8件）
- ・差別や偏見があるため／なくならないため（8件）
- ・地域によって差がある（5件）
- ・自分のことで精一杯だから（2件）
- ・政治家が不勉強だから。（2件）
- ・わからない（8件）
- ・その他（8件）

〔参考〕 令和3年度・4年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



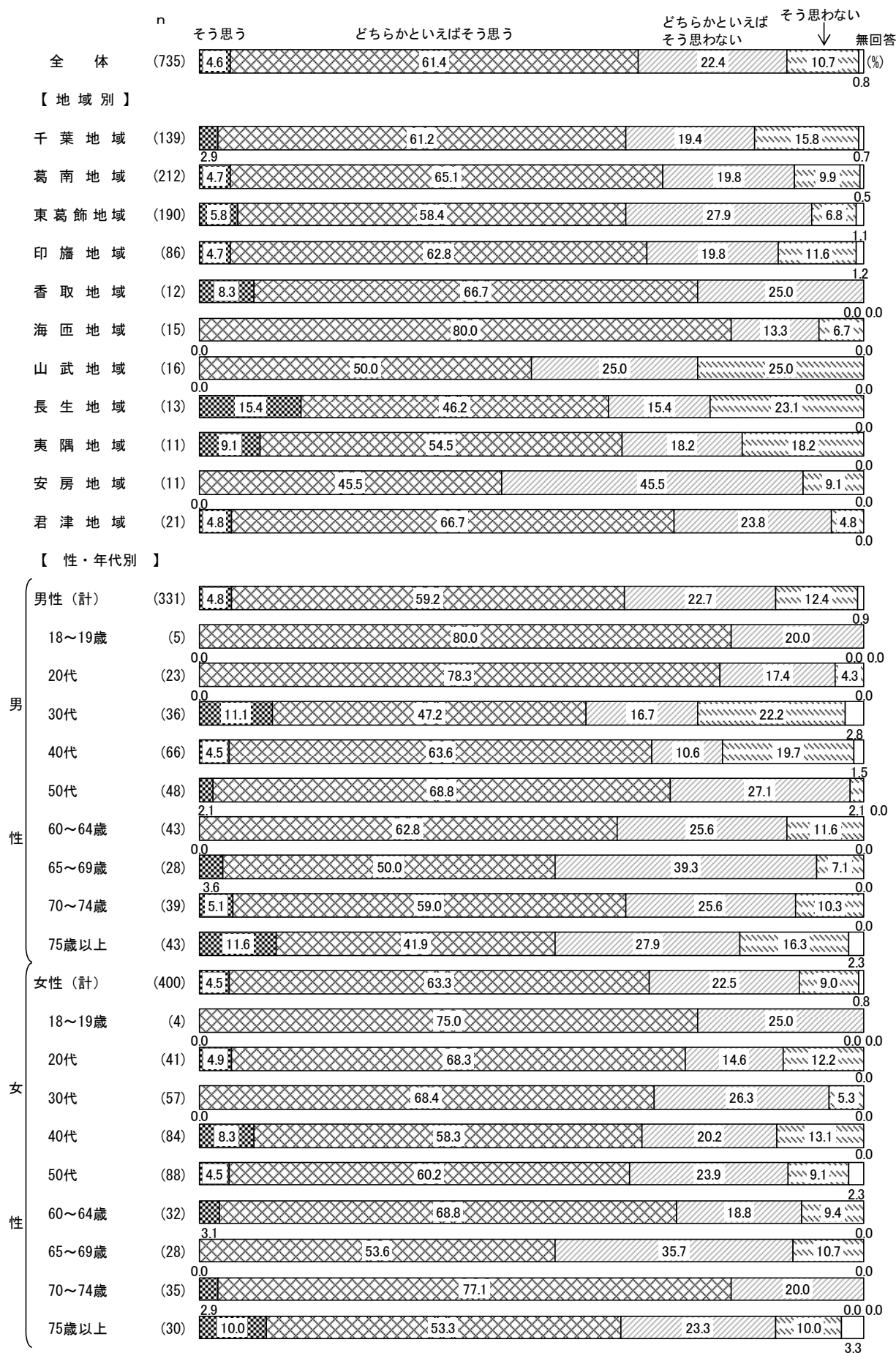
【地域別】

地域別にみると、大きな傾向の違いは見られない。（図表9－6）

【性・年代別】

性・年代別にみると、大きな傾向の違いは見られない。（図表9－6）

＜図表 9－6＞千葉県における「ダイバーシティ社会」の実現について／地域別、性・年代別



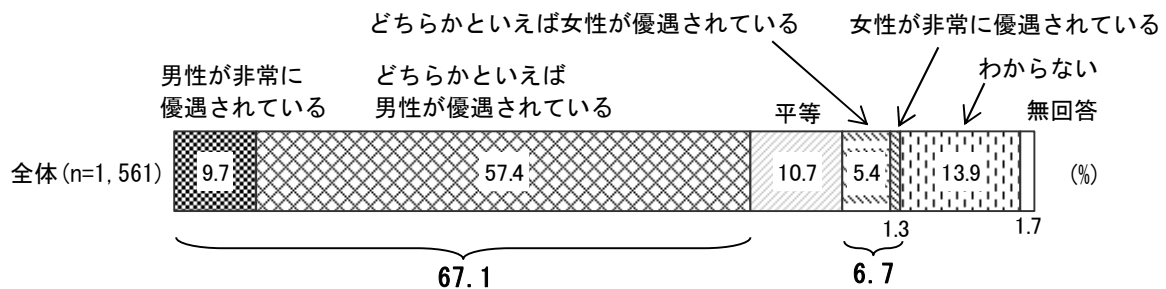
### （３）社会全体での男女の地位の平等感

◇『男性が優遇されている（計）』が約７割

問38 社会全体※で男女の地位は平等になっていると思いますか。（○は１つ）

※ 社会全体とは、家庭、職場、学校教育の場、政治の場、法律や制度上、社会通念・慣習、地域活動の場等のあらゆる分野を想定しています。

＜図表 9－7＞社会全体での男女の地位の平等感

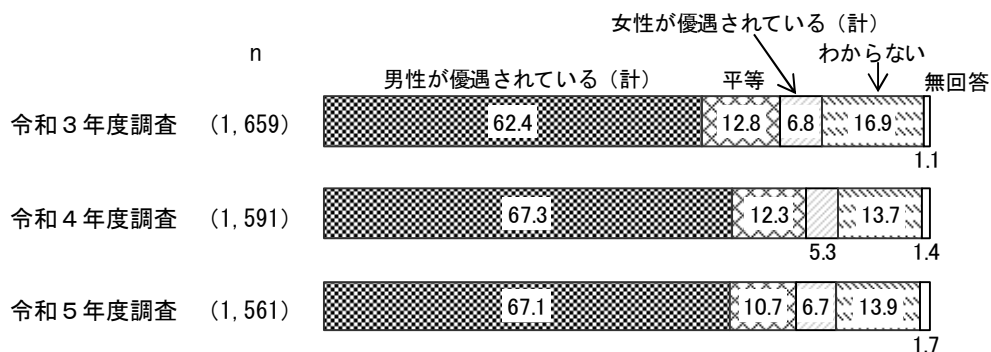


社会全体で男女の地位は平等になっていると思うか聞いたところ、「男性が非常に優遇されている」(9.7%)と「どちらかといえば男性が優遇されている」(57.4%)を合わせた『男性が優遇されている（計）』(67.1%)が約７割となっている。

一方、「どちらかといえば女性が優遇されている」(5.4%)と「女性が非常に優遇されている」(1.3%)を合わせた『女性が優遇されている（計）』(6.7%)は１割未満となっている。

「平等」(10.7%)は１割となっている。(図表 9－7)

〔参考〕令和３年度・４年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



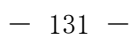
#### 【地域別】

地域別にみると、大きな傾向の違いは見られない。(図表 9－8)

#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『男性が優遇されている（計）』は女性の65～69歳(83.8%)が８割台半ばで高くなっている。

一方、『女性が優遇されている（計）』は男性の20代(25.7%)が２割台半ば、男性の40代(22.5%)が２割を超え、男性の30代(20.7%)が２割、男性の50代(14.5%)が１割台半ばで高くなっている。「平等」は男性の20代(22.9%)と男性の30代(22.4%)が２割を超え、男性の65～69歳(19.0%)が約２割で高くなっている。(図表 9－8)



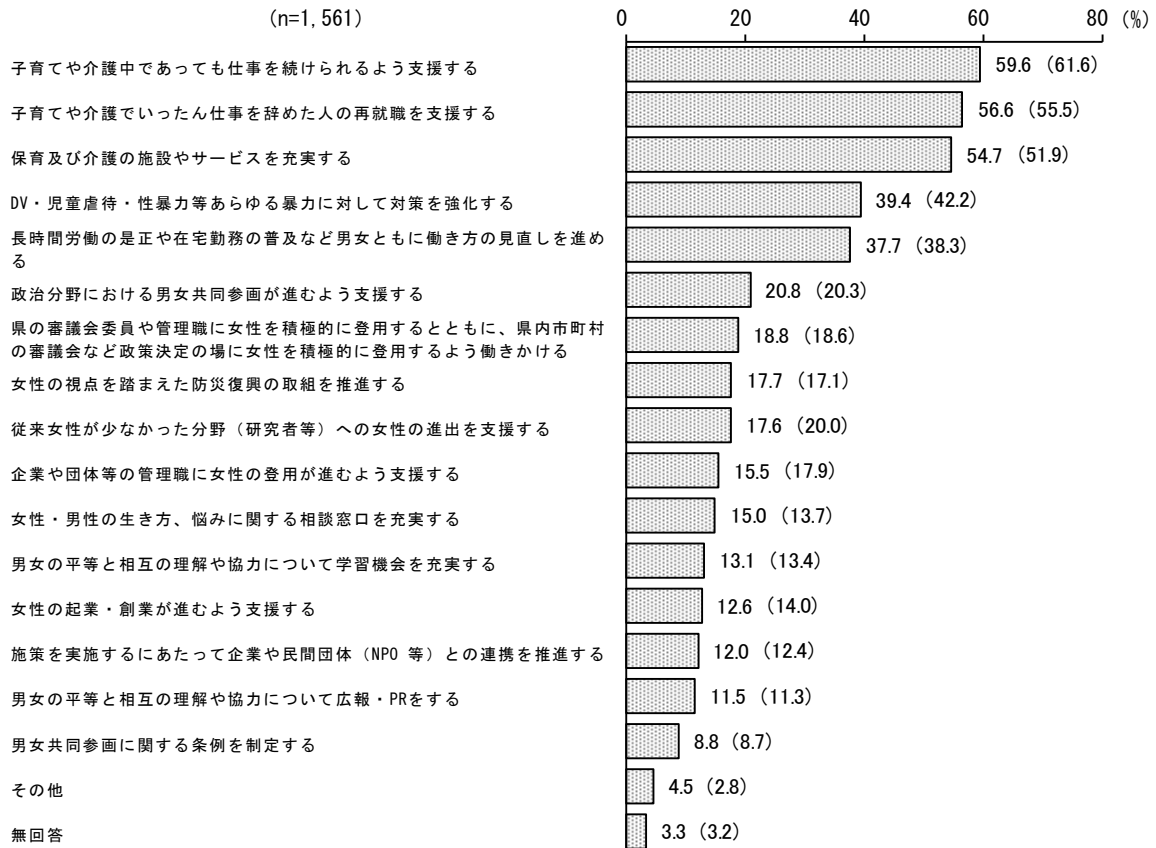


#### （４）男女共同参画社会を実現するための取組

◇「子育てや介護中であっても仕事を続けられるよう支援する」が約６割

問39 男女共同参画社会を実現するための様々な取組のなかで、今後、県はどのようなことにより力を入れるべきと考えますか。（○はいくつでも）

＜図表 9－9＞男女共同参画社会を実現するための取組（複数回答）



注）（ ）の数字は令和 4 年度の同様の項目による調査結果 n=1,591

男女共同参画社会を実現するために今後県が力を入れるべき取組を聞いたところ、「子育てや介護中であっても仕事を続けられるよう支援する」（59.6%）が約６割で最も高く、以下、「子育てや介護でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する」（56.6%）、「保育及び介護の施設やサービスを充実する」（54.7%）、「DV・児童虐待・性暴力等あらゆる暴力に対して対策を強化する」（39.4%）が続く。（図表 9－9）

##### 【地域別】

地域別にみると、「DV・児童虐待・性暴力等あらゆる暴力に対して対策を強化する」は“海匠地域”（55.0%）が５割台半ばで高くなっている。（図表 9－10）

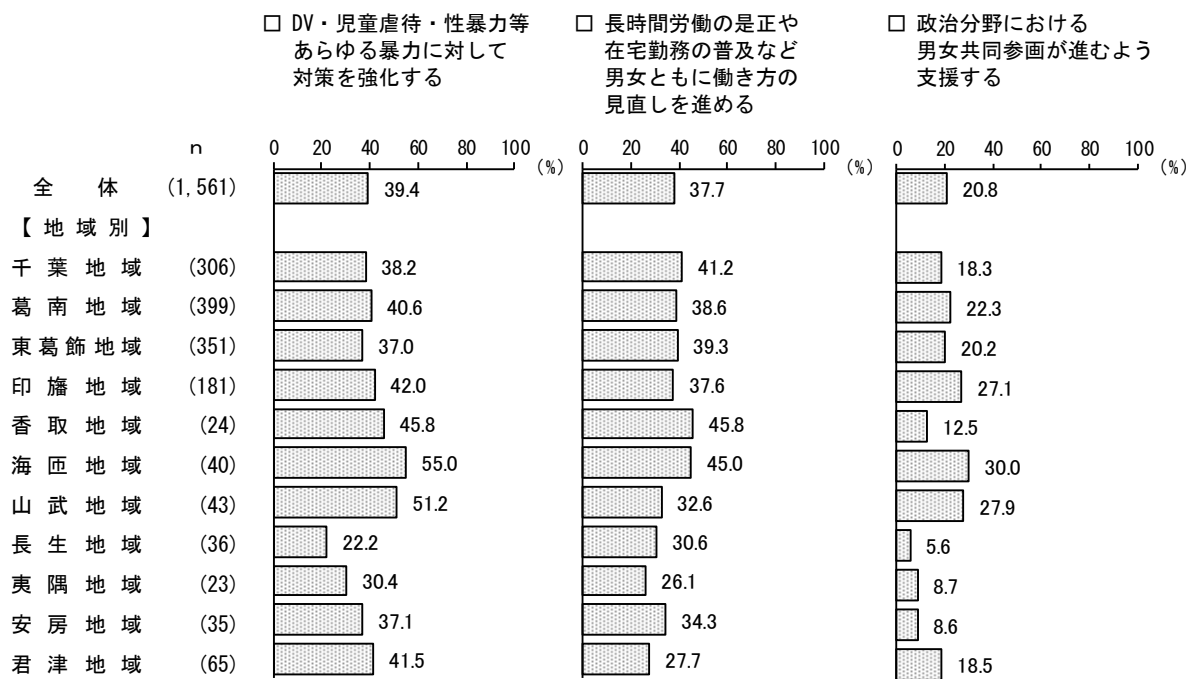
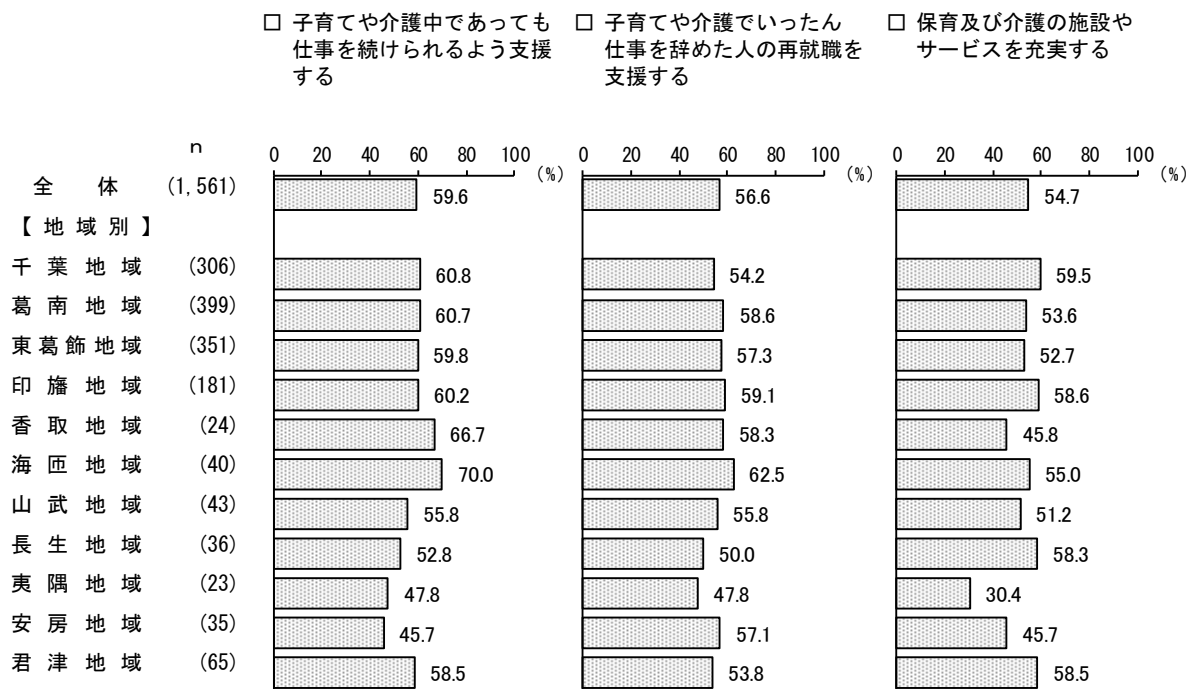
##### 【性・年代別】

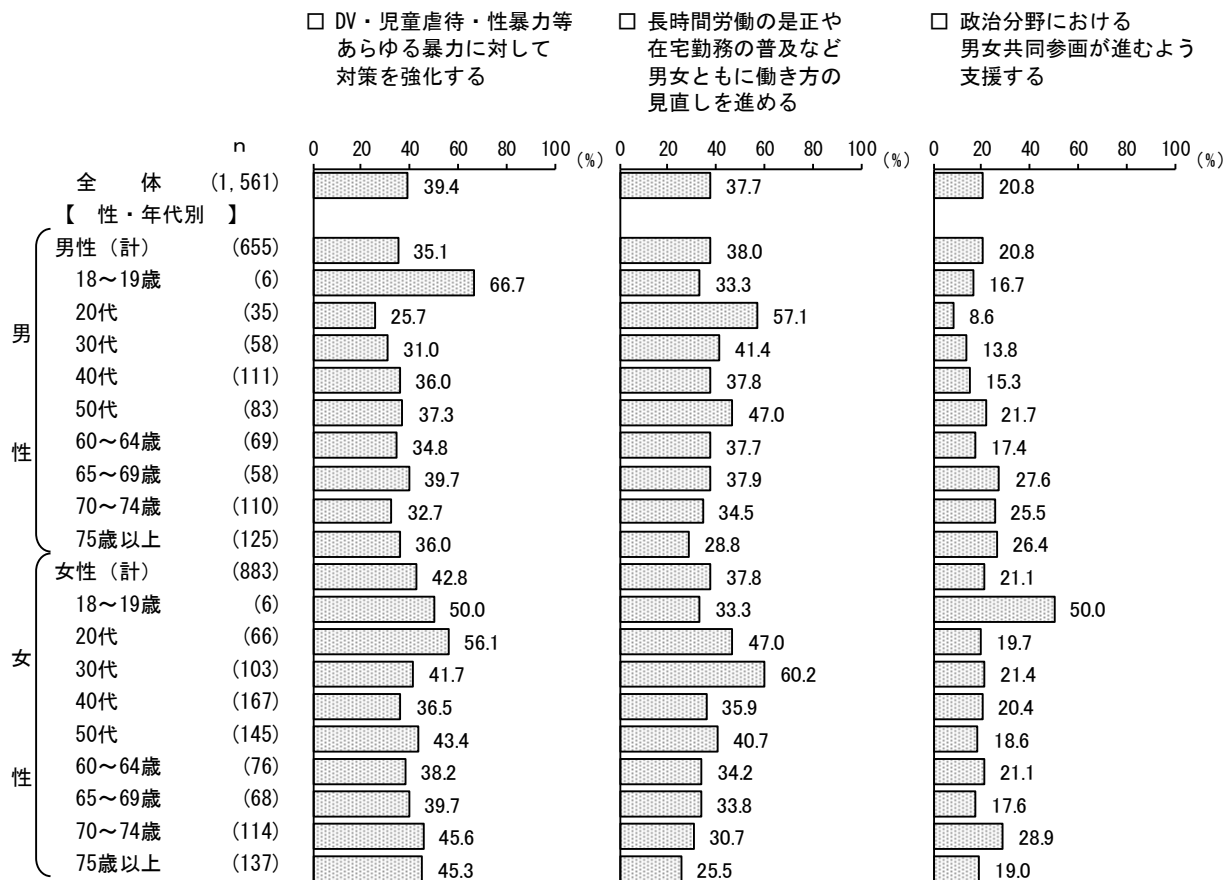
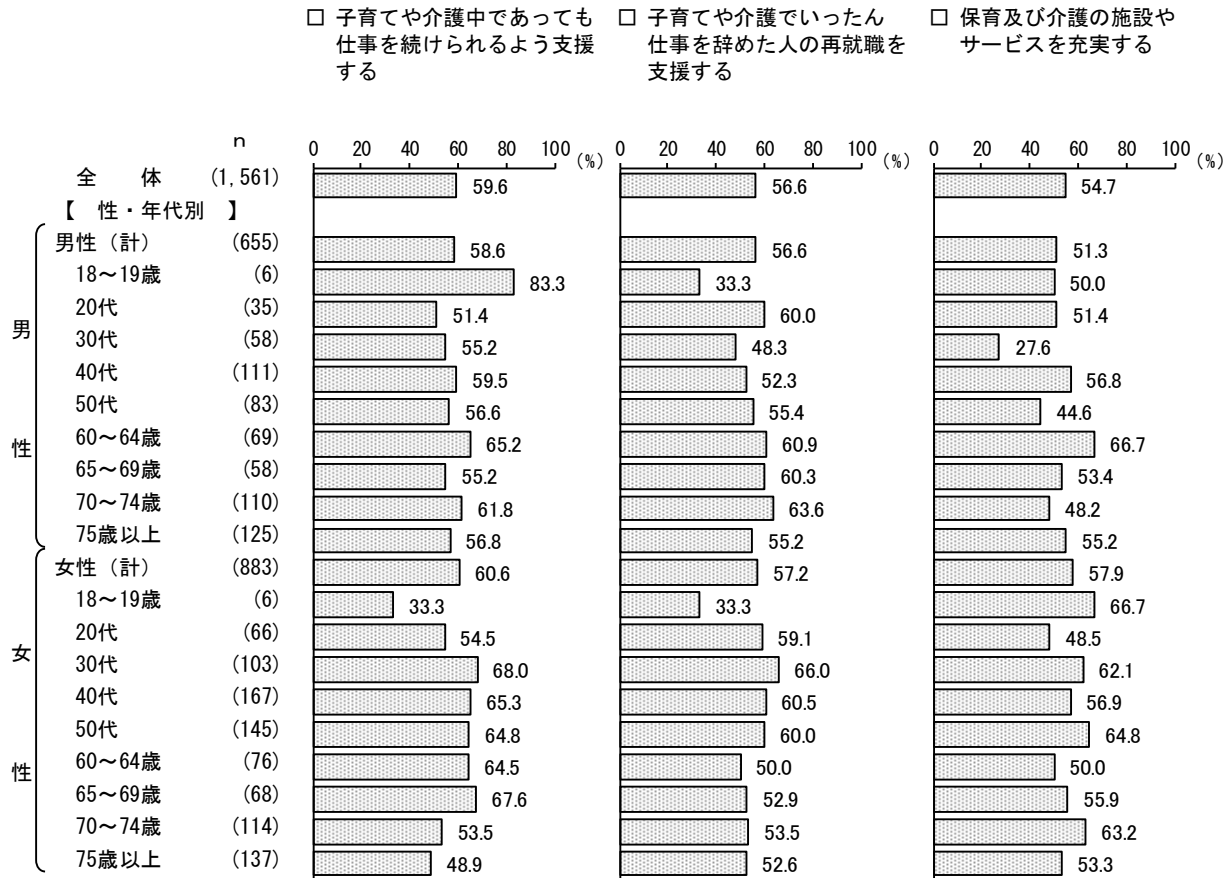
性・年代別にみると、「子育てや介護でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する」は女性の30代（66.0%）が６割台半ばで高くなっている。

「保育及び介護の施設やサービスを充実する」は男性の60～64歳（66.7%）と女性の50代（64.8%）が６割台半ばで高くなっている。

「DV・児童虐待・性暴力等あらゆる暴力に対して対策を強化する」は女性の20代（56.1%）が５割台半ばで高くなっている。（図表 9－10）

＜図表９－１０＞男女共同参画社会を実現するための取組（複数回答）／地域別、性・年代別（上位６項目）





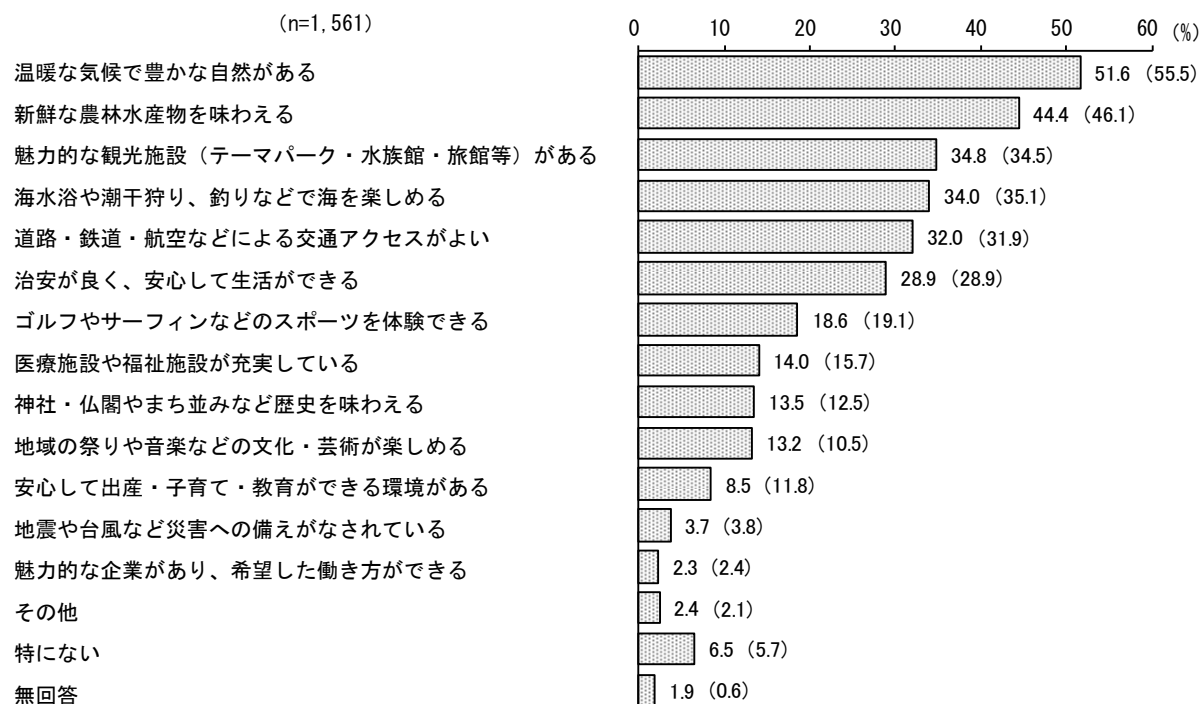
## 10 県の魅力について

### （１）千葉県の魅力

◇「温暖な気候で豊かな自然がある」が５割を超える

問40 千葉県の魅力は、次のどれだと思いますか。（○はいくつでも）

＜図表10－１＞千葉県の魅力（複数回答）



注）（ ）の数字は令和４年度の同様の項目による調査結果 n=1,591

千葉県の魅力を聞いたところ、「温暖な気候で豊かな自然がある」（51.6％）が５割を超えて最も高く、以下、「新鮮な農林水産物を味わえる」（44.4％）、「魅力的な観光施設（テーマパーク・水族館・旅館等）がある」（34.8％）、「海水浴や潮干狩り、釣りなどで海を楽しむ」（34.0％）が続く。

（図表10－１）

### 【地域別】

地域別にみると、「温暖な気候で豊かな自然がある」は“海匝地域”（75.0%）と“山武地域”（74.4%）が7割台半ば、“安房地域”（71.4%）が7割を超え、“君津地域”（66.2%）が6割台半ば、“千葉地域”（57.2%）が約6割で高くなっている。

「新鮮な農林水産物を味わえる」は“山武地域”（67.4%）が約7割、“長生地域”（61.1%）が6割を超えて高くなっている。

「魅力的な観光施設（テーマパーク・水族館・旅館等）がある」は“葛南地域”（39.1%）が約4割で高くなっている。

「海水浴や潮干狩り、釣りなどで海を楽しむ」は“山武地域”（48.8%）が約5割、“千葉地域”（39.9%）が約4割で高くなっている。（図表10－2）

### 【性・年代別】

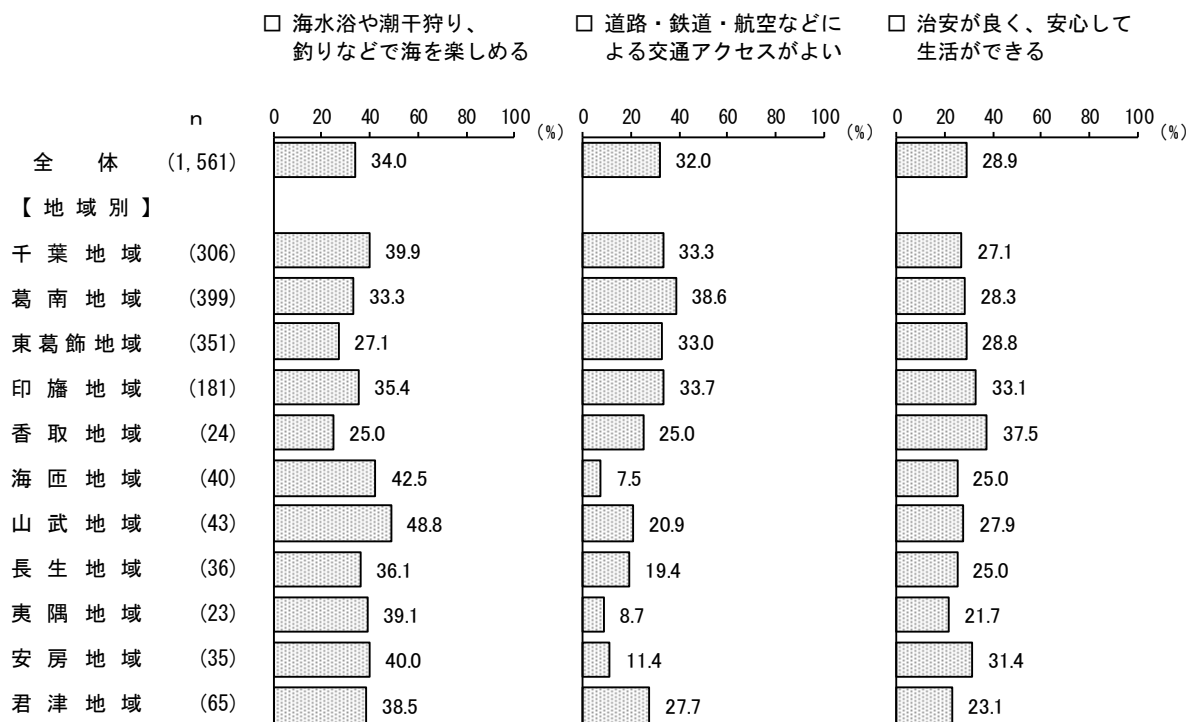
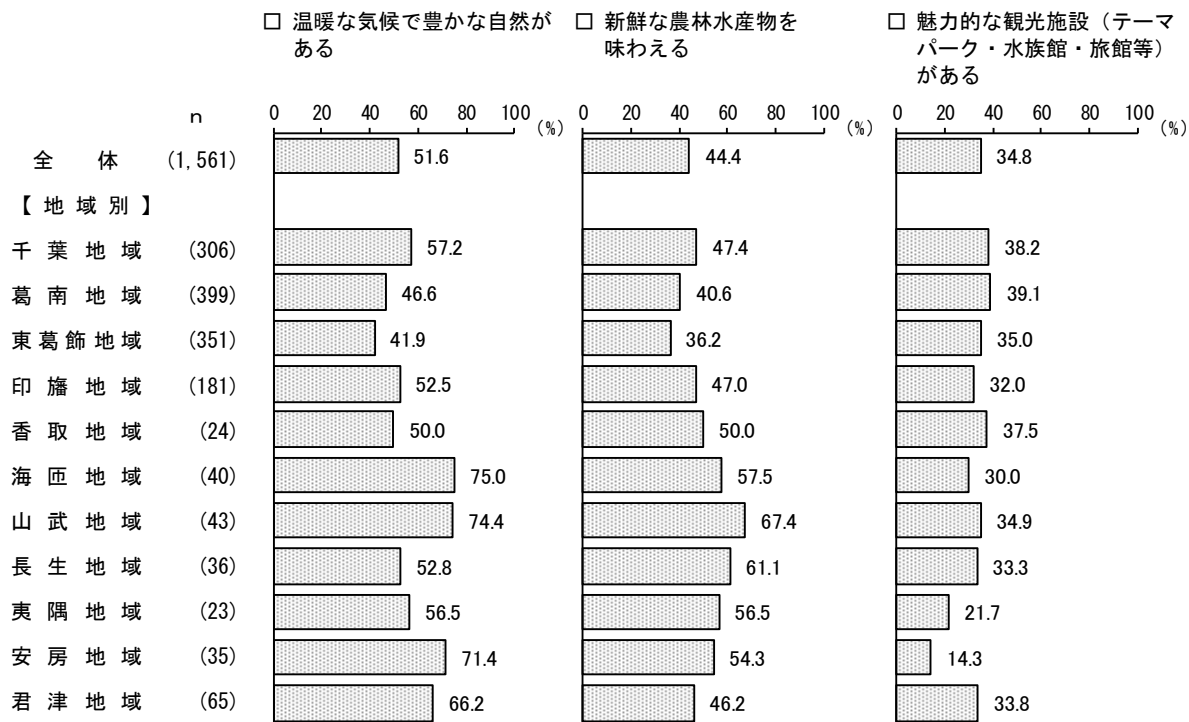
性・年代別にみると、「温暖な気候で豊かな自然がある」は女性の70～74歳（65.8%）、男性の50代（63.9%）、男性の70～74歳（63.6%）が6割台半ば、男性の75歳以上（63.2%）と女性の75歳以上（62.8%）が6割を超えて高くなっている。

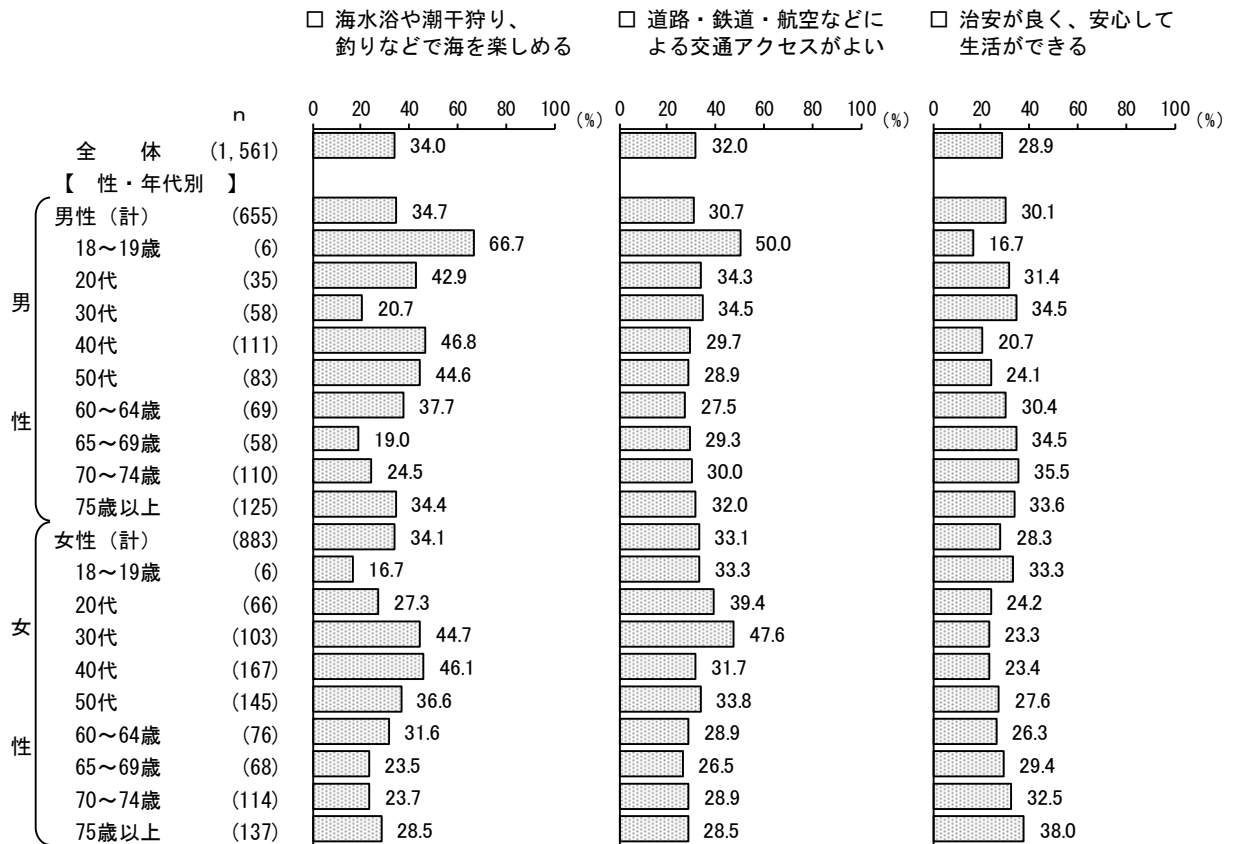
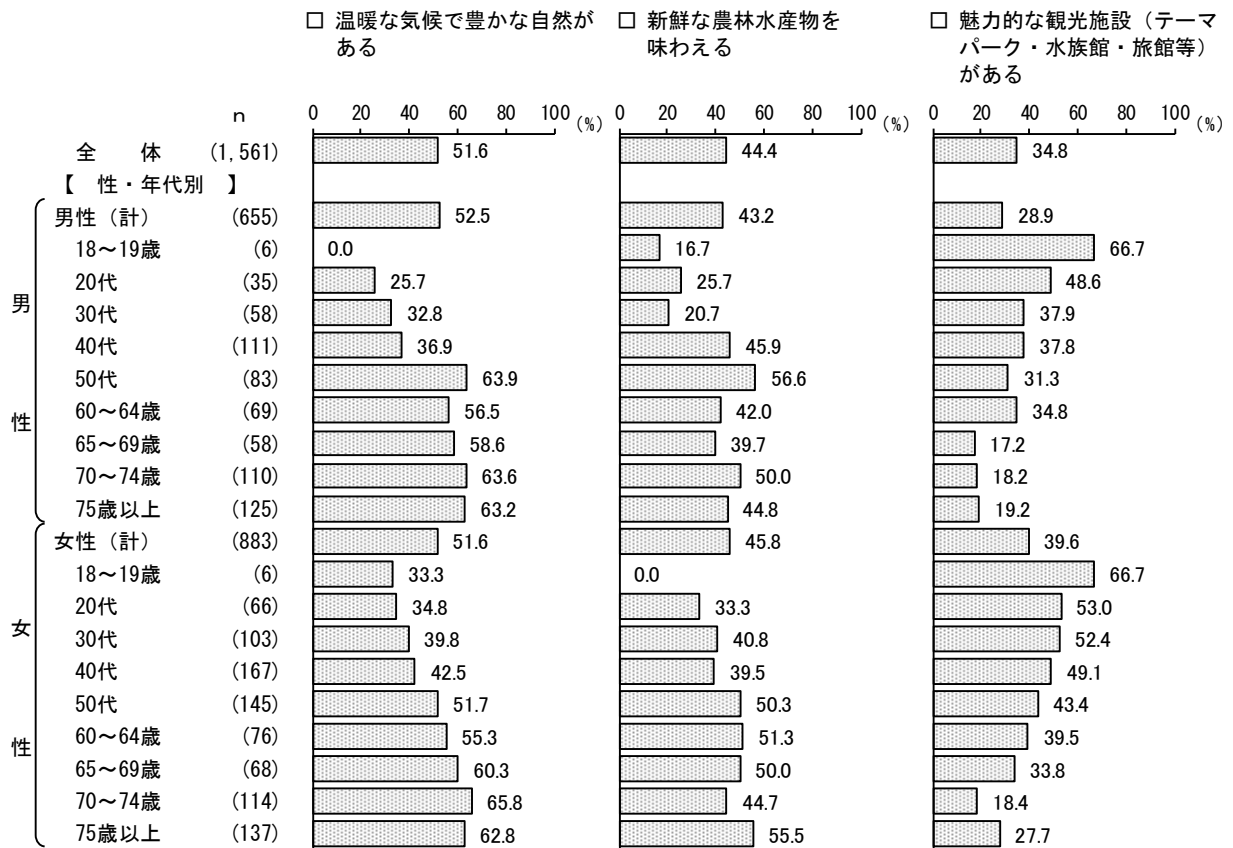
「新鮮な農林水産物を味わえる」は男性の50代（56.6%）と女性の75歳以上（55.5%）が5割台半ばで高くなっている。

「魅力的な観光施設（テーマパーク・水族館・旅館等）がある」は、女性の20代（53.0%）と女性の30代（52.4%）が5割を超え、女性の40代（49.1%）が約5割、女性の50代（43.4%）が4割を超えて高くなっている。

「海水浴や潮干狩り、釣りなどで海を楽しむ」は男性の40代（46.8%）、女性の40代（46.1%）、女性の30代（44.7%）、男性の50代（44.6%）が4割台半ばで高くなっている。（図表10－2）

＜図表10－2＞千葉県の魅力（複数回答）／地域別、性・年代別（上位6項目）





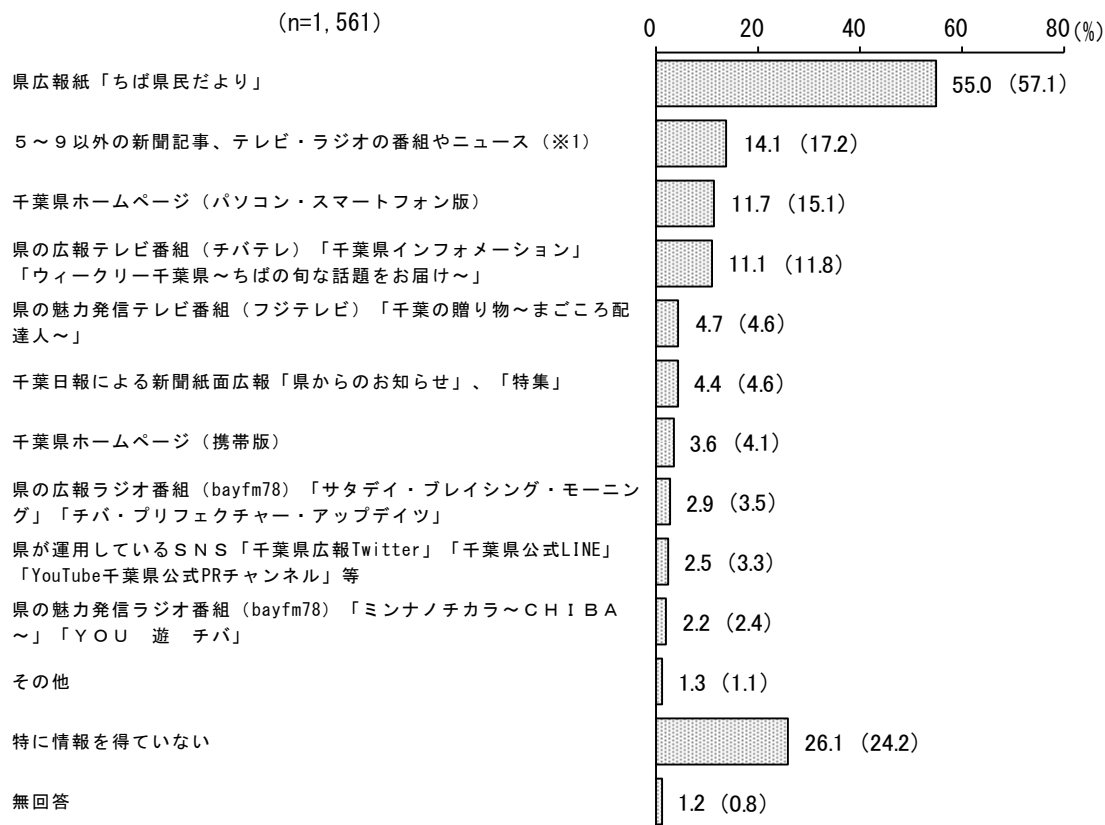
## 11 広報について

### （１）県政に関する情報を得る手段

◇「県広報紙『ちば県民だより』」が５割台半ば

問41 県政に関する情報をどのような手段で得ていますか。（○はいくつでも）

<図表11－１> 県政に関する情報を得る手段（複数回答）



注）（ ）の数字は令和４年度の同様の項目による調査結果 n=1,591

（※1）「５～９以外の新聞記事、テレビ・ラジオの番組やニュース」における、５～９とは、「千葉日報による新聞紙面広報『県からのお知らせ』、『特集』」「県の広報テレビ番組（チバテレ）『千葉県インフォメーション』『ウィークリー千葉県～ちばの旬な話題をお届け～』」「県の広報ラジオ番組（bayfm78）『サタデイ・ブレイシング・モーニング』『チバ・プリフェクチャー・アップデート』」「県の魅力発信テレビ番組（フジテレビ）『千葉の贈り物～まごころ配達人～』」「県の魅力発信ラジオ番組（bayfm78）『ミンナノチカラ～CHIBA～』『YOU 遊 チバ』」を指す。

県政に関する情報を得る手段を聞いたところ、「県広報紙「ちば県民だより」」（55.0%）が５割台半ばで最も高く、以下、「５～９以外の新聞記事、テレビ・ラジオの番組やニュース」（14.1%）、「千葉県ホームページ（パソコン・スマートフォン版）」（11.7%）、「県の広報テレビ番組（チバテレ）」「千葉県インフォメーション」「ウィークリー千葉県～ちばの旬な話題をお届け～」（11.1%）が続く。

一方、「特に情報を得ていない」（26.1%）は２割台半ばとなっている。（図表11－１）



【地域別】

地域別にみると、「県広報紙『ちば県民だより』」は“千葉地域”（65.0%）が6割台半ばで高くなっている。

一方、「特に情報を得ていない」は“葛南地域”（32.8%）が3割を超えて高くなっている。

（図表11－2）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「県広報紙『ちば県民だより』」は男性の75歳以上（75.2%）が7割台半ば、女性の70～74歳（72.8%）、女性の75歳以上（71.5%）、女性の60～64歳（71.1%）が7割を超え、男性の70～74歳（70.0%）が7割、女性の65～69歳（69.1%）が約7割で高くなっている。

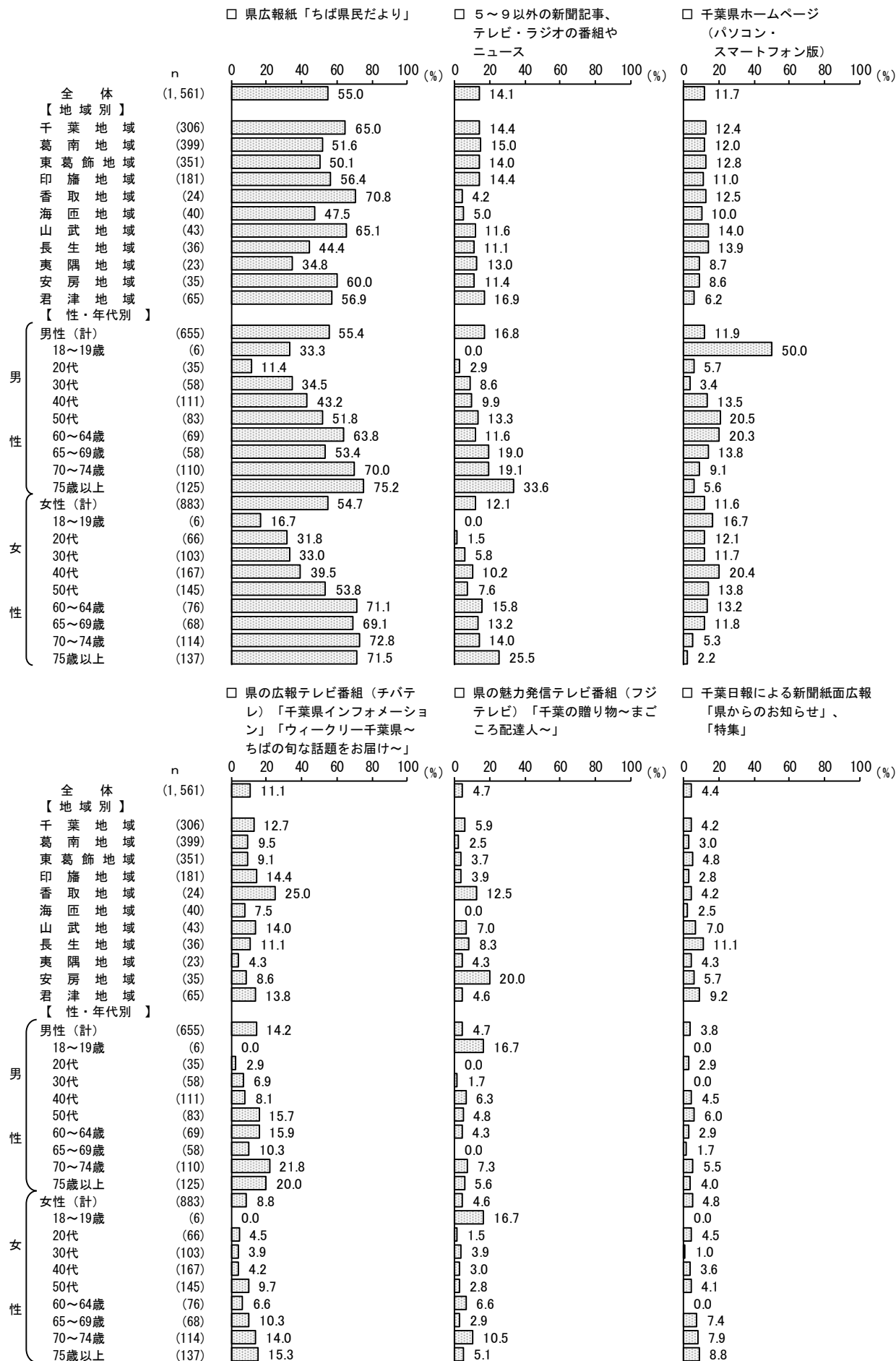
「5～9以外の新聞記事、テレビ・ラジオの番組やニュース」は男性の75歳以上（33.6%）が3割台半ば、女性の75歳以上（25.5%）が2割台半ばで高くなっている。

「千葉県ホームページ（パソコン・スマートフォン版）」は男性の50代（20.5%）、女性の40代（20.4%）、男性の60～64歳（20.3%）が2割で高くなっている。

「県の広報テレビ番組（チバテレ）「千葉県インフォメーション」「ウィークリー千葉県～ちばの旬な話題をお届け～」」は男性の70～74歳（21.8%）が2割を超え、男性の75歳以上（20.0%）が2割で高くなっている。

「特に情報を得ていない」は男性の20代（65.7%）が6割台半ば、女性の20代（51.5%）が5割を超え、女性の30代（49.5%）が約5割、男性の30代（41.4%）が4割を超え、男性の40代（39.6%）が約4割で高くなっている。（図表11－2）

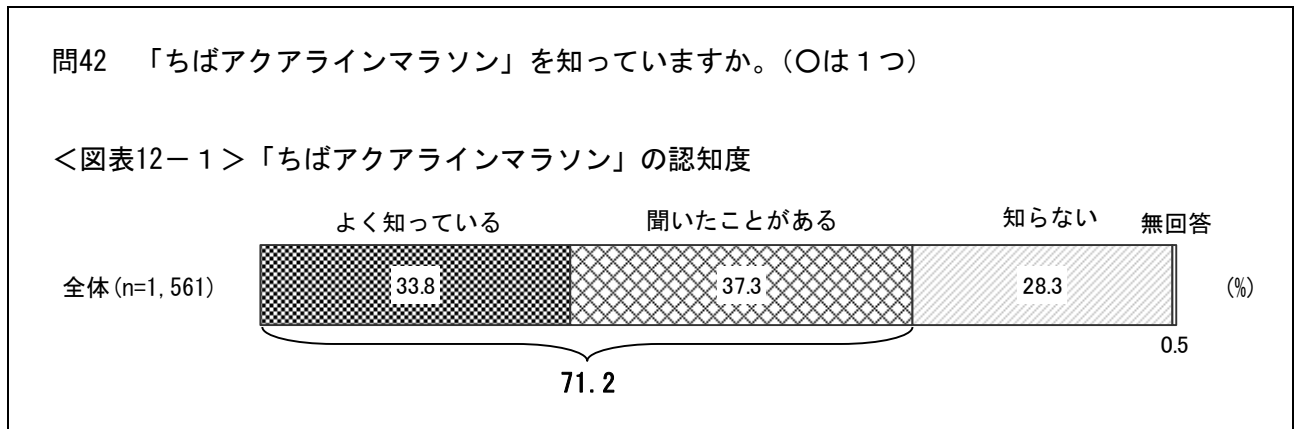
＜図表11－２＞県政に関する情報を得る手段（複数回答）／地域別、性・年代別（上位６項目）



## 12 ちばアクアラインマラソンについて

### （１）「ちばアクアラインマラソン」の認知度

◇『知っている（計）』が7割を超える



「ちばアクアラインマラソン」を知っているか聞いたところ、「よく知っている」（33.8%）と「聞いたことがある」（37.3%）を合わせた『知っている（計）』（71.2%）が7割を超えている。

一方、「知らない」（28.3%）が約3割となっている。（図表12－1）

#### 【地域別】

地域別にみると、『知っている（計）』は“君津地域”（96.9%）が9割台半ば、“安房地域”（91.4%）が9割を超え、“山武地域”（88.4%）が約9割、“長生地域”（86.1%）が8割台半ば、“千葉地域”（83.3%）が8割を超えて高くなっている。

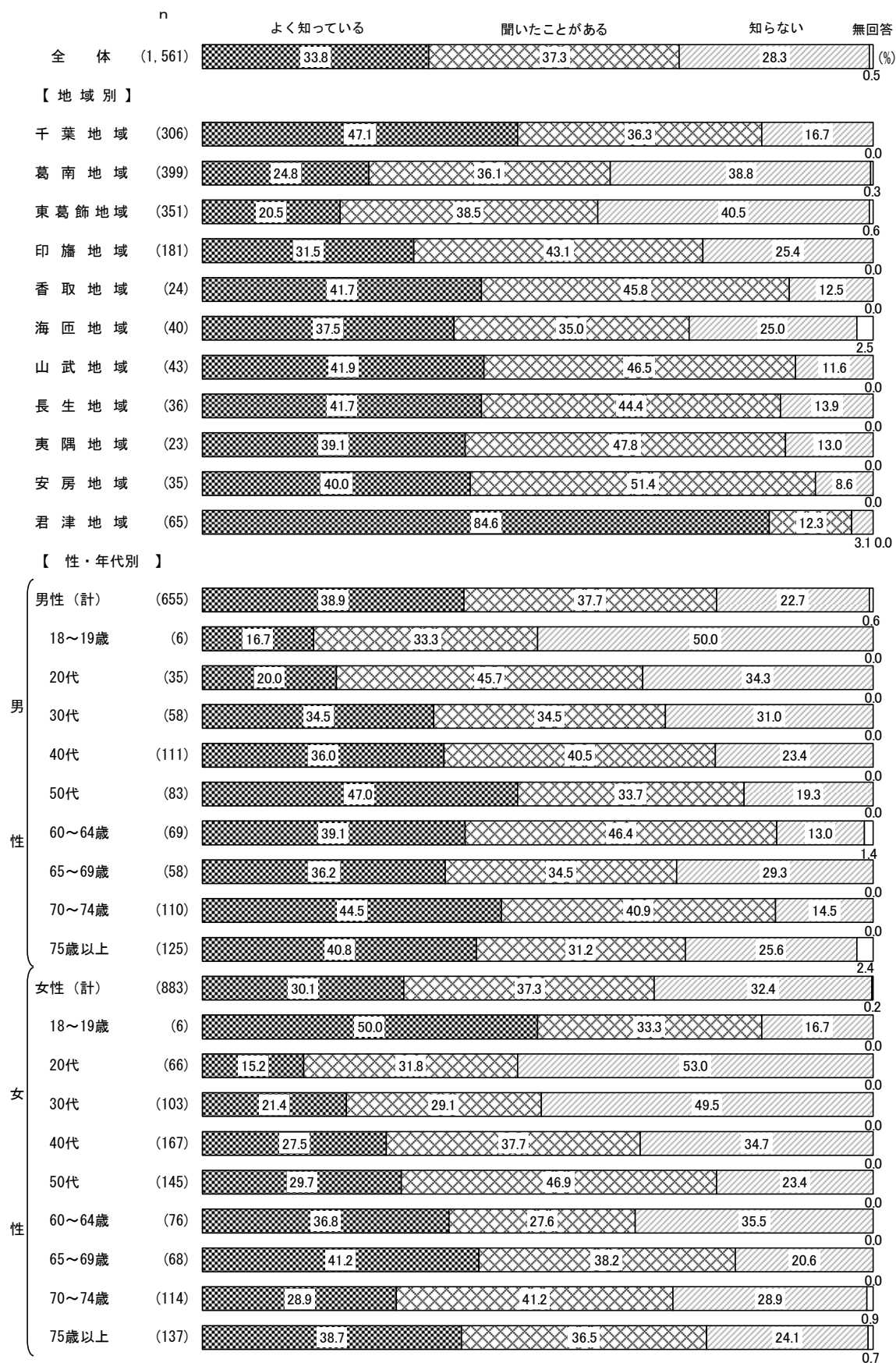
一方、「知らない」は“東葛飾地域”（40.5%）が4割、“葛南地域”（38.8%）が約4割で高くなっている。（図表12－2）

#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『知っている（計）』は男性の60～64歳（85.5%）と男性の70～74歳（85.5%）が8割台半ば、男性の50代（80.7%）が8割で高くなっている。

一方、「知らない」は女性の20代（53.0%）が5割を超え、女性の30代（49.5%）が約5割で高くなっている。（図表12－2）

＜図表12－２＞「ちばアクアラインマラソン」の認知度の認知度／地域別、性・年代別



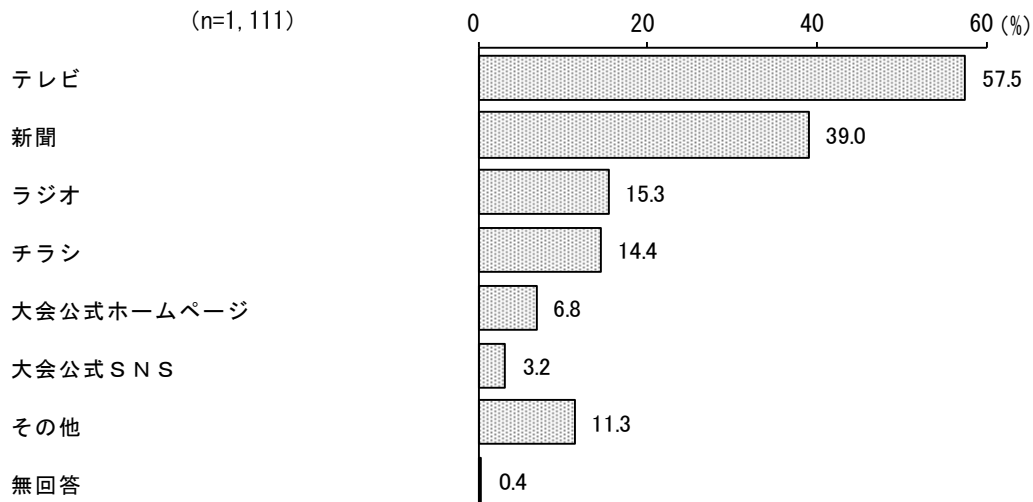
## （２）「ちばアクアラインマラソン」の認知媒体

◇「テレビ」が約６割

【問42で「よく知っている」「聞いたことがある」とお答えの方に】

問42－１ 「ちばアクアラインマラソン」をどこで知りましたか。（○はいくつでも）

＜図表12－３＞「ちばアクアラインマラソン」の認知媒体（複数回答）



「ちばアクアラインマラソン」を知っている1,111人を対象に、どこで知ったか聞いたところ、「テレビ」(57.5%)が約６割で最も高く、以下、「新聞」(39.0%)、「ラジオ」(15.3%)、「チラシ」(14.4%)が続く。(図表12－３)

### 【地域別】

地域別にみると、「新聞」は“君津地域”(52.4%)が５割を超えて高くなっている。

「チラシ」は“君津地域”(36.5%)が３割台半ば、“山武地域”(26.3%)が２割台半ばで高くなっている。

「大会公式ホームページ」は“君津地域”(23.8%)が２割台半ばで高くなっている。

(図表12－４)

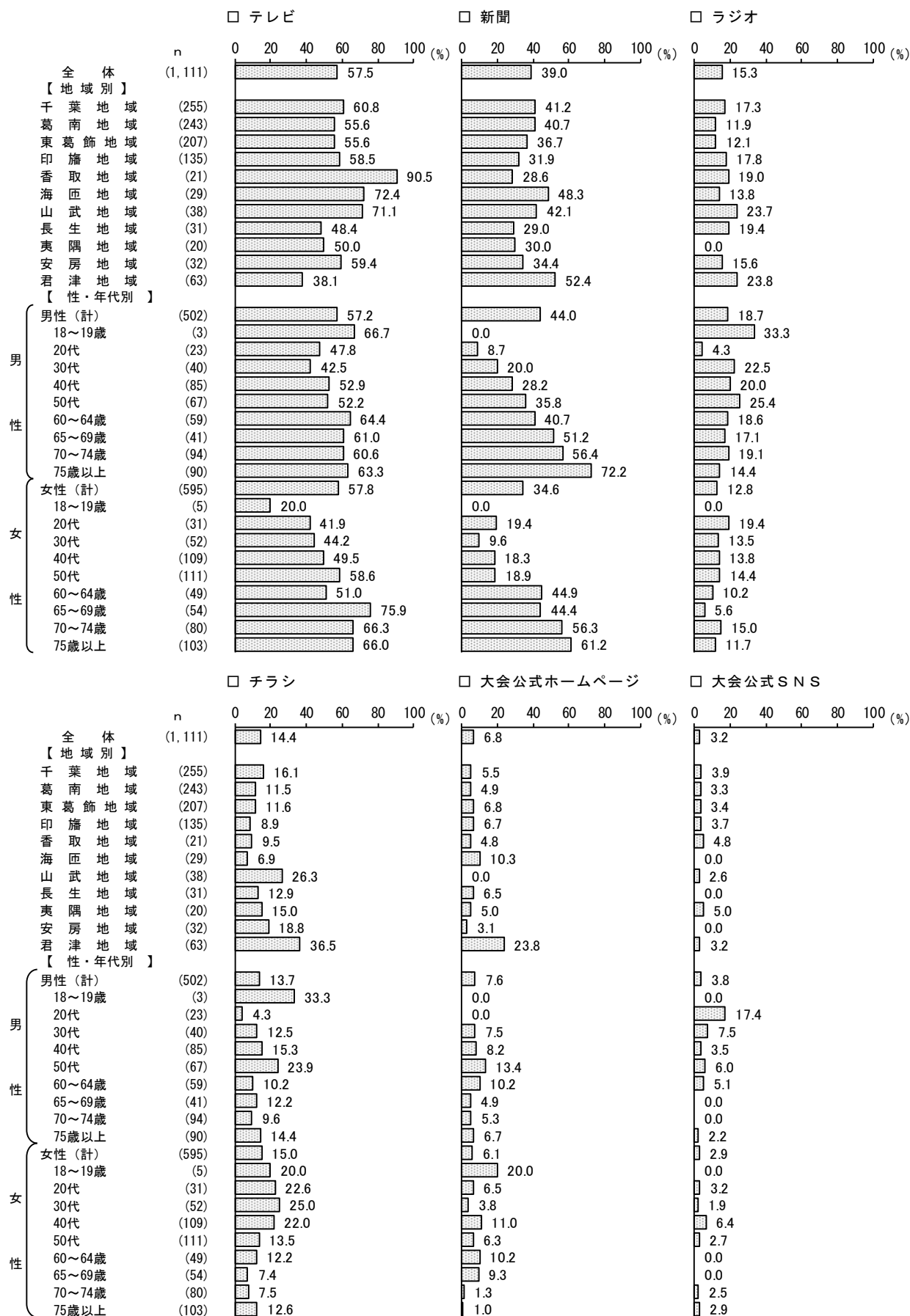
### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「テレビ」は女性の65～69歳(75.9%)が７割台半ばで高くなっている。

「新聞」は男性の75歳以上(72.2%)が７割を超え、女性の75歳以上(61.2%)が６割を超え、男性の70～74歳(56.4%)と女性の70～74歳(56.3%)が５割台半ばで高くなっている。

「ラジオ」は男性の50代(25.4%)が２割台半ばで高くなっている。(図表12－４)

＜図表12－４＞「ちばアクアラインマラソン」の認知媒体（複数回答）／地域別、性・年代別



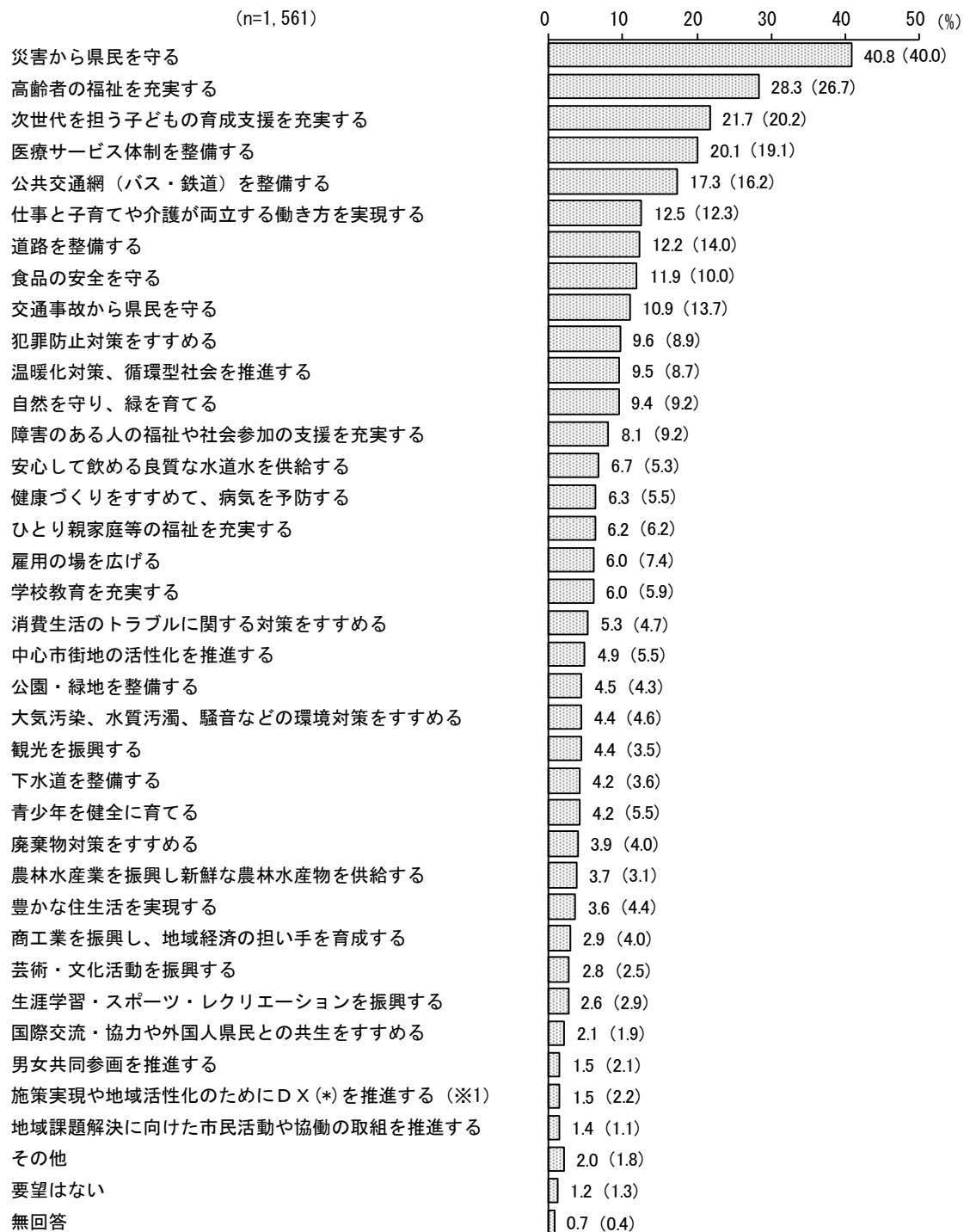
## 13 県政への要望

### （１）県政への要望

◇「災害から県民を守る」が４割

問43 県政全般について、今後特に力をいれてほしいと思われることを、次の県政への要望項目の中から３つまで選んで番号に○をつけてください。

＜図表13－１＞県政への要望（３つまでの複数回答）



注）（ ）の数字は令和４年度の同様の項目による調査結果 n=1,591

（※1）令和４年度調査では、「施策実現や地域活性化のためのＩＣＴ（情報通信技術）の利活用をすすめる」

（\*）ＤＸ＝デジタルトランスフォーメーション

県政への要望を３つまで選んでもらったところ、「災害から県民を守る」（40.8%）が１位で県民からの要望が特に高い。次いで「高齢者の福祉を充実する」（28.3%）が２位となっており、以下、「次世代を担う子どもの育成支援を充実する」（21.7%）が３位、「医療サービス体制を整備する」（20.1%）が４位、「公共交通網（バス・鉄道）を整備する」（17.3%）が５位と続く。

（図表13－１）

#### 【地域別】

地域別にみると、「災害から県民を守る」はすべての地域で１位（同率含む）となっている。

「高齢者の福祉を充実する」は“千葉地域”、“葛南地域”、“東葛飾地域”、“印旛地域”、“香取地域”、“山武地域（同率）”、“安房地域（同率）”、“君津地域”で２位となっている。

「次世代を担う子どもの育成支援を充実する」は“海匝地域”で１位（同率）、“山武地域（同率）”、“安房地域（同率）”で２位となっている。

「医療サービス体制を整備する」は“長生地域”、“山武地域（同率）”、“夷隅地域（同率）”で２位となっている。（図表13－３～図表13－４）

#### 【性別、性・年代別】

性別にみると、男女ともに１位は「災害から県民を守る」、２位は「高齢者の福祉を充実する」、３位は「次世代を担う子どもの育成支援を充実する」で変わりはない。

男性は「公共交通網（バス・鉄道）を整備する」が４位、「医療サービス体制を整備する」が５位となっているが、女性は「医療サービス体制を整備する」が４位、「公共交通網（バス・鉄道）を整備する」が５位とやや違いがみられる。

また、「仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する」は女性では６位、男性では13位と要望に男女で違いがみられる。

性・年代別にみると、「災害から県民を守る」は男性20代、男性30代、男性75歳以上、女性18～19歳、女性20代、女性30代、女性75歳以上を除いたすべての性・年代で１位となっている。

「次世代を担う子どもの育成支援を充実する」は男性30代、女性18～19歳、女性20代、女性30代で１位となっている。（図表13－５～図表13－６）

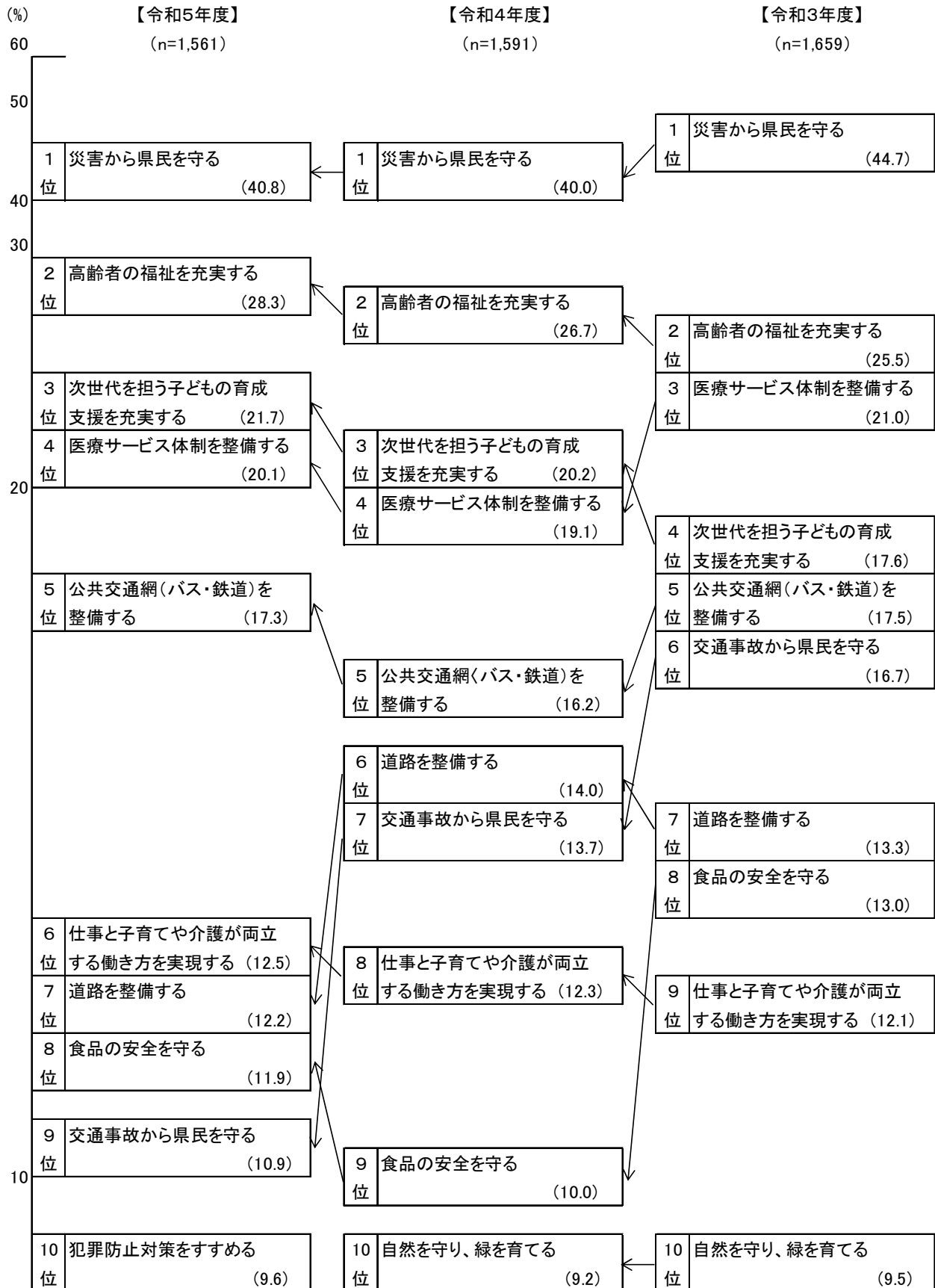
#### 【参考】令和３年度以降の同様の項目による調査結果との比較（上位10項目の推移）（図表13－２）

##### 【経年変化の特徴】

- １．「災害から県民を守る」は令和４年度（40.0%）に引き続き１位（40.8%）となっている。
- ２．２位の「高齢者の福祉を充実する」（28.3%）、３位の「次世代を担う子どもの育成支援を充実する」（21.7%）、４位の「医療サービス体制を整備する」（20.1%）、５位の「公共交通網（バス・鉄道）を整備する」（17.3%）まで令和４年度と同じ順位となっている。
- ３．「仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する」は令和４年度の８位（12.3%）から６位（12.5%）へ、「食品の安全を守る」は令和４年度の９位（10.0%）から８位（11.9%）へ順位を上げている。
- ４．「道路を整備する」は令和４年度の６位（14.0%）から７位（12.2%）へ、「交通事故から県民を守る」は令和４年度の７位（13.7%）から９位（10.9%）へ順位を下げている。



＜図表13－2＞県政への要望（3つまでの複数回答）／上位10項目の推移



＜図表13－３＞県政への要望（３つまでの複数回答）（上位１位～５位）／地域別

							(%)
属性	順位 n	1位	2位	3位	4位	5位	
全体	1,561	災害から県民を守る (40.8)	高齢者の福祉を充実する (28.3)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (21.7)	医療サービス体制を整備する (20.1)	公共交通網（バス・鉄道）を整備する (17.3)	
【 地 域 別 】							
千葉地域	306	災害から県民を守る (40.5)	高齢者の福祉を充実する (31.4)	公共交通網（バス・鉄道）を整備する/次世代を担う子どもの育成支援を充実する (21.6)		医療サービス体制を整備する (18.6)	
葛南地域	399	災害から県民を守る (41.1)	高齢者の福祉を充実する (26.8)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (22.8)	医療サービス体制を整備する (21.1)	道路を整備する (14.8)	
東葛飾地域	351	災害から県民を守る (37.6)	高齢者の福祉を充実する (26.2)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (21.4)	医療サービス体制を整備する (17.4)	公共交通網（バス・鉄道）を整備する (16.5)	
印旛地域	181	災害から県民を守る (37.6)	高齢者の福祉を充実する (28.2)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (23.8)	公共交通網（バス・鉄道）を整備する (21.5)	医療サービス体制を整備する (16.6)	
香取地域	24	災害から県民を守る (54.2)	高齢者の福祉を充実する (37.5)	医療サービス体制を整備する (29.2)	食品の安全を守る/公共交通網（バス・鉄道）を整備する/次世代を担う子どもの育成支援を充実する/観光を振興する (12.5)		
海匝地域	40	災害から県民を守る/次世代を担う子どもの育成支援を充実する (27.5)		高齢者の福祉を充実する (25.0)	交通事故から県民を守る/医療サービス体制を整備する (22.5)		
山武地域	43	災害から県民を守る (53.5)	高齢者の福祉を充実する/次世代を担う子どもの育成支援を充実する/医療サービス体制を整備する (23.3)			健康づくりをすすめて、病気を予防する (16.3)	
長生地域	36	災害から県民を守る (47.2)	医療サービス体制を整備する (41.7)	高齢者の福祉を充実する (27.8)	仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する (16.7)	公共交通網（バス・鉄道）を整備する/次世代を担う子どもの育成支援を充実する (13.9)	
夷隅地域	23	災害から県民を守る (52.2)	公共交通網（バス・鉄道）を整備する/医療サービス体制を整備する (26.1)		高齢者の福祉を充実する/雇用の場を広げる (17.4)		
安房地域	35	災害から県民を守る (37.1)	高齢者の福祉を充実する/次世代を担う子どもの育成支援を充実する (28.6)		公共交通網（バス・鉄道）を整備する/道路を整備する (17.1)		
君津地域	65	災害から県民を守る (50.8)	高齢者の福祉を充実する (29.2)	医療サービス体制を整備する (18.5)	公共交通網（バス・鉄道）を整備する/次世代を担う子どもの育成支援を充実する (15.4)		

&lt;図表13-4&gt;県政への要望（3つまでの複数回答）（上位6位～10位）／地域別

							(%)
属性	順位	n	6位	7位	8位	9位	10位
全体		1,561	仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する (12.5)	道路を整備する (12.2)	食品の安全を守る (11.9)	交通事故から県民を守る (10.9)	犯罪防止対策をすすめる (9.6)
【 地 域 別 】							
千葉地域		306	仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する (13.7)	道路を整備する (10.8)	食品の安全を守る (10.5)	自然を守り、緑を育てる (9.8)	交通事故から県民を守る/温暖化対策、循環型社会を推進する/犯罪防止対策をすすめる (9.5)
葛南地域		399	公共交通網(バス・鉄道)を整備する (14.3)	食品の安全を守る (13.8)	仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する (13.3)	温暖化対策、循環型社会を推進する (11.3)	犯罪防止対策をすすめる (10.3)
東葛飾地域		351	交通事故から県民を守る/自然を守り、緑を育てる (13.7)	道路を整備する (12.8)	食品の安全を守る (11.7)	温暖化対策、循環型社会を推進する (11.1)	
印旛地域		181	仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する (14.9)	食品の安全を守る (12.7)	自然を守り、緑を育てる/道路を整備する (11.0)	交通事故から県民を守る (10.5)	
香取地域		24	-		ひとり親家庭等の福祉を充実する/自然を守り、緑を育てる/商工業を振興し、地域経済の担い手を育成する/仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する/犯罪防止対策をすすめる/施策実現や地域活性化のためにDX(デジタルトランスフォーメーション)を推進する (8.3)		
海匝地域		40	公共交通網(バス・鉄道)を整備する/仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する (20.0)	食品の安全を守る/安心して飲める良質な水道水を供給する (15.0)	道路を整備する/犯罪防止対策をすすめる (12.5)		
山武地域		43	食品の安全を守る/公共交通網(バス・鉄道)を整備する/下水道を整備する (14.0)	仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する/道路を整備する/学校教育を充実する (11.6)			
長生地域		36	-	交通事故から県民を守る/障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する/雇用の場を広げる/農林水産業を振興し新鮮な農林水産物を供給する (11.1)			
夷隅地域		23	食品の安全を守る/仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する (13.0)	交通事故から県民を守る/次世代を担う子どもの育成支援を充実する/廃棄物対策をすすめる/観光を振興する/道路を整備する/安心して飲める良質な水道水を供給する (8.7)			
安房地域		35	医療サービス体制を整備する/雇用の場を広げる (14.3)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる/自然を守り、緑を育てる/温暖化対策、循環型社会を推進する/観光を振興する (11.4)			
君津地域		65	交通事故から県民を守る/温暖化対策、循環型社会を推進する (13.8)	障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する/犯罪防止対策をすすめる (12.3)	公園・緑地を整備する (10.8)		

＜図表13－５＞県政への要望（３つまでの複数回答）（上位１位～５位）／性別、性・年代別

順位 属性		n	1位	2位	3位	4位	5位	(%)	
全体		1,561	災害から県民を守る (40.8)	高齢者の福祉を充実する (28.3)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (21.7)	医療サービス体制を整備する (20.1)	公共交通網(バス・鉄道)を整備する (17.3)		
【性・年代別】									
男性 (計)		655	災害から県民を守る (38.3)	高齢者の福祉を充実する (26.1)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (19.2)	公共交通網(バス・鉄道)を整備する (18.5)	医療サービス体制を整備する (17.9)		
18～19歳		6	災害から県民を守る/障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する/高齢者の福祉を充実する (50.0)			次世代を担う子どもの育成支援を充実する/道路を整備する (33.3)			
20 代		35	公共交通網(バス・鉄道)を整備する (25.7)				災害から県民を守る/食品の安全を守る/次世代を担う子どもの育成支援を充実する (22.9)		交通事故から県民を守る (20.0)
30 代		58	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (29.3)	災害から県民を守る (24.1)	公共交通網(バス・鉄道)を整備する (22.4)	交通事故から県民を守る (19.0)		仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する (17.2)	
40 代		111	災害から県民を守る (39.6)	公共交通網(バス・鉄道)を整備する (22.5)		次世代を担う子どもの育成支援を充実する/道路を整備する (20.7)		医療サービス体制を整備する (16.2)	
50 代		83	災害から県民を守る (38.6)	公共交通網(バス・鉄道)を整備する (26.5)		高齢者の福祉を充実する (21.7)	医療サービス体制を整備する (20.5)	道路を整備する (16.9)	
60～64歳		69	災害から県民を守る (43.5)	高齢者の福祉を充実する (34.8)	道路を整備する (23.2)	医療サービス体制を整備する (20.3)		次世代を担う子どもの育成支援を充実する (18.8)	
65～69歳		58	災害から県民を守る (46.6)	高齢者の福祉を充実する (29.3)	医療サービス体制を整備する (24.1)	公共交通網(バス・鉄道)を整備する (22.4)		次世代を担う子どもの育成支援を充実する (15.5)	
70～74歳		110	災害から県民を守る (44.5)	高齢者の福祉を充実する (35.5)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (18.2)	医療サービス体制を整備する (17.3)		道路を整備する (14.5)	
75歳以上		125	高齢者の福祉を充実する (36.8)	災害から県民を守る (35.2)	医療サービス体制を整備する (21.6)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (16.8)		交通事故から県民を守る (13.6)	
女性 (計)		883	災害から県民を守る (43.0)	高齢者の福祉を充実する (29.8)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (23.6)	医療サービス体制を整備する (22.1)		公共交通網(バス・鉄道)を整備する (16.5)	
18～19歳		6	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (83.3)	災害から県民を守る (50.0)	公共交通網(バス・鉄道)を整備する/学校教育を充実する (33.3)			消費生活のトラブルに関する対策をすすめる/交通事故から県民を守る/ひとり親家庭等の福祉を充実する/高齢者の福祉を充実する/温暖化対策、循環型社会を推進する/仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する (16.7)	
20 代		66	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (39.4)	災害から県民を守る (30.3)	交通事故から県民を守る/仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する (21.2)			公共交通網(バス・鉄道)を整備する/医療サービス体制を整備する/犯罪防止対策をすすめる (12.1)	
30 代		103	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (46.6)	仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する (35.9)	災害から県民を守る (35.0)	公共交通網(バス・鉄道)を整備する/医療サービス体制を整備する (21.4)			
40 代		167	災害から県民を守る (43.1)	高齢者の福祉を充実する (25.1)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (22.8)	医療サービス体制を整備する (21.0)		公共交通網(バス・鉄道)を整備する/仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する (15.6)	
50 代		145	災害から県民を守る (44.1)	高齢者の福祉を充実する (31.0)	医療サービス体制を整備する (27.6)	公共交通網(バス・鉄道)を整備する (19.3)		次世代を担う子どもの育成支援を充実する (17.2)	
60～64歳		76	災害から県民を守る (47.4)	医療サービス体制を整備する (35.5)	高齢者の福祉を充実する (28.9)	公共交通網(バス・鉄道)を整備する/次世代を担う子どもの育成支援を充実する (19.7)			
65～69歳		68	災害から県民を守る (50.0)	高齢者の福祉を充実する (39.7)	温暖化対策、循環型社会を推進する (23.5)	医療サービス体制を整備する (16.2)		次世代を担う子どもの育成支援を充実する/仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する (14.7)	
70～74歳		114	災害から県民を守る (42.1)	高齢者の福祉を充実する (41.2)	医療サービス体制を整備する (23.7)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (20.2)		公共交通網(バス・鉄道)を整備する (16.7)	
75歳以上		137	高齢者の福祉を充実する (49.6)	災害から県民を守る (48.2)	医療サービス体制を整備する (18.2)	食品の安全を守る (17.5)		公共交通網(バス・鉄道)を整備する/健康づくりをすすめて、病気を予防する (16.1)	

&lt;図表13－6&gt;県政への要望（3つまでの複数回答）（上位6位～10位）／性別、性・年代別

属性 \ 順位		n	6位	7位	8位	9位	10位	(%)	
全体		1,561	仕事と子育てや介護が両立 する働き方を実現する (12.5)	道路を整備する (12.2)	食品の安全を守る (11.9)	交通事故から県民を守る (10.9)	犯罪防止対策をすすめる (9.6)		
【性・年代別】									
男性（計）		655	道路を整備する (15.6)	交通事故から県民を守る (11.8)	食品の安全を守る (10.7)	犯罪防止対策をすすめる (10.4)	自然を守り、緑を育てる (10.1)		
18～19歳		6	食品の安全を守る/交通事故から県民を守る/公共交通網（バス・鉄道）を整備する/ひとり親家庭等の福祉を充実する/青少年を健全に育てる/地域課題 解決に向けた市民活動や協働の取組を推進する/健康づくりをすすめて、病気を予防する/医療サービス体制を整備する/大気汚染、水質汚濁、騒音な どの環境対策をすすめる/温暖化対策、循環型社会を推進する/商工業を振興し、地域経済の担い手を育成する/観光を振興する/仕事と子育てや介護 が両立する働き方を実現する/下水道を整備する/学校教育を充実する/犯罪防止対策をすすめる (16.7)						
20 代		35	仕事と子育てや介護が両立 する働き方を実現する (14.3)	消費生活のトラブルに関する対策をすすめる/雇用の場を広 げる (11.4)	高齢者の福祉を充実する/自然を守り、緑を育てる/観光を振 興する (8.6)				
30 代		58	道路を整備する (15.5)	高齢者の福祉を充実する (13.8)	中心市街地の活性化を推進 する (12.1)	消費生活のトラブルに関する対策をすすめる/食品の安全を 守る/医療サービス体制を整備する/観光を振興する (10.3)			
40 代		111	自然を守り、緑を育てる (15.3)	犯罪防止対策をすすめる (14.4)	高齢者の福祉を充実する (11.7)	食品の安全を守る/交通事故から県民を守る/仕事と子育て や介護が両立する働き方を実現する (9.9)			
50 代		83	次世代を担う子どもの育成支援を充実する/自然を守り、緑を 育てる (15.7)	温暖化対策、循環型社会を 推進する (13.3)	食品の安全を守る/交通事故から県民を守る (12.0)				
60～64歳		69	公共交通網（バス・鉄道）を整 備する (14.5)	中心市街地の活性化を推進する/障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する/犯罪 防止対策をすすめる (10.1)	消費生活のトラブルに関する 対策をすすめる/交通事故か ら県民を守る/自然を守り、緑 を育てる (8.7)				
65～69歳		58	温暖化対策、循環型社会を推進する/道路を整備する/下水道を整備する (13.8)			食品の安全を守る (12.1)	障害のある人の福祉や社会 参加の支援を充実する/犯罪 防止対策をすすめる (8.6)		
70～74歳		110	公共交通網（バス・鉄道）を整備する/健康づくりをすすめて、病気を予防する/犯罪防止対 策をすすめる (12.7)			自然を守り、緑を育てる (10.9)	消費生活のトラブルに関する 対策をすすめる/温暖化対 策、循環型社会を推進する (10.0)		
75歳以上		125	安心して飲める良質な水道水 を供給する (12.0)	公共交通網（バス・鉄道）を整 備する (11.2)	食品の安全を守る/道路を整備する/犯罪防止対策をすすめる (9.6)				
女性（計）		883	仕事と子育てや介護が両立 する働き方を実現する (15.7)	食品の安全を守る (12.8)	交通事故から県民を守る (10.5)	温暖化対策、循環型社会を 推進する (10.4)	道路を整備する (9.9)		
18～19歳		6	-						
20 代		66	-		学校教育を充実する (10.6)	消費生活のトラブルに関する対策をすすめる/ひとり親家庭 等の福祉を充実する/観光を振興する (9.1)			
30 代		103	食品の安全を守る/交通事故から県民を守る/学校教育を充実する (13.6)			道路を整備する (12.6)	自然を守り、緑を育てる/公 園・緑地を整備する/犯罪防 止対策をすすめる (8.7)		
40 代		167	-	交通事故から県民を守る (14.4)	食品の安全を守る/学校教育を充実する (13.8)		道路を整備する (12.0)		
50 代		145	温暖化対策、循環型社会を 推進する (13.1)	自然を守り、緑を育てる/仕事と子育てや介護が両立する働 き方を実現する (12.4)	食品の安全を守る/道路を整備する (11.0)				
60～64歳		76	食品の安全を守る/温暖化対策、循環型社会を推進する/道路を整備する (11.8)			自然を守り、緑を育てる (10.5)	雇用の場を広げる/仕事と子 育てや介護が両立する働き 方を実現する (9.2)		
65～69歳		68	-	食品の安全を守る/安心して飲める良質な水道水を供給する (10.3)		交通事故から県民を守る/障害のある人の福祉や社会参加 の支援を充実する/雇用の場を広げる/道路を整備する (8.8)			
70～74歳		114	食品の安全を守る (14.9)	温暖化対策、循環型社会を推進する/仕事と子育てや介護 が両立する働き方を実現する (11.4)	自然を守り、緑を育てる/道路を整備する (10.5)				
75歳以上		137	-	次世代を担う子どもの育成支 援を充実する (13.1)	温暖化対策、循環型社会を推進する/犯罪防止対策をすす める (11.7)	障害のある人の福祉や社会 参加の支援を充実する (10.9)			

## （１－１）各政策への具体的な要望

問44 問43で選んでいただきました県政の要望について、具体的にどのようなことを望まれますか。問43で選んだ３項目についてのみ、具体的要望項目から１つずつ選んで番号に○をつけてください。

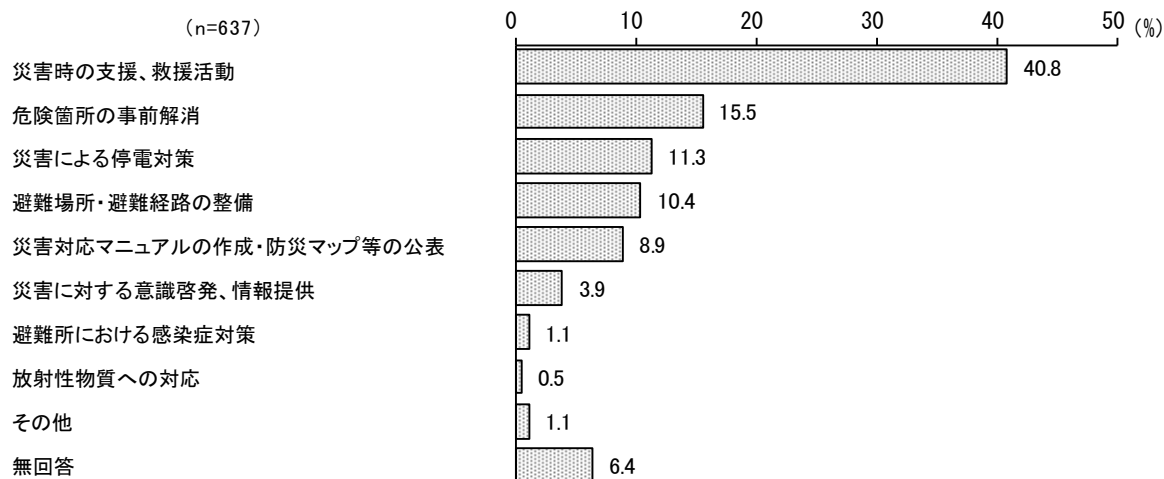
問43で県政への要望を３つまでたずね、その選んだ要望に関して、それぞれ具体的にどのようなことを望んでいるかを聞いた。

ここからは、それぞれの結果を図示していくが、問43の回答状況次第では、nの値が少なくなるものもあり、その場合は参考ということを明示する。

### １ 災害から県民を守る（40.8%、１位）

「災害時の支援、救援活動」（40.8%）が４割で最も高く、以下、「危険箇所の事前解消」（15.5%）、「災害による停電対策」（11.3%）が続く。

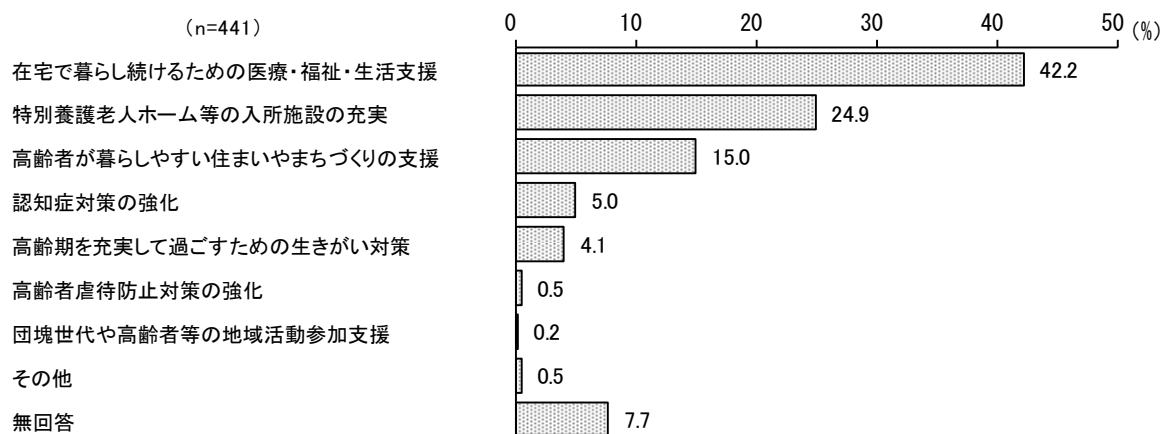
＜図表13－７＞災害から県民を守る



### ２ 高齢者の福祉を充実する（28.3%、２位）

「在宅で暮らし続けるための医療・福祉・生活支援」（42.2%）が４割を超えて最も高く、以下、「特別養護老人ホーム等の入所施設の充実」（24.9%）、「高齢者が暮らしやすい住まいやまちづくりの支援」（15.0%）が続く。

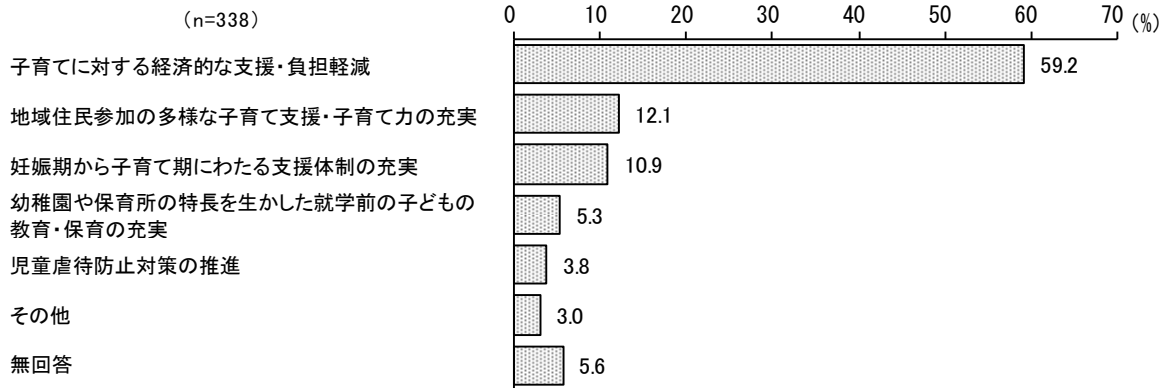
＜図表13－８＞高齢者の福祉を充実する



### 3 次世代を担う子どもの育成支援を充実する（21.7%、3位）

「子育てに対する経済的な支援・負担軽減」（59.2%）が約6割で最も高く、以下、「地域住民参加の多様な子育て支援・子育て力の充実」（12.1%）、「妊娠期から子育て期にわたる支援体制の充実」（10.9%）が続く。

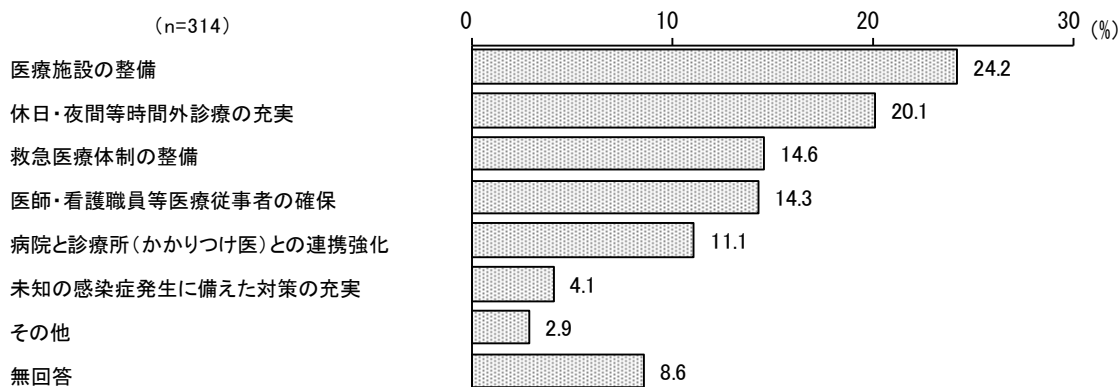
＜図表13－9＞次世代を担う子どもの育成支援を充実する



### 4 医療サービス体制を整備する（20.1%、4位）

「医療施設の整備」（24.2%）が2割台半ばで最も高く、以下、「休日・夜間等時間外診療の充実」（20.1%）、「救急医療体制の整備」（14.6%）が続く。

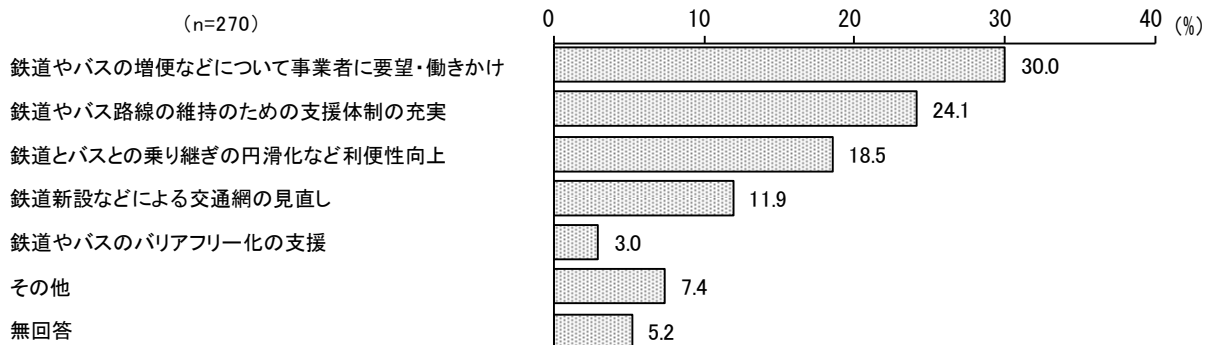
＜図表13－10＞医療サービス体制を整備する



### 5 公共交通網（バス・鉄道）を整備する（17.3%、5位）

「鉄道やバスの増便などについて事業者要望・働きかけ」（30.0%）が3割で最も高く、以下、「鉄道やバス路線の維持のための支援体制の充実」（24.1%）、「鉄道とバスとの乗り継ぎの円滑化など利便性向上」（18.5%）が続く。

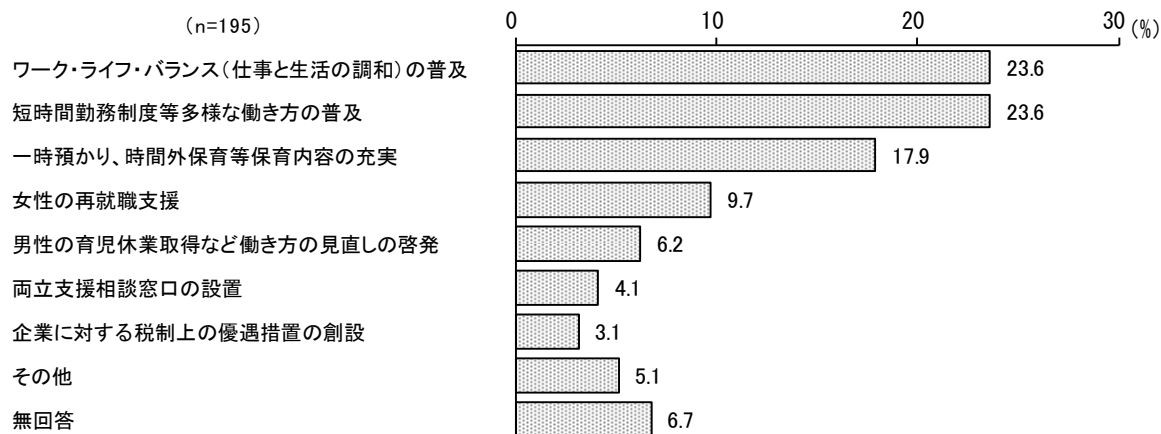
＜図表13－11＞公共交通網（バス・鉄道）を整備する



## 6 仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する（12.5%、6位）

「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の普及」（23.6%）と「短時間勤務制度等多様な働き方の普及」（23.6%）が2割台半ばで最も高く、以下、「一時預かり、時間外保育等保育内容の充実」（17.9%）が続く。

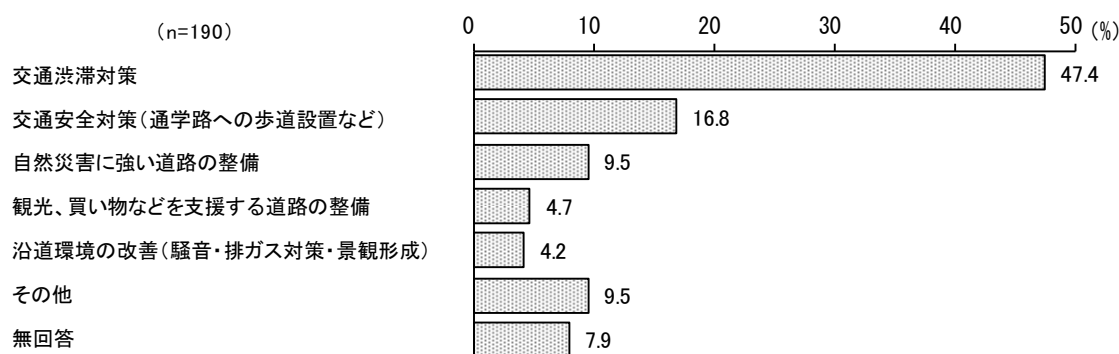
＜図表13-12＞仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する



## 7 道路を整備する（12.2%、7位）

「交通渋滞対策」（47.4%）が約5割で最も高く、以下、「交通安全対策（通学路への歩道設置など）」（16.8%）、「自然災害に強い道路の整備」（9.5%）が続く。

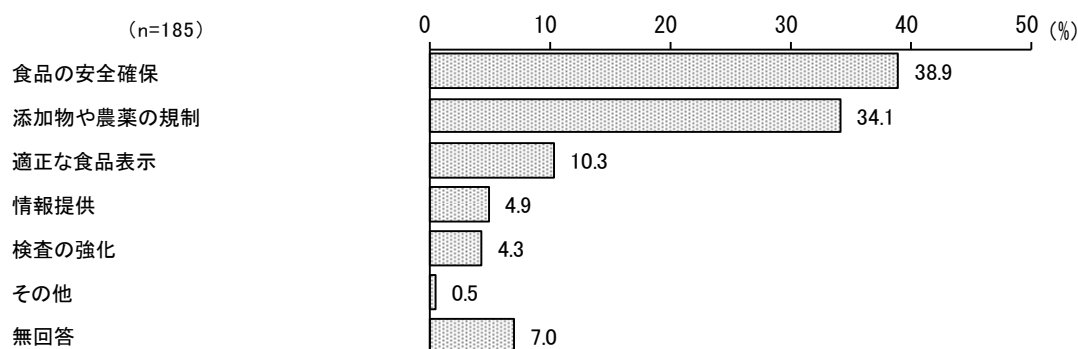
＜図表13-13＞道路を整備する



## 8 食品の安全を守る（11.9%、8位）

「食品の安全確保」（38.9%）が約4割で最も高く、以下、「添加物や農薬の規制」（34.1%）、「適正な食品表示」（10.3%）が続く。

＜図表13-14＞食品の安全を守る

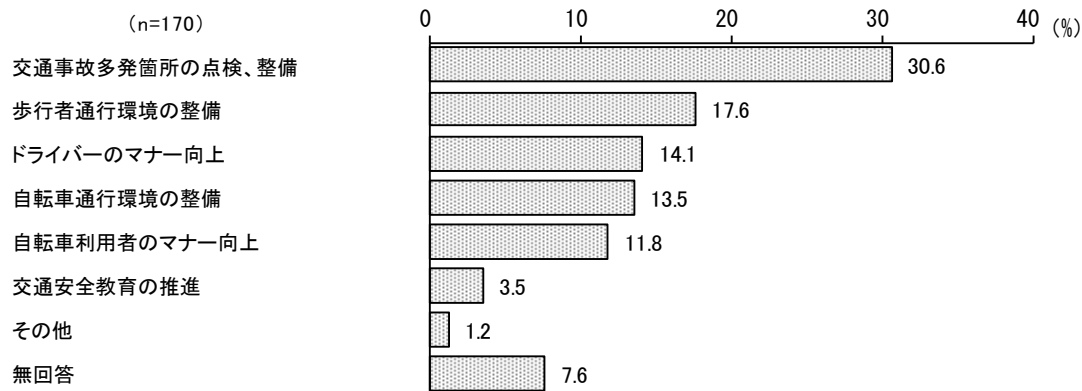




## 9 交通事故から県民を守る（10.9%、9位）

「交通事故多発箇所の点検、整備」（30.6%）が3割で最も高く、以下、「歩行者通行環境の整備」（17.6%）、「ドライバーのマナー向上」（14.1%）が続く。

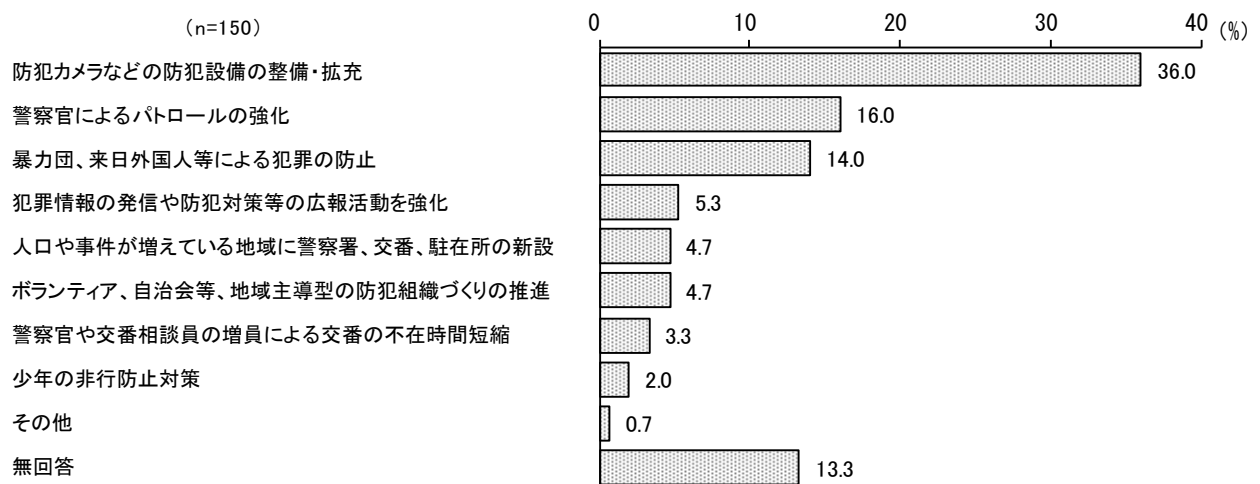
＜図表13-15＞交通事故から県民を守る



## 10 犯罪防止対策をすすめる（9.6%、10位）

「防犯カメラなどの防犯設備の整備・拡充」（36.0%）が3割台半ばで最も高く、以下、「警察官によるパトロールの強化」（16.0%）、「暴力団、来日外国人等による犯罪の防止」（14.0%）が続く。

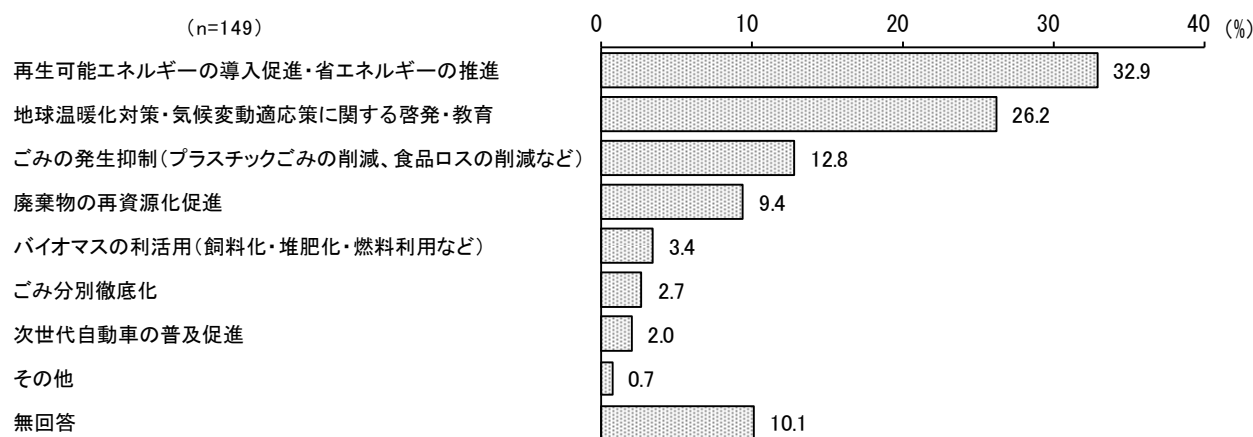
＜図表13-16＞犯罪防止対策をすすめる



## 11 温暖化対策、循環型社会を推進する（9.5%、11位）

「再生可能エネルギーの導入促進・省エネルギーの推進」（32.9%）が3割を超えて最も高く、以下、「地球温暖化対策・気候変動適応策に関する啓発・教育」（26.2%）、「ごみの発生抑制（プラスチックごみの削減、食品ロスの削減など）」（12.8%）が続く。

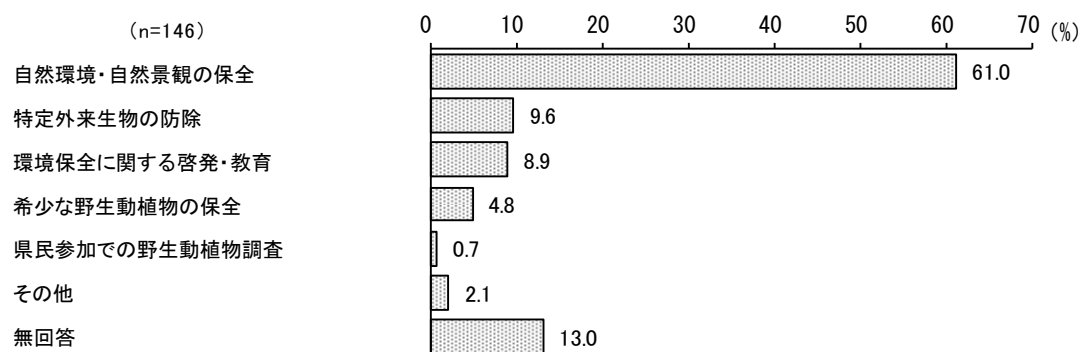
＜図表13－17＞温暖化対策、循環型社会を推進する



## 12 自然を守り、緑を育てる（9.4%、12位）

「自然環境・自然景観の保全」（61.0%）が6割を超えて最も高く、以下、「特定外来生物の防除」（9.6%）、「環境保全に関する啓発・教育」（8.9%）が続く。

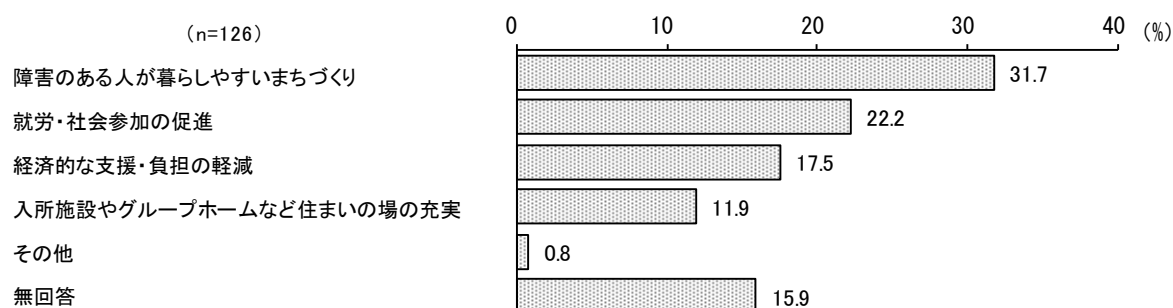
＜図表13－18＞自然を守り、緑を育てる



## 13 障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する（8.1%、13位）

「障害のある人が暮らしやすいまちづくり」（31.7%）が3割を超えて最も高く、以下、「就労・社会参加の促進」（22.2%）、「経済的な支援・負担の軽減」（17.5%）が続く。

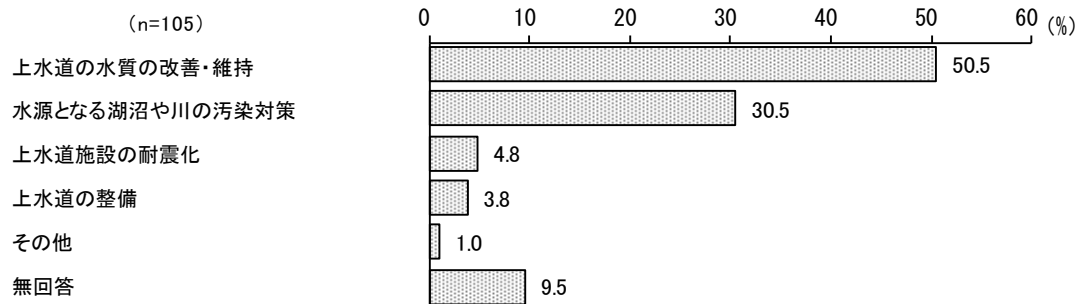
＜図表13－19＞障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する



#### 14 安心して飲める良質な水道水を供給する（6.7%、14位）

「上水道の水質の改善・維持」（50.5%）が5割で最も高く、以下、「水源となる湖沼や川の汚染対策」（30.5%）、「上水道施設の耐震化」（4.8%）が続く。

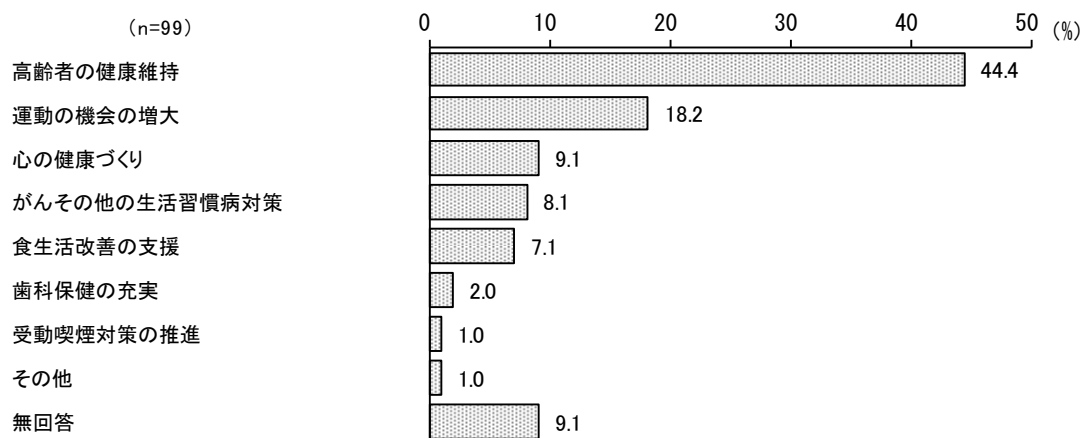
＜図表13-20＞安心して飲める良質な水道水を供給する



#### 15 健康づくりをすすめて、病気を予防する（6.3%、15位）

「高齢者の健康維持」（44.4%）が4割台半ばで最も高く、以下、「運動の機会の増大」（18.2%）、「心の健康づくり」（9.1%）が続く。

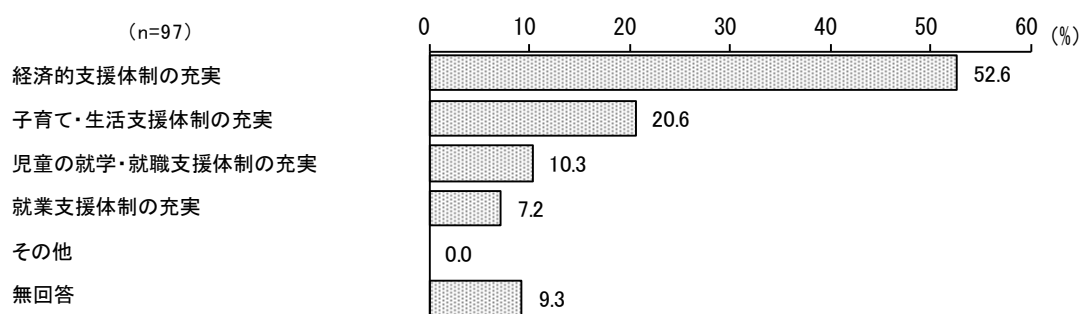
＜図表13-21＞健康づくりをすすめて、病気を予防する



#### 16 ひとり親家庭等の福祉を充実する（6.2%、16位）

「経済的支援体制の充実」（52.6%）が5割を超えて最も高く、以下、「子育て・生活支援体制の充実」（20.6%）、「児童の就学・就職支援体制の充実」（10.3%）が続く。

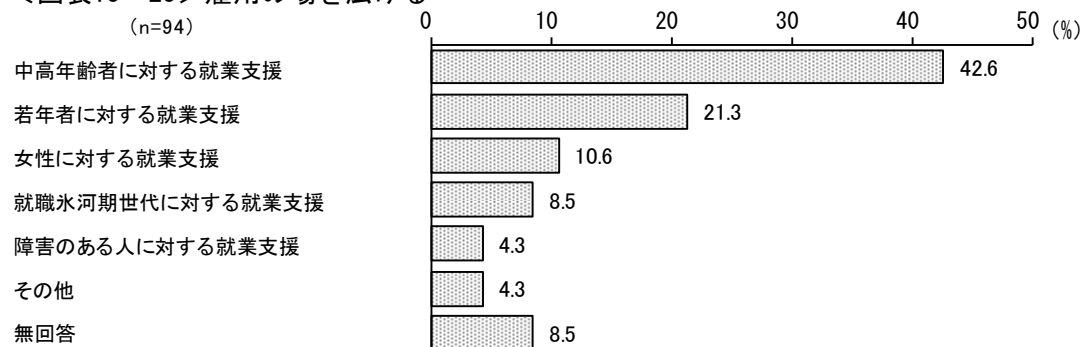
＜図表13-22＞ひとり親家庭等の福祉を充実する



## 17 雇用の場を広げる（6.0%、17位）

「中高年齢者に対する就業支援」（42.6%）が4割を超えて最も高く、以下、「若年者に対する就業支援」（21.3%）、「女性に対する就業支援」（10.6%）が続く。

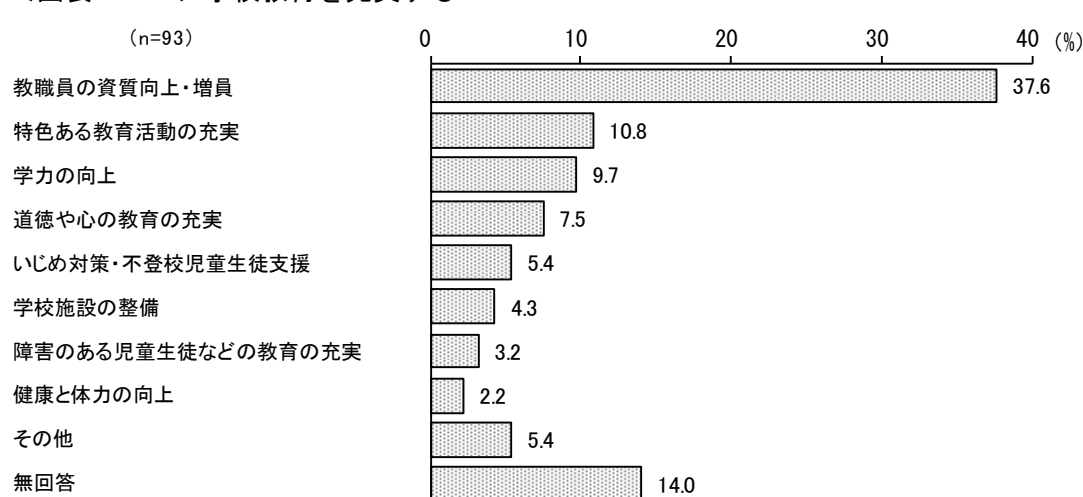
＜図表13-23＞雇用の場を広げる



## 18 学校教育を充実する（6.0%、18位）

「教職員の資質向上・増員」（37.6%）が約4割で最も高く、以下、「特色ある教育活動の充実」（10.8%）、「学力の向上」（9.7%）が続く。

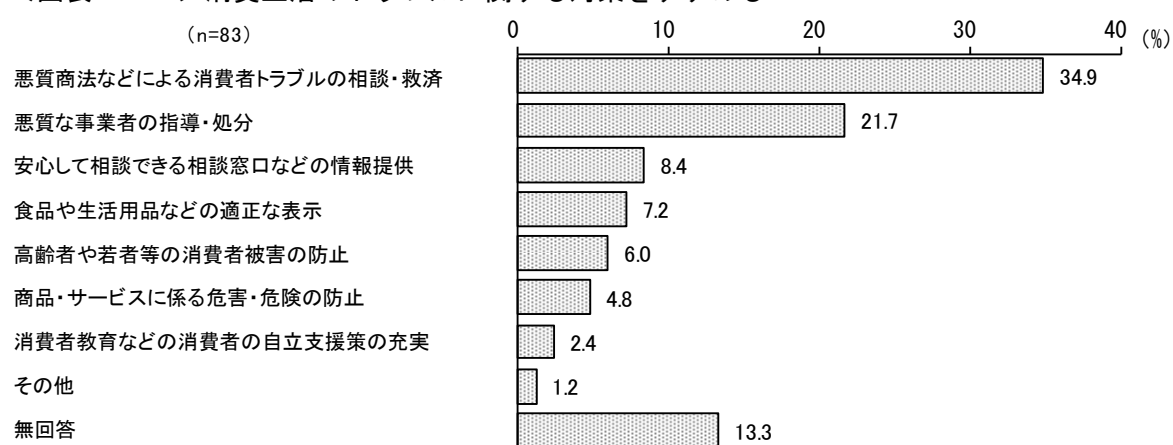
＜図表13-24＞学校教育を充実する



## 19 消費生活のトラブルに関する対策をすすめる（5.3%、19位）

「悪質商法などによる消費者トラブルの相談・救済」（34.9%）が3割台半ばで最も高く、以下、「悪質な事業者の指導・処分」（21.7%）、「安心して相談できる相談窓口などの情報提供」（8.4%）が続く。

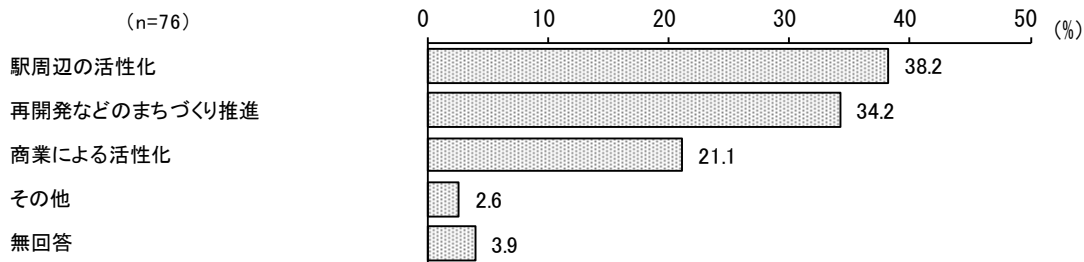
＜図表13-25＞消費生活のトラブルに関する対策をすすめる



## 20 中心市街地の活性化を推進する（4.9%、20位）

「駅周辺の活性化」(38.2%)が約4割で最も高く、以下、「再開発などのまちづくり推進」(34.2%)、「商業による活性化」(21.1%)が続く。

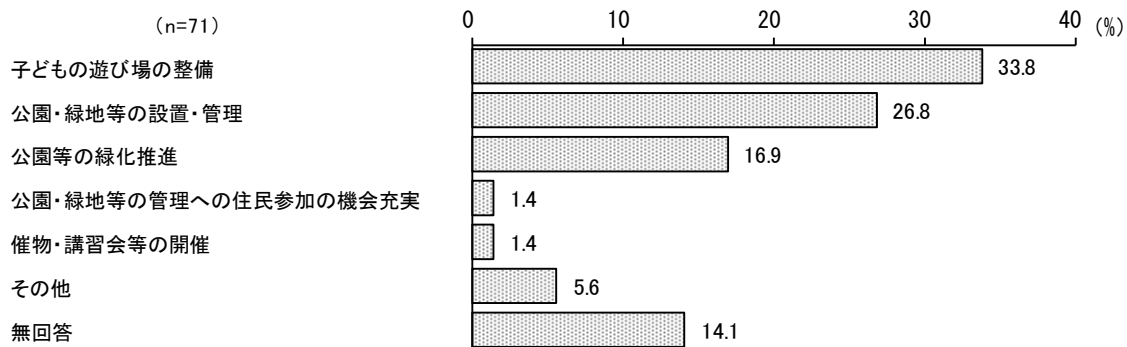
＜図表13-26＞中心市街地の活性化を推進する



## 21 公園・緑地を整備する（4.5%、21位）

「子どもの遊び場の整備」(33.8%)が3割台半ばで最も高く、以下、「公園・緑地等の設置・管理」(26.8%)、「公園等の緑化推進」(16.9%)が続く。

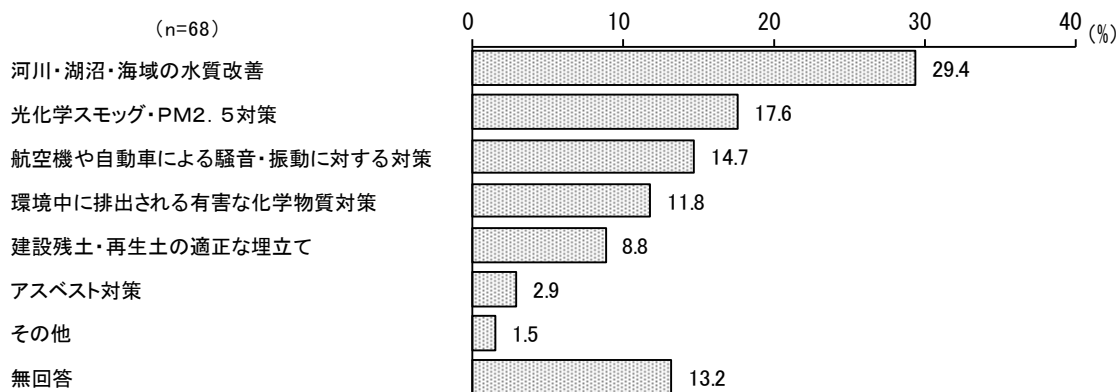
＜図表13-27＞公園・緑地を整備する



## 22 大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる（4.4%、22位）

「河川・湖沼・海域の水質改善」(29.4%)が約3割で最も高く、以下、「光化学スモッグ・PM2.5対策」(17.6%)、「航空機や自動車による騒音・振動に対する対策」(14.7%)が続く。

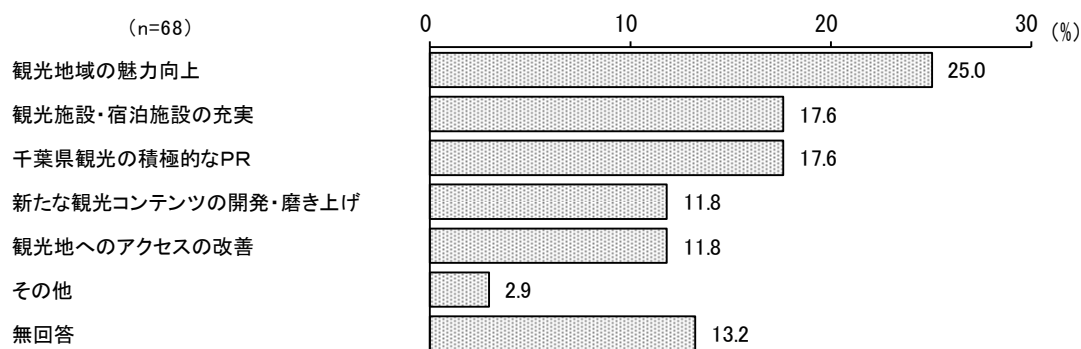
＜図表13-28＞大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる



## 23 観光を振興する（4.4%、22位）

「観光地域の魅力向上」（25.0%）が2割台半ばで最も高く、以下、「観光施設・宿泊施設の充実」（17.6%）と「千葉県観光の積極的なPR」（17.6%）が続く。

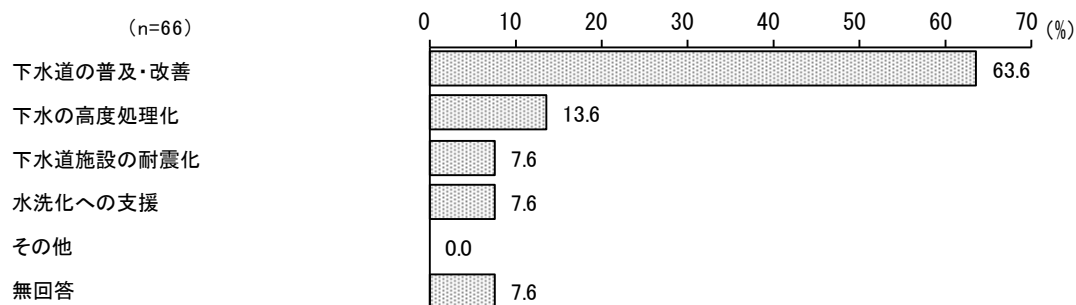
＜図表13-29＞観光を振興する



## 24 下水道を整備する（4.2%、24位）

「下水道の普及・改善」（63.6%）が6割台半ばで最も高く、以下、「下水の高度処理化」（13.6%）、「下水道施設の耐震化」（7.6%）と「水洗化への支援」（7.6%）が続く。

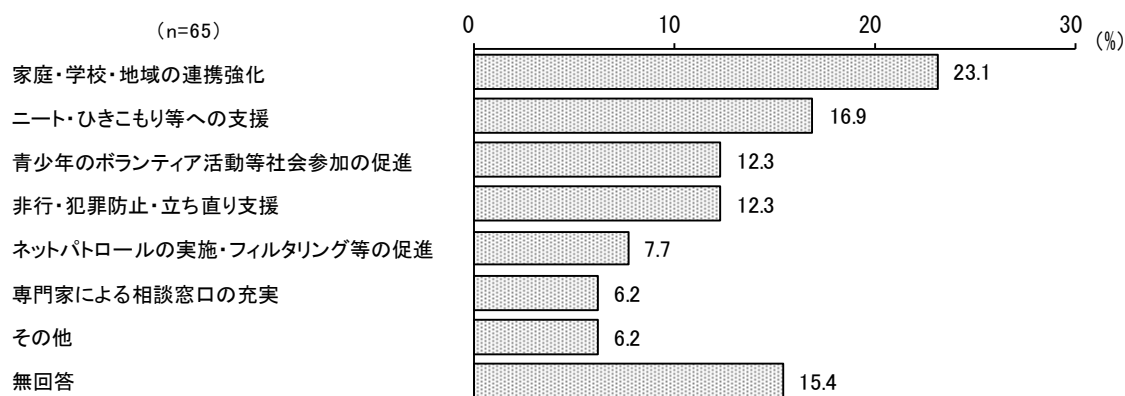
＜図表13-30＞下水道を整備する



## 25 青少年を健全に育てる（4.2%、25位）

「家庭・学校・地域の連携強化」（23.1%）が2割を超えて最も高く、以下、「ニート・ひきこもり等への支援」（16.9%）、「青少年のボランティア活動等社会参加の促進」（12.3%）と「非行・犯罪防止・立ち直り支援」（12.3%）が続く。

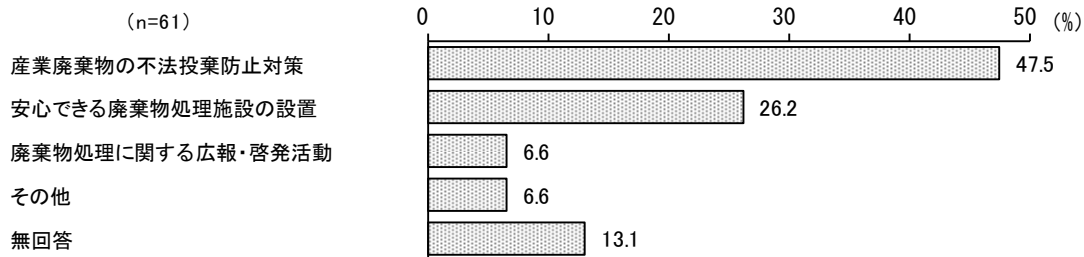
＜図表13-31＞青少年を健全に育てる



## 26 廃棄物対策をすすめる（3.9%、26位）

「産業廃棄物の不法投棄防止対策」（47.5%）が約5割で最も高く、以下、「安心できる廃棄物処理施設の設置」（26.2%）、「廃棄物処理に関する広報・啓発活動」（6.6%）が続く。

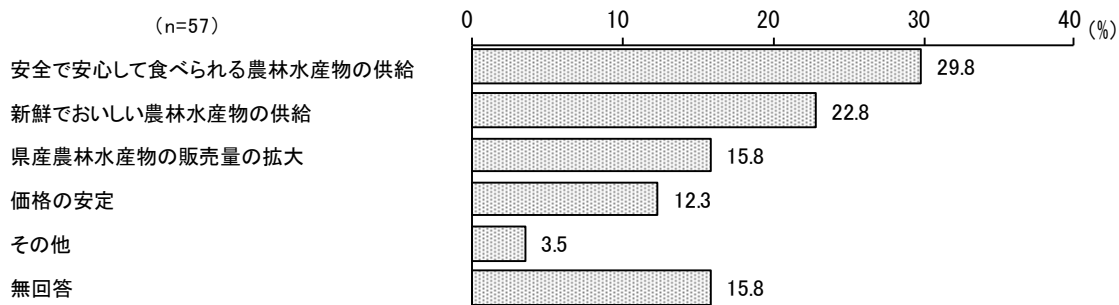
＜図表13－32＞廃棄物対策をすすめる



## 27 農林水産業を振興し新鮮な農林水産物を供給する（3.7%、27位）

「安全で安心して食べられる農林水産物の供給」（29.8%）が約3割で最も高く、以下、「新鮮でおいしい農林水産物の供給」（22.8%）、「県産農林水産物の販売量の拡大」（15.8%）が続く。

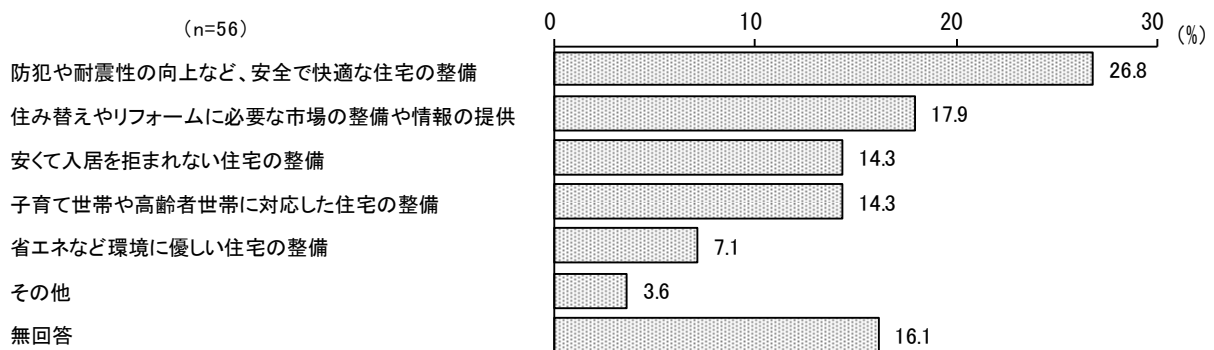
＜図表13－33＞農林水産業を振興し新鮮な農林水産物を供給する



## 28 豊かな住生活を実現する（3.6%、28位）

「防犯や耐震性の向上など、安全で快適な住宅の整備」（26.8%）が2割台半ばで最も高く、以下、「住み替えやリフォームに必要な市場の整備や情報の提供」（17.9%）、「安くて入居を拒まれない住宅の整備」（14.3%）と「子育て世帯や高齢者世帯に対応した住宅の整備」が続く。

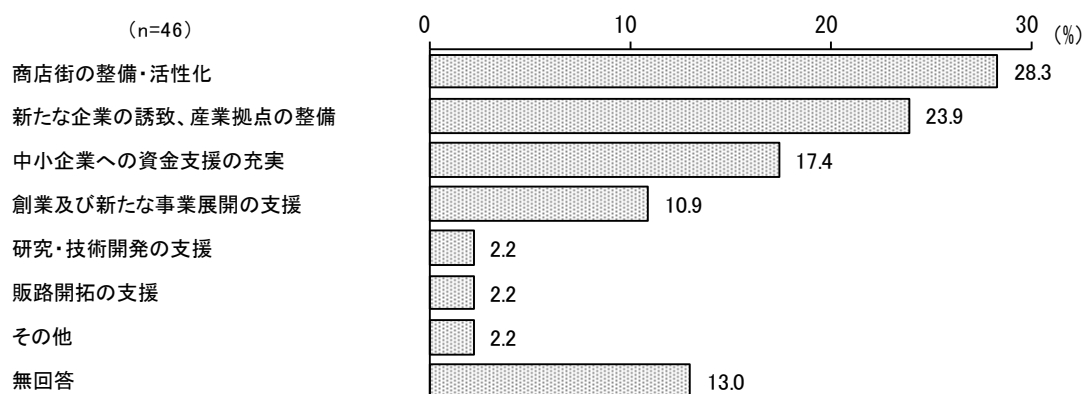
＜図表13－34＞豊かな住生活を実現する



## 29 商工業を振興し、地域経済の担い手を育成する（2.9%、29位）

「商店街の整備・活性化」（28.3%）が約3割で最も高く、以下、「新たな企業の誘致、産業拠点の整備」（23.9%）、「中小企業への資金支援の充実」（17.4%）が続く。

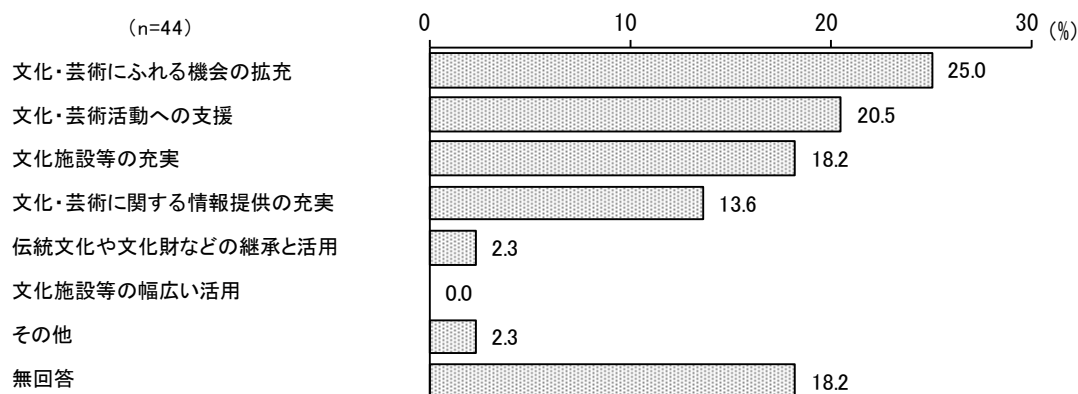
＜図表13-35＞商工業を振興し、地域経済の担い手を育成する



## 30 芸術・文化活動を振興する（2.8%、30位）

「文化・芸術にふれる機会の拡充」（25.0%）が2割台半ばで最も高く、以下、「文化・芸術活動への支援」（20.5%）、「文化施設等の充実」（18.2%）が続く。

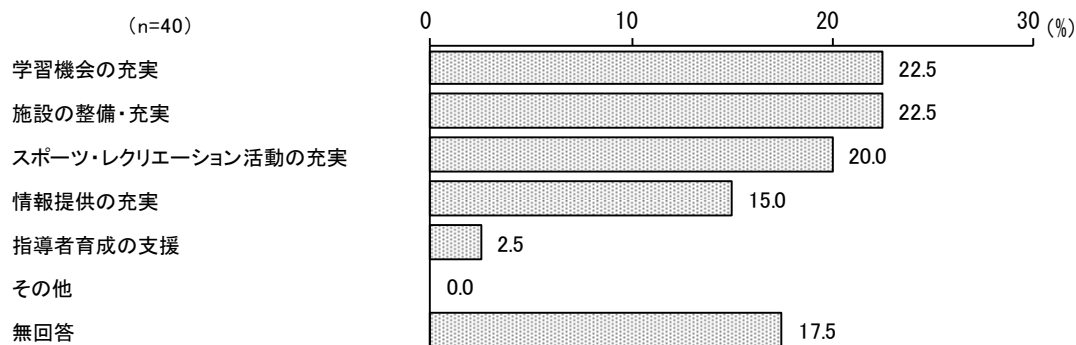
＜図表13-36＞芸術・文化活動を振興する



## 31 生涯学習・スポーツ・レクリエーションを振興する（2.6%、31位）

「学習機会の充実」（22.5%）と「施設の整備・充実」（22.5%）が2割を超えて最も高く、以下、「スポーツ・レクリエーション活動の充実」（20.0%）が続く。

＜図表13-37＞生涯学習・スポーツ・レクリエーションを振興する

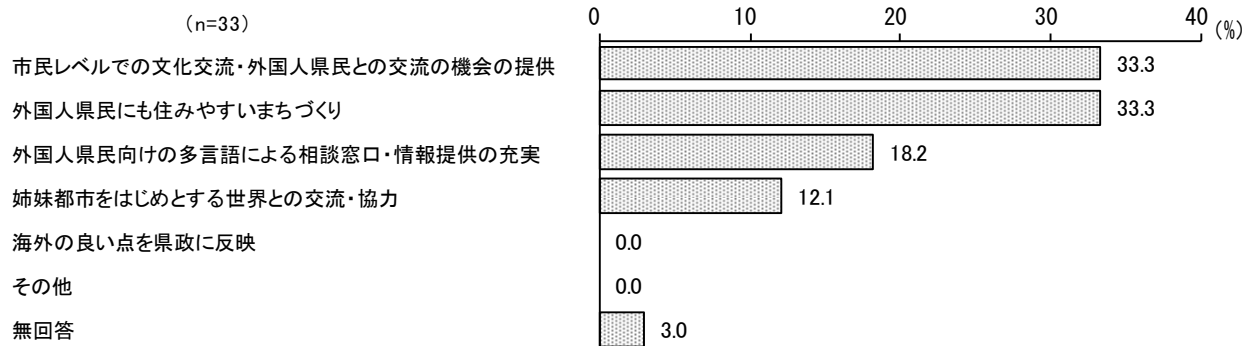




### 32 国際交流・協力や外国人県民との共生をすすめる（2.1%、32位）

「市民レベルでの文化交流・外国人県民との交流の機会の提供」（33.3%）と「外国人県民にも住みやすいまちづくり」（33.3%）が3割を超えて最も高く、以下、「外国人県民向けの多言語による相談窓口・情報提供の充実」（18.2%）が続く。

＜図表13－38＞国際交流・協力や外国人県民との共生をすすめる

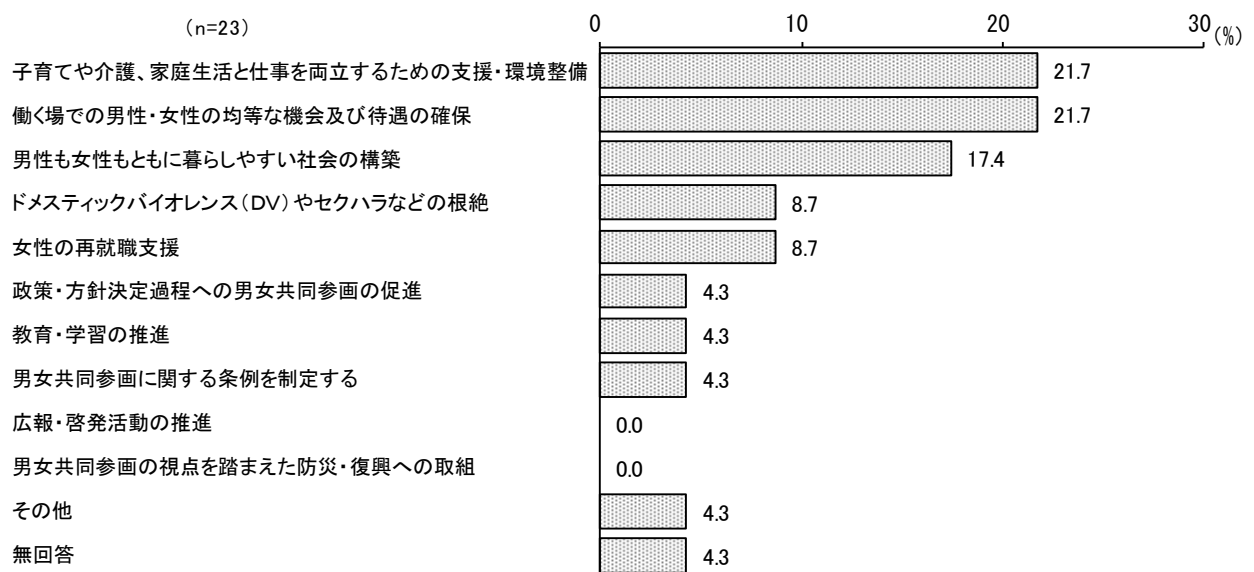


### 33 男女共同参画を推進する（1.5%、33位）

「子育てや介護、家庭生活と仕事を両立するための支援・環境整備」（21.7%）と「働く場での男性・女性の均等な機会及び待遇の確保」（21.7%）が2割を超えて最も高く、以下、「男性も女性もともに暮らしやすい社会の構築」（17.4%）が続く。

nが少ないため、参考までに図示するにとどめる。

＜図表13－39＞男女共同参画を推進する

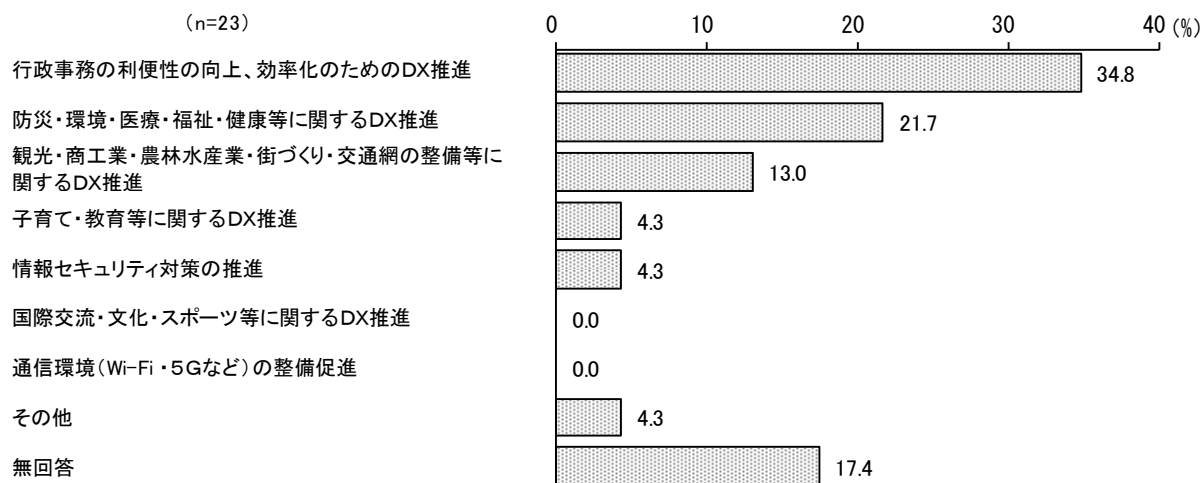


### 34 施策実現や地域活性化のためにＤＸを推進する（1.5%、33位）

「行政事務の利便性の向上、効率化のためのＤＸ推進」（34.8%）が３割台半ばで最も高く、以下、「防災・環境・医療・福祉・健康等に関するＤＸ推進」（21.7%）、「観光・商工業・農林水産業・街づくり・交通網の整備等に関するＤＸ推進」（13.0%）が続く。

nが少ないため、参考までに図示するにとどめる。

＜図表13－40＞施策実現や地域活性化のためにＤＸを推進する

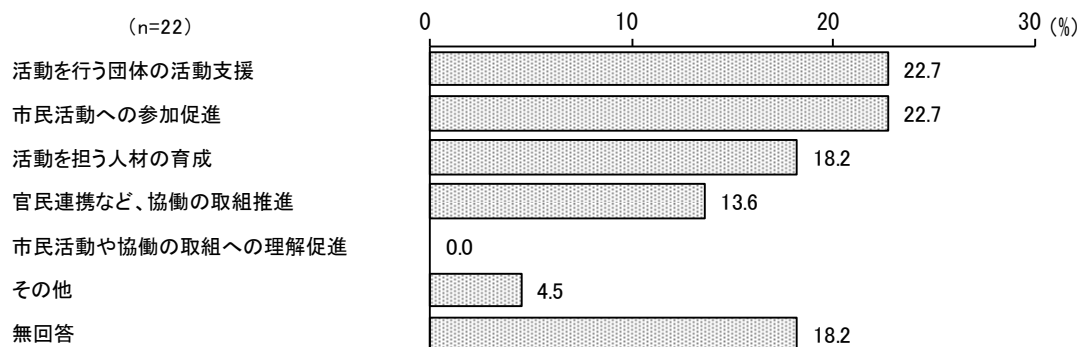


### 35 地域課題解決に向けた市民活動や協働の取組を推進する（1.4%、35位）

「活動を行う団体の活動支援」（22.7%）と「市民活動への参加促進」（22.7%）が２割を超えて最も高く、以下、「活動を担う人材の育成」（18.2%）が続く。

nが少ないため、参考までに図示するにとどめる。

＜図表13－41＞地域課題解決に向けた市民活動や協働の取組を推進する



## 14 自由回答

問 県や世論調査へのご意見やご提案がありましたらご自由にお書きください。

県への意見を自由に記述していただいたところ、県への意見については232人から延べ309件の回答が寄せられた。人数・件数には別の設問である「設問への意見」に記入された県への意見も含む。

記述いただいた内容は多岐にわたり、県政の各施策におおむね沿った形で整理した。なお、一人の回答が複数の内容にわたる場合には、原文の内容の趣旨をそこなわないよう回答を分け、それぞれの項目へ分類した。また、紙面の都合上、すべての意見を掲載することはできないが、意見の多い項目（8件以上）に関しては、意見の一部を抜粋して記載するものとする。

### 【県への自由回答の項目順位】

順位	項目	件数
第1位	県政全般に関する要望	46
第2位	道路を整備する	33
第3位	次世代を担う子どもの育成支援を充実する	23
第4位	公共交通網（バス・鉄道）を整備する	20
第5位	県政の情報発信について	17
第6位	学校教育を充実する	12
第7位	災害から県民を守る	9
第8位	高齢者の福祉を充実する	8
第9位	仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する	7
〃	犯罪防止対策をすすめる	7
第11位	温暖化対策、循環型社会を推進する	6
〃	観光を振興する	6
〃	雇用の場を広げる	6
第14位	交通事故から県民を守る	4
〃	医療サービス体制を整備する	4
〃	自然を守り、緑を育てる	4
〃	公園・緑地を整備する	4
〃	東京湾アクアラインについて	4
第19位	中心市街地の活性化を推進する	3
〃	商工業を振興し、地域経済の担い手を育成する	3
第21位	障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する	2
〃	男女共同参画を推進する	2
〃	大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる	2
〃	廃棄物対策をすすめる	2
〃	農林水産業を振興し新鮮な農林水産物を供給する	2
〃	施策実現や地域活性化のためにDX(デジタルトランスフォーメーション)を推進する	2
〃	新型コロナウイルス感染症対策	2
第28位	食品の安全を守る	1
〃	国際交流・協力や外国人県民との共生をすすめる	1
〃	地域課題解決に向けた市民活動や協働の取組を推進する	1
〃	下水道を整備する	1
〃	豊かな住生活を実現する	1
〃	安心して飲める良質な水道水を供給する	1
〃	生涯学習・スポーツ・レクリエーションを振興する	1
〃	芸術・文化活動を振興する	1
	その他	40
	その他 うち、国政への要望	3
	その他 うち、住んでいる市町村への要望	18

合 計（延べ件数） 309

【自由回答の記述】（意見の多い項目の一部抜粋）

■県政全般に関する要望

- 優良な企業や学校の誘致（海外の会社や学校も含めて）都市の再設計など明るいニュースを待っています！！（女性、60～64歳、千葉市）
- 地域格差が大きいので、諸施策に工夫が必要。（男性、70～74歳、市川市）
- 成田空港の機能強化を強く希望します。羽田空港に負けない空港作りをしていただきたい。周辺の町を含め、成田空港経済圏の発展を願います。（女性、30代、香取郡多古町）
- それぞれの世代で考え方や要望が違いますが全部の要望を受け入れるには限度があると思います。優先順位が難しいとは思いますが、そこをいい知恵をしばって県政に生かして頂きたいと思います。（女性、75歳以上、市原市）
- 県の行政施策、方針等がほとんど身近に感じられません。他県に誇れるような政策、施策の企画、実施を望みます。（男性、75歳以上、佐倉市）
- 県政の目が東京湾岸に集中し、柏・松戸・我孫子などの東葛地区への公共投資が軽視されているように思える。バランスの取れた予算配分を望みます。（女性、70～74歳、柏市）
- 県民のため日頃からご尽力を頂き、ありがとうございます。やはりより近い市政への関心が高く、県政関連はやや遠い状況です。県と市町村との役割分担～共同目標など整理がついていけば県政への理解度が上がるのですが、いかがでしょうか。（男性、75歳以上、松戸市）
- 千葉は都会と田舎の差が激しいので、それも一つの魅力だとは思いますが、生活するのに不便さはなくなって欲しい。（男性、50代、いすみ市）
- 全国的な問題である医療、福祉、教育などを千葉県が先導的に行動し世間にアピールしながら進めて頂きたいと思います。（女性、40代、千葉市）
- 「駅から家までの道路の街灯を増やしてほしい」、「路上喫煙が多く大変迷惑している」など日頃伝えたいことをどこに伝えたら良いのか分からないので、わかりやすくしてほしい。（女性、40代、千葉市）

■道路を整備する

- 交通量の多い国道（特に大型車）で、道路幅の狭い道路において歩道がすれ違いできない程狭い地域があります。又、雨が降ると歩道が冠水する場所もあり、早急に何とかしてほしい。（男性、50代、船橋市）
- 国道の渋滞がひどすぎるため（特に357号、16号）ストレスを感じる人が多いです。昔からいわれている問題、そろそろ本気で解決に向けてほしいです。（女性、50代、千葉市）
- 信号システムによる交通渋滞を見直してほしい。（女性、50代、八千代市）

- 道路がせまいため、歩行者があぶない（バス通り）。 （女性、70～74歳、千葉市）
- 歩行者、自転車、自動車がそれぞれ安心して通行出来るように道路の拡幅を早急にお願いします。 （男性、50代、千葉市）
- 自転車が安心して車道を走れるほど広い道にしてください。渋滞しないようにしてください。 （男性、30代、市川市）

#### ■次世代を担う子どもの育成支援を充実する

- 保育所を増やしたり、子どもの待機だけでなく、保育士の労働状況を知って頂きたいです。よりよくして頂けたら嬉しいです。 （女性、20代、八街市）
- 子育て中はお金も時間もかかります。少しでも負担が軽減し、次世代を担う子どもたちをのびのび育てられる千葉県となることを切望します。 （女性、30代、八千代市）
- 子供のDV虐待等通報があった場合、警察が積極的に関与して欲しい。子供達を守って欲しい。 （女性、65～69歳、君津市）
- 住んでいる市によって、子育て家庭への支援が異なるため、県としてみんな平等に支援を受けることが出来ればと思います。 （女性、30代、市川市）
- 保育園に入るのがとにかく大変だった。1年以上待機。会社になんとか休みのばしてもらったが、これではクビになってしまう。勤務時間に関係なく、仕事の有無で入れるようにしてほしい。 （男性、40代、松戸市）

#### ■公共交通網（バス・鉄道）を整備する

- 交通が不便。夫が車を運転出来なくなると、どこにも行けない。 （女性、70～74歳、市原市）
- 都会と違い交通網が悪くタクシーを利用している。高齢になると交通費がかかり外出もなかなか出来ない。デマンドタクシーがもっと楽に使えるといい。 （女性、75歳以上、千葉市）
- 今後、車の免許証返納する際にあたり、買い物や病院へ行く場合の交通手段を充実してほしい。 （女性、65～69歳、市原市）
- 住んでいる自治体で高齢者用の循環バス(電気自動車)的なものが試験的に走っています。高齢者が免許返納に渋る理由の一つは買い物のためだと思いますので、この制度は免許返納の促進にもつながるし、独り暮らしの高齢者の安否確認やコミュニケーションの場としても役立つと思います。県全体でどんどん実用化されたら良いと思います。 （男性、40代、市川市）

#### ■県政の情報発信について

- 県政で、具体的にどのような事が行われているのかあまり知る機会がありません。YouTubeとかで分かり易く映像で発信等していただけると助かります。 （女性、30代、我孫子市）

○身近な市政レベルでの問題は関心が強いが、県政レベルとなると、ピンと来ないものが多い。もっと、県政で何をしているか、何ができるかをアピールして、県民の声を吸い上げて欲しい。（男性、70～74歳、千葉市）

○千葉県のことは半分も知らないことに気づきました。県民だよりなどしか身近に知りえるものがわからないのでもっと広報してほしい！（女性、75歳以上、船橋市）

○関東圏で、他都県を先導するくらい、知事を筆頭に、マスメディア、SNS等を通して更にパワーアップした発信力をみせていただきたい。（男性、30代、船橋市）

## ■学校教育を充実する

○公立高校の設備が古すぎます。来年受験する子供と学校見学へ何校か行き驚きました。もっと勉強しやすい環境を整えないと公立高校離れすると思います。（女性、50代、印西市）

○東京から離れるほど公教育の質が低下しているように思う。「勉強ができない人が教員になる」矛盾が解消されるよう、採用制度の見直し等をお願いします。（男性、50代、松戸市）

○子供達が自習できる場所を作って欲しい。子供が望んでいます。物価高騰で生活がとても苦しく、子供達を塾に通わせるのは難しい。図書館でも勉強するスペースが限られ使えない事があった。県立高校のトイレを一刻も早く洋式に変えて欲しい。（女性、40代、木更津市）

## ■災害から県民を守る

○今一番不安な事は、災害時（特に夏場）の停電です。太陽光パネルも進化し、曇りでも発電し、窓にはれるフィルム式の物もあるので、県が補助金を出すなどして、（できれば全世帯で）希望する世帯に設置できるようにしていただきたい。（女性、65～69歳、四街道市）

○災害は年々増えており心配です。想定以上の対策（自分も含め）が必要と思っています。（女性、60～64歳、佐倉市）

○気候変動、地球温暖化により、千葉県でも大雨災害に遭うことが多くなりました。河川の氾濫防止と、道路等交通網の水害対策が不十分と感じます。（女性、40代、木更津市）

## ■高齢者の福祉を充実する

○老人ホーム等の施設もっとふやして下さい。（女性、30代、市川市）

○コロナや猛暑等の影響もあり、独居老人は、全くの孤独です。“このままでは、認知症になるのでは”、とこわいです。クールシェアのようないつでも、誰でも、きがねなく集まれる場所を増やし、会話が出来るようになれば嬉しいです。（女性、70～74歳、千葉市）

○年金での生活が苦しく介護疲れで死にたくなることがある。（女性、75歳以上、八千代市）

「世論調査」に関する意見を自由に記述していただいたところ、65人から67件の回答が寄せられた。人数・件数には前問の「設問への意見」に記入された世論調査への意見も含む。

これらのご意見から、一部抜粋してご意見を記載するものとする。

## ■世論調査について

### — 《世論調査自体への意見》

○30年生きてきて初めて参加する世論調査なのですが、千葉県が好きで住み続けているので、もう少し頻回に調査に参加できると嬉しいです。  
(女性、30代、我孫子市)

○今回の調査がどのような施策に生かされたのか、生かされるのか、結果の公表、意見等を具体的に示して欲しい。  
(女性、50代、四街道市)

○世論調査を受け、改良点、新たな取組等があれば、HP等で発信して頂きたい。  
(男性、70～74歳、我孫子市)

○回答していて県について知らない事がたくさんあると思いました。県のあらゆる情報が載った情報誌等を同封して欲しい。  
(女性、30代、八千代市)

○県全体でなく、地域別の調査が必要ではないでしょうか？ 都心に近い地域と、県南部地域では希望内容が違うと思われます。  
(男性、70～74歳、松戸市)

○ふだん感じていることがこのようなかたちで調査・見直されていることはよいことだと思います。これからも生活しやすい千葉県をさらに築きあげていって欲しいです。  
(男性、60～64歳、千葉市)

○県政と市政を一まとめに考えているところがありましたが、今回のアンケートを通し、今後は違いを意識していこうと思いました。特に自分自身驚いたことは県の情報を積極的に入手していなかったことです。まずはLINE登録します。  
(女性、50代、市川市)

### — 《調査手法や謝礼への意見》

○チーバくんのボールペンありがとうございました。チーバくんかわいいのでもっと積極的に活動してもらったら良いと思います。  
(男性、65～69歳、鴨川市)

○人件費の削減のためにもマークシート等にした方が良くと思う。紙よりも電子化した方が良く思う。  
(女性、18～19歳、八千代市)

○可愛いボールペンありがとうございます。環境のためにもビニール包装はプラスチックゴミになるので必要ないと思います。インターネット回答の場合、紙が無駄になるのが残念なので、何か別の方法があったら良いと思います。  
(女性、20代、夷隅郡御宿町)

○アンケート、折るのが大変なので、質問と解答書を分けた方が良くと思います。  
(女性、50代、市川市)

○インターネットで回答できるようになっていることに驚いた。非常に便利なので、こういった取り組みは是非続けてください。（男性、60～64歳、船橋市）

○何度入力しても保存がうまくいかずいい加減にしてくれと言う気持ちで、このシステムの操作性をなんとかしたほうがいいと思います。（女性、40代、船橋市）

○ネット回答で3つまでしか選択ができない設問に関しては、4つ以上選んだ際に「選択できるのは3つまでです。」というエラー画面を表示すべきだと思った。（女性、30代、成田市）

**問 今までの設問について、ご意見やご提案がありましたらご自由にお書きください。**

今回のアンケート調査における「設問に関する意見」を自由に記述していただいたところ、224人から43件の回答が寄せられた。「県や世論調査への意見」に記述された意見のうち、「設問への意見」に該当するものもこちらに振り分けている。なお、回答者数より記述件数が少ないのは、その多くが「県や世論調査への意見」に該当するものであったため、そちらに振り分けたことによるものである。

○質問が多かった。複数項目を選べるようにしたり、優先順位をつけたりできるようになれば、もっと良かった。（男性、40代、流山市）

○かなりの回答時間を要しました。忙しい人にとって“やる時間がないのでスルーしよう”とならないように、もう少し内容を絞り、実現可能な対策を考えることに使えるアンケートにした方がよいと感じました。（女性、50代、千葉市）

○キャッシュレス決済をする人が増えているのは時代の流れだとわかりますが、現金払いの方も多いと思います。支払い時、もたつき、厳しい目で見られていることも、しばしば、ＡＣ公共広告機構の様な優しさを求める啓発も必要だと思います。（女性、50代、浦安市）

○仕事や育児で時間に追われている中、質問数が多く少し大変だった。回答した意見が今後、県の何かに役立つと嬉しいです。（女性、30代、千葉市）

○回答でまようことが多く、自分の意見を正確に言えたか、自信がありません。（男性、75歳以上、浦安市）

○問４３「県政全般について、今後特に力をいれてほしいと思われること」の選択肢に「県民の所得が上がる」といったものがないのが残念です。県民の生活が豊かになるうえで今とても大事だと思っています。（男性、20代、松戸市）

○選択方式なので、アンケートに取り組みやすかった。（女性、40代、我孫子市）

○道路は同じ千葉県内でも地域差が大きいので、お住まいの地域のとは書いていなかったが、住んでいる地域のことを入力した。（女性、75歳以上、千葉市）



## 第 65 回 千葉県政に関する世論調査

## ご回答にあたってのお願い

宛名のご本人様がお答えください。(代筆による回答も可能です。)

回答方法は「郵送」または「インターネット」のいずれかをお選びいただけます。

令和5年9月15日(金)までにご回答をお願いします。

※郵送・インターネット共通

## 郵送でお答えいただく場合

- この調査票に直接、黒か青のボールペンまたは鉛筆でご記入ください。
- 調査票はご記入後、三つ折りにして同封の返信用封筒に入れて、郵便ポストにご投函ください。返信用封筒へのお名前やご住所のご記入、切手は不要です。

## インターネットでお答えいただく場合

- ご回答には、右下に貼られた「利用者ID」「パスワード」が必要になります。
- 「利用者ID」等は、ランダムに調査票へ貼っており、個人は特定されません。
- インターネットでお答えいただいた方は、この調査票を返送する必要はありません。
- 詳細な手順は、別添の「インターネット回答操作案内」をご覧ください。
- スマートフォンで、右下の2次元コードを読み取ると回答ページに移動します。

ご回答に当たってご不明な点等がございましたら、お手数ですが下記までお問い合わせください。

## 【調査の趣旨・内容について】

千葉県 総合企画部報道広報課 広聴室  
〒260-8667  
千葉市中央区市場町1番1号  
電 話 043-223-2469  
(平日9:00~17:00)



千葉県マスコットキャラクター  
チーバくん

## 【調査票の記入方法・締切等について】

調査実施機関  
株式会社マーケティングリサーチサービス  
〒170-0005  
東京都豊島区南大塚2-45-8  
ニッセイ大塚駅前ビル 5階  
電話 03-6690-0086  
(平日10:00~18:00)



## 【環境と生活について】

問1 あなたは、現在お住まいの地域に、ずっと住み続けたいと思いますか。

n=1,561 (○は1つ)

- |      |                        |
|------|------------------------|
| 72.5 | 住み続けたい                 |
| 5.4  | 千葉県内のよそへ移りたい           |
| 3.5  | 千葉県外に移りたい              |
| 5.9  | 千葉県内、県外どちらでもかまわないが移りたい |
| 11.0 | わからない                  |
| 1.7  | 無回答                    |

→ (問1で「1」とお答えの方に)

問1-1 あなたが現在お住まいの地域に、ずっと住み続けたいと思う理由は何ですか。

n=1,131 (○は3つまで)

- |      |   |
|------|---|
| 17.9 | 地域の人とのつながりを大切に考えているから                       |
| 15.2 | 家族の思い出がつまっているから                             |
| 38.6 | 生活環境に満足しているから                               |
| 60.0 | 自分の土地や家があるから                                |
| 31.3 | 通勤や通学、買い物、医療など日常生活の利便性がよいから                 |
| 5.5  | 公共施設(道路や上下水道、公園や図書館など)や教育・子育て、文化の環境が整っているから |
| 23.6 | 自然環境や気候に恵まれ暮らしやすいから                         |
| 8.8  | 治安や風紀がよいから                                  |
| 35.9 | 住み慣れていて愛着があるから                              |
| 22.5 | 家族や親族が近くにいるから                               |
| 4.2  | 仕事や商売に都合がよいから                               |
| 1.5  | その他(具体的に )                                  |
| 0.8  | 無回答   |

→ (問1で「2」～「4」のいずれかをお答えの方に)

問1-2 あなたが現在お住まいの地域から移りたいと思う理由は何ですか。

n=232 (○は3つまで)

- |      |   |
|------|---|
| 27.2 | そのときどきの家族の状況(子どもの成長、親の面倒を見るなど)にあった住まいを考えているから |
| 43.5 | 生活環境をより良くしたいから                                |
| 13.4 | より良質で広い住宅に住みたいから                              |
| 3.4  | 近所の人とのつきあいがうまくいってないから                         |
| 38.4 | 通勤や通学、買い物、医療など日常生活の利便性が悪いから                   |
| 14.7 | 公共施設(道路や上下水道、公園や図書館など)や教育・子育て、文化の環境が整っていないから  |
| 7.8  | 自然環境に恵まれていないから                                |
| 5.6  | 治安や風紀が悪いから                                    |
| 8.2  | 住み慣れておらず愛着を感じないから                             |
| 12.9 | 家族や親族の近くに住みたいから                               |
| 7.8  | 仕事や商売に都合が悪いから                                 |
| 12.9 | その他(具体的に )                                    |
| 1.3  | 無回答   |

問2 あなたは、千葉県内の道路状況についてどう感じですか。 n=1,561 (○は1つ)

2.2 大変満足している	23.4 どちらともいえない	10.3 大変不満である
28.5 まあ満足している	29.5 やや不満である	3.7 わからない
		2.4 無回答

問3 あなたは、今後、道路整備をしていく上で優先的に対策すべき課題は何だと思いますか。 n=1,561 (○はいくつでも)

46.8 災害に強い道路整備（高速道路の整備、幹線道路の整備、橋の補強など）
48.4 渋滞対策（バイパスの整備、開かずの踏切対策、交差点の改良など）
44.3 交通事故対策（通学路の歩道設置など）
32.0 バリアフリー対策（歩道の段差の解消など）
30.5 自転車利用の促進（自転車道・駐輪場の整備など）
21.7 バスなどの公共交通機関への支援（バスレーンの整備など）
13.5 既存道路の有効活用（アクアラインの通行料金の引下げの継続、インターチェンジの増設など）
11.3 休憩施設の整備（道の駅等）
27.1 維持管理の充実（清掃など日常的な維持管理、老朽化した橋の予防対策など）
16.8 わかりやすい案内標識などの整備
17.3 道路景観の改善（電線類の地中化、植樹など）
13.1 大気汚染や騒音などの環境対策
6.1 カーナビ情報の充実（地図情報、渋滞情報の充実など）
6.3 その他(具体的に )
0.8 無回答

問4 現在お住まいの地域の、上水道の整備についてどう感じですか。

n=1,561 (○は1つ)

15.4 大変満足している	15.8 どちらともいえない	2.2 大変不満である
54.1 まあ満足している	6.9 やや不満である	5.3 わからない
		0.4 無回答

問5 現在の住生活全般（住まい・環境・地域社会）についてどう感じですか。

n=1,561 (○は1つ)

8.8 大変満足している	15.4 どちらともいえない	1.8 大変不満である
59.3 まあ満足している	13.5 やや不満である	1.0 わからない
		0.3 無回答

問6 消費生活全般（消費者トラブルの相談体制、消費者教育の機会、悪質商法への対策、生活必需品の安定供給など）について、どう感じですか。

n=1,561 (○は1つ)

1.9 大変満足している	37.0 どちらともいえない	2.6 大変不満である
26.5 まあ満足している	9.4 やや不満である	22.2 わからない
		0.4 無回答

問7 あなたは、消費者トラブルなどの相談窓口であり、出前講座等も実施している「県の消費者センター」や「市町村の消費生活センター」を知っていますか。

n = 1,561 (○は1つ)

14.4 名前も業務内容も知っている  
58.2 名前は聞いたことがあるが、業務内容までは知らない  
27.0 名前も業務内容も知らない  
0.4 無回答

問8 気候変動による影響に対応し、被害を回避・軽減させることを「気候変動による影響への適応」と言います。「気候変動による影響への適応」という言葉を知っていますか。

n = 1,561 (○は1つ)

7.1 意味までよく知っている 30.2 言葉を聞いたことはあるが、意味は知らない  
29.7 意味を大体知っている 32.5 知らない 0.4 無回答

問9 日常生活の中で環境に配慮して行動していますか。

n = 1,561 (○は1つ)

27.0 いつも配慮している 9.1 あまり配慮していない 3.8 わからない  
54.5 ときどき配慮している 4.7 特に配慮していない 0.8 無回答

問10 あなたは、普段の生活で環境に配慮した次のような取組を行っていますか。

n = 1,561 (○はそれぞれ1つずつ)

	実施している	ときどき実施している	あまり実施していない	実施していない	該当するものがない	無回答
(ア) 節電に努めている	46.8	40.2	9.1	2.2	0.2	1.5
(イ) 冷暖房の設定温度を控えめにする	58.2	24.9	11.1	3.4	1.1	1.3
(ウ) 省エネルギー性能の高い家電製品を選ぶ	34.7	31.6	20.7	6.9	4.3	1.9
(エ) マイバッグの利用	79.1	12.2	2.9	4.2	0.6	1.1
(オ) 車の急発進・急ブレーキはしない	61.1	12.8	2.9	1.3	18.4	3.4
(カ) 食品ロスの削減に取り組んでいる	46.5	38.2	11.1	2.7	0.5	1.0

問11 これまでに環境保全に関する講演やセミナー（オンラインでの参加を含む）、あるいは環境ボランティア活動（植林や清掃活動など）に参加したことがありますか。  
n = 1,561（○は1つ）

20.1 参加したことがある  
29.5 参加したことはないが、機会があれば参加してみたい  
28.3 参加したことはなく、あまり参加したいと思わない  
20.1 参加したことはなく、今後も参加するつもりはない  
1.5 その他（具体的に）  
0.5 無回答

問12 市民活動団体※の活動や、ボランティア活動に関心がありますか。  
n = 1,561（○は1つ）

6.5 大変関心がある                      40.3 あまり関心がない  
42.4 まあ関心がある                      10.5 まったく関心がない                      0.3 無回答

※ 「市民活動団体」とは、市民の自発性に基づき、福祉や子育て支援、まちづくり、環境等様々な分野の地域課題の解決のために、自立的・継続的に社会貢献活動を行う営利を目的としない団体（行政が認証したNPO法人やボランティア団体等任意団体）です。

問13 市民活動団体の活動に参加※したことがありますか。  
n = 1,561（○は1つ）

4.3 定期的に参加している    11.4 参加したことはないが、今後参加してみたいと思う  
6.7 ときどき参加している    63.2 参加したことはない  
14.0 参加したことがある    0.4 無回答

※ ここでいう「参加」とは、団体の会員やボランティアとしての参加のみならず、団体への資金・物品・技術・場所等の提供・寄付などの支援を通しての参加や、団体が提供するサービスの利用・イベントへの参加などを指します。

問14 ボランティアとして活動※したことがありますか。  
n = 1,561（○は1つ）

7.9 定期的に参加している    8.5 活動したことはないが、今後活動してみたいと思う  
8.1 ときどき活動している    48.8 活動したことはない  
26.5 活動したことがある    0.3 無回答

※ ここでいう「ボランティア活動」とは、市民の自発性に基づき地域や社会に貢献する活動（町会・自治会の活動、PTA活動や学校行事の手伝い、子ども会の活動、交通安全運動、道路や公園等の清掃なども含む）のことであり、市民活動団体が行うボランティア活動への参加のみならず、個人として行うものを含むボランティア活動全般を指します。

問15 あなたは、この1年間に、文化芸術※を鑑賞しましたか。また、鑑賞ではなく、自分で文化芸術活動をしましたか。  
n = 1,561 (○はそれぞれ1つつ)

※ 「文化芸術」とは、映画（アニメ含む）、音楽（全てのジャンル）、美術（写真・デジタルアート含む）、文芸（マンガ含む）、ダンス、茶道・華道・書道、歌舞伎、地域に伝わる祭り、文化財などを指します。

鑑賞	(ア) 直接の鑑賞 (施設での音楽鑑賞、美術館や博物館での展覧会の鑑賞、舞台公演鑑賞、史跡めぐり、読書、映画館での鑑賞など)	62.1 鑑賞した 37.0 鑑賞しなかった 0.8 無回答
	(イ) オンラインやテレビでの鑑賞	66.7 鑑賞した 28.7 鑑賞しなかった 4.6 無回答
活動	(ウ) 直接の文化芸術活動 (創作、音楽の演奏や舞台等への出演、習い事、趣味を同じくするグループでの活動、地域の祭りや体験活動への参加など)	25.7 活動した 73.4 活動しなかった 1.0 無回答
	(エ) オンラインでの文化芸術活動 (動画や写真の投稿、デジタルアートの創作など)	9.6 活動した 88.0 活動しなかった 2.4 無回答

(問15 (ア) (イ) のいずれかで「2」をお答えの方に)

問15-1 「鑑賞しなかった」とお答えの主な理由は何ですか。

n = 688 (○はいくつでも)

21.8 文化芸術の鑑賞に興味がないから	
33.4 時間がないから	
21.5 近くに鑑賞できる文化施設がないから	
20.3 鑑賞に関する情報を得られないから	
24.0 興味のある内容の催し物がないから	
15.4 都合の良い日時に開催されていないから	
9.7 催し物の料金が安いから	
9.6 Web環境が整っていない、又はWeb上でのチケット購入などの手続きが難しいから	
1.7 施設のバリアフリー対策や情報提供、サポートが不十分だから	
31.8 新型コロナウイルス感染症の影響により、外出を控えたから	
5.1 その他(具体的に )	4.5 無回答

(問15 (ウ) (エ) のいずれかで「2」をお答えの方に)

問15-2 「活動しなかった」とお答えの主な理由は何ですか。

n = 1,417 (○はいくつでも)

20.7 文化芸術の活動に興味がないから	
34.9 時間がないから	
12.0 近くに活動のための文化施設がないから	
21.5 活動に関する情報を得られないから	
24.0 興味のある内容の活動がないから	
14.0 都合の良い日時に取り組みたい活動が開催されていないから	
8.7 活動のための料金や費用が高いから	
1.1 施設のバリアフリー対策や情報提供、サポートが不十分だから	
19.6 新型コロナウイルス感染症の影響により、活動を控えたから	
6.9 その他(具体的に )	5.0 無回答

問16 あなたは、千葉県において、文化芸術に触れ、自ら取り組むことができる環境が整っていると思いますか。 n=1,561 (○は1つ)

4.0 そう思う	15.2 どちらかといえばそう思わない
18.1 どちらかといえばそう思う	8.8 そう思わない
27.0 どちらともいえない	26.3 わからない
	0.5 無回答

### 【健康について】

問17 あなたは、積極的に健康づくり※に取り組んでいますか。 n=1,561 (○は1つ)

24.3 そう思う	8.6 どちらかといえばそう思わない
38.8 どちらかといえばそう思う	5.6 そう思わない
21.1 どちらともいえない	1.2 わからない
	0.3 無回答

※ ここでいう「健康づくり」とは、適度な運動やバランスの取れた食事、禁煙等の県民一人ひとりによる主体的な取組を指します。

問18 あなたは、自分が住み慣れた地域で安心して受診できる医療体制にあると思いますか。 n=1,561 (○は1つ)

23.1 そう思う	11.3 どちらかといえばそう思わない
39.5 どちらかといえばそう思う	8.9 そう思わない
14.5 どちらともいえない	2.3 わからない
	0.4 無回答

問19 「かかりつけ医」、「かかりつけ歯科医」、「かかりつけ薬剤師・薬局」をお持ちですか。 n=1,561 (○はそれぞれ1つずつ)

かかりつけ医	かかりつけ歯科医	かかりつけ薬剤師・薬局
63.9 持っている	70.9 持っている	49.6 持っている
28.8 持っていないが、必要性は強く感じている	20.8 持っていないが、必要性は強く感じている	30.1 持っていないが、必要性は強く感じている
7.0 持っていないし、必要性もあまり感じていない	6.5 持っていないし、必要性もあまり感じていない	18.3 持っていないし、必要性もあまり感じていない
0.3 無回答	1.9 無回答	2.0 無回答



## 【福祉について】

問20 以下について、お住まいの地域はどのような状況だと思いますか。

n=1,561 (○はそれぞれ1つずつ)

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも いえない	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	わからない	無回答
(ア) 安心して子育てができる環境が ととのっている	8.1	35.1	23.4	7.8	6.1	18.3	1.2
(イ) 自分が介護の必要な状況になっても、現在の 自宅や地域で暮らし続けられる環境にある	6.0	22.4	29.9	14.6	13.3	13.2	0.6
(ウ) 多様な社会参加を通じ、社会と関わりを持 ちながら高齢者が生活を送っている	4.7	25.8	30.9	10.8	9.0	17.6	1.2
(エ) 地域住民が互いに支え合い、安心して暮ら せる地域社会づくりが進められている	3.3	23.6	33.1	12.2	12.0	14.8	1.0

問21 あなたは、県が進めている「お年寄りが安心して暮らせる高齢者施策」について  
どうお感じですか。

n=1,561 (○は1つ)

0.8 大変満足している	31.8	どちらともいえない	4.2 大変不満である
8.3 まあ満足している	9.5	やや不満である	45.0 わからない
			0.5 無回答

問22 障害のある・なしにかかわらず、誰もが社会の一員としてお互いを尊重し、支え  
合って暮らす「共生社会」という考え方を知っていますか。

n=1,561 (○は1つ)

37.6 知っている	35.8 言葉だけは聞いたことがある	26.3 知らない
		0.3 無回答

## 【観光について】

問23 千葉県内を旅行する場合、より快適な旅行をするためには、特に何が充実してい  
てほしいですか。

n=1,561 (○は3つまで)

13.5 体験プログラム	59.9 観光地への交通アクセス
40.9 食事	31.3 観光情報・案内の充実度
23.2 お土産・特産品	8.3 Wi-Fi等の通信環境
9.4 接客サービス	30.7 観光地の公衆トイレ
5.5 観光ボランティアガイド	29.6 観光地の駐車場
13.3 バリアフリーへの対応	2.8 その他(具体的に )
	0.6 無回答



問24 県産品をお土産や贈答品とする場合、何を選びますか。 n=1,561 (○は3つまで)

3.8 花	8.1 酒類
50.9 農産物・果物	8.7 しょうゆ・みそ
49.9 落花生・落花生加工品	1.5 乳製品
2.1 肉類	42.5 菓子・せんべい
16.8 生鮮魚介類	1.9 工芸品
28.1 海苔・水産加工品	9.4 チーバくんグッズ
4.7 漬物	1.5 その他（具体的に
	1.5 県産品を選ばない
	0.5 無回答

## 【県の農林水産物について】

問25 千葉県産農林水産物を購入したいと思いますか。 n=1,561 (○は1つ)

46.2 そう思う	9.0 どちらかといえばそう思わない
40.4 どちらかといえばそう思う	3.7 そう思わない
	0.8 無回答

→ (問25で「1」、「2」のいずれかをお答えの方に)

問25-1 その主な理由は何ですか。

n=1,351 (○は1つ)

24.9 千葉県に愛着があるから	1.8 価格が安いから
39.9 鮮度が良い（美味しい）から	1.8 その他（具体的に
22.9 地元のものは安心だから	6.1 特に理由はない
	2.5 無回答

→ (問25で「3」、「4」のいずれかをお答えの方に)

問25-2 その主な理由は何ですか。

n=198 (○は1つ)

36.4 産地にこだわらず価格で選ぶから	4.0 その他（具体的に
36.9 産地にこだわらず旬や鮮度で決めるから	14.1 特に理由はない
7.1 千葉県以外で買いたい産地があるから	1.5 無回答

問26 千葉県では、農薬や化学肥料をできるだけ減らすなど、「環境にやさしい農業に取り組む農業者」や「環境にやさしい農産物」についての認証制度を設けています。次の農産物や制度を知っていますか。

※同封の資料①を参考にご回答ください。

n=1,561 (○はいくつでも)

17.1 ちばエコ農産物	12.6 エコファーマー
37.3 有機農産物	51.2 どれも知らない
9.4 特別栽培農産物	1.2 無回答

問27 「千葉ブランド水産物」を知っていますか。

n=1,561 (○は1つ)

2.0 よく知っている（認定マークや品目までわかる）  
27.9 多少は知っている（聞いたことがある）

69.3 知らない  
0.8 無回答

※ 千葉県では、千葉のさかなの認知度を高め、広く県内外にアピールするため、「銚子つりきんめ」、「外房イセエビ」、「九十九里地はまぐり」などの優良な県産水産物を「千葉ブランド水産物」として認定しています。



## 【防災に関する取組について】

問28 災害発生危険度と、とるべき避難行動を示す各警戒レベルの意味や、その際にとるべき行動について知っていますか。

n=1,561 (○は1つ)

4.8 よく知っている（それぞれのレベルの意味までわかる）  
41.4 大体知っている（レベルにより取るべき行動が異なることを知っている）  
43.4 ある程度知っている（言葉を聞いたことがある）  
9.4 全く知らない  
1.1 無回答

令和3年5月20日から災害対策基本法の一部改正に伴い、住民の方へ伝達される避難情報の伝え方が変更されました。今後、お住まいの地域で「警戒レベル4 避難指示」が発令された場合は、「危険な場所から全員避難」となります。お近くの避難所の位置や避難経路の確認を行うなど、災害に備えていただきますようお願いします。

問29 あなたの家では、災害時に利用できる食料品等を何日分用意していますか。

\*飲料水 1日分=1人当たり3リットル×家族の人数

\*トイレ 1日分=1人当たり1日5回分×家族の人数

n=1,561 (○はそれぞれ1つずつ)

	4日分以上	3日分	2日分	1日分	用意していない	わからない	無回答
(ア) 食料品	19.1	26.1	20.6	9.9	19.7	3.6	1.0
(イ) 飲料水	21.5	22.6	20.8	13.1	18.4	3.0	0.5
(ウ) 災害用トイレ（携帯・簡易トイレ）	8.8	10.1	10.1	10.6	55.7	4.0	0.6

問30 あなたは、地震や台風などの災害に備えて、次の対策を行っていますか。

n=1,561 (○はいくつでも)

- 40.6 家具（冷蔵庫、食器棚、本棚、タンス、テレビなど）の固定化
- 53.6 避難場所・避難経路の確認
- 32.5 家族等との安否確認手段（災害用伝言ダイヤル、SNS 等）の確認
- 21.1 上記の対策はどれも行っていない
- 1.0 無回答

大規模な災害が発生した場合、避難所に飲料水や食料などの支援物資が届くまで時間がかかることや、断水や停電、給排水管の損壊、し尿処理施設の被災により、水洗トイレが使用できなくなることが予想されます。また、固定電話や携帯電話（音声及びメール）は、回線が大変混雑し、つながりにくくなることがあります。日頃から防災に対する意識を高めましょう。

## 【公金のキャッシュレス化の推進について】

※同封の資料②を参考にご回答ください。

県では、収納方法について、県民の皆様の利便性や事務の効率性の観点から「キャッシュレス化の推進」に向けて取り組んでいます。

問31 あなたは、税金や使用料・手数料などの県の公金の納付に当たり、不便と感ずることがありますか。

n=1,561 (○は1つ)

- |                  |                  |            |
|------------------|------------------|------------|
| 20.4 不便に感じることもある | 59.3 不便に感じることはない | 18.7 わからない |
|                  |                  | 1.7 無回答    |

→(問31で「1」とお答えの方に)

問31-1 あなたは、公金の納付に関して、県がキャッシュレス決済を導入とした場合、特に、どの場面に導入すべきだと思いますか。n=318 (○は1つ)

- |                                  |         |
|----------------------------------|---------|
| 32.7 公共施設における窓口での支払い             |         |
| 44.7 県からの納付書・納入通知書による使用料・手数料の支払い |         |
| 16.4 インターネットでの申込に係る使用料・手数料の支払い   |         |
| 4.4 その他(具体的に )                   | 1.9 無回答 |

問32 あなたは、普段の生活の中で、主に、どのようなキャッシュレス決済を利用していますか。

n=1,561 (○は1つ)

- |   |
|---|
| 23.3 電子マネー (Suica、PASMO、nanaco、WAON など) |
| 40.0 クレジットカード (Visa、Master、JCB など)      |
| 1.0 デビットカード                             |
| 0.1 Pay-easy (ペイジー)                     |
| 12.8 スマホ決済アプリ (PayPay、LINEPay、PayB など)  |
| 1.2 スマートフォンによるまとめ払い                     |
| 15.2 1～6はどれも利用していない (現金のみ)              |
| 6.4 無回答                                 |

【生涯学習について】 ※同封の資料③を参考にご回答ください。

県では、人生 100 年時代到来や技術革新など、社会が大きく変化する中、新しい時代に合った生涯学習を推進していくため、今後の施策推進の参考にいたします。

問33 あなたは、今後、学習したいと思うことはありますか。この中からいくつでもあげてください。  
n = 1,561 (○はいくつでも)

- 63.4 自分の人生を豊かにするための学習（趣味や教養的なもの）
  - 15.4 仕事や就職の上で役立つ学習（ビジネス基礎や様々な業種の基礎的知識）
  - 19.3 仕事や就職の上で役立つ学習（専門的知識や実践的技術）
  - 24.7 家庭や日常の生活に役立つ学習（子育て、料理、編み物など）
  - 48.4 健康の維持・増進に役立つ学習（健康法、医学、栄養、ジョギングなど）
  - 11.5 地域や社会での活動に役立つ学習（学習の指導者やボランティアなど）
  - 1.7 その他（具体的に
  - 12.2 学習したいとは思わない
- 1.3 無回答

問34 学習する上で困っていることは何ですか。この中からいくつでもあげてください。  
（問33で「8」と回答した方は、学習したいとは思わない理由をお答えください。）  
n = 1,561 (○はいくつでも)

- 30.0 仕事が忙しくて時間がない
  - 15.5 家事・育児・介護などが忙しくて時間がない
  - 13.1 講座などの時間帯が希望に合わない
  - 19.9 学習したいことを身近で学習する場がない
  - 19.7 学習するのに必要な情報（内容・時間・場所・費用など）が入手できない
  - 26.0 学習するための費用がかかる
  - 8.7 一緒に学習する仲間がいない
  - 2.9 学習しても職場や社会で評価されない
  - 23.3 きっかけがつかめない
  - 9.7 何を学習したらよいかわからない
  - 2.4 その他（具体的に
  - 13.3 特に困っていない（必要がない）
- 8.7 無回答

問35 あなたは、生涯学習の情報をどこから得ていますか。この中からいくつでもあげてください。  
n = 1,561 (○はいくつでも)

- 1.0 千葉県生涯学習情報提供システム「ちばりすネット」
  - 10.8 県や市町村、公民館などのホームページやSNS
  - 29.9 県や市町村、公民館などが発行する広報誌
  - 21.9 新聞、雑誌、フリーペーパーなど民間で発行している広報誌
  - 12.9 チラシ、ポスター
  - 11.2 テレビ・ラジオ
  - 15.8 知人・同僚・家族などからの口コミ(SNS含む)
  - 2.4 公民館や生涯学習センターなどでの学習相談
  - 3.0 その他(具体的に
  - 35.9 特に情報を得ていない
- 1.9 無回答

## 【SDGs等について】

問36 あなたは、SDGs※の言葉の意味を知っていましたか。 n=1,561 (○は1つ)

22.8 意味をよく知っている	22.9 言葉を聞いたことはあるが、意味は知らない
41.2 意味を大体知っている	12.1 言葉を知らない
1.0 無回答	

※ SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) とは、2015年9月の国連サミットで採択された2030年を達成年限とする世界共通の目標です。経済・社会・環境の三側面の調和がとれた社会を目指す目標として、17のゴールから構成され、「誰一人取り残さない」という理念を掲げています。

問37 「ダイバーシティ※」という概念を知っていましたか。 n=1,561 (○は1つ)

47.1 はい	50.7 いいえ	2.2 無回答
---------	----------	---------

※ 「ダイバーシティ」とは、多様性のことをいい、性別や国籍、年齢、障害の有無などに関わりなく、多様な個性が力を発揮し、共存できる社会のことを「ダイバーシティ社会」といいます。

(問37で「1」とお答えの方に)

問37-1 千葉県で「ダイバーシティ社会」が実現できていると思いますか。

3または4を選んだ方は、その理由をご記載ください。(任意)

n=735 (○は1つ)

4.6 そう思う
61.4 どちらかといえばそう思う
22.4 どちらかといえばそう思わない(その理由)
10.7 そう思わない(その理由)
0.8 無回答

問38 社会全体※で男女の地位は平等になっていると思いますか。 n=1,561 (○は1つ)

9.7 男性が非常に優遇されている
57.4 どちらかといえば男性が優遇されている
10.7 平等
5.4 どちらかといえば女性が優遇されている
1.3 女性が非常に優遇されている
13.9 わからない
1.7 無回答

※ 社会全体とは、家庭、職場、学校教育の場、政治の場、法律や制度上、社会通念・慣習、地域活動の場等のあらゆる分野を想定しています。

問39 男女共同参画社会を実現するための様々な取組のなかで、今後、県はどのようなことにより力を入れるべきと考えますか。 n=1,561 (○はいくつでも)

- 59.6 子育てや介護中であっても仕事を続けられるよう支援する
- 56.6 子育てや介護でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する
- 54.7 保育及び介護の施設やサービスを充実する
- 37.7 長時間労働の是正や在宅勤務の普及など男女ともに働き方の見直しを進める
- 18.8 県の審議会委員や管理職に女性を積極的に登用するとともに、県内市町村の審議会など政策決定の場に女性を積極的に登用するよう働きかける
- 20.8 政治分野における男女共同参画が進むよう支援する
- 12.6 女性の起業・創業が進むよう支援する
- 15.5 企業や団体等の管理職に女性の登用が進むよう支援する
- 17.6 従来女性が少なかった分野（研究者等）への女性の進出を支援する
- 17.7 女性の視点を踏まえた防災復興の取組を推進する
- 39.4 DV・児童虐待・性暴力等あらゆる暴力に対して対策を強化する
- 8.8 男女共同参画に関する条例を制定する
- 15.0 女性・男性の生き方、悩みに関する相談窓口を充実する
- 13.1 男女の平等と相互の理解や協力について学習機会を充実する
- 11.5 男女の平等と相互の理解や協力について広報・PRをする
- 12.0 施策を実施するにあたって企業や民間団体（NPO等）との連携を推進する
- 4.5 その他（具体的に
- 3.3 無回答

## 【県の魅力について】

問40 千葉県の魅力は、次のどれだと思いますか。 n=1,561 (○はいくつでも)

- 3.7 地震や台風など災害への備えがなされている
- 28.9 治安が良く、安心して生活ができる
- 8.5 安心して出産・子育て・教育ができる環境がある
- 14.0 医療施設や福祉施設が充実している
- 2.3 魅力的な企業があり、希望した働き方ができる
- 13.2 地域の祭りや音楽などの文化・芸術が楽しめる
- 13.5 神社・仏閣やまち並みなど歴史を味わえる
- 18.6 ゴルフやサーフィンなどのスポーツを体験できる
- 44.4 新鮮な農林水産物を味わえる
- 51.6 温暖な気候で豊かな自然がある
- 34.0 海水浴や潮干狩り、釣りなどで海を楽しめる
- 34.8 魅力的な観光施設（テーマパーク・水族館・旅館等）がある
- 32.0 道路・鉄道・航空などによる交通アクセスがよい
- 2.4 その他（具体的に
- 6.5 特にない
- 1.9 無回答

【広報について】 ※同封の資料④を参考にご回答ください。

問41 県政に関する情報をどのような手段で得ていますか。n=1,561(○はいくつでも)

- 55.0 県広報紙「ちば県民だより」
- 11.7 千葉県ホームページ（パソコン・スマートフォン版）
- 3.6 千葉県ホームページ（携帯版）
- 2.5 県が運用しているSNS「千葉県広報 Twitter」「千葉県公式 LINE」「YouTube 千葉県公式 PR チャンネル」等
- 4.4 千葉日報による新聞紙面広報「県からのお知らせ」、「特集」
- 11.1 県の広報テレビ番組（チバテレ）  
「千葉県インフォメーション」「ウィークリー千葉県～ちばの旬な話題をお届け～」
- 2.9 県の広報ラジオ番組（bayfm78）  
「サタデイ・ブレイシング・モーニング」「チバ・プリフェクチャー・アップデート」
- 4.7 県の魅力発信テレビ番組（フジテレビ）  
「千葉の贈り物～まごころ配達人～」
- 2.2 県の魅力発信ラジオ番組（bayfm78）  
「ミンナノチカラ～CHIBA～」「YOU 遊 チバ」
- 14.1 5～9以外の新聞記事、テレビ・ラジオの番組やニュース
- 1.3 その他（具体的に )
- 26.1 特に情報を得ていない
- 1.2 無回答

【ちばアクアラインマラソンについて】

問42 「ちばアクアラインマラソン」を知っていますか。 n=1,561 (○は1つ)

- 33.8 よく知っている
- 37.3 聞いたことがある
- 28.3 知らない
- 0.5 無回答

→ (問42で「1」「2」とお答えの方に)

問42-1 「ちばアクアラインマラソン」をどこで知りましたか。

n=1,111 (○はいくつでも)

- 6.8 大会公式ホームページ
- 3.2 大会公式SNS
- 39.0 新聞
- 14.4 チラシ
- 15.3 ラジオ
- 57.5 テレビ
- 11.3 その他（具体的に )
- 0.4 無回答

## 【県政への要望】

問43 県政全般について、今後特に力をいれてほしいと思われることを、次の県政への要望項目の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

なお、「問44（17～21ページ）」に具体的要望項目を記載していますので、参考にしてください。

n=1,561

- 40.8 災害から県民を守る
- 5.3 消費生活のトラブルに関する対策をすすめる
- 11.9 食品の安全を守る
- 10.9 交通事故から県民を守る
- 4.9 中心市街地の活性化を推進する
- 2.1 国際交流・協力や外国人県民との共生をすすめる
- 17.3 公共交通網（バス・鉄道）を整備する
- 8.1 障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する
- 6.2 ひとり親家庭等の福祉を充実する
- 28.3 高齢者の福祉を充実する
- 21.7 次世代を担う子どもの育成支援を充実する
- 4.2 青少年を健全に育てる
- 1.5 男女共同参画を推進する
- 1.4 地域課題解決に向けた市民活動や協働の取組を推進する
- 6.3 健康づくりをすすめて、病気を予防する
- 20.1 医療サービス体制を整備する
- 4.4 大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる
- 9.4 自然を守り、緑を育てる
- 9.5 温暖化対策、循環型社会を推進する
- 3.9 廃棄物対策をすすめる
- 2.9 商工業を振興し、地域経済の担い手を育成する
- 4.4 観光を振興する
- 6.0 雇用の場を広げる
- 12.5 仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する
- 3.7 農林水産業を振興し新鮮な農林水産物を供給する
- 12.2 道路を整備する
- 4.2 下水道を整備する
- 3.6 豊かな住生活を実現する
- 4.5 公園・緑地を整備する
- 6.7 安心して飲める良質な水道水を供給する
- 6.0 学校教育を充実する
- 2.6 生涯学習・スポーツ・レクリエーションを振興する
- 2.8 芸術・文化活動を振興する
- 9.6 犯罪防止対策をすすめる
- 1.5 施策実現や地域活性化のためにDX(デジタルトランスフォーメーション)を推進する
- 2.0 その他（具体的に
- 1.2 要望はない
- 0.7 無回答



(問43で「1」～「35」のうち1つでもお答えの方は、次の問44にお進みください。

問43で「36」または「37」だけにお答えの方は、21ページのF 1にお進みください。) ➡

→問44 問43で選んでいただきました県政の要望について、具体的にどのようなことを望まれますか。

問43で選んだ3項目についてののみ、具体的要望項目から1つずつ選んで番号に○をつけてください。

問43の番号及び項目		具体的要望項目（問43で選んだ項目についてののみお答えください）
<b>1</b> n=637 災害から県民を守る を選んだ方	⇒	8.9 災害対応マニュアルの作成・防災マップ等の公表 40.8 災害時の支援、救援活動 10.4 避難場所・避難経路の整備 15.5 危険箇所の事前解消 3.9 災害に対する意識啓発、情報提供 0.5 放射性物質への対応 1.1 避難所における感染症対策 11.3 災害による停電対策 1.1 その他（具体的に） 6.4 無回答
<b>2</b> n=83 消費生活のトラブルに 関する対策をすすめる を選んだ方	⇒	34.9 悪質商法などによる消費者トラブルの相談・救済 21.7 悪質な事業者の指導・処分 7.2 食品や生活用品などの適正な表示 4.8 商品・サービスに係る危害・危険の防止 2.4 消費者教育などの消費者の自立支援策の充実 6.0 高齢者や若者等の消費者被害の防止 8.4 安心して相談できる相談窓口などの情報提供 1.2 その他（具体的に） 13.3 無回答
<b>3</b> n=185 食品の安全を守る を選んだ方	⇒	38.9 食品の安全確保 10.3 適正な食品表示 4.3 検査の強化 4.9 情報提供 34.1 添加物や農薬の規制 0.5 その他（具体的に） 7.0 無回答
<b>4</b> n=170 交通事故から県民を 守る を選んだ方	⇒	30.6 交通事故多発箇所の点検、整備 14.1 ドライバーのマナー向上 17.6 歩行者通行環境の整備 3.5 交通安全教育の推進 13.5 自転車通行環境の整備 1.2 その他（具体的に） 11.8 自転車利用者のマナー向上 7.6 無回答
<b>5</b> n=76 中心市街地の活性化を 推進する を選んだ方	⇒	34.2 再開発などのまちづくり推進 38.2 駅周辺の活性化 21.1 商業による活性化 2.6 その他（具体的に） 3.9 無回答
<b>6</b> n=33 国際交流・協力や外国人 県民との共生をすすめ る を選んだ方	⇒	0.0 海外の良い点を県政に反映 12.1 姉妹都市をはじめとする世界との交流・協力 33.3 市民レベルでの文化交流・外国人県民との交流の機会の提供 33.3 外国人県民にも住みやすいまちづくり 18.2 外国人県民向けの多言語による相談窓口・情報提供の充実 0.0 その他（具体的に） 3.0 無回答
<b>7</b> n=270 公共交通網(バス・鉄道) を整備する を選んだ方	⇒	30.0 鉄道やバスの増便などについて事業者に要望・働きかけ 24.1 鉄道やバス路線の維持のための支援体制の充実 11.9 鉄道新設などによる交通網の見直し 18.5 鉄道とバスとの乗り継ぎの円滑化など利便性向上 3.0 鉄道やバスのバリアフリー化の支援 7.4 その他（具体的に） 5.2 無回答
<b>8</b> n=126 障害のある人の福祉や 社会参加の支援を充実 する を選んだ方	⇒	22.2 就労・社会参加の促進 11.9 入所施設やグループホームなど住まいの場の充実 31.7 障害のある人が暮らしやすいまちづくり 17.5 経済的な支援・負担の軽減 0.8 その他（具体的に） 15.9 無回答

問43の番号及び項目		具体的要望項目（問43で選んだ項目についてのみお答えください）
9 n=97 ひとり親家庭等の福祉を充実する を選んだ方	⇒	20.6 子育て・生活支援体制の充実 7.2 就業支援体制の充実 52.6 経済的支援体制の充実 10.3 児童の就学・就職支援体制の充実 0.0 その他（具体的に） 9.3 無回答
10 n=441 高齢者の福祉を充実する を選んだ方	⇒	42.2 在宅で暮らし続けるための医療・福祉・生活支援 24.9 特別養護老人ホーム等の入所施設の充実 15.0 高齢者が暮らしやすい住まいやまちづくりの支援 4.1 高齢期を充実して過ごすための生きがい対策 0.2 団塊世代や高齢者等の地域活動参加支援 0.5 高齢者虐待防止対策の強化 5.0 認知症対策の強化 0.5 その他（具体的に） 7.7 無回答
11 n=338 次世代を担う子どもの育成支援を充実する を選んだ方	⇒	59.2 子育てに対する経済的な支援・負担軽減 12.1 地域住民参加の多様な子育て支援・子育て力の充実 5.3 幼稚園や保育所の特長を生かした就学前の子どもの教育・保育の充実 3.8 児童虐待防止対策の推進 10.9 妊娠期から子育て期にわたる支援体制の充実 3.0 その他（具体的に） 5.6 無回答
12 n=65 青少年を健全に育てる を選んだ方	⇒	12.3 青少年のボランティア活動等社会参加の促進 23.1 家庭・学校・地域の連携強化 6.2 専門家による相談窓口の充実 7.7 ネットパトロールの実施・フィルタリング等の促進 12.3 非行・犯罪防止・立ち直り支援 16.9 ニート・ひきこもり等への支援 6.2 その他（具体的に） 15.4 無回答
13 n=23 男女共同参画を推進する を選んだ方	⇒	17.4 男性も女性もともに暮らしやすい社会の構築 8.7 ドメスティックバイオレンス（DV）やセクハラなどの根絶 21.7 子育てや介護、家庭生活と仕事を両立するための支援・環境整備 8.7 女性の再就職支援 21.7 働く場での男性・女性の均等な機会及び待遇の確保 4.3 政策・方針決定過程への男女共同参画の促進 4.3 教育・学習の推進 0.0 広報・啓発活動の推進 4.3 男女共同参画に関する条例を制定する 0.0 男女共同参画の視点を踏まえた防災・復興への取組 4.3 その他（具体的に） 4.3 無回答
14 n=22 地域課題解決に向けた市民活動や協働の取組を推進する を選んだ方	⇒	13.6 官民連携など、協働の取組推進 18.2 活動を担う人材の育成 22.7 活動を行う団体の活動支援 0.0 市民活動や協働の取組への理解促進 22.7 市民活動への参加促進 4.5 その他（具体的に） 18.2 無回答
15 n=99 健康づくりをすすめて、病気を予防する を選んだ方	⇒	18.2 運動の機会の増大 9.1 心の健康づくり 44.4 高齢者の健康維持 2.0 歯科保健の充実 1.0 受動喫煙対策の推進 8.1 がんその他の生活習慣病対策 7.1 食生活改善の支援 1.0 その他（具体的に） 9.1 無回答

問43の番号及び項目	具体的要望項目（問43で選んだ項目についてのみお答えください）
<b>16</b> n=314 医療サービス体制を整備する を選んだ方	⇒ 14.3 医師・看護職員等医療従事者の確保 11.1 病院と診療所（かかりつけ医）との連携強化 24.2 医療施設の整備 20.1 休日・夜間等時間外診療の充実 14.6 救急医療体制の整備 4.1 未知の感染症発生に備えた対策の充実 2.9 その他（具体的に） 8.6 無回答
<b>17</b> n=68 大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる を選んだ方	⇒ 17.6 光化学スモッグ・PM2.5対策 2.9 アスベスト対策 14.7 航空機や自動車による騒音・振動に対する対策 29.4 河川・湖沼・海域の水質改善 8.8 建設残土・再生土の適正な埋立て 11.8 環境中に排出される有害な化学物質対策 1.5 その他（具体的に） 13.2 無回答
<b>18</b> n=146 自然を守り、緑を育てる を選んだ方	⇒ 61.0 自然環境・自然景観の保全 4.8 希少な野生動植物の保全 9.6 特定外来生物の防除 8.9 環境保全に関する啓発・教育 0.7 県民参加での野生動植物調査 2.1 その他（具体的に） 13.0 無回答
<b>19</b> n=149 温暖化対策、循環型社会を推進する を選んだ方	⇒ 26.2 地球温暖化対策・気候変動適応策に関する啓発・教育 32.9 再生可能エネルギーの導入促進・省エネルギーの推進 2.0 次世代自動車の普及促進 2.7 ごみ分別徹底化 9.4 廃棄物の再資源化促進 12.8 ごみの発生抑制（プラスチックごみの削減、食品ロスの削減など） 3.4 バイオマスの利活用（飼料化・堆肥化・燃料利用など） 0.7 その他（具体的に） 10.1 無回答
<b>20</b> n=61 廃棄物対策をすすめる を選んだ方	⇒ 47.5 産業廃棄物の不法投棄防止対策 26.2 安心できる廃棄物処理施設の設置 6.6 廃棄物処理に関する広報・啓発活動 6.6 その他（具体的に） 13.1 無回答
<b>21</b> n=46 商工業を振興し、地域経済の担い手を育成する を選んだ方	⇒ 23.9 新たな企業の誘致、産業拠点の整備 17.4 中小企業への資金支援の充実 10.9 創業及び新たな事業展開の支援 2.2 研究・技術開発の支援 2.2 販路開拓の支援 28.3 商店街の整備・活性化 2.2 その他（具体的に） 13.0 無回答
<b>22</b> n=68 観光を振興する を選んだ方	⇒ 25.0 観光地域の魅力向上 17.6 観光施設・宿泊施設の充実 17.6 千葉県観光の積極的なPR 11.8 新たな観光コンテンツの開発・磨き上げ 11.8 観光地へのアクセスの改善 2.9 その他（具体的に） 13.2 無回答

問43の番号及び項目		具体的要望項目（問43で選んだ項目についてのみお答えください）	
23	n = 94 雇用の場を広げる を選んだ方	⇒	21.3 若年者に対する就業支援 8.5 就職氷河期世代に対する就業支援 42.6 中高年齢者に対する就業支援 10.6 女性に対する就業支援 4.3 障害のある人に対する就業支援 4.3 その他（具体的に） 8.5 無回答
24	n = 195 仕事と子育てや介護が 両立する働き方を実現 する を選んだ方	⇒	9.7 女性の再就職支援 4.1 両立支援相談窓口の設置 23.6 ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の普及 6.2 男性の育児休業取得など働き方の見直しの啓発 23.6 短時間勤務制度等多様な働き方の普及 3.1 企業に対する税制上の優遇措置の創設 17.9 一時預かり、時間外保育等保育内容の充実 5.1 その他（具体的に） 6.7 無回答
25	n = 57 農林水産業を振興し 新鮮な農林水産物を 供給する を選んだ方	⇒	22.8 新鮮でおいしい農林水産物の供給 12.3 価格の安定 15.8 県産農林水産物の販売量の拡大 29.8 安全で安心して食べられる農林水産物の供給 3.5 その他（具体的に） 15.8 無回答
26	n = 190 道路を整備する を選んだ方	⇒	47.4 交通渋滞対策 16.8 交通安全対策（通学路への歩道設置など） 4.2 沿道環境の改善（騒音・排ガス対策・景観形成） 4.7 観光、買い物などを支援する道路の整備 9.5 自然災害に強い道路の整備 9.5 その他（具体的に） 7.9 無回答
27	n = 66 下水道を整備する を選んだ方	⇒	63.6 下水道の普及・改善 7.6 水洗化への支援 7.6 下水道施設の耐震化 0.0 その他（具体的に） 13.6 下水の高度処理化 7.6 無回答
28	n = 56 豊かな住生活を実現す る を選んだ方	⇒	14.3 安くて入居を拒まれない住宅の整備 14.3 子育て世帯や高齢者世帯に対応した住宅の整備 26.8 防犯や耐震性の向上など、安全で快適な住宅の整備 17.9 住み替えやリフォームに必要な市場の整備や情報の提供 7.1 省エネなど環境に優しい住宅の整備 3.6 その他（具体的に） 16.1 無回答
29	n = 71 公園・緑地を整備する を選んだ方	⇒	26.8 公園・緑地等の設置・管理 16.9 公園等の緑化推進 33.8 子どもの遊び場の整備 1.4 公園・緑地等の管理への住民参加の機会充実 1.4 催物・講習会等の開催 5.6 その他（具体的に） 14.1 無回答
30	n = 105 安心して飲める良質な 水道水を供給する を選んだ方	⇒	50.5 上水道の水質の改善・維持 3.8 上水道の整備 30.5 水源となる湖沼や川の汚染対策 4.8 上水道施設の耐震化 1.0 その他（具体的に） 9.5 無回答
31	n = 93 学校教育を充実する を選んだ方	⇒	37.6 教職員の資質向上・増員 3.2 障害のある児童生徒など 9.7 学力の向上 の教育の充実 2.2 健康と体力の向上 4.3 学校施設の整備 10.8 特色ある教育活動の充実 5.4 その他（具体的に） 7.5 道徳や心の教育の充実 14.0 無回答 5.4 いじめ対策・不登校児童生徒支援

問43の番号及び項目		具体的要望項目（問43で選んだ項目についてのみお答えください）
32 n=40 生涯学習・スポーツ・レクリエーションを振興する を選んだ方	⇒	2.5 指導者育成の支援 22.5 学習機会の充実 20.0 スポーツ・レクリエーション活動の充実 15.0 情報提供の充実 22.5 施設の整備・充実 0.0 その他（具体的に） 17.5 無回答
33 n=44 芸術・文化活動を振興する を選んだ方	⇒	25.0 文化・芸術にふれる機会の拡充 13.6 文化・芸術に関する情報提供の充実 20.5 文化・芸術活動への支援 2.3 伝統文化や文化財などの継承と活用 18.2 文化施設等の充実 0.0 文化施設等の幅広い活用 2.3 その他（具体的に） 18.2 無回答
34 n=150 犯罪防止対策をすすめる を選んだ方	⇒	16.0 警察官によるパトロールの強化 36.0 防犯カメラなどの防犯設備の整備・拡充 5.3 犯罪情報の発信や防犯対策等の広報活動を強化 3.3 警察官や交番相談員の増員による交番の不在時間短縮 4.7 人口や事件が増えている地域に警察署、交番、駐在所の新設 2.0 少年の非行防止対策 14.0 暴力団、来日外国人等による犯罪の防止 4.7 ボランティア、自治会等、地域主導型の防犯組織づくりの推進 0.7 その他（具体的に） 13.3 無回答
35 n=23 施策実現や地域活性化のためにDX(デジタルトランスフォーメーション)を推進する を選んだ方	⇒	21.7 防災・環境・医療・福祉・健康等に関するDX推進 4.3 子育て・教育等に関するDX推進 0.0 国際交流・文化・スポーツ等に関するDX推進 13.0 観光・商工業・農林水産業・街づくり・交通網の整備等に関するDX推進 34.8 行政事務の利便性の向上、効率化のためのDX推進 4.3 情報セキュリティ対策の推進 0.0 通信環境（Wi-Fi・5Gなど）の整備促進 4.3 その他（具体的に） 17.4 無回答

以上で質問は終わりですが、調査結果を統計的に分析するために必要なことがらをお聞かせください。

F 1 あなたの性別は。

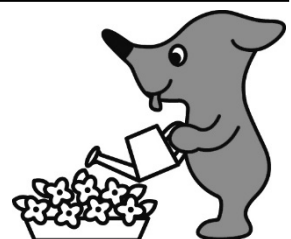
n=1,561 (○は1つ)

42.0 男性	56.6 女性	0.2 その他	1.3 無回答
---------	---------	---------	---------

F 2 あなたは満何歳ですか。

n=1,561 (○は1つ)

0.8 18～19 歳	17.9 40～49 歳	8.1 65～69 歳
6.6 20～29 歳	14.6 50～59 歳	14.3 70～74 歳
10.3 30～39 歳	9.4 60～64 歳	16.8 75 歳以上
		1.3 無回答



F 3 あなたのご職業は何ですか。

n = 1,561 (○は1つ)

6.8 自営業者	15.6 主婦・主夫	19.3 無職
27.0 正規社員・職員	2.5 学生	3.0 その他 ( )
21.8 パート・アルバイト・契約社員		4.0 無回答

F 4 あなたは、次のどの市町村にお住まいですか。

n = 1,561 (○は1つ)

14.5 千葉市	3.4 佐倉市	0.4 匝瑳市	0.3 勝浦市
5.1 市原市	2.3 四街道市	1.0 東金市	0.6 いすみ市
9.4 船橋市	0.6 八街市	0.5 山武市	0.0 夷隅郡大多喜町
7.2 市川市	2.0 印西市	0.9 大網白里市	0.6 夷隅郡御宿町
2.6 習志野市	0.9 白井市	0.0 山武郡九十九里町	1.2 館山市
4.0 八千代市	0.4 富里市	0.0 山武郡芝山町	0.5 鴨川市
2.4 浦安市	0.0 印旛郡酒々井町	0.4 山武郡横芝光町	0.6 南房総市
6.3 松戸市	0.5 印旛郡栄町	1.3 茂原市	0.0 安房郡鋸南町
2.5 野田市	1.0 香取市	0.5 長生郡一宮町	1.9 木更津市
5.4 柏市	0.0 香取郡神崎町	0.0 長生郡睦沢町	1.4 君津市
3.1 流山市	0.5 香取郡多古町	0.0 長生郡長生村	0.4 富津市
3.3 我孫子市	0.0 香取郡東庄町	0.5 長生郡白子町	0.4 袖ヶ浦市
1.9 鎌ヶ谷市	1.7 銚子市	0.0 長生郡長柄町	3.7 無回答
1.4 成田市	0.4 旭市	0.0 長生郡長南町	

以上で質問はすべて終わりです。

今までの設問について、ご意見やご提案がありましたらご自由にお書きください。


県や世論調査へのご意見やご提案がありましたらご自由にお書きください。




最後までご協力いただき、ありがとうございました。

ご記入いただいた調査用紙は、同封の返信用封筒に入れて、  
**9月15日(金)までに**、郵便ポストにご投函ください。

なお、返信用封筒へのお名前やご住所の記入、切手は不要です。



---

---

令和 5 年度

(第65回)

県 政 に 関 す る 世 論 調 査

令和 6 年 1 月 発行

(令和 5 年 8 月 実施)

千葉県総合企画部報道広報課

千葉市中央区市場町 1 番 1 号

(広聴室) 電話 0 4 3 - 2 2 3 - 2 4 6 9

---

---